

第13回 川越市市民意識調査 報告書

平成 31 年 2 月

川 越 市

川越市民憲章

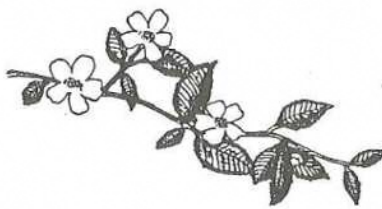
先人の輝かしいあゆみにより、すばらしい歴史的遺産をもつ川越。わたくしたちは、このまちに生きることに誇りをもって、さらに住みよい魅力あふれるまちづくりをすすめていくことを誓い、ここに市民憲章を定めます。

- 1 郷土の伝統をたいせつにし、平和で文化の香りたかいまちにします。
- 1 自然を愛し、清潔な環境を保ち、美しいうるおいのあるまちにします。
- 1 きまりを守り、みんなで助けあう明るいまちにします。
- 1 働くことに生きがいと喜びを感じ、健康でしあわせなまちにします。
- 1 教養をふかめ、心ゆたかな市民として、活力にみちたまちにします。

市の木（かし）



市の花（山吹）



市の鳥（雁^{かり}）





はじめに

いにしえより受け継いだ歴史や文化から「小江戸川越」と称される本市は、古き伝統と現代の新しさが調和した多彩な魅力を有するまちとして発展を続けております。都心から30km圏内に位置する立地、交通の利便性が高く、商業・工業・農業のバランスが取れた産業構造を有し、35万人の市民が生活を営むまち川越。観光都市としての認識も高まってきている中、2020年には東京オリンピックのゴルフ競技が開催される予定となっており、続く2022年には市制施行100周年という記念すべき節目を迎えることから、今後のさらなる飛躍が期待されております。

その一方で、少子高齢化やライフスタイルの変化に伴って、さまざまな課題が生じており、市政に対する意見や要望も複雑で多様化してきております。厳しい財政状況の中、これらの課題に対して的確に responding していくためには、効率的かつ効果的な行財政運営に努めるとともに、市民の皆様の立場に立った市政運営を行うことが重要であると考えております。

私は、これまでも「タウンミーティング」や「市政懇談会」を開催して市民の皆様から直接御意見等を伺うとともに、「市民意見箱」を設置して市民の意識・意向の把握に努め、自由で開かれた風通しのよい市政の推進を図るよう努めてまいりました。

市民意識調査は、市民の皆様の市政全般にわたる意識や意向、要望等の実態を把握するために、3年毎に実施しております。調査結果につきましては、今後の市政運営に反映させるとともに、まちづくりのための貴重な資料として活用してまいります。

今後、一層の市民参加を進め、市民の皆様の一人ひとりが「人がつながり、魅力があふれ、だれもが住み続けたいまち 川越」を実感していただけるようなまちづくりを進めてまいります。

結びに、調査に御協力いただきました多くの市民の皆様に、心から御礼を申し上げます。

平成31年2月

川越市長 川 合 善 明

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の内容	3
3. 調査の設計	3
4. 調査結果の表示方法	3
5. 集計結果の有意性について	5
6. 回収結果	6
7. 回答者の属性	8
II 調査票と回答	11
III 調査結果の分析	39
1. 都市基盤・生活基盤	41
(1) 主に利用する最寄りの駅	41
(2) 最寄りの駅への手段	44
(3) 川越市の将来像	46
(4) 川越市内のバスに望むこと	49
(5) 川越市の歴史的風致の向上	51
(6) 歴史的風致の向上した点	52
2. 産業・観光	53
(1) 川越市の観光への満足度	53
(2) 川越市の観光スポット・伝統行事の周知状況	54
(3) 観光振興のために必要な施策	57
(4) 品物別の主な購入先	60
(5) 買い物の際によく利用する交通手段	64
(6) 食料品の買い物に行く頻度	66
(7) 商店街で実施してほしい事業・サービス	68
(8) 農業に期待すること	71
(9) 農業を身近に感じるか	73
3. 教育・文化・スポーツ	75
(1) してみたい国際交流活動	75
(2) 興味のある文化・スポーツイベント	76
(3) 文化活動の頻度	78
(4) 文化活動への取組	80
(5) 文化に対する考え方	81
(6) 生涯学習活動の取組状況	83
(7) 生涯学習情報の取得方法	85
(8) 生涯学習を行う目的	86

目 次

(9) 今後の成人式の対象年齢	88
(10) 18歳を対象とする成人式の実施時期	88
(11) 20歳を対象とするべきだと思ふ理由	89
(12) スポーツ・運動の実施頻度	90
(13) スポーツ・運動1回あたりの時間／初めてからの期間／スポーツ・運動の 実施場所	92
(14) 運動習慣を身に付けるために必要なこと	97
(15) スポーツ・運動をしない理由	98
(16) 望まれるスポーツ施設	101
(17) 望まれるスポーツ教室	102
4. 保健・医療・福祉・子ども	103
(1) 健康づくりで関心のあること	103
(2) 老後の生活への不安	104
(3) 老後の過ごし方	107
(4) 「地域包括支援センター」の認知度、利用状況	109
(5) 療養生活への不安	109
(6) かかりつけ医のいる家族の有無	110
(7) かかりつけ医のいる家族	110
(8) 「特定健康診査」の認知度	111
(9) 「特定健康診査」の受診率向上のための取組	113
(10) がん検診の受診状況	115
(11) がん検診を受診していない理由	122
(12) 精神障害者のために充実すべきこと	124
(13) 児童虐待を減らすための効果的な方法	126
(14) 児童虐待に関する国・県・市等の施策の認知状況	127
(15) 児童館の利用状況	128
(16) 利用したことがある児童館	128
(17) 児童館を利用しなかった理由	129
(18) 今後児童館に求めるもの	130
5. 環境	131
(1) 川越市の環境への満足度	131
(2) 環境に関する情報の入手先	134
(3) 資源ごみの収集回数／収集回数を増やす品目／収集回数を増やすための経費	137
(4) 家庭ごみ収集の有料化	138
(5) 実行している省エネ活動	139
(6) まちの緑化への活動内容	142
(7) まちの緑化への施策	145

6. 地域社会と市民生活	148
（1）防災対策として必要な施策	148
（2）水・食料の備蓄量	151
（3）家族等との安否確認手段	153
（4）高齢者の交通事故防止に必要なこと	155
（5）関心のある人権問題	156
（6）人権意識を高めていくために必要な取組	159
（7）市民活動への参加意向	162
（8）参加したい市民活動の分野	163
（9）市民活動に参加していない、参加したいと思わない理由	164
（10）自治会への加入の有無	165
（11）自治会に加入していて良かった、加入したいと思う理由	167
（12）自治会に加入していない、加入したいと思わない理由	168
（13）自治会への加入を考えてもいい、加入したいと思える条件	169
（14）自治会に加入していないことで困っていること	170
（15）市民センター・連絡所での手続きの認知度	171
7. 市政全般	172
（1）「広報川越」の閲覧状況	172
（2）市の情報の入手方法	174
（3）市の情報提供に対する満足度	176
（4）必要な市の行政情報	177
（5）市民・行政が協働したまちづくりの実感	180
（6）地域の生活環境の満足度	181
（7）市職員のイメージについて	184
（8）よくなってきた市の施策／力を入れるべき市の施策	187
（9）市への定住意向	195
（10）定住意向理由	198
（11）転出意向理由	200
（12）自身の遺骨の扱いに関する希望	201
（13）墓地や納骨堂の所有状況	203
（14）希望するお墓の種類	205
（15）市制施行 100 周年の年に行ったらよいと思う催し	207
（16）川越市への愛着	209
（17）希望する市税納付方法	211
（18）東京オリンピックのゴルフ競技の認知度	212
（19）東京オリンピックへの関わり方	213
8. 市政運営に対する意見・まちづくりへの要望	214

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、市民の行政に対する意向・要望・生活環境・重点施策・定住意識等の実情を的確に把握し、今後のまちづくりを進めていくための基礎資料とすることを目的としている。なお、この調査は昭和 56 年度以降 13 回目となっている。

2. 調査の内容

- | | |
|------------------|---------------|
| (1) 都市基盤・生活基盤 | (5) 環境 |
| (2) 産業・観光 | (6) 地域社会と市民生活 |
| (3) 教育・文化・スポーツ | (7) 市政全般 |
| (4) 保健・医療・福祉・子ども | |

3. 調査の設計

調 査 地 域	川越市全域
調 査 対 象	川越市在住の満 18 歳以上の男女（外国籍市民を含む）
標 本 数	3,000 人
抽 出 方 法	川越市住民基本台帳から無作為抽出
調 査 方 法	郵送配布－郵送回収法
調 査 期 間	平成 30 年 10 月 1 日（調査票発送）～10 月 26 日

4. 調査結果の表示方法

- (1) 回答の比率（％）は、その設問の回答者数を基数 n として算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると 100％を超えることがある。
- (2) 集計は小数第 2 位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても 100％にならず、1％の範囲で増減することがある。
- (3) 誤差を考慮し、 n が 10 未満のものについてはコメントしていない。
- (4) 図表及び文章中、選択肢を一部省略している場合がある。
- (5) 数値を考察するにあたっては、表現をおおむね以下のとおりとしている。

例	表 現
20.0～20.4％	2 割
20.5～20.9％	約 2 割
21.0～23.9％	2 割を超える
24.0～26.4％	2 割半ば
26.5～28.9％	3 割近く
29.0～29.4％	約 3 割
29.5～29.9％	3 割

(6) 標本を無作為に抽出した世論調査の統計数値には誤差があり、次の公式によって算出される。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 回収数 (比率算出の基数)
 P = 回答の比率 (%)

今回の調査の実際の質問にあてはめてみると、「あなたは、最寄りの駅へ行くのに主にどんな手段で行きますか。」(問2)という質問に答えた人は1,556人であり、そのうち、43.8%の人が「徒歩」と答えた。それぞれの数値を公式に代入すると、次の誤差が算出される。

$$2 \sqrt{\frac{299,103 - 1,556}{299,103 - 1} \times \frac{0.438(1 - 0.438)}{1,556}} = 0.025$$

したがって、±2.5%が誤差の範囲となる。つまり、この回答に対する川越市民の真の値は41.3%～46.3%の間と考えられる。

今回の調査の標本誤差早見表

回答の比率	90% (または 10%)	80% (または 20%)	70% (または 30%)	60% (または 40%)	50%
標 本 誤 差	±1.5%	±2.0%	±2.3%	±2.5%	±2.5%

各回答比率における標本誤差早見表

回答の比率 (P) 基数 (n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
1,556	± 1.5%	± 2.0%	± 2.3%	± 2.5%	± 2.5%
1,000	± 1.9%	± 2.5%	± 2.9%	± 3.1%	± 3.2%
400	± 3.0%	± 4.0%	± 4.6%	± 4.9%	± 5.0%
200	± 4.2%	± 5.7%	± 6.5%	± 6.9%	± 7.1%
100	± 6.0%	± 8.0%	± 9.2%	± 9.8%	±10.0%
50	± 8.5%	±11.3%	±13.0%	±13.9%	±14.1%

5. 集計結果の有意性について

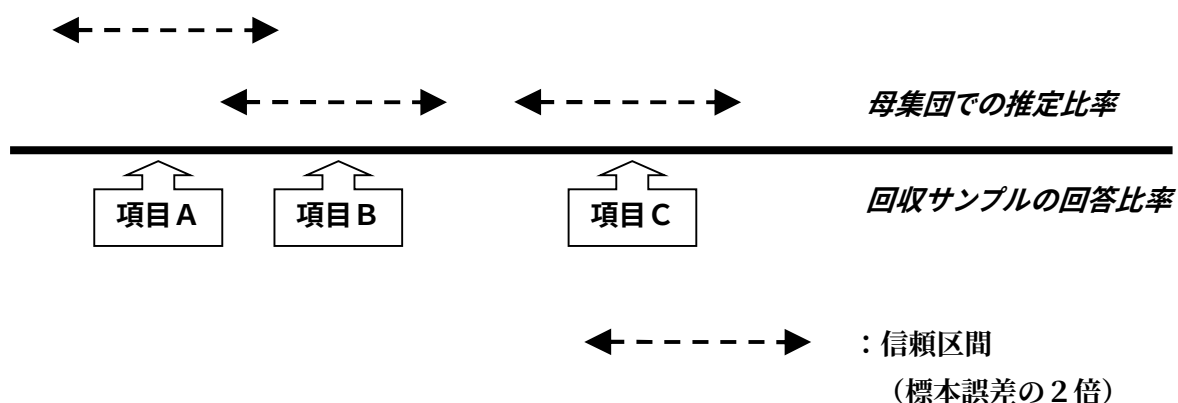
今回の調査は「標本調査」であり調査対象となる母集団への標本誤差が必ず生じる。そのため、どの程度までアンケート調査結果に基づく評価ができるのかという有意性が重要な問題となる。

今回調査では、有効サンプルが1,556票であり、回答比率がちょうど50%の場合、標本誤差は $\pm 2.5\%$ となる。したがって、アンケート調査結果で得た50%という集計結果を、実際の母集団にあてはめるには標本誤差 $\pm 2.5\%$ の誤差が生じることになり、母集団の傾向として評価する際には、50%ではなく $50 \pm 2.5\%$ （ $=47.5\% \sim 52.5\%$ ）という一定の幅を持った値（信頼区間）として取り扱う必要がある。その結果、その信頼区間に基ついて母集団の評価をする場合、少なくとも評価対象となる項目の回答比率の差が5.0%（＝標本誤差の2倍）以上でなければ意味をなさない、つまり有意性を持たないことになる。（下図参照）

そのため、アンケート調査結果に有意性を持たせ、母集団へ効果的に反映させるためには、ある程度の回収サンプル数が必要とされており、例えば、100票そこそこの場合、その調査結果の標本誤差は、回答比率50%において $\pm 10.0\%$ となり、信頼区間は20.0%にも上ることになる。このような状況では評価どころではなく、アンケート調査自体が意味をなさない。こういった事態を招かないためにも、通常の標本調査においては、回収サンプル数が1,000票は必要と考えられる。

今回のアンケート調査の場合、回収サンプル数が1,556票であり、評価に当たっての前提条件はクリアされていることが分かる。ただし、標本誤差が生じるので、評価・分析にあたっては信頼区間（今回調査の場合は5.0%程度）未満の差異は切り捨てて考える必要がある。

〈項目Bは項目Aよりも有意に高いといえない場合〉



※この場合、項目Cについては、項目A、項目Bそれぞれよりも有意に高いといえる。

6. 回収結果

(1) 市全体の回収

内 訳	母集団数	構成比 (母集団)	標本数	有 効 回収数	回収率 (%)
市 全 体	299,103	100.0%	3,000	1,556	51.9%

(2) 性別、性年齢別の回収結果

区 分 \ 内 訳	母集団数	構成比 (母集団)	標本数	有 効 回収数	回収率 (%)
市 全 体	299,103	100.0%	3,000	1,556	51.9%
男 性	149,048	49.8%	1,500	649	43.3%
女 性	150,055	50.2%	1,500	853	56.9%
無 回 答	—	—	—	54	—

男 性	区 分 \ 内 訳	母集団数	構成比 (母集団)	標本数	有 効 回収数	回収率 (%)
	全 体	149,048	100.0%	1,500	649	43.3%
	18・19 歳	3,572	2.4%	30	5	16.7%
	20～29 歳	19,518	13.1%	257	59	23.0%
	30～39 歳	22,701	15.2%	277	81	29.2%
	40～49 歳	29,531	19.8%	309	125	40.5%
	50～59 歳	22,404	15.0%	207	87	42.0%
	60～69 歳	21,293	14.3%	213	138	64.8%
	70 歳以上	30,029	20.1%	207	154	74.4%

女 性	区 分 \ 内 訳	母集団数	構成比 (母集団)	標本数	有 効 回収数	回収率 (%)
	全 体	150,055	100.0%	1,500	853	56.9%
	18・19 歳	3,351	2.2%	28	5	17.9%
	20～29 歳	18,307	12.2%	270	82	30.4%
	30～39 歳	20,530	13.7%	255	158	62.0%
	40～49 歳	26,764	17.8%	280	152	54.3%
	50～59 歳	21,010	14.0%	181	126	69.6%
	60～69 歳	22,407	14.9%	236	158	66.9%
	70 歳以上	37,686	25.1%	250	172	68.8%

(3) 地区別回収結果

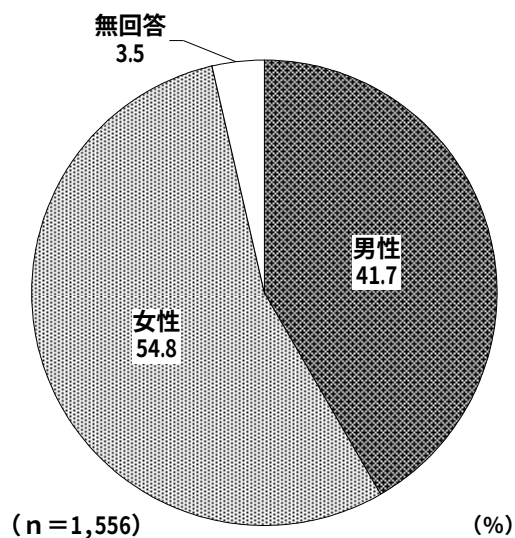
内 訳 区 分	母集団数	構成比 (母集団)	標本数	有 効 回収数	回収率 (%)
本 庁 地 区	90,813	30.4%	732	341	46.6%
芳 野 地 区	4,734	1.6%	100	48	48.0%
古 谷 地 区	9,138	3.1%	134	66	49.3%
南古谷地区	20,091	6.7%	218	120	55.0%
高 階 地 区	45,372	15.2%	402	210	52.2%
福 原 地 区	17,093	5.7%	193	85	44.0%
大 東 地 区	29,261	9.8%	285	153	53.7%
霞ヶ関地区	27,045	9.0%	267	209	78.3%
川 鶴 地 区	5,115	1.7%	104	71	68.3%
霞ヶ関北地区	15,335	5.1%	174	56	32.2%
名 細 地 区	25,406	8.5%	253	101	39.9%
山 田 地 区	9,700	3.2%	138	62	44.9%
無 回 答	—	—	—	34	—
計	299,103	100.0%	3,000	1,556	51.9%

【地区別区分図】

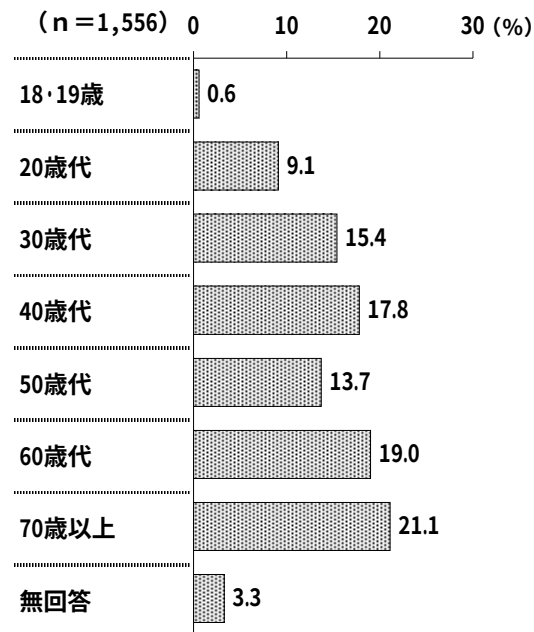


7. 回答者の属性

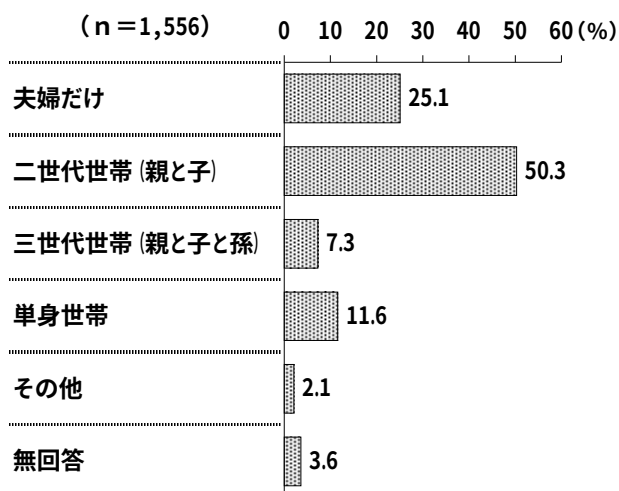
(1) 性別



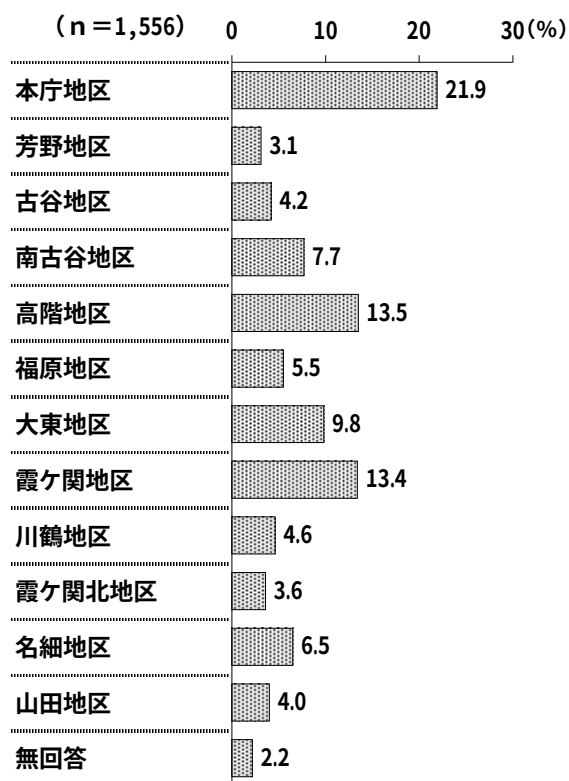
(2) 年代



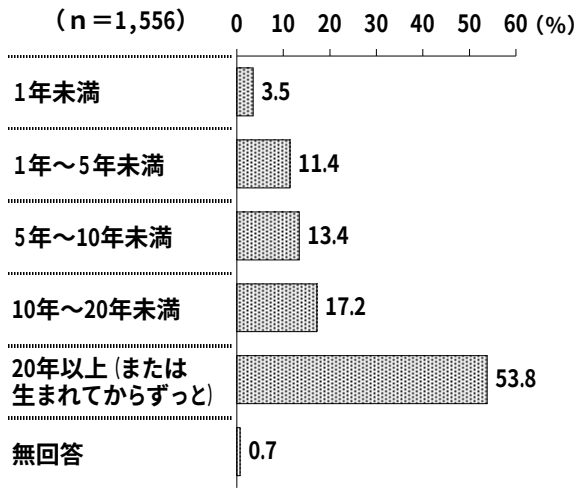
(3) 家族構成



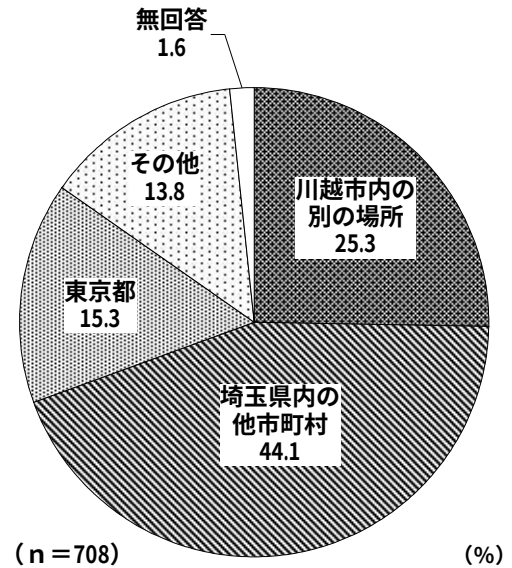
(4) 居住地区



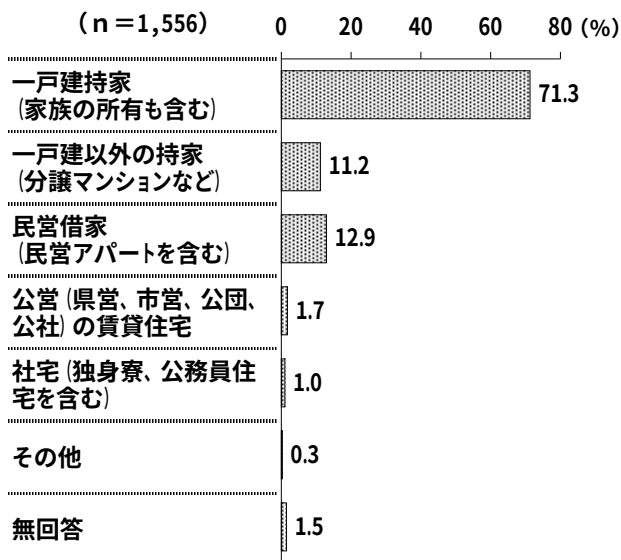
(5) 居住年数



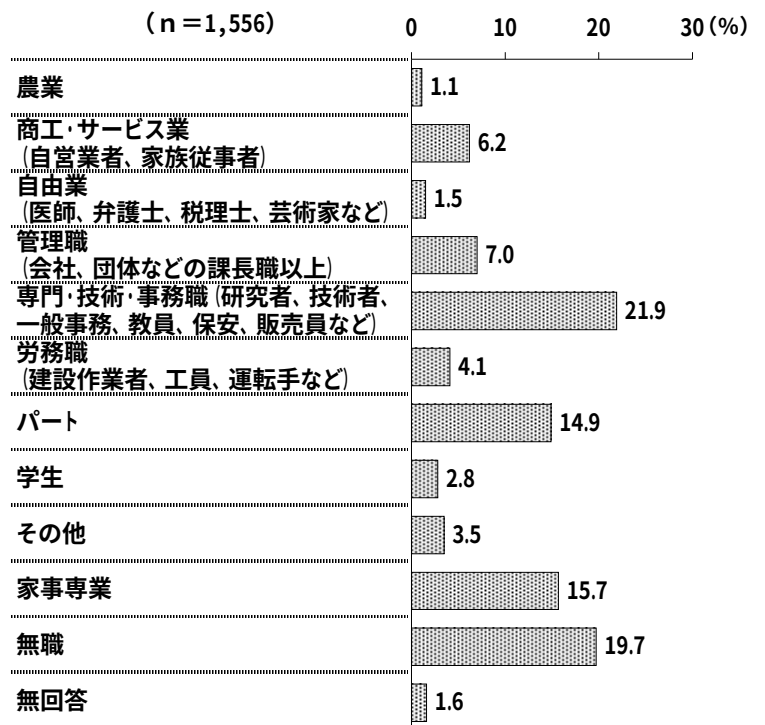
(6) 転入前居住地



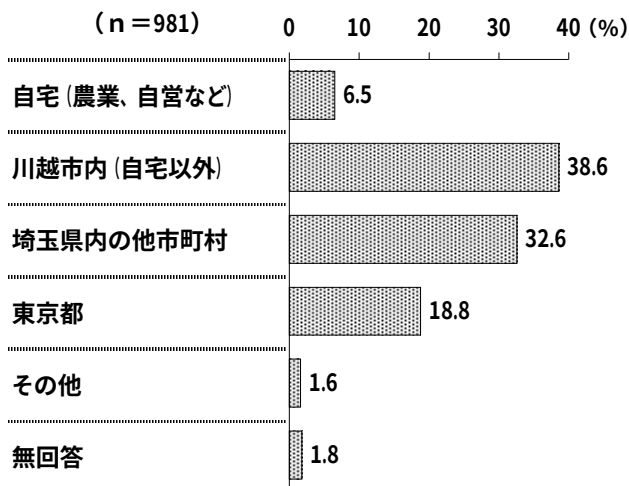
(7) 住居形態



(8) 職業



(9) 通勤・通学先



II 調査票と回答

川越市市民意識調査

アンケート調査ご協力をお願い

日頃皆様には、市政の発展のために深いご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、市では10月上旬から10月下旬にかけて市民意識調査を行います。

この調査は、生活環境に関する意識、市政に対するご意見など市民生活の全般にわたり、皆様のご意見をお伺いし、それを今後の行政施策への資料とするために行うもので、この種の調査は昭和56年度以来13回目です。

この調査は、住民基本台帳に登録されている18歳以上の市民の中から、3,000人を無作為に選ばせていただき、お願いするものです。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご意見がいただけますようご協力をお願い申し上げます。

平成30年10月

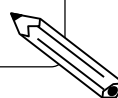
川越市長 川 合 善 明

- ◎ 調査結果はコンピュータで統計的に処理しますので、ご回答いただきました皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

ご記入にあたってのおねがい

1. 対象となったご本人がお答えください。
2. ご記入は、黒のボールペンまたは鉛筆をお願いします。
3. 回答は最初から1問ずつ、最後までお答えください。ただし、質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きをよくお読みください。
4. お答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。
5. 質問によって、○をつける数を「1つ」「いくつでも」などと指定しておりますので、その範囲内でお答えくださるようお願いいたします。
6. 「その他」にあてはまる場合は、() 内にできるだけ具体的にその内容を記入してください。
7. 市政全般に関する調査であることから、質問が多岐にわたっておりますので、時間がかかる場合は、休憩をはさみながらご回答ください。

ご記入がおわりましたら…



ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒にて **10月26日(金)** までに
投函ください。(切手を貼る必要はありません)

なお、調査の内容、考え方、記入の仕方などについて、ご不明な点がございましたら、
お気軽に下記までご連絡ください。

【お問い合わせ先】 川越市市民部広聴課 広聴担当
〒350-8601 川越市元町一丁目3番地1 (本庁舎3階)
TEL (049) 224-5011 (直通)
FAX (049) 222-5454

◎各選択肢に続く数値は回答結果（％）をあらわしている。

都市基盤・生活基盤について伺います

問 1 あなたが主に利用する最寄りの駅はどこですか。 (○は1つ) n=1,556

J R 川越線	1.南古谷	11.0	2.川越	12.6	3.西川越	0.7
	4.的場	2.8	5.笠幡	3.7	6.武蔵高萩	0.1
東武東上線	7.上福岡	4.0	8.新河岸	11.9	9.川越	14.8
	10.川越市	5.7	11.霞ヶ関	12.4	12.鶴ヶ島	8.1
西武新宿線	13.本川越	3.1	14.南大塚	5.8	15.新狭山	0.7
	16.その他の駅	1.2			無回答	1.3

問 2 あなたは、最寄りの駅へ行くのに主にどんな手段で行きますか。 (○は1つ) n=1,556

1. 徒歩	43.8	3. 自転車又はオートバイ	22.4	5. その他	0.7
2. バス	14.5	4. 自家用自動車	17.0	無回答	1.6

問 3 あなたは、川越市をどのようなまちにしたらよいと思いますか。次の中から2つ以内で選んでください。 (○は2つ以内) n=1,556

1. 緑の保全・育成に力を注ぐ自然豊かなまち	9.8	11. 人と人とのつながりを感じる地域 コミュニティ活動の活発なまち	10.3
2. 多くの人が働く工業のまち	1.5	12. 交通事故、犯罪及び火災のない安全性 の高いまち	31.5
3. 活力あふれる商業のまち	5.7	13. 県西部の中心都市	4.8
4. 農業を大切にするまち	4.6	14. 住環境の整備された住宅のまち	8.5
5. 歴史的遺産を活かした観光のまち	26.7	15. 環境保全を推進する地球にやさしいまち	4.6
6. スポーツの盛んな健康づくりのまち	3.7	16. 市民と行政がともに知恵と力を出し 合う協働のまち	6.4
7. 子育てのしやすいまち	17.7	17. その他	1.7
8. 子ども、お年寄り、障害のある方 などに思いやりのあるまち	30.1	無回答	2.2
9. 公園や広場などが多いうるおいのあるまち	11.1		
10. 教育や文化の香り高い教養のまち	8.2		

問 4 あなたは川越市内のバス（路線バス・川越シャトル）にどのようなことを望みますか。次の中から2つ以内で選んでください。 (○は2つ以内) n=1,556

1. 運行本数が多い	39.7	5. 乗りたい時刻に乗れる	17.9	9. 乗り継ぎが便利である	10.9
2. のりばが家の近くにある	27.6	6. 路線の種類が多い	15.4	10. 特にない	13.7
3. 運賃が安い	20.6	7. 運行が安全である	8.9	無回答	2.4
4. バリアフリー化が進んでいる	3.7	8. 使い方がわかりやすい	8.2		

問 5 ① あなたは、この10年間で川越市の歴史的風致（歴史的な建造物や歴史・伝統を反映した人々の活動等）が向上したと思いますか。 (○は1つ) n=1,556

1. 向上した	22.6	4. 低下した	1.3
2. ある程度向上した	27.8	5. わからない	27.1
3. 特に変わっていない	18.4	無回答	2.8

★②にお答えください

★①で「1. 向上した」「2. ある程度向上した」と答えた方におたずねします。

② どのような点でそのように感じますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。
(○はいくつでも) n = 785

1. 歴史的建造物の修理や復原による町並みの整備	33.8
2. 歴史的建造物の様式に合わせた新築建物の増加	10.8
3. 歴史的建造物を活用した店舗の増加	23.4
4. 歴史的な地区での道路の美装化	19.5
5. 歴史的な町並みを散策する観光客の増加	74.1
6. 歴史的な町並みがマスメディアに紹介される頻度の増加	64.1
7. 川越氷川祭の山車行事（川越まつり）の賑わい	22.7
8. その他	1.0
無回答	0.8

産業・観光についてお伺いします

問6 あなたは、川越市の観光について、どのように感じていますか。

次の中から1つ選んでください。

(○は1つ) n = 1,556

1. 満足	11.2	4. やや不満	6.9
2. やや満足	38.2	5. 不満	2.3
3. ふつう	35.8	無回答	5.6

問7 市内には多くの観光スポットや伝統行事がありますが行ったこと（見たこと）がありますか。

ア～ヘの項目ごとに1つずつ選んでください。

(○はそれぞれ1つずつ) n = 1,556

	行ったことがある	機会があれば行ってみたい	知っているが 行ったことがない	知らない	無回答
ア) 蔵造りの町並み・時の鐘	95.4	1.0	2.2	0.4	1.0
イ) 菓子屋横丁	93.1	2.2	2.9	0.6	1.2
ウ) 川越まつり会館	50.3	11.0	27.5	8.7	2.6
エ) 蔵造り資料館	40.0	14.7	28.7	13.3	3.2
オ) 川越市産業観光館小江戸蔵里	52.8	10.6	15.5	17.9	3.2
カ) 旧山崎家別邸	21.0	18.6	29.0	26.9	4.5
キ) 川越城本丸御殿	65.2	9.4	14.1	8.8	2.4
ク) 市立博物館	53.9	13.1	20.4	9.1	3.5
ケ) 市立美術館	43.6	16.4	24.0	11.8	4.2
コ) 川越氷川神社	89.8	3.1	4.9	0.6	1.5
サ) 三芳野神社	33.9	11.1	18.1	31.5	5.4
シ) 喜多院	90.4	1.9	4.9	1.5	1.3
ス) 中院	56.8	9.4	11.2	19.1	3.5
セ) 仙波東照宮	49.6	11.3	12.3	23.4	3.5
ソ) 蓮馨寺	71.1	5.7	7.7	13.1	2.4
タ) 熊野神社	50.6	9.9	15.4	19.7	4.5
チ) 川越水上公園	83.7	4.0	8.6	1.3	2.4

	行ったことがある	機会があれば行ってみたい	知っているが 行ったことがない	知らない	無回答
ツ) 伊佐沼	84.3	2.9	6.5	4.1	2.2
テ) 川越まつり	89.8	4.0	3.8	0.6	1.7
ト) 石原のささら獅子舞	3.9	13.9	20.8	57.0	4.4
ナ) 老袋の弓取式	2.0	12.7	15.8	64.8	4.6
ニ) 老袋の万作	1.9	11.4	13.6	68.0	5.0
ヌ) 南大塚の餅つき踊り	4.1	11.3	16.6	63.4	4.6
ネ) ほろ祭	4.3	10.0	10.2	69.3	6.2
ノ) 初大師（喜多院）	54.9	8.8	14.4	17.5	4.4
ハ) 小江戸川越花火大会	60.7	13.9	18.1	3.9	3.4
ヒ) 春まつり（舟運）	19.0	20.8	28.7	27.0	4.6
フ) 川越百万灯夏まつり	67.3	9.6	13.8	6.6	2.7
ヘ) 縁むすび風鈴（氷川神社の夏の行事）	34.1	18.2	25.5	18.5	3.7

問 8 あなたは、ますます観光客が多く訪れる街になるためにどのような施策が必要だと思いますか。
次の中から2つ以内で選んでください。（○は2つ以内） n=1,556

1. 駐車場の整備	33.5	9. 観光スポットの整備	9.9
2. トイレの整備	19.2	10. 体験型観光の充実	6.5
3. 観光スポットへのアクセスの向上	12.5	11. 交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善	49.2
4. 来訪者に対する案内情報の発信	5.8	12. 滞在時間の延長（宿泊施設の充実、夜間 ライトアップの実施等）	10.0
5. 国内外への観光情報の発信	9.6	13. 無料 Wi-Fi の整備	4.8
6. 休憩施設の整備	9.3	14. その他	3.9
7. 観光施設のバリアフリー化	3.5	15. わからない	2.3
8. 乳幼児用の設備や施設の整備	4.2	無回答	1.2

問 9 ① あなたは、次の品物を主にどこで買いますか。品物別（小型店・大型店別）にそれぞれに該当する地域（1～20）を1つずつ選んでください。（○はそれぞれ1つずつ） n = 1,556

※小型店とは・・・個人商店、コンビニエンスストア

大型店とは・・・スーパー、デパート、ショッピングモール、ホームセンター

品 物		市 内										市 外						通販（インターネット等）	その他（宅配等）	自分では買わない	品物を購入できる店が無い	無回答
		本庁地区の店	古谷地区の店	南古谷地区の店	高階地区の店	福原地区の店	大東地区の店	霞ヶ関、川鶴地区の店	霞ヶ関北地区の店	名細地区の店	山田、芳野地区の店	さいたま市の店	鶴ヶ島市、坂戸市の店	狭山市、所沢市の店	ふじみ野市の店	その他の県内の店	都内の店					
ア) 食料品	小型店	10.2	1.8	3.5	6.2	1.3	4.8	7.3	3.0	1.8	3.1	0.3	2.4	0.6	1.3	0.6	0.4	0.1	0.6	2.0	0.6	48.1
	大型店	22.6	1.5	10.7	7.6	1.0	6.2	11.2	5.8	1.0	5.8	0.4	6.2	1.1	4.8	1.9	0.6	0.3	1.0	2.1	0.2	7.8
イ) 日用 雑貨品	小型店	9.8	1.0	3.0	5.7	1.2	3.6	6.3	3.3	1.0	2.7	0.1	2.6	0.3	1.6	0.6	0.6	1.7	0.4	2.4	2.4	49.6
	大型店	21.9	1.7	10.0	6.1	1.1	5.2	8.5	3.8	0.6	4.0	0.6	11.3	1.5	6.2	3.3	0.8	1.6	0.3	1.5	0.2	9.9
ウ) 日用 衣料品	小型店	9.4	0.4	1.7	2.3	0.4	1.4	3.9	2.2	0.1	2.0	0.2	2.4	0.4	1.6	1.8	2.3	5.2	0.3	3.2	6.2	52.5
	大型店	27.1	0.8	5.0	3.2	0.9	2.6	7.3	3.3	0.4	3.2	1.8	4.5	1.9	9.2	7.8	5.4	4.8	0.3	1.7	0.6	8.1
エ) 高級 衣料品	小型店	7.4	0.1	0.4	0.2	0.0	0.3	0.8	0.6	0.0	0.4	0.7	0.8	0.3	1.1	1.7	7.2	4.0	0.3	13.0	8.3	52.2
	大型店	26.0	0.1	1.1	1.4	0.4	0.8	1.5	0.9	0.1	0.8	1.9	1.4	0.8	3.9	6.2	20.3	4.4	0.3	14.5	3.0	10.4
オ) 電気製品	小型店	6.5	0.7	1.8	0.8	0.3	1.3	2.4	1.8	0.2	0.8	0.1	2.5	1.0	1.5	1.5	1.5	6.6	0.1	6.3	7.8	54.6
	大型店	26.2	2.3	4.6	1.4	0.4	3.1	4.4	2.6	0.3	2.5	1.7	9.6	3.6	5.9	5.9	4.4	9.7	0.2	3.3	0.6	7.3
カ) 家具類	小型店	6.3	0.5	1.0	0.3	0.2	1.2	1.5	0.8	0.0	0.2	0.4	2.4	0.2	1.0	2.1	1.5	4.6	0.7	9.1	10.9	55.2
	大型店	24.5	1.8	3.8	1.1	0.8	4.5	3.7	1.9	0.3	1.4	2.0	9.7	1.4	3.0	8.1	5.1	8.5	0.9	7.5	1.5	8.7
キ) 贈答品 (3,000円以上)	小型店	10.2	0.6	0.9	1.0	0.1	0.7	2.1	1.2	0.2	0.7	0.4	1.3	0.3	0.9	2.1	3.0	5.3	0.6	9.1	6.7	52.5
	大型店	37.5	0.2	2.0	1.9	0.4	1.3	3.0	1.0	0.2	1.4	2.3	2.7	0.8	4.1	4.9	9.6	9.0	0.9	7.3	0.7	8.7

② 買い物に行く際によく利用する交通手段は何ですか。

次の中から2つ以内で選んでください。

（○は2つ以内） n = 1,556

1. 徒歩（杖やシルバーカー、車イスなどの利用も含む）	22.8	6. バス	4.9
2. 自転車	34.2	7. 鉄道	12.7
3. オートバイ・原付	2.5	8. タクシー	0.6
4. 自家用車（本人が運転）	60.3	9. その他	0.1
5. 自家用車（他の人が運転）	26.3	無回答	0.1

③ 食料品の買い物にはどの程度行きますか。

次の中から1つ選んでください。

（○は1つ） n = 1,556

1. 週に5回以上	17.9	4. 月に1～2回	3.5
2. 週に3～4回程度	33.9	5. ほとんど行かない	3.2
3. 週に1～2回程度	41.1	無回答	0.3

問10 商店街でどんな事業やサービスを実施してほしいですか。 (○は2つ以内) n=1,556

1. 空きビン、空き缶のリサイクル事業 (デポジット)	18.6	6. 共同売り出し	13.0
2. 宅配サービス(移動販売)事業	15.4	7. コミュニティスペースの提供	7.5
3. カード事業	4.8	8. キャッシュレス決済事業	10.1
4. スタンプ事業	7.6	9. その他	2.6
5. ナイトバザール	6.1	10. 特にない、わからない	39.1
		無回答	2.1

問11 あなたが農業に期待することは何ですか。 (○はいくつでも) n=1,556

1. 安全安心な農産物の提供	72.8	5. 川越産農産物の加工品を扱う商店等の充実	18.3
2. 農産物直売機会の充実	45.4	6. 田園風景の保存	20.8
3. 農業にふれあえる機会の充実	7.7	7. その他	1.9
4. 川越産農産物のブランド化	18.7	無回答	0.8

問12 農業を身近に感じますか。(地場農産物の購入や市民農園の利用、田園風景などを通じて、暮らしの中で農業を身近に感じますか) (○は1つ) n=1,556

1. 農業を身近に感じる	63.4	2. 農業を身近に感じない	35.7
		無回答	0.9

教育・文化・スポーツについてお伺いします

問13 あなたは、どんな国際交流をしてみたいと思いますか。

次の中から3つ以内で選んでください。

(○は3つ以内) n=1,556

1. 外国人との交流行事やサークル活動	20.9	6. 外国の歴史や文化を学ぶ	21.9
2. ホームステイを受け入れる	5.8	7. 国際ボランティア活動へ参加する	4.6
3. 観光で海外旅行に行く	38.1	8. 地域の外国人への支援活動をする	6.6
4. 外国人の友人を作る	17.9	9. その他	0.6
5. 外国語を習得する	34.0	10. 特にない	29.6
		無回答	1.3

問14 あなたは、どのような文化・スポーツイベントに興味がありますか。

次の中から2つ以内で選んでください。

(○は2つ以内) n=1,556

1. クラシックコンサートやオペラ鑑賞	22.2	6. 知識や技能、教養を高めるための講座や教室	22.9
2. 落語や歌舞伎などの古典芸能鑑賞	19.3	7. 日頃の活動を発表できる市民参加の音楽祭・文化祭	5.6
3. 文化人などの講演会	8.4	8. 市民参加のスポーツ大会	9.4
4. 著名な画家などの美術展	13.2	9. 地域の伝統行事や祭り	24.9
5. プロ選手などのスポーツ観戦	31.9	10. その他	3.9
		無回答	2.5

問15① あなたは、文化活動をどの程度行っていますか。次の中から1つ選んでください。(○は1つ) n=1,556

※「文化活動」とは、クラシック音楽、ポピュラー音楽、邦楽、民俗芸能、演芸、文芸、美術等における活動（文化財・歴史的遺産の保存・活用活動は含みません）を想定しています。

1. ほとんど毎日	1.3	4. 週に1日	2.8
2. 週に3～5日	2.0	5. 月に1～3日	8.2
3. 週に2日	2.1	6. ほとんど行っていない、または行っていない	81.6
		無回答	2.0

★①で「4. 週に1日」「5. 月に1～3日」と答えた方におたずねします。

② 現状に対する考え方を教えてください。

(○は1つ) n=171

1. 現状に満足しており、頻度として適度であると考え、以前と変わらない	57.9
2. 行いたい、家庭のライフスタイルに合わせて減少している	20.5
3. 行いたい、ある事情について落ち着いたら積極的に取り組んでいきたい	13.5
4. もっと減らしていきたい、減っていく可能性がある	2.3
5. その他	2.3
6. わからない	1.8
無回答	1.8

問16 文化に対するあなたの考え方を教えてください。

(○は1つ) n=1,556

1. 趣味として行うもの	28.0	4. 興味がない	7.0
2. 時間や経済的なゆとりがあるから行うもの	14.1	5. その他	0.5
3. 教養として心を豊かにするためにを行うもの	42.2	6. わからない	6.5
		無回答	1.7

問17① あなたは、日ごろ次のような生涯学習をおこなっていますか。(○はいくつでも) n=1,556

※「生涯学習」とは、自己の啓発や充実のため、生活の向上のためや職業上の能力の向上のため、自発的に行う学習活動のことを想定しています。

1. 公民館の講座や教室（体操教室なども含む）	9.3
2. 図書館・博物館・美術館の講座や教室	3.7
3. その他、市が行っている講座や教室	4.9
4. 県や国が行っている講座や教室	1.7
5. 公民館などで自主的・自発的に行っているサークル活動	7.3
6. 大学等のオープンカレッジ	2.3
7. 民間のカルチャーセンター・スポーツクラブなどの講座や教室	7.9
8. 自宅で活動（通信教育・本・CDソフトなどを使った自主的な学習）	14.5
9. 図書館を利用した自主的な学習（読書なども含む）	13.7
10. インターネットなど	21.6
11. ラジオやテレビ	17.5
12. その他	2.0
13. 特にやっていない	44.3
無回答	2.1

★②と③にお答えください

★①で「1.～11.」のいずれかに答えた方におたずねします。

② あなたは、生涯学習に関する情報をどのように得ていますか。

次の中からあてはまるものすべてをお選びください。

(○はいくつでも) n = 818

1. 川越市広報	48.9	6. 家族・友人・知人からの紹介	28.6	11. インターネット	48.7
2. 公民館だより	13.6	7. 新聞記事や折り込み広告	20.3	12. その他の手段	3.7
3. 生涯学習情報誌マナビガイド	1.0	8. ポスターやチラシ	13.0	13. わからない	1.5
4. 川越市のホームページ	5.4	9. ダイレクトメール	3.1	無回答	1.8
5. 自治会の回覧	14.5	10. テレビ番組	22.9		

★①で「1.～11.」のいずれかに答えた方におたずねします。

③ あなたの生涯学習を行う主な目的は何ですか。

次の中からあてはまるものすべてをお選びください。

(○はいくつでも) n = 818

1. 趣味を広げたり、教養を高めるため	63.4	5. ボランティア活動に生かすため	3.5
2. 健康・体力づくりのため	39.4	6. 地域の人との親睦を深めたり、仲間づくりのため	17.5
3. 家庭生活や日常生活を充実させるため	35.9	7. 自由時間を有効に活用するため	33.0
4. 現在の仕事や、転職などに必要な知識・技能を身につけるため	20.9	8. セカンドライフを充実したものにするため	14.7
		9. その他	1.0
		無回答	1.5

問18① 川越市では、毎年成人の日の前日に、ウェスタ川越で成人式を実施しています。民法が改正され、2022年に成人年齢が18歳に引き下げられますが、今後どのように成人式を実施していくべきだと思いますか。(○は1つ) n = 1,556

1. 成人年齢となる18歳を対象とするべきだと思う	→ ★②にお答えください	34.4
2. これまでどおり20歳を対象とするべきだと思う	→ ★③にお答えください	44.8
3. その他		1.9
4. わからない		17.2
無回答		1.7

★①で「1.成人年齢となる18歳を対象とするべきだと思う」と答えた方におたずねします。

② 18歳を対象とする成人式は、いつ行うのがいいと思いますか。(○はいくつでも) n = 536

1. 祝日の趣旨から、成人の日(もしくは前後)に実施するべきだと思う	49.3
2. 受験等の日程と重なる可能性があるため、別の時期に実施するべきだと思う	48.9
3. その他	3.4
無回答	0.4

★①で「2.これまでどおり20歳を対象とするべきだと思う」と答えた方におたずねします。

③ 20歳を対象とするべきだと思う理由を教えてください。

(○はいくつでも) n = 697

1. 18歳だと、受験等で出席できない人が多いと思われるため	37.3
2. 20歳で定着しているため、変える必要は無い	73.6
3. その他	10.9
無回答	0.6

問19 あなたは、スポーツや運動をどの程度していますか。

① 頻度はどの程度ですか。

(○は1つ) n = 1,556

1. ほとんど毎日	9.4
2. 週に3～5日	11.6
3. 週に2日	10.9
4. 週に1日	10.0
5. 月に1～3日	8.0
6. ほとんどしていない	49.2
無回答	1.0

★②と③と④にお答えください

★⑤にお答えください

★⑥にお答えください

★①で「1.～4.」と答えた方におたずねします。

② 1回の時間はどの程度ですか。

(○は1つ) n = 651

1. 30分未満	15.1	3. 1時間以上	41.8
2. 30分以上1時間未満	41.0	無回答	2.2

★①で「1.～4.」と答えた方におたずねします。

③ スポーツや運動を初めてからどの程度期間が経過していますか。

(○は1つ) n = 651

1. 6カ月未満	9.2	3. 1年以上	78.5	無回答	2.0
2. 6カ月以上1年未満	6.8	4. わからない	3.5		

★①で「1.～4.」と答えた方におたずねします。

④ あなたは、スポーツや運動をどこで行なっていますか。

次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

(○はいくつでも) n = 651

1. 小・中学校の施設	5.8	3. 公共の施設	22.7	5. 自宅周辺	50.7
2. 高校・大学の施設	2.0	4. 民間のスポーツ施設	26.6	6. その他	9.7
				無回答	2.2

★①で「5.月に1～3日」と答えた方におたずねします。

⑤ 健康を保つための運動習慣を身に付けるために、どのようなことがあるとよいと思いますか。

次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

(○はいくつでも) n = 124

1. 自分に合った運動方法や運動量がわかる	34.7	5. 身近に参加しやすい運動教室がある	17.7
2. 運動の指導者がいる	16.9	6. ウォーキング大会などのイベントで	
3. 運動をする仲間がいる	44.4	運動するきっかけがある	10.5
4. 身近に運動をする場所がある	59.7	7. その他	4.8
		無回答	0.8

★①で「6.ほとんどしていない」と答えた方におたずねします。

⑥ スポーツや運動をほとんどしていない理由は何ですか。

次の中から1つだけを選んでください。

(○は1つ) n = 766

1. 時間がとれない	38.0	6. 病弱でできない	4.0
2. 疲れていて運動どころではない	16.8	7. 参加できる催し物がない	2.2
3. 運動する施設や場所がない	3.8	8. よい指導者がいない	0.1
4. 運動したいと思わない	9.9	9. その他	4.7
5. 一緒に運動する仲間がいない	3.5	10. 特に理由はない	16.2
		無回答	0.7

問20① あなたは、今後、川越市内にどのようなスポーツ施設があると良いと思いますか。

次の中からあてはまるものすべてを選んでください。(○はいくつでも) n=1,556

1. 体育館	31.4	4. プール	29.4	7. サッカー場	9.4	10. その他	14.5
2. テニスコート	9.0	5. 野球場	9.1	8. フットサル場	6.3	無回答	9.3
3. 武道場	5.1	6. ソフトボール場	3.1	9. 多目的グラウンド	38.0		

② また、あなたは、川越市にどのようなスポーツ教室の開催を望みますか。

次の中からあてはまるものすべてを選んでください。(○はいくつでも) n=1,556

1. 健康体操	40.6	5. 柔道	2.3	9. 野球	7.1	13. バレーボール	4.6
2. ダンス	14.7	6. ヨーガ	30.0	10. ドッジボール	2.8	14. その他	15.0
3. バスケットボール	5.3	7. 陸上	4.8	11. 太極拳	11.8	無回答	8.9
4. 剣道	2.6	8. サッカー	7.3	12. ウォーキング	25.8		

保健・医療・福祉・子どもについてお伺いします

問21 ふだんの健康づくりで、あなたの関心のあることは何ですか。

次の中からあてはまるものをすべてを選んでください。(○はいくつでも) n=1,556

1. 食生活・食育	70.4	4. 生活習慣病予防	43.4	7. 節酒・禁酒(20歳以上の方)	7.3
2. 運動	46.9	5. 歯と口の健康	30.1	8. 定期健診	36.5
3. 休養・こころの健康	34.4	6. タバコの減煙・禁煙(20歳以上の方)	9.4	9. その他	0.9
				無回答	1.7

問22 あなたは、老後の生活について不安を感じますか。次の中から主なものを1つだけ選んでください。

(○は1つ) n=1,556

1. 住居のことで不安を感じる	6.2	5. 家族などの人間関係のことで不安を感じる	4.6
2. 健康のことで不安を感じる	27.9	6. その他	1.7
3. 収入のことで不安を感じる	41.3	7. 特に不安は感じない	12.7
4. いきがいのことで不安を感じる	4.6	無回答	1.0

問23 あなたは、老後の過ごし方についてどのようにお考えですか。

自分の考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。(○は1つ) n=1,556

1. 自分の趣味を持ちのんびり暮らしたい	47.4	4. 社会福祉のための奉仕活動や地域活動に参加したい	4.0
2. 研究や学習・勉強に取り組みたい	2.2	5. 健康の維持・増進に努めたい	23.1
3. できるだけ働きたい	14.5	6. 特に考えていない	7.7
		無回答	1.0

問24 高齢者の総合的な相談窓口として設置している、「地域包括支援センター」をご存知ですか。

また、同センターを利用(相談)したことがありますか。(○は1つ) n=1,556

1. センターの存在を知っていて、利用したこともある	7.8
2. センターの存在は知っているが、利用したことはない	28.4
3. センターの存在は知っているが、どのように利用してよいのか分からない	10.9
4. センターの存在を知らない	51.6
無回答	1.2

問25 あなたが自宅で療養生活を送ることになった場合に不安に思うことは何ですか。
次の中から最も近いものを1つだけ選んでください。(○は1つ) n = 1,556

1. 緊急時や救急時の対応が分からない	8.7	5. 通院できないときの対応が分からない	8.2
2. 介護サービスの利用方法が分からない	10.4	6. 適切な医療が受けられるのか分からない	24.9
3. 利用できる介護サービスが分からない	15.9	7. 特に不安なことはない	12.0
4. 日常生活の世話をしてくれる人がいない	16.7	無回答	3.1

問26① あなたやご家族の中で、病気になったときに決まって診察を受ける医師（かかりつけ医）がいる方はいますか。(○は1つ) n = 1,556

1. いる	55.2	2. いない	43.4	無回答	1.4
★②にお答えください					

★①で「1.いる」と答えた方におたずねします。

② 「かかりつけ医」がいる方は、どなたですか。(○はいくつでも) n = 859

1. 自分	68.7	3. 配偶者	43.4	5. その他	2.3
2. 子ども	31.1	4. 親	16.1	無回答	0.6

問27 あなたは「特定健康診査」を知っていますか。(○は1つ) n = 1,556

※特定健康診査は、高血圧症や糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防する目的で行われている健診（メタボ健診）で、40歳以上の方が対象です。

1. 知っている	60.9	3. 知らない	20.2
2. 内容は知らないが言葉は聞いたことがある	17.1	無回答	1.8

問28 多くの方に特定健康診査を受けてもらうために、どのようにすべきだと思いますか。(○はいくつでも) n = 1,556

1. 健診の必要性を啓発する	29.4	6. 土日に健診が受けられる	52.1
2. 健診を受けるために仕事を休める	24.0	7. 健診を受けると特典がもらえる	13.5
3. メタボ以外の健診項目がある	15.6	8. 待ち時間が短い	36.6
4. 各種がん検診もセットで一度に受けられる	47.9	9. その他	3.4
5. 市指定以外の病院を受診できる	25.4	無回答	2.5

問 29 がん検診の受診状況についてお尋ねします。

- ① あなたは過去1年間に次の検診を受けたことがありますか。(治療や診断のための検査は除きます) ア～ウの項目ごとに1つずつ選んでください。(○はそれぞれ1つずつ) n=1,556

	受けていない	市の検診を受けた	勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診	その他の検診(人間ドック等)	無回答
ア) 胃がん検診(バリウム検査または胃カメラ)	59.6	6.7	16.3	11.8	5.5
イ) 肺がん検診(胸部エックス線撮影)	51.9	10.9	22.4	8.9	5.8
ウ) 大腸がん検診(便潜血検査)	55.8	12.0	17.3	9.4	5.4

ひとつでも「1.受けていない」を答えた方は、
★③にお答えください。(女性の方は、★②もお答えください)

- ② (女性への質問) あなたは過去2年間に次の検診を受けたことがありますか。
ア、イの項目ごとに1つずつ選んでください。(○はそれぞれ1つずつ) n=853

	受けていない	市の検診を受けた	勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診	その他の検診(人間ドック等)	無回答
ア) 子宮頸がん検診(子宮頸部細胞診検査)	51.5	12.2	9.6	14.4	12.3
イ) 乳がん検診 (乳房エックス線検査〔マンモグラフィ〕)	55.2	12.3	10.6	10.3	11.6

ひとつでも「1.受けていない」を答えた方は、★③にお答えください。

★① (ア) (イ) (ウ)、② (ア) (イ) でひとつでも「1. 受けていない」と答えた方におたずねします。

- ③ がん検診を受診しない理由は何ですか。(○はいくつでも) n=1,098

1. 自分は健康だから関係ない	7.5	5. 検診に出かけるのが面倒	25.7
2. 受診方法がわからない	15.3	6. 結果に不安がある	7.8
3. 経費がかかる	28.3	7. 症状があれば診察を受ける	34.8
4. 受診したいが時間がない	26.4	8. がん治療を受けている	2.1
		無回答	6.4

問30 精神に障害がある方のために特に充実していく必要があると思われるものは何ですか。

次の中から3つ以内で選んでください。

(○は3つ以内) n=1,556

1. 普及啓発活動	12.1	6. ボランティアの育成	10.8
2. 相談体制の充実	44.2	7. 健常者との交流の機会の整備	11.9
3. 働く機会の充実	33.5	8. 暮らしやすい街づくり	27.6
4. 通所施設の充実	32.6	9. その他	1.3
5. 協力組織の育成	23.1	10. わからない	12.0
		無回答	3.1

問31① 児童虐待を減らすためにはどのような方法が効果的だと思いますか。

次の中から3つ以内で選んでください。

(○は3つ以内) n=1,556

1. 児童虐待に関することの普及・啓発	14.4	6. 児童相談所等の権限の強化	44.5
2. 子育て世代の相談体制やサービスの充実	42.8	7. 市・児童相談所・警察等の関係機関の連携強化	52.7
3. 虐待をしてしまう保護者への支援	29.8	8. その他	2.1
4. 地域住民の見守りなど協力体制の構築	28.5	9. 効果的な方法はない	1.3
5. 虐待を禁止するという条例の制定	15.6	10. わからない	4.2
		無回答	2.4

② 児童虐待に関する国・県・市等の施策を知っていますか。

次の中から知っているものすべてを選んでください。

(○はいくつでも) n=1,556

1. 児童虐待防止推進月間	10.2	6. 児童虐待防止サポーター	7.5
2. 児童相談所全国共通3桁ダイヤル189	12.9	7. 川越市児童虐待防止SOSセンター	17.0
3. オレンジリボン運動	9.4	8. 川越市土日子育て電話相談室「やまぶき」	8.7
4. 埼玉県虐待禁止条例	6.0	9. 知っているものはない	54.9
5. 埼玉県休日夜間児童虐待通報ダイヤル	4.8	無回答	5.2

問32① あなたは、これまでに児童館を利用したことがありますか。

(○は1つ) n=1,556

1. 利用したことがある	→ ★②④にお答えください	27.1	無回答	3.0
2. 利用したことがない	→ ★③④にお答えください	69.9		

★①で「1.利用したことがある」と答えた方におたずねします。

② これまでに、どの児童館を利用したことがありますか。

(○はいくつでも) n=421

1. 児童センターこどもの城(石原町)	71.0	3. 高階児童館(藤間)	28.0
2. 川越駅東口児童館(菅原町)	26.1	無回答	5.2

★①で「2.利用したことがない」と答えた方におたずねします。

③ これまで児童館を利用しなかった理由は何ですか。

(○はいくつでも) n=1,088

1. 近くに児童館がない	17.1	5. 児童館の場所を知らない	18.2
2. 利用したいイベント、行事等がない	5.2	6. 18歳未満のこどもがいない	59.7
3. 利用したい遊び場、遊具等がない	1.2	7. その他	4.9
4. 児童館そのものを知らない	18.6	無回答	1.7

④ (全員対象) 今後児童館に求めるものは何ですか。

(○はいくつでも) n=1,556

1. 遊具等遊びの内容の充実	26.7	5. 利用時間(現在9:30~17:30)の延長	12.7
2. イベント、行事の充実	30.0	6. その他	5.8
3. 職員の資質の向上	15.4	7. 特になし	31.5
4. 交通利便性の向上	24.1	無回答	5.6

環境についてお伺いします

問33 あなたは、川越市の環境について、どのように感じていますか。

次の中から1つ選んでください。

(○は1つ) n=1,556

※「環境」とは、地球温暖化、廃棄物問題、生物の多様性、都市のみどりまで幅広く捉えた環境を想定しています。

1. 満足	6.5	3. ふつう	57.1	5. 不満	3.2
2. やや満足	19.7	4. やや不満	11.1	無回答	2.3

問34 あなたは、普段、環境に関する情報をどこから入手していますか。

次の中から3つ以内で選んでください。

(○は3つ以内) n=1,556

1. テレビ	67.8	4. 雑誌	4.3	7. 市が発行する冊子	8.9
2. ラジオ	8.4	5. 広報川越	49.7	8. 公民館などの講座	1.6
3. 新聞	32.3	6. インターネット	36.9	9. その他	1.1
				無回答	1.6

問35 資源の循環的な利用を促進する取組として、資源ごみ収集についておたずねします。

①-1 収集回数は適当だと思いますか。

(○は1つ) n=1,556

1. 多い	0.6	3. 少ない	24.6	無回答	1.7
2. 適当	69.0	4. わからない	4.2		

①-2 収集回数を更に増やすなら、品目は何がよいですか。

(○はいくつでも) n=1,556

1. びん・缶	26.0	3. 紙類	29.0	無回答	11.2
2. ペットボトル	36.2	4. その他プラスチック製容器包装	42.8		

①-3 収集回数を増やすため、経費が増えることについて、どのように思いますか。(○は1つ) n=1,556

1. やむを得ない	34.7	3. わからない	8.9
2. 負担増は避けるべき	52.2	無回答	4.2

② ごみ処理費用負担の公平性の観点から、家庭ごみ収集を有料化することについて、どのように思いますか。(○は1つ) n=1,556

1. 賛成	13.8	2. 反対	66.8	3. わからない	17.1	無回答	2.3
-------	------	-------	------	----------	------	-----	-----

問36 あなたは、省エネのためにどのようなことを行っていますか。

次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

(○はいくつでも) n=1,556

1. 冷暖房機器の設定温度を控えめにしている	65.9
2. テレビやビデオを長時間使用しないときは主電源を切るようにしている	26.3
3. 使っていない部屋の明かりを消すようにしている	87.3
4. 冷蔵庫は中身をつめすぎないようにしている	27.7
5. 洗濯は風呂の残り湯を使うようにしている	28.1
6. 入浴の際はシャワーを出しっぱなしにしないようにしている	51.6
7. 自動車を運転するときはエコドライブを心がけるようにしている	31.6
8. 緑のカーテンを設置している	9.2
9. 電化製品を購入する際には、統一省エネラベルを意識している	26.5
10. その他	2.4
11. 省エネは特に心がけていない	2.2
無回答	1.2

問37 あなたは、緑を増やすために、①現在どのようなことをしていますか。

また、②今後どのようなことをしたいですか。(○はいくつでも) n = 1,556

項 目	① していること	② したいこと
1. 庭や家のまわりで木や花を育てる	53.9	13.0
2. ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる	34.8	16.1
3. 生け垣をつくったり、建物の屋上や壁面を緑化する	10.5	13.6
4. 市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる	6.0	16.2
5. 近所の公園や街路の片隅に木や花を植えたり世話をする	1.5	12.7
6. 地域の樹林地や農地を保全したりするボランティア運動に参加する	0.8	13.8
7. 特になにもない	20.1	12.7
無回答	17.7	47.9

問38 あなたは、街の緑を守り、増やすために、どのようなことを望みますか。

次の中から3つ以内で選んでください。(○は3つ以内) n = 1,556

1. 公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい	69.3
2. 樹木・樹林の保全制度を充実させてほしい	31.9
3. 緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい	17.4
4. 市民農園の整備を推進してほしい	10.8
5. 樹林の保全への市民参加のしくみをつくってほしい	10.2
6. ボランティア活動などの広報をもっと充実させてほしい	8.5
7. その他	4.5
無回答	4.6

地域社会と市民生活についてお伺いします

問39 あなたは、防災対策として、どのような施策が必要だと思いますか。

次の中から3つ以内で選んでください。(○は3つ以内) n = 1,556

1. 市民の防災意識を高めること	45.9
2. 自主防災組織を育成すること	14.4
3. 飲料水や食料などの生活物資を確保すること	52.6
4. 下水道や河川の整備を推進し水害対策を図ること	40.7
5. 農地の整備を推進し、水害対策を図ること(農業の多面的機能)	8.0
6. 避難場所や誘導路を整備して安全に避難できるようにすること	39.1
7. 救急・医療体制を充実させること	37.7
8. 消防車、防火水槽などの消防力を充実させること	6.9
9. その他	1.3
無回答	2.3

問40 東日本大震災以降、個人で3日以上の水や食料の備蓄が必要といわれておりますが、あなたは何日分準備していますか。(○は1つ) n = 1,556

1. 1日分準備している	17.0	3. 3日以上準備している	24.6	無回答	1.3
2. 2日分準備している	19.5	4. 準備していない	37.6		

問41 あなたは、家族等との安否確認手段を決めていますか。 (○はいくつでも) n = 1,556

1. 予定避難場所を決めている	30.2	4. その他	1.3
2. 災害用伝言板サービスを利用することにしている	5.3	5. 特に決めていない	61.4
3. 災害用伝言ダイヤルを利用することにしている	6.9	無回答	1.7

問42 あなたは、高齢者の交通事故防止に何が必要だと思いますか。 (○はいくつでも) n = 1,556

1. 高齢者を対象とした交通安全教室の実施	52.7
2. 高齢者の事故に関する周知・啓発活動	44.7
3. 運転適性相談等の自動車の運転に関する情報提供	45.6
4. 反射材等の事故防止啓発品の配布	28.5
5. その他	8.6
無回答	2.2

問43 現在、日本の社会には基本的人権に関わる問題がいくつかありますが、あなたが関心のあるものはどのようなものですか。 (○はいくつでも) n = 1,556

1. 女性にかかる人権問題	32.2	8. 犯罪被害者等にかかる人権問題	21.9
2. 子どもにかかる人権問題	34.2	9. アイヌの人々にかかる人権問題	4.0
3. 高齢者にかかる人権問題	28.3	10. インターネットによる人権侵害	33.5
4. 障害のある人にかかる人権問題	35.6	11. 北朝鮮当局による拉致問題	26.0
5. 同和問題	5.2	12. 災害時における人権への配慮	22.4
6. 外国人にかかる人権問題	7.8	13. 性的少数者にかかる人権問題	12.0
7. HIV感染者、ハンセン病患者など にかかる人権問題	6.3	14. その他	1.2
		15. 特にない	12.2
		無回答	1.9

問44 人権問題についての理解を深め、人権意識を高めていくためには、今後どのような取組みが必要だとお考えですか。 (○はいくつでも) n = 1,556

1. 慣習や社会の仕組みを改善していく	46.3
2. 家庭の中で取り組んでいく	28.5
3. 学校教育の中で教えていく	58.7
4. 市町村が啓発活動を積極的に行う	19.9
5. 自治会など地域ぐるみでの取組みを行う	14.0
6. 企業や職場での啓発活動を行う	16.1
7. 講演会・シンポジウムなどを開催する	7.7
8. 人権に関する作文や絵画などのコンクールを行う	4.9
9. 民間団体の力を活用する	7.8
10. 人権意識は向上しており、取り組む必要はない	1.2
11. 個人の意識の問題であり、介入する必要はない	4.6
12. その他	1.0
13. 取り組んでも変わらない	1.6
14. わからない	10.3
無回答	2.4

問45① あなたは、市民活動に参加したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。(○は1つ)
n = 1,556

※「市民活動」とは、「営利を目的とせず、社会や地域の課題の解決に向けて自発的・自主的・継続的に行う活動（宗教活動や政治活動を主な目的とする活動は除く）」を想定しています。

1. 現在、参加している	→	★②にお答えください	5.9
2. 今は参加していないが、今後機会があれば参加したい	→	★②③にお答えください	28.6
3. 参加したいとは思わない	→	★③にお答えください	32.1
4. わからない			29.6
無回答			3.7

★①で「1.現在、参加している」「2.今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」と答えた方におたずねします。

② あなたが参加している、または参加したいと思う市民活動の分野を選んでください。
(○はいくつでも) n = 537

1. 保健・医療の推進	15.5	7. 防犯・交通安全活動	20.9	13. 科学技術の振興	5.4
2. 見守り等の福祉活動	28.5	8. 人権・平和活動	6.7	14. 経済・観光の活性化	11.2
3. 生涯学習の推進	19.9	9. 国際交流の推進	10.2	15. 職業支援活動	4.7
4. まちづくりの推進	15.8	10. 男女共同参画の推進	3.4	16. 災害対策活動	13.6
5. 文化・スポーツの振興	24.0	11. 子育て支援・子どもの健全育成	27.2	17. 市民活動の支援	8.4
6. 環境・美化活動	26.4	12. 情報化社会の推進	3.5	18. その他	1.9
				無回答	6.9

★①で「2.今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」「3.参加したいとは思わない」と答えた方におたずねします。

③ 参加していない、または参加したいと思わない理由としてあてはまるものを、次の中から選んでください。
(○はいくつでも) n = 945

1. きっかけや機会がない	36.7	6. お金がかかりそう	6.1
2. 参加できる活動や団体の情報がない	20.0	7. 新たな人間関係を築くのが億劫	15.7
3. 活動する時間がない	39.6	8. 長く住むつもりがない	2.0
4. 興味の持てる、自分のできそうな活動がない	20.2	9. 参加するメリットを感じない	11.7
5. 活動するための知識や技術がない	15.2	10. その他	4.0
		無回答	8.3

問46① 自治会への加入の有無についてお伺いします。次の中から1つだけ選んでください。(○は1つ)
n = 1,556

1. 加入している	→	★②にお答えください	74.3
2. 今は加入していないが、今後加入したい	→		1.9
3. 今は加入していないが、以前加入していた	→	★③④⑤にお答えください	3.3
4. 加入していない	→		15.7
無回答			4.8

★①で「1.加入している」「2.今は加入していないが、今後加入したい」と答えた方におたずねします。

② あなたが自治会に加入していて良かった、または加入したいと思う理由としてあてはまるものを、次の中から選んでください。
(○はいくつでも) n=1,186

1. 地域の人との親交を深める事ができる	46.5
2. 地域の情報を得ることができる	57.3
3. 地域の活動に参加することができる	27.2
4. 災害時に助け合える体制を築くことができる	28.8
5. 子どもたちを地域で安心して育てることができる(防犯対策になる)	28.5
6. 地域の要望を自治会を通じて行政等に陳情することができる	16.5
7. その他	9.2
無回答	2.8

★①で「3.今は加入していないが、以前加入していた」「4.加入していない」と答えた方におたずねします。

③ あなたが自治会に加入していない、または加入したいと思わない理由としてあてはまるものを、次の中から選んでください。
(○はいくつでも) n=295

1. 自治会のことがよくわからない	40.0	5. 加入するメリットを感じない	25.8
2. 活動に参加する時間がない	23.1	6. 加入していなくても困らない	32.9
3. 役員などの仕事の負担が大きい	19.3	7. その他	10.5
4. 会費の負担が大きい	11.9	無回答	10.8

★①で「3.今は加入していないが、以前加入していた」「4.加入していない」と答えた方におたずねします。

④ あなたが自治会への加入を考えてもいい、または加入したいと思える条件としてあてはまるものを、次の中から選んでください。
(○はいくつでも) n=295

1. 自治会・町内会の活動が明確である	26.8
2. 自治会に加入する明確なメリットがある	40.7
3. 役員や班長などの業務負担がない(もしくは少ない)	34.9
4. 会費が無料(もしくは安い)	33.9
5. 活動や行事に気軽に参加できる	18.0
6. 仕事や学業が忙しくなく活動に参加する時間がある	24.4
7. その他	7.5
無回答	11.9

★①で「3.今は加入していないが、以前加入していた」「4.加入していない」と答えた方におたずねします。

⑤ 自治会に加入していないことで、困っていることとしてあてはまるものを、次の中から選んでください。
(○はいくつでも) n=295

1. 地域の人とのつながりがない	10.5	5. 回覧板が回らないため、地域の情報が得られない	6.1
2. 地域の行事に参加できない	3.7	6. その他	0.7
3. 災害時に不安がある	11.9	7. 困っていることはない	64.4
4. ゴミ集積所を使わせてもらえない	2.4	無回答	9.5

問47 住民票や戸籍などの証明書の取得、印鑑の登録、また住所変更(転入・転出など)や戸籍の届出(婚姻・出生など)は、市役所本庁舎以外にも、各市民センター(旧出張所)・連絡所で手続きができることをご存知ですか。
(○は1つ) n=1,556

1. 知っている	89.9	2. 知らなかった	5.1	無回答	5.0
----------	------	-----------	-----	-----	-----

市政全般についてお伺いします

問48 あなたは、「広報川越」をご覧になりますか。 (○は1つ) n=1,556

1. よく読む	35.9	3. 読まない	8.7
2. ところどころ読む	53.3	無回答	2.0

問49 あなたは、市の情報をどのような方法で取得していますか。 (○はいくつでも) n=1,556

1. 市のホームページ	26.9	4. 広報川越	81.9
2. 市のツイッター・フェイスブックページ	2.3	5. その他	3.7
3. メール配信サービス	3.7	無回答	3.9

問50 あなたは、市の行政に関する情報提供について、分かりやすく提供されていると思いますか。
次の中からあてはまるものを1つ選んでください。 (○は1つ) n=1,556

※「情報提供」とは、「広報川越」や市のホームページなどによるお知らせや情報公開制度による
公文書の公開などを想定しています。

1. 分かりやすく提供されている	15.0
2. おおむね、分かりやすく提供されている	64.9
3. あまり分かりやすく提供されていない	12.1
4. 分かりやすく提供されていない	3.2
無回答	4.7

問51 あなたが今必要としている市からの情報は何か。次の中から3つ以内で選んでください。
(○は3つ以内) n=1,556

1. 医療や健康づくりに関する情報	41.1
2. 福祉サービスに関する情報	20.7
3. スポーツ施設と利用方法の情報	9.8
4. 文化施設や催し物の情報	17.0
5. 生涯学習講座に関する情報	7.4
6. 災害時の対応の情報	34.7
7. 交通渋滞や道路工事等の情報	10.9
8. ごみ・廃棄物の処理やリサイクル情報	24.0
9. 市の施策・計画に関する情報	16.8
10. 地域のお祭りやレクリエーションの場の情報	11.4
11. 市民のボランティア・サークル活動の情報	3.7
12. マイナンバーの情報	4.4
13. 子育て（支援）に関する情報	13.7
14. その他	0.6
15. 特になし	8.6
無回答	2.8

問52 あなたは、市民と行政で一緒にまちづくりを進めていると感じていますか。
次の中からあてはまるものを1つ選んでください。 (○は1つ) n=1,556

1. 市民と行政で一緒にまちづくりを進めていると感じている	5.0
2. ある程度、市民と行政で一緒にまちづくりを進めていると感じている	42.0
3. 市民と行政で一緒にまちづくりを進めているとはあまり感じない	40.8
4. 市民と行政で一緒にまちづくりを行っていない	7.1
無回答	5.0

問53 あなたの住んでいる地域の生活環境について、どのように感じていますか。

ア～チの項目ごとに1つずつ選んでください。

(○はそれぞれ1つずつ) n = 1,556

		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
保 健	ア) ごみの回収	43.8	40.5	10.2	2.8	2.8
	イ) 排水のはけぐあい	30.7	39.8	16.3	8.8	4.4
	ウ) 予防接種・定期健康診断	29.0	47.2	13.0	3.9	6.8
	エ) 休日や夜間の急病の時の安心さ	14.3	43.9	26.7	8.5	6.6
安 全	オ) 子どもが外で遊ぶときの安全性	7.7	42.5	33.4	8.4	8.0
	カ) 高齢者の外出や散歩の安全性	8.3	44.0	33.9	7.8	6.0
	キ) 自然災害(浸水、地震、台風)からの安全性	12.0	43.4	29.8	9.2	5.6
	ク) 夜道の明るさ(防犯灯)	9.1	31.7	34.3	20.8	4.0
	ケ) まわりの道路の安全性	5.7	32.4	38.5	18.8	4.6
利 便	コ) 日用品・食料品等の買物の便利さ	30.8	41.3	16.4	8.0	3.5
	サ) 通勤・通学時の便利さ	20.9	40.1	22.4	10.2	6.4
	シ) 公園・広場等の利用のしやすさ	13.0	41.3	28.5	11.0	6.3
	ス) 公民館・集会場等の利用のしやすさ	11.5	45.2	27.7	8.4	7.2
快 適	セ) ばい煙・排気ガスからの快適さ	16.1	49.4	22.6	6.0	5.8
	ソ) 工場・車等の振動、騒音からの快適さ	21.1	43.4	22.3	7.6	5.6
	タ) 周囲のにおいの状態からの快適さ	23.3	46.7	18.2	6.5	5.3
	チ) プライバシーの保持	20.3	55.5	15.6	3.3	5.3

問54 市役所職員のイメージについてどう思いますか。

それぞれのイメージについて評価してください。

(○はそれぞれ1つずつ) n = 1,556

	良 い	どちらかといえば良 い	どちらかといえば悪 い	悪 い	無回答
ア) 親 切	25.6	56.8	9.2	3.3	5.1
イ) 能率的	14.5	51.5	20.6	7.1	6.4
ウ) 積極的	12.0	51.5	23.1	6.4	7.0
エ) サービス心	14.5	51.5	20.6	7.1	6.4
オ) 身だしなみ	23.3	62.3	6.1	2.0	6.3
カ) 態 度	19.4	58.3	12.6	3.9	5.8
キ) 言葉づかい	23.1	61.1	8.0	2.1	5.7

問55 市政全般について、よくなってきた施策、また、あなたが力を入れてほしい施策をそれぞれ
3つずつ選んで回答欄に番号を記入してください。 n=1,556

	よくなってきた施策	力を入れるべき施策
1. 市民参加の行政	3.3	2.8
2. 市の行政に対する情報提供	9.4	2.1
3. 行財政改革の推進	1.0	3.1
4. インターネットを活用した行政サービス	12.9	5.3
5. 保育所・幼稚園・認定こども園	6.8	12.8
6. 子育て支援の充実	6.2	14.7
7. 社会福祉	3.7	9.1
8. 保健・医療	7.7	10.5
9. 文化・スポーツ活動の振興	5.9	3.0
10. 社会教育の充実	0.9	0.7
11. 歴史的環境の保全	18.6	2.1
12. 学校教育の内容・施設・環境の整備	5.3	12.5
13. 中心市街地の基盤整備と活性化	21.0	3.9
14. 周辺地域の基盤整備と活性化	3.2	9.2
15. 土地利用（用途地域の見直しなど）	1.5	6.2
16. 道路、交通網の整備	10.0	24.3
17. 水道事業	2.1	1.3
18. 下水道整備	4.5	9.1
19. 公園・緑地の整備	5.8	11.9
20. 住宅	2.8	1.9
21. 就労の支援	0.8	5.8
22. 農業振興	0.5	2.3
23. 商工業振興	1.2	1.0
24. 観光による地域振興	28.0	3.1
25. 地球温暖化対策の推進	0.2	5.0
26. 環境衛生	1.7	3.0
27. 自然環境の保全	1.7	5.3
28. 河川・水路の改良整備	6.0	15.0
29. コミュニティの育成	1.2	2.2
30. 男女共同参画	0.3	0.8
31. 交通安全	2.1	10.6
32. 防犯	1.9	16.3
33. 防災体制の充実	0.8	14.0
34. 消防・救急体制の整備	1.7	5.5
35. 消費者対策	0.4	2.8
36. 葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実	25.6	2.8
37. 特にない	8.2	3.5
無回答	17.0	12.9

(回答欄) →

よくなってきた施策			力を入れるべき施策		

問 56① あなたは、これからもずっと川越市に住み続けたいと思いますか。それともよそに移りたいと思いますか。
(○は1つ) n = 1,556

1. 住み続けたい	→ ★②にお答えください	48.5
2. どちらかというに住み続けたい		35.2
3. どちらかという和市外に転出したい	→ ★③にお答えください	8.5
4. 市外に転出したい		2.7
無回答		5.0

★①で「1.住み続けたい」「2.どちらかというに住み続けたい」と答えた方におたずねします。

② 川越市に住み続けたいというのは、特にどういう理由からですか。次の中から2つ以内を選んでください。
(○は2つ以内) n = 1,303

1. 自然環境がよい	15.8	6. 教育・文化環境がよい	2.2
2. 生活環境がよい	26.2	7. 自分の家(土地)だから	50.8
3. 鉄道・公共交通の便がよい	17.7	8. 住みなれて愛着があるから	41.1
4. 商売や勤務の関係で	6.0	9. その他	1.8
5. 地域の人間関係がよい	6.0	10. わからない	0.9
		無回答	0.5

★①で「3.どちらかという和市外に転出したい」「4.市外に転出したい」と答えた方におたずねします。

③ 市外へ移りたいというのは、特にどういう理由からですか。次の中から2つ以内を選んでください。
(○は2つ以内) n = 175

1. 自然環境がよくない	8.6	6. 教育・文化環境がよくない	8.0
2. 生活環境がよくない	24.6	7. 住宅の関係で	14.3
3. 鉄道・公共交通の便がよくない	26.9	8. 勤務地が遠いため	14.9
4. 商売や勤務の関係で	4.0	9. その他	31.4
5. 地域の人間関係がよくない	12.6	10. わからない	2.9
		無回答	0.6

問57① ご自身が亡くなったら、遺骨はどのようにして欲しいですか。(○は1つ) n = 1,556

1. 家族墓・個人墓(土地を個々に区画し、墓石等をシンボルとしたお墓)に入れる	49.7
2. 納骨堂(遺骨を個別に屋内の納骨壇に安置する棚式やロッカー式等の施設)に入れる	6.1
3. 合葬型(多数の方が共同で祀られる樹林型、慰霊碑型等のお墓)に入れる	10.0
4. その他(特定のお墓には入れない等)	8.4
5. わからない	21.7
無回答	4.2

② あなたやご家族は、墓地や納骨堂をお持ちですか。(○は1つ) n = 1,556

1. 川越市内に持っている	30.3	3. 埼玉県外に持っている	20.9
2. 埼玉県内(川越市を除く)に持っている	15.0	4. まだ持っていない	29.9
		無回答	3.9

③ お墓を取得するとしたら、どのような種類がよいと思いますか。

(すでにお持ちの方も新たに取得する場合としてお答えください) (○は1つ) n = 1,556

1. 宗教運営墓地(寺院、教会等が運営する墓地)	12.8	4. その他	3.2
2. 民営墓地(宗教運営除く公益財団法人等が運営する墓地)	6.7	5. 特にこだわらない	42.4
3. 公営墓地(市営等)	27.1	無回答	7.8

問58 2022年に川越市は市制施行100周年を迎えます。あなたは、この節目の年に、どのような催しを行ったらよいと思いますか。(○は3つ以内) n=1,556

1. 100年を振り返り、市の歩みを学ぶことができるような催し	29.8
2. これからの川越の100年を考えるきっかけとなるような催し	34.0
3. 多くの市民が参加できるような催し	39.1
4. 市民が企画から運営まで参加できるような催し	4.9
5. 市の魅力をPRし、更なるイメージアップにつながるような催し	31.9
6. 子どもたちが参加し、100周年として思い出に残るような催し	28.8
7. 後世に残るようなモニュメントの製作	7.5
8. その他	2.8
9. 特になし	11.2
無回答	4.8

問59 あなたは、川越市に愛着をお持ちですか。(○は1つ) n=1,556

1. 持っている	42.3	4. 持っていない	3.8
2. どちらかというを持っている	36.7	5. わからない	6.6
3. どちらかというを持っていない	6.3	無回答	4.4

問60 あなたが市税(国民健康保険税を含む)を納める方法として希望するのは次のどれですか。次の中からあてはまるものを2つ選んでください。(○は2つ以内) n=1,556

1. 金融機関及びゆうちょ銀行・郵便局の窓口	33.1	6. インターネット(パソコン・スマートフォン等を使用)を利用したクレジットカードによる納付	16.3
2. 市役所収税課・各市民センターの窓口	7.3	7. その他	1.0
3. 口座振替	42.3	無回答	4.2
4. コンビニエンス・ストア	40.0		
5. ペイジーによる納付	2.6		

問61 2020年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。

① あなたは、川越市でゴルフ競技が開催されることを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(○は1つ) n=1,556

1. 知っている	84.7	3. 知らない	8.8
2. 何らかの競技が開催されると聞いたことがある	2.8	無回答	3.7

② あなたは、東京オリンピックにはどのような形で関わりたいですか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。(○はいくつでも) n=1,556

1. 競技会場で観戦したい	31.7	5. ボランティアとして参加したい	7.6
2. 外国の方との交流を図りたい	5.4	6. その他	1.0
3. パブリックビューイングなどで観戦したい	4.8	7. 特に考えていない	22.0
4. テレビで観戦したい	52.6	無回答	3.9

基本項目（フェイスシート）

F 1 あなたの性別はどちらですか。 n = 1,556

1. 男 性	41.7	2. 女 性	54.8	無回答	3.5
--------	------	--------	------	-----	-----

F 2 あなたの年齢はいくつですか。 n = 1,556

1. 18・19歳	0.6	4. 40～49歳	17.8	7. 65～69歳	12.1	無回答	3.3
2. 20～29歳	9.1	5. 50～59歳	13.7	8. 70～74歳	12.5		
3. 30～39歳	15.4	6. 60～64歳	6.9	9. 75歳以上	8.5		

F 3 あなたの家族構成は、この中のどれにあたりますか。 n = 1,556

1. 夫婦だけ	25.1	3. 三世帯世帯（親と子と孫）	7.3	5. その他	2.1
2. 二世帯世帯（親と子）	50.3	4. 単身世帯	11.6	無回答	3.6

F 4 あなたは、どちらの地区にお住まいですか。 n = 1,556

1. 本庁地区	21.9	4. 南古谷地区	7.7	7. 大東地区	9.8	10. 霞ヶ関北地区	3.6
2. 芳野地区	3.1	5. 高階地区	13.5	8. 霞ヶ関地区	13.4	11. 名細地区	6.5
3. 古谷地区	4.2	6. 福原地区	5.5	9. 川鶴地区	4.6	12. 山田地区	4.0
						無回答	2.2

F 5 あなたは、川越市の現在の場所に何年くらい住んでいらっしゃいますか。 n = 1,556

1. 1年未満	3.5	3. 5年～10年未満	13.4	5. 20年以上（または生まれてからずっと）	53.8
2. 1年～5年未満	11.4	4. 10年～20年未満	17.2	無回答	0.7

★ F 6 にお答えください

★ F 5 で「1.～4.」のいずれかに答えた方におたずねします。

F 6 現在の場所に移る前はどこにお住みでしたか。 n = 708

1. 川越市内の別の場所	25.3	3. 東京都	15.3	無回答	1.6
2. 埼玉県内の他市町村	44.1	4. その他	13.8		

F 7 あなたの住宅の種類はどれですか。 n = 1,556

1. 一戸建持家（家族の所有も含む）	71.3
2. 一戸建以外の持家（分譲マンションなど）	11.2
3. 民営借家（民営アパートを含む）	12.9
4. 公営（県営、市営、公団、公社）の賃貸住宅	1.7
5. 社宅（独身寮、公務員住宅を含む）	1.0
6. その他	0.3
無回答	1.5

F 8 あなたのご職業は何ですか。(複数ある場合は、主となる職業を1つ選んでください)

n = 1,556

1. 農業	1.1	6. 労務職 (建設作業員、工員、運転手など)	4.1
2. 商工・サービス業 (自営業者、家族従事者)	6.2	7. パート	14.9
3. 自由業 (医師、弁護士、税理士、芸術家など)	1.5	8. 学生	2.8
4. 管理職 (会社、団体などの課長職以上)	7.0	9. その他	3.5
5. 専門・技術・事務職 (研究者、技術者、 一般事務、教員、保安、販売員など)	21.9	10. 家事専業	15.7
		11. 無職	19.7
		無回答	1.6

▶ ★ F 8で「1.～9.」のいずれかに答えた方におたずねします。

F 9 あなたの通勤・通学先はどこですか。(複数ある場合は、主な場所を1つ選んでください)

n = 981

1. 自宅 (農業、自営など)	6.5	3. 埼玉県内の他市町村	32.6	5. その他	1.6
2. 川越市内 (自宅以外)	38.6	4. 東京都	18.8	無回答	1.8

最後に、市に対するご意見やこれからのまちづくりについてのご希望がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

※ 返信用の封筒に、ご住所・お名前などは記入しないでください。

III 調査結果の分析

III 調査結果の分析

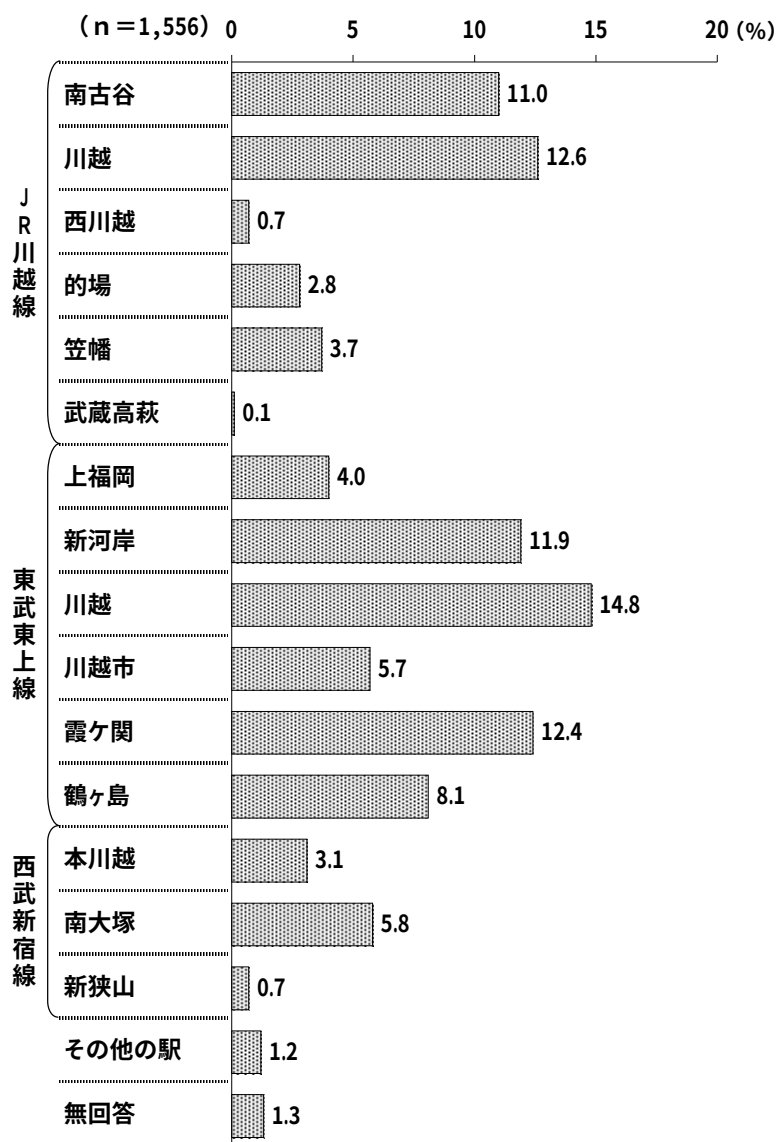
1. 都市基盤・生活基盤

(1) 主に利用する最寄りの駅

◇東武東上線「川越」駅の利用率（14.8%）が高い

問1 あなたが主に利用する最寄りの駅はどこですか。（○は1つ）

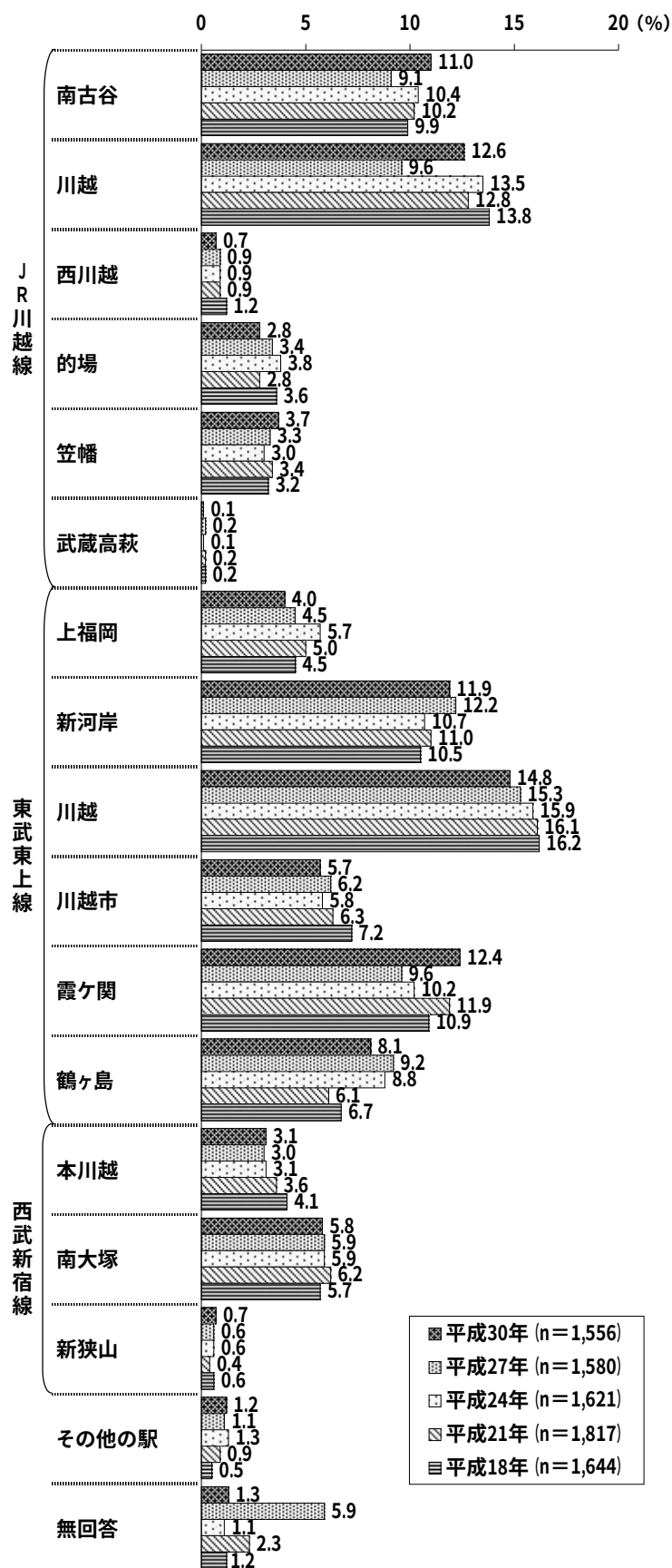
図表1-1-1



主に利用する最寄りの駅をたずねたところ、東武東上線「川越」（14.8%）が1割半ばで最も多くなっている。以下、JR川越線「川越」（12.6%）、東武東上線「霞ヶ関」（12.4%）、東武東上線「新河岸」（11.9%）などの順となっている。（図表1-1-1）

時系列でみると、ＪＲ川越線「川越」は前回調査より3.0ポイント増加している。一方、東武東上線「川越」は平成18年以降減少傾向となっている。（図表１－１－２）

図表１－１－２ 時系列－主に利用する最寄りの駅



上位5項目を地区別にみると、芳野地区、古谷地区、南古谷地区ではJR川越線「南古谷」、福原地区ではJR川越線「川越」、大東地区では西武新宿線「南大塚」がそれぞれ第1位となっている。それ以外の地区では東武東上線の駅がいずれも第1位となっている。市全体では、東武東上線の利用率の高さがうかがえる。（図表1-1-3）

図表1-1-3 地区別（上位5項目）－主に利用する最寄りの駅

(%)

順位 属性	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	1,556	川越 (東武東上線) 14.8	川越 (JR川越線) 12.6	霞ヶ関 12.4	新河岸 11.9	南古谷 11.0
【地区別】						
本 庁 地 区	341	川越 (東武東上線) 34.9	川越 (JR川越線) 29.3	川越市 19.6	本川越 9.7	西川越 2.6
芳 野 地 区	48	南古谷 37.5	川越 (東武東上線) 25.0	川越 (JR川越線) 16.7	川越市 10.4	本川越 8.3
古 谷 地 区	66	南古谷 63.6	川越 (東武東上線) 13.6	川越 (JR川越線) 9.1	本川越 3.0	上福岡 1.5
南 古 谷 地 区	120	南古谷 85.8	上福岡 6.7	新河岸 3.3	川越 (JR川越線) 1.7	川越(東武東上線)/本川越 0.8
高 階 地 区	210	新河岸 73.3	上福岡 19.0	南古谷 2.9	川越 (JR川越線) 1.0	川越(東武東上線)/南大塚 0.5
福 原 地 区	85	川越 (JR川越線) 24.7	川越 (東武東上線) 23.5	新河岸 22.4	上福岡 9.4	南大塚 8.2
大 東 地 区	153	南大塚 51.0	川越 (東武東上線) 20.9	川越 (JR川越線) 14.4	新狭山 4.6	川越市/本川越 2.0
霞ヶ関地区	209	霞ヶ関 49.8	笠幡 24.4	的場 16.3	鶴ヶ島 2.9	川越 (JR川越線) 2.4
川 鶴 地 区	71	鶴ヶ島 83.1	霞ヶ関 4.2	川越(JR川越線)/川越(東武東上線)/川越市 2.8		
霞ヶ関北地区	56	霞ヶ関 71.4	的場/鶴ヶ島 10.7		笠幡 3.6	同率で11項目 (注)下記参照 0.0
名 細 地 区	101	鶴ヶ島 48.5	霞ヶ関 41.6	川越 (東武東上線) 3.0	川越(JR川越線)/本川越 1.0	
山 田 地 区	62	川越 (東武東上線) 43.5	川越 (JR川越線) 37.1	川越市 8.1	霞ヶ関 4.8	西川越/本川越 1.6

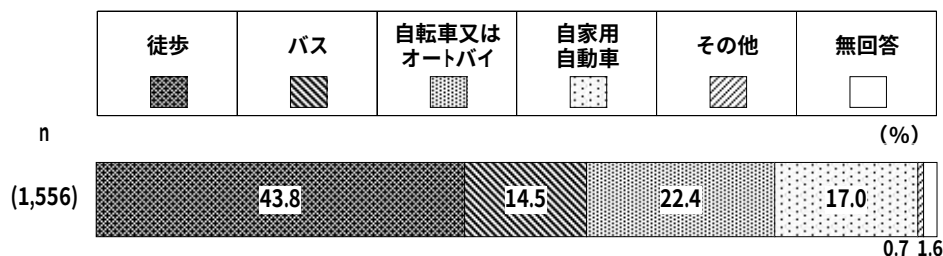
(注) 「霞ヶ関北地区」の同率5位の11項目は、「南古谷/川越(JR川越線)/西川越/武蔵高萩/上福岡/新河岸/川越(東武東上線)/川越市/本川越/南大塚/新狭山」となっている。

(2) 最寄りの駅への手段

◇「徒歩」が43.8%

問2 あなたは、最寄りの駅へ行くのに主にどんな手段で行きますか。(○は1つ)

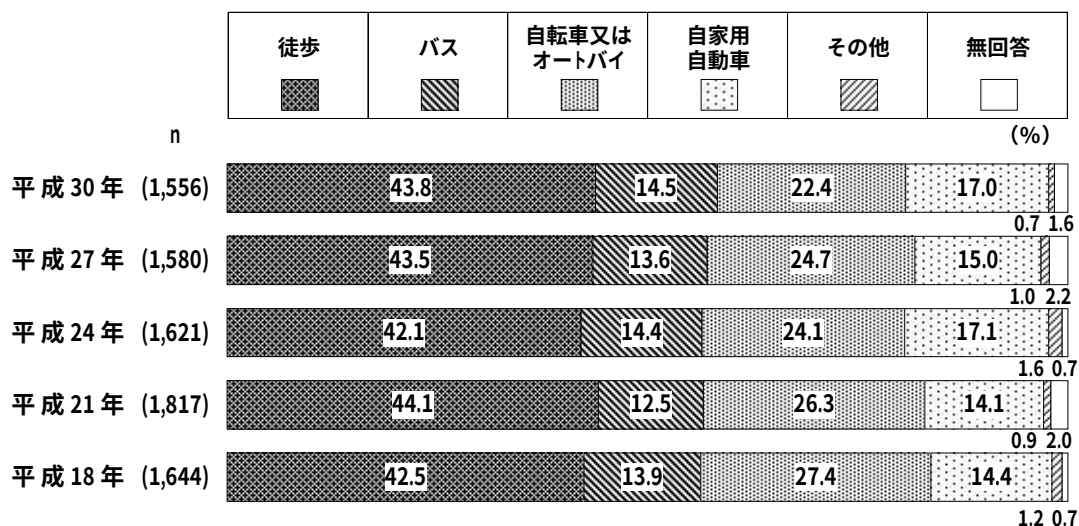
図表1-2-1



最寄りの駅への主な交通手段をたずねたところ、「徒歩」(43.8%)が4割を超えて最も多くなっている。以下、「自転車又はオートバイ」(22.4%)、「自家用自動車」(17.0%)、「バス」(14.5%)などの順となっている。(図表1-2-1)

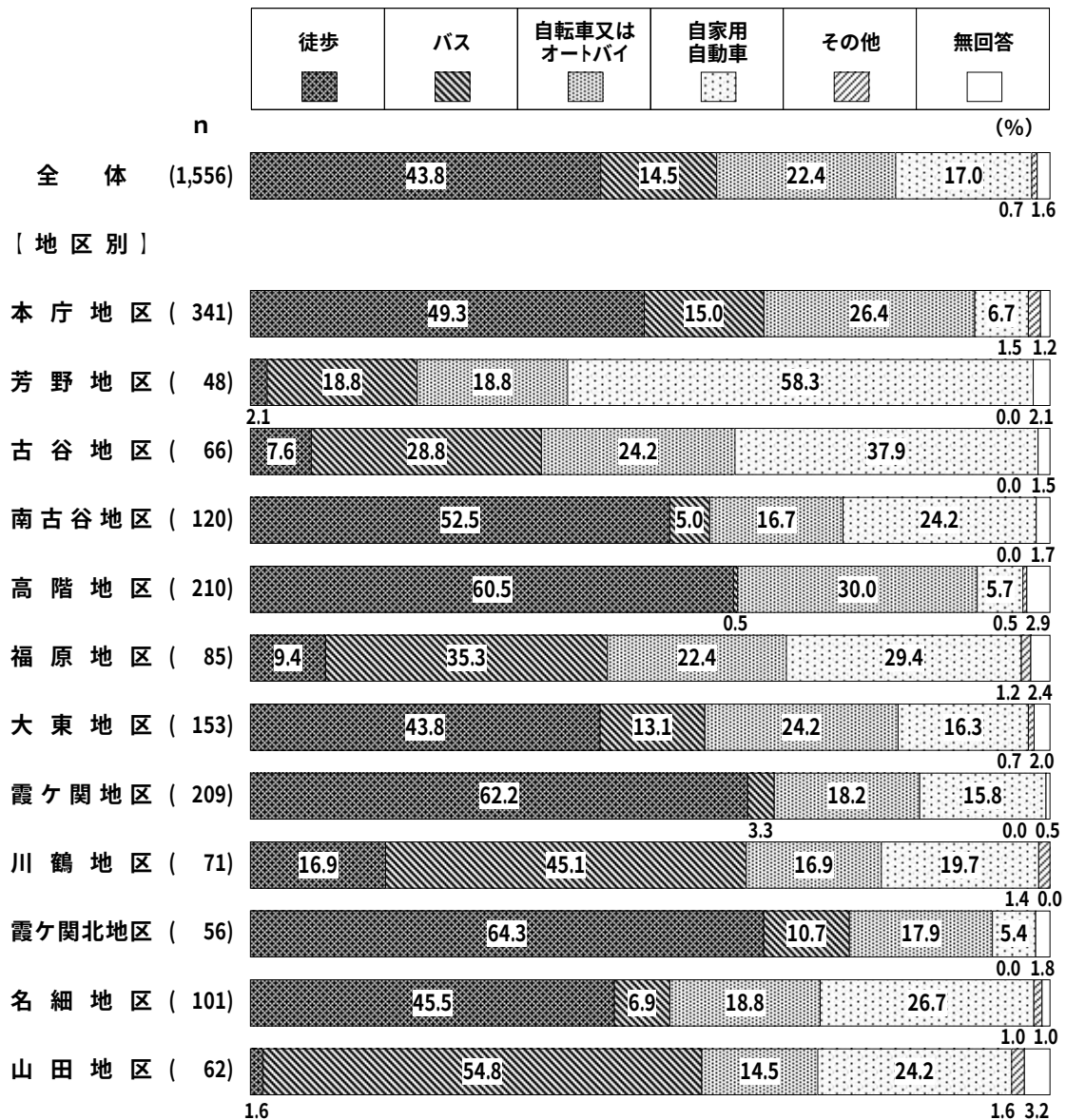
時系列でみると、前回調査と比べて大きな傾向の違いはみられない。(図表1-2-2)

図表1-2-2 時系列－最寄りの駅への手段



地区別にみると、「徒歩」は霞ヶ関北地区、霞ヶ関地区、高階地区で6割台と多くなっている。「バス」は山田地区で5割半ば、川鶴地区で4割半ばと多くなっている。「自家用自動車」は芳野地区で6割近くと多くなっている。（図表1-2-3）

図表1-2-3 地区別ー最寄りの駅への手段

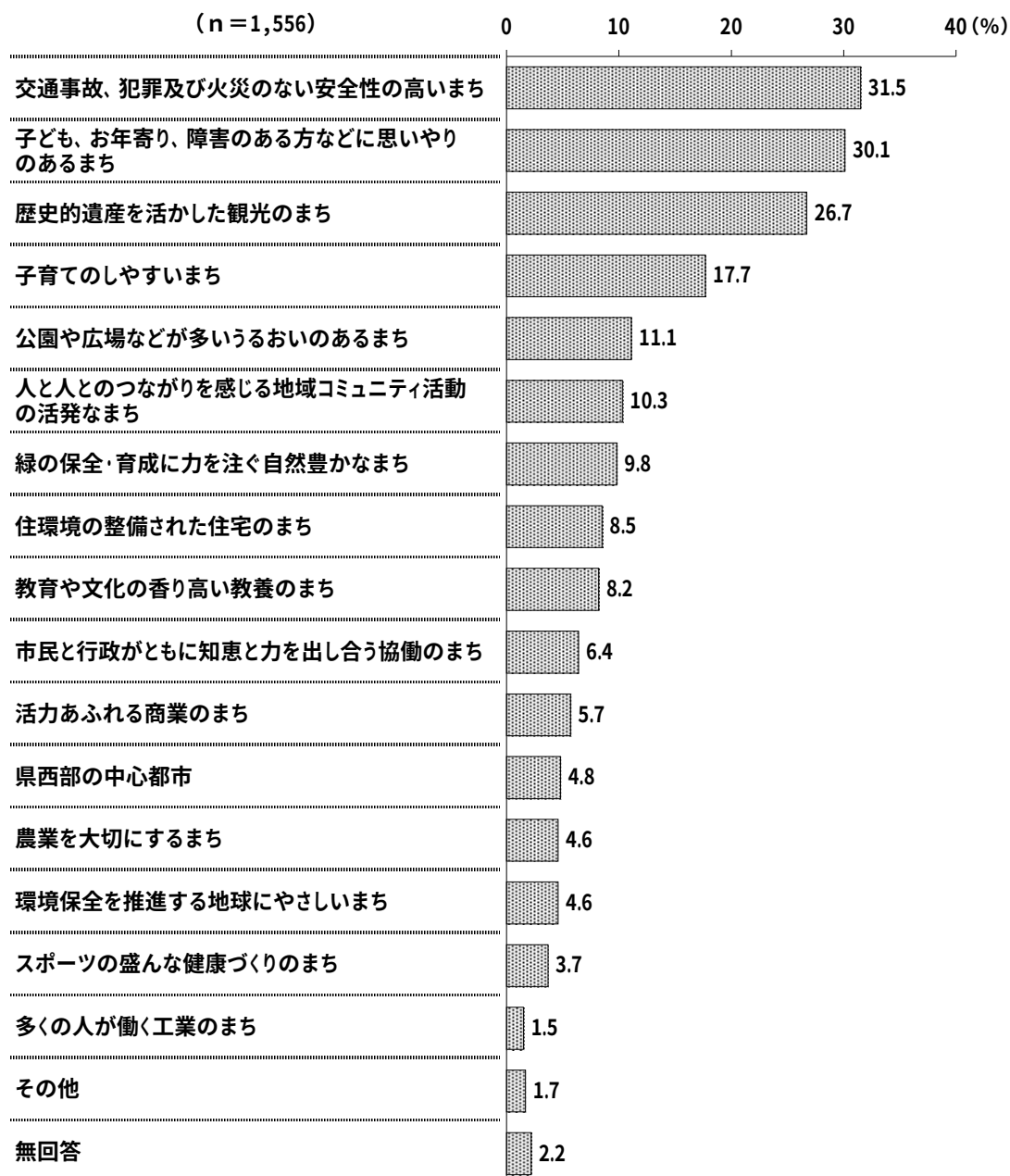


(3) 川越市の将来像

◇「交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち」が31.5%

問3 あなたは、川越市をどのようなまちにしたらよいと思いますか。次の中から2つ以内で選んでください。(○は2つ以内)

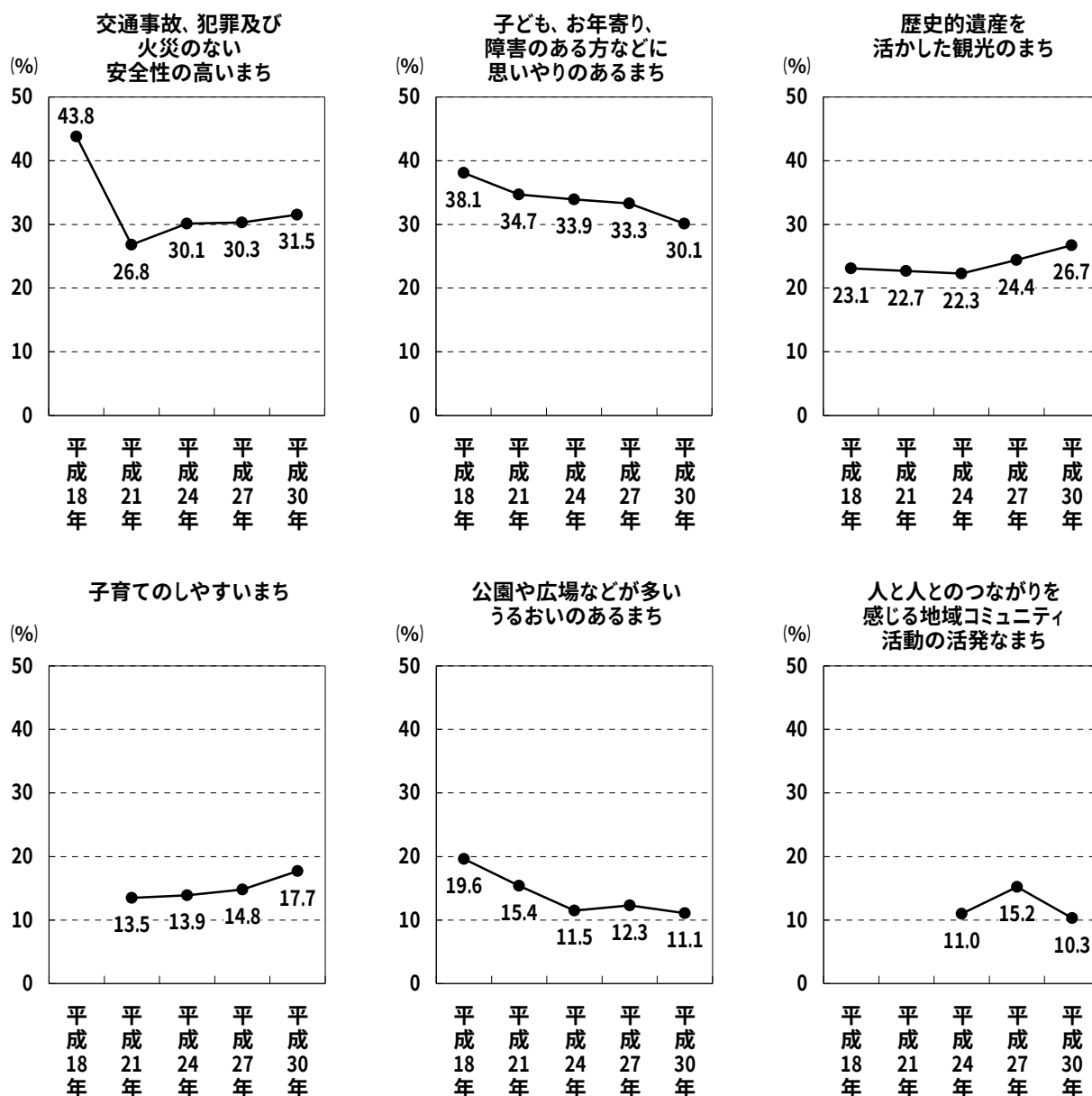
図表1-3-1



川越市の将来像をたずねたところ、「交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち」(31.5%)が3割を超えて最も多くなっている。以下、「子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち」(30.1%)、「歴史的遺産を活かした観光のまち」(26.7%)、「子育てのしやすいまち」(17.7%)などの順となっている。(図表1-3-1)

上位6項目を時系列でみると、「交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち」と「子育てのしやすいまち」は平成21年以降、「歴史的遺産を活かした観光のまち」は平成24年以降、それぞれ増加傾向となっている。一方、「子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち」は平成18年以降減少傾向となっている。（図表1-3-2）

図表1-3-2 時系列（上位6項目）－川越市の将来像

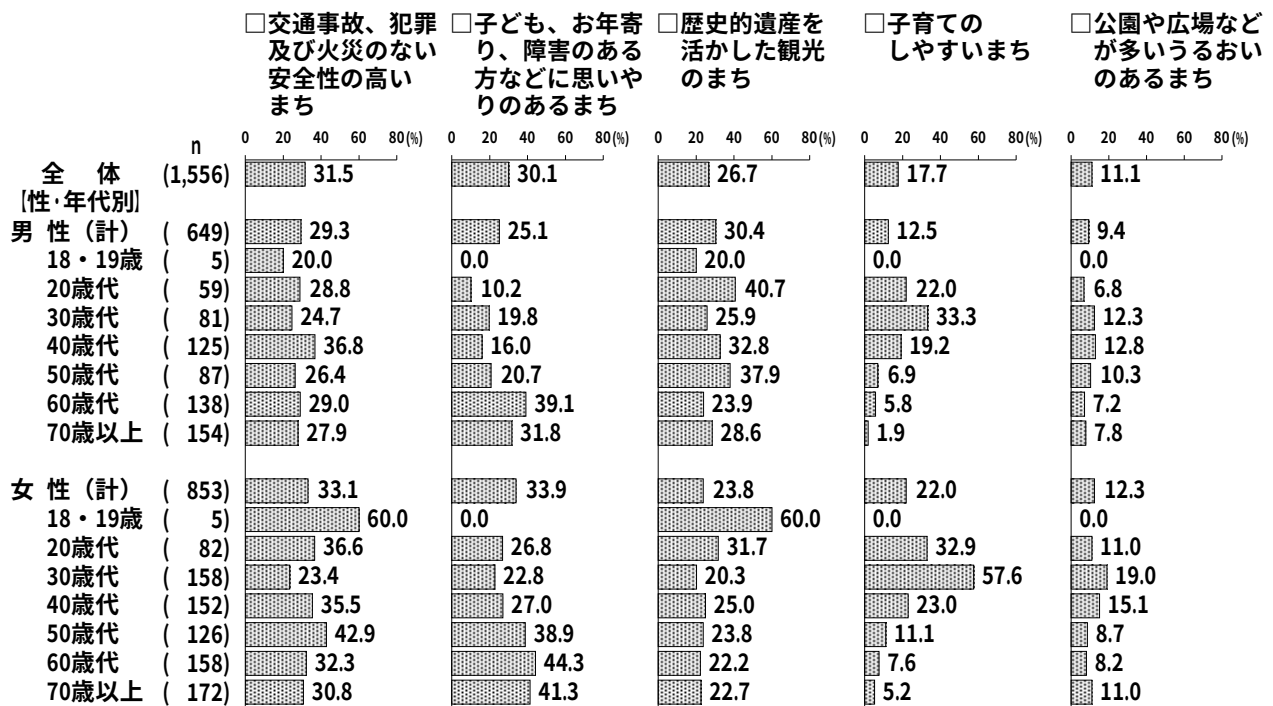


(注1) 「子育てのしやすいまち」は、平成21年から追加された選択肢。

(注2) 「人と人とのつながりを感じる地域コミュニティ活動の活発なまち」は、平成24年から追加された選択肢。

上位5項目を性・年代別にみると、「交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち」は女性50歳代で4割を超えて多くなっている。「子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち」は女性の60歳代と70歳以上で4割台と多くなっている。「子育てのしやすいまち」は女性30歳代で6割近くと多くなっている。（図表1-3-3）

図表1-3-3 性・年代別（上位5項目）－川越市の将来像

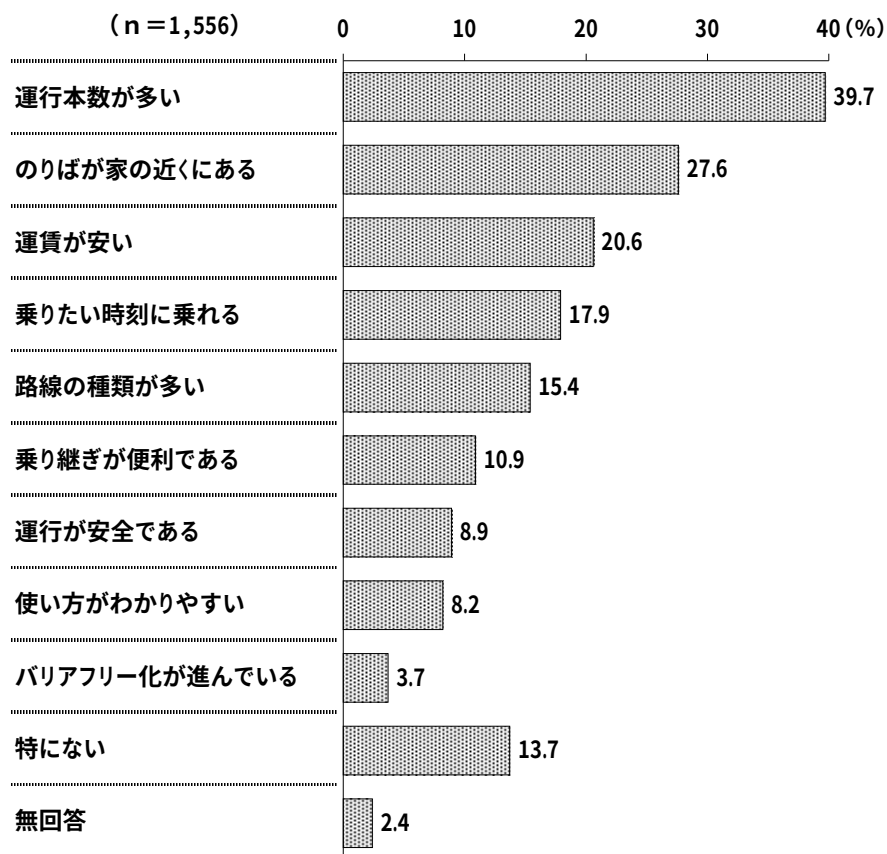


(4) 川越市内のバスに望むこと

◇「運行本数が多い」が39.7%

問4 あなたは川越市内のバス（路線バス・川越シャトル）にどのようなことを望みますか。
次の中から2つ以内で選んでください。（○は2つ以内）

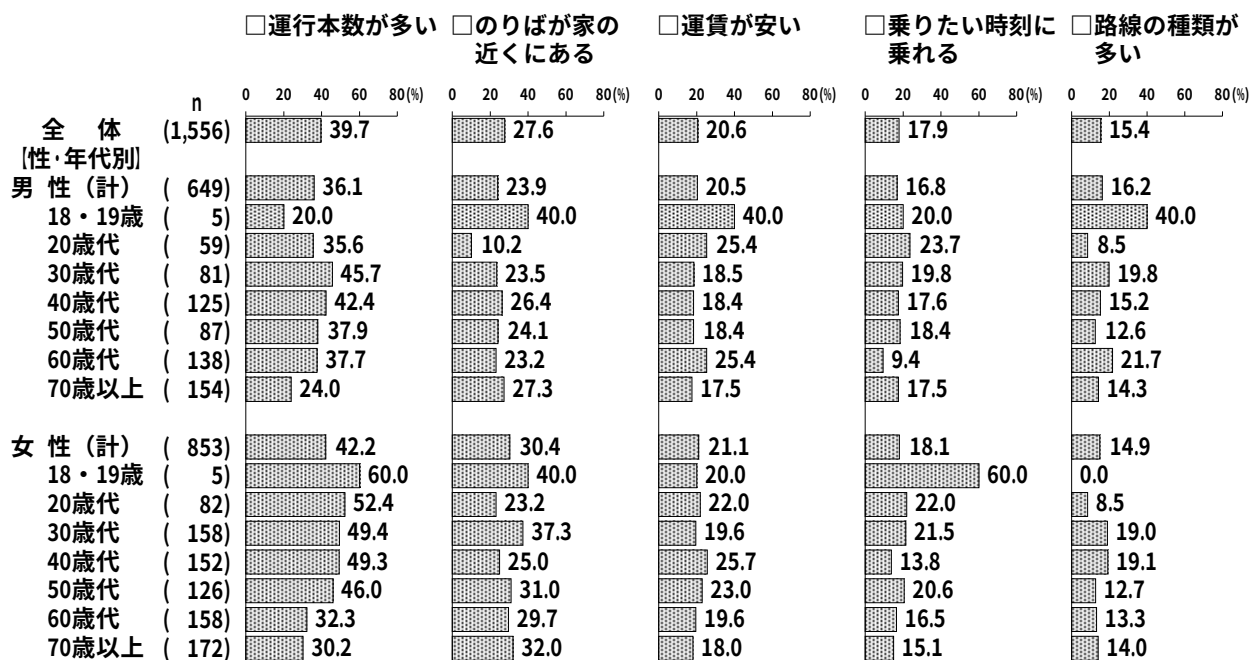
図表1-4-1



川越市内のバスに望むことをたずねたところ、「運行本数が多い」（39.7%）が4割で最も多くなっている。以下、「のりばが家の近くにある」（27.6%）、「運賃が安い」（20.6%）、「乗りたい時刻に乗れる」（17.9%）などの順となっている。（図表1-4-1）

上位5項目を性・年代別にみると、「運行本数が多い」は女性20歳代で5割を超えて多くなっている。「のりばが家の近くにある」は女性30歳代で4割近くと多くなっている。（図表1-4-2）

図表1-4-2 性・年代別（上位5項目）－川越市内のバスに望むこと

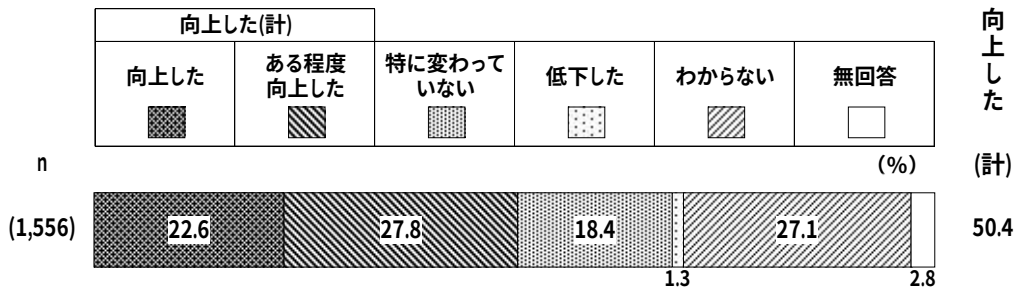


(5) 川越市の歴史的風致の向上

◇『向上した(計)』は50.4%

問5① あなたは、この10年間で川越市の歴史的風致（歴史的な建造物や歴史・伝統を反映した人々の活動等）が向上したと思いますか。（○は1つ）

図表1-5-1



この10年間で川越市の歴史的風致が向上したと思うかたずねたところ、「向上した」（22.6%）と「ある程度向上した」（27.8%）を合わせた『向上した(計)』（50.4%）は5割となっている。一方、「特に変わっていない」（18.4%）は2割近く、「低下した」（1.3%）はわずかとなっている。（図表1-5-1）

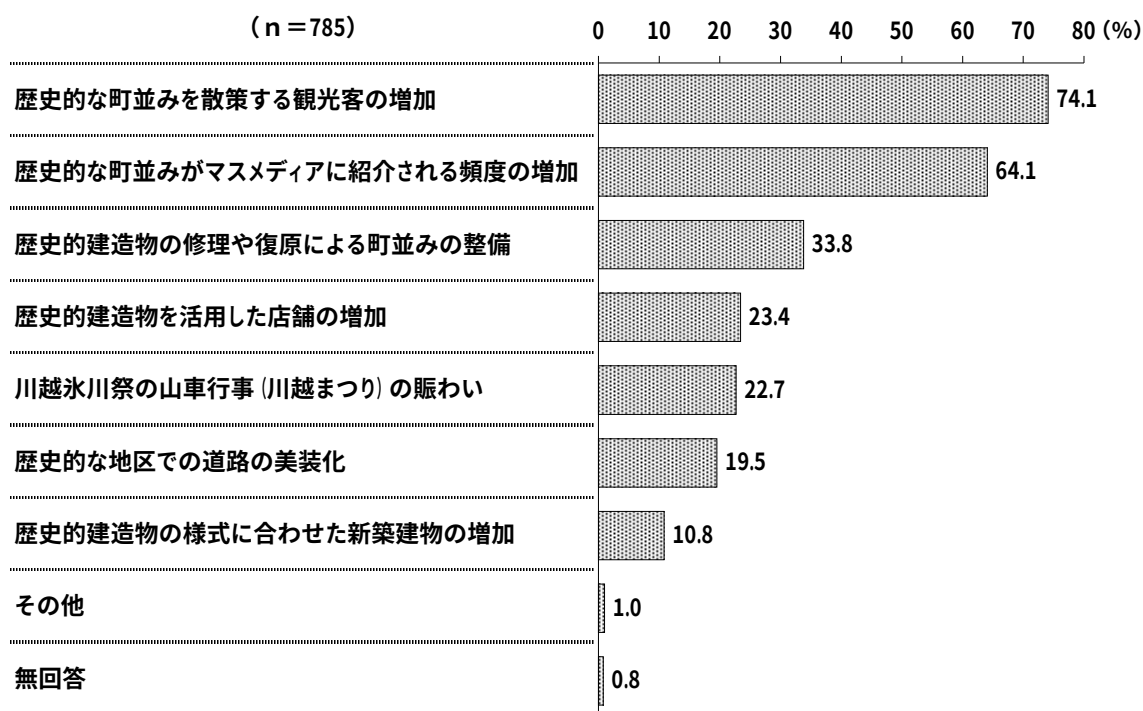
（６）歴史的風致の向上した点

◇「歴史的な町並みを散策する観光客の増加」が74.1%

★問５①で「向上した」「ある程度向上した」と答えた方におたずねします。

問５② どのような点でそのように感じますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。（○はいくつでも）

図表 1 - 6 - 1



問５①で歴史的風致が「向上した」「ある程度向上した」と答えた人（785人）に、どのような点でそのように感じるかたずねたところ、「歴史的な町並みを散策する観光客の増加」（74.1%）が7割半ばで最も多くなっている。以下、「歴史的な町並みがマスメディアに紹介される頻度の増加」（64.1%）、「歴史的建造物の修理や復原による町並みの整備」（33.8%）、「歴史的建造物を活用した店舗の増加」（23.4%）などの順となっている。（図表 1 - 6 - 1）

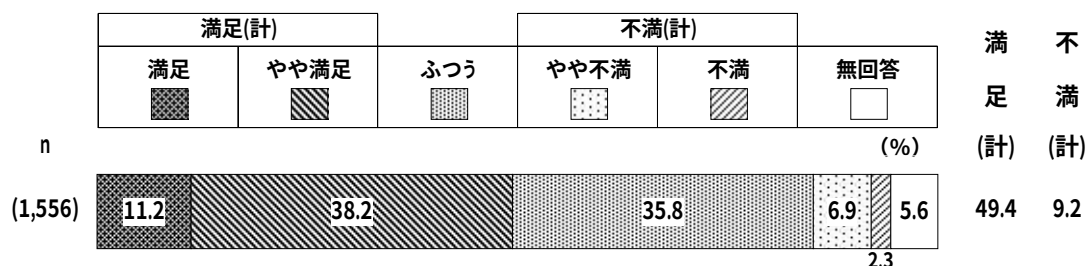
2. 産業・観光

(1) 川越市の観光への満足度

◇『満足（計）』は49.4%

問6 あなたは、川越市の観光について、どのように感じていますか。（○は1つ）

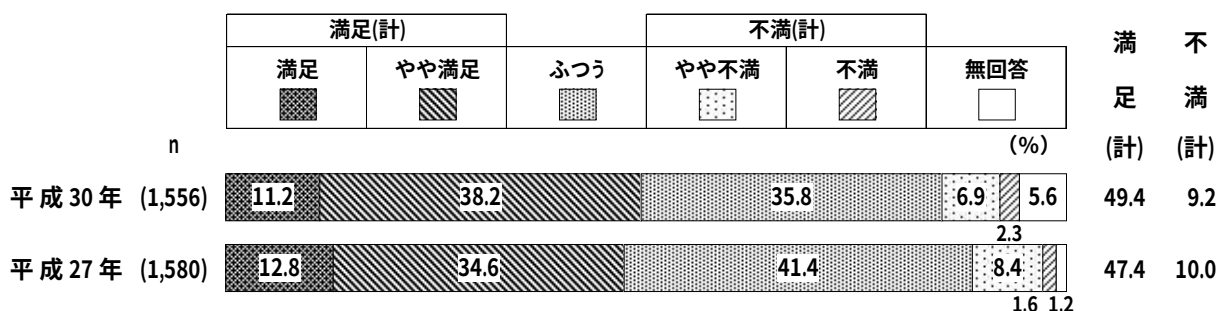
図表2-1-1



川越市の観光への満足度をたずねたところ、「満足」（11.2%）と「やや満足」（38.2%）を合わせた『満足（計）』（49.4%）は約5割となっている。一方、「やや不満」（6.9%）と「不満」（2.3%）を合わせた『不満（計）』（9.2%）は約1割となっている。また、「ふつう」（35.8%）は3割半ばとなっている。（図表2-1-1）

時系列でみると、「やや満足」は前回調査より3.6ポイント増加している。一方、「ふつう」は前回調査より5.6ポイント減少している。（図表2-1-2）

図表2-1-2 時系列－川越市の観光への満足度

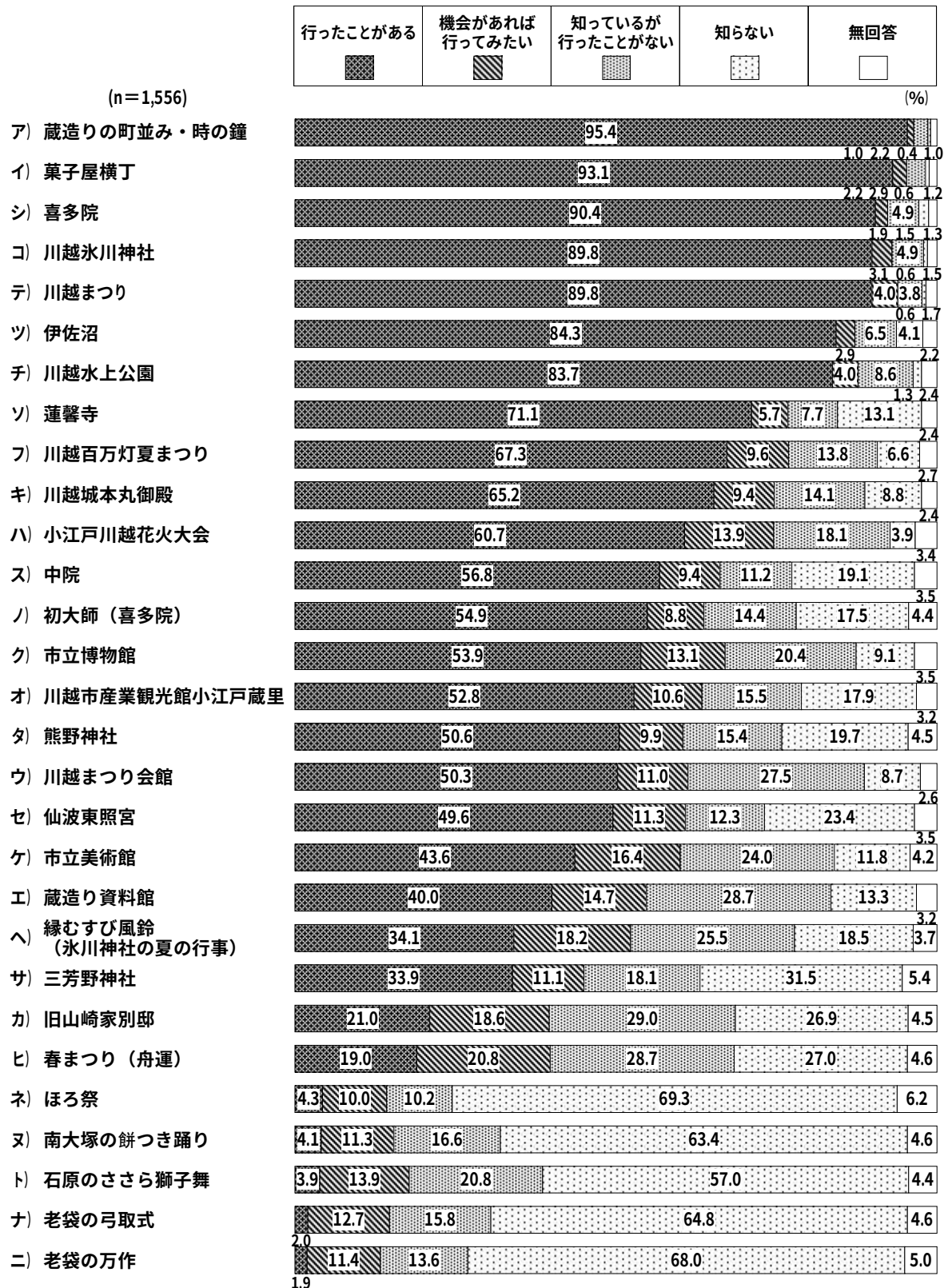


(2) 川越市の観光スポット・伝統行事の周知状況

◇「行ったことがある」は“蔵造りの町並み・時の鐘”で95.4%

問7 市内には多くの観光スポットや伝統行事がありますが行ったこと（見たこと）がありますか。ア～への項目ごとに1つずつ選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

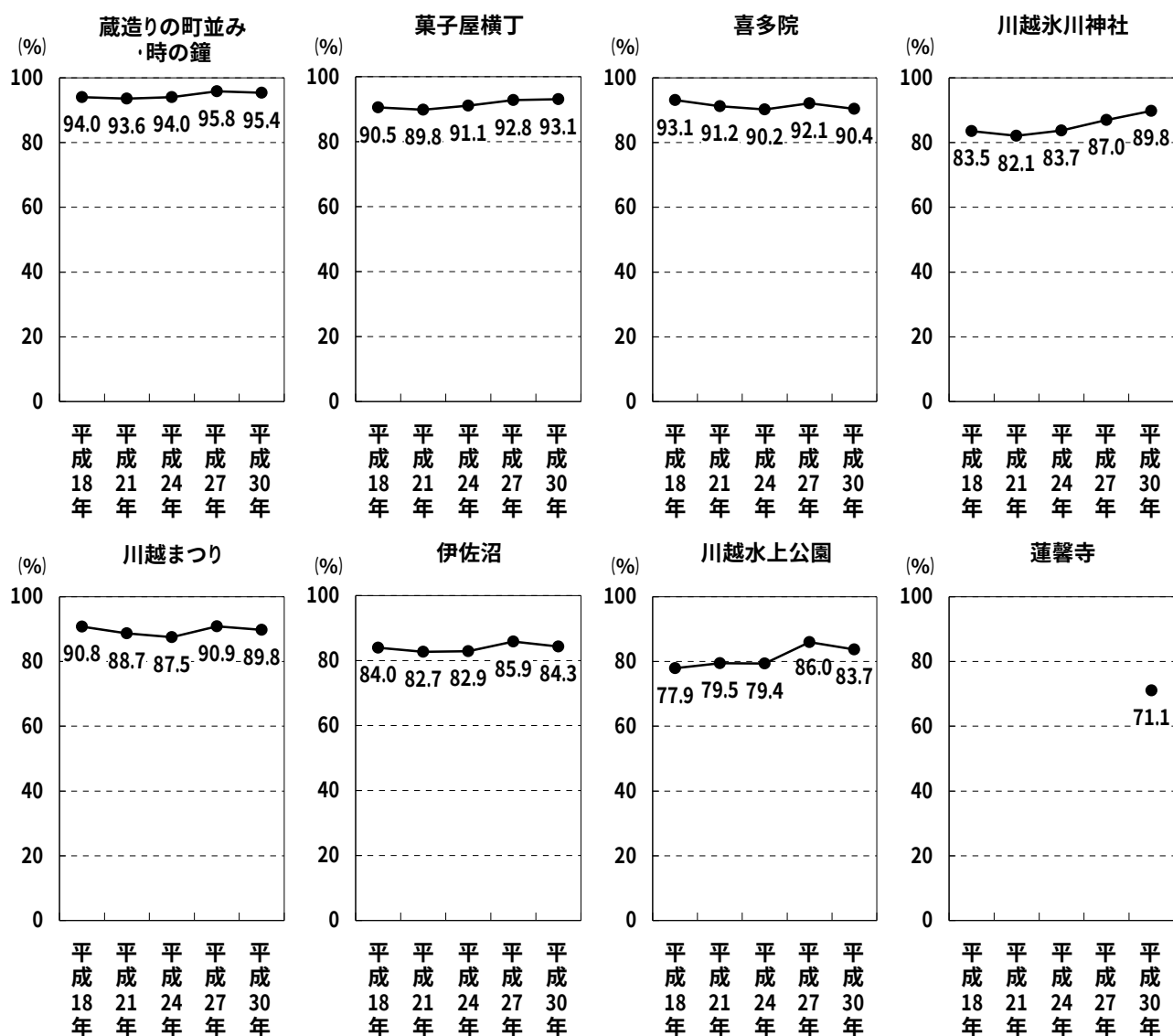
図表2-2-1



川越市の観光スポット・伝統行事の周知状況をたずねたところ、「行ったことがある」は“蔵造りの町並み・時の鐘”（95.4%）、“菓子屋横丁”（93.1%）、“喜多院”（90.1%）の3項目で9割台となっており、17項目で5割以上となっている。「機会があれば行ってみたい」は“春まつり（舟運）”（20.8%）で約2割と多くなっている。「知っているが行ったことがない」は“旧山崎家別邸”（29.0%）で約3割と多くなっている。一方、「知らない」は“ほろ祭”（69.3%）、“老袋の万作”（68.0%）、“老袋の弓取式”（64.8%）、“南大塚の餅つき踊り”（63.4%）で6割台と多くなっている。（図表2-2-1）

「行ったことがある」の割合の上位8項目を時系列でみると、“菓子屋横丁”と“川越氷川神社”は平成21年以降増加傾向となっている。（図表2-2-2）

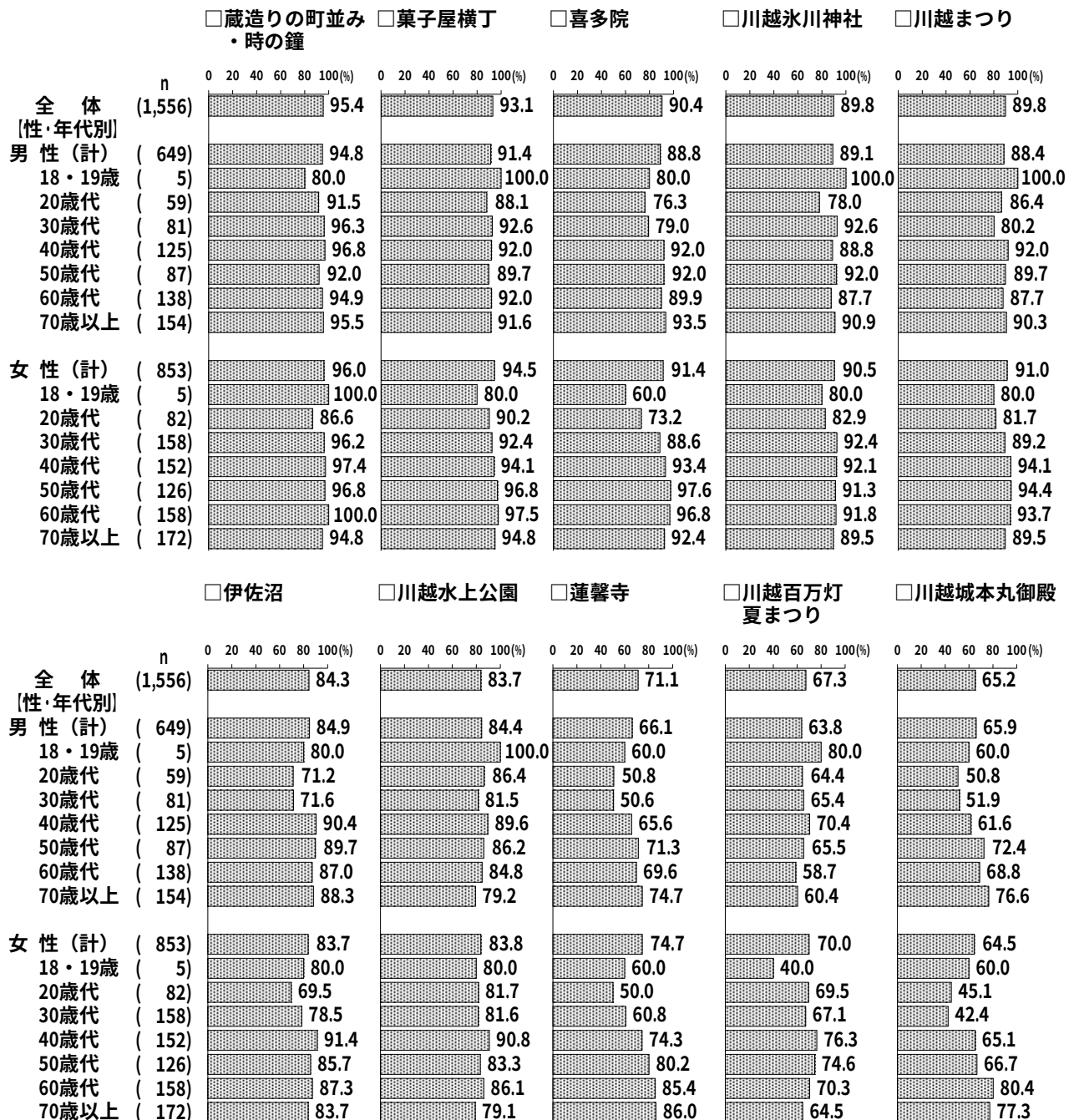
図表2-2-2 時系列（上位8項目）－川越市の観光スポット・伝統行事の周知状況



（注）「蓮馨寺」は、平成30年から追加された選択肢。

「行ったことがある」の割合の上位10項目を性・年代別にみると、“伊佐沼”は男女ともに40歳代で9割台と多くなっている。“蓮馨寺”は女性では年代が高くなるにつれて多くなっている。“川越城本丸御殿”は女性60歳代で8割と多くなっている。（図表2-2-3）

図表2-2-3 性・年代別（上位10項目）－川越市の観光スポット・伝統行事の周知状況

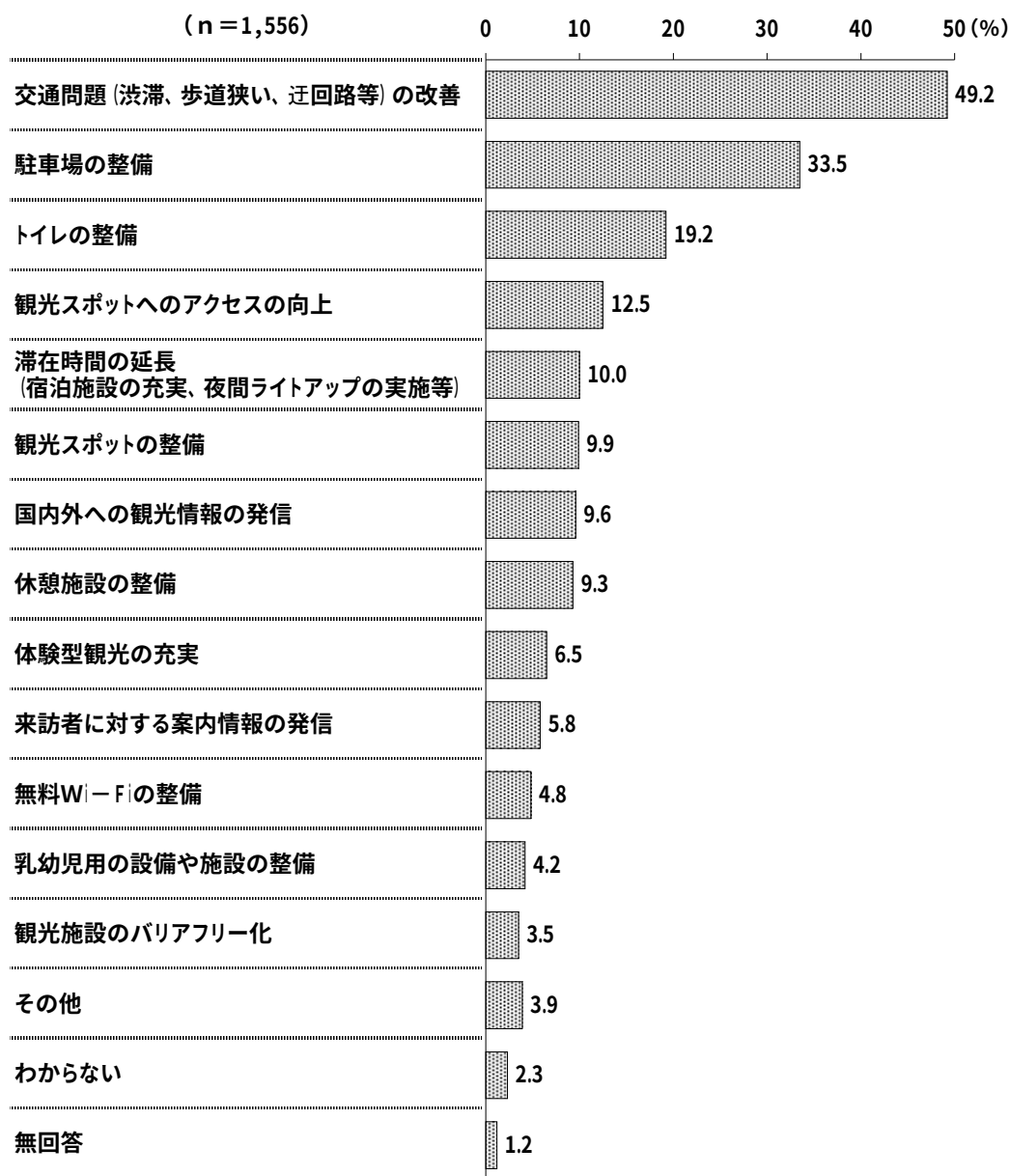


(3) 観光振興のために必要な施策

◇「交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善」が49.2%

問8 あなたは、ますます観光客が多く訪れる街になるためにどのような施策が必要だと思いますか。次の中から2つ以内で選んでください。（○は2つ以内）

図表2-3-1

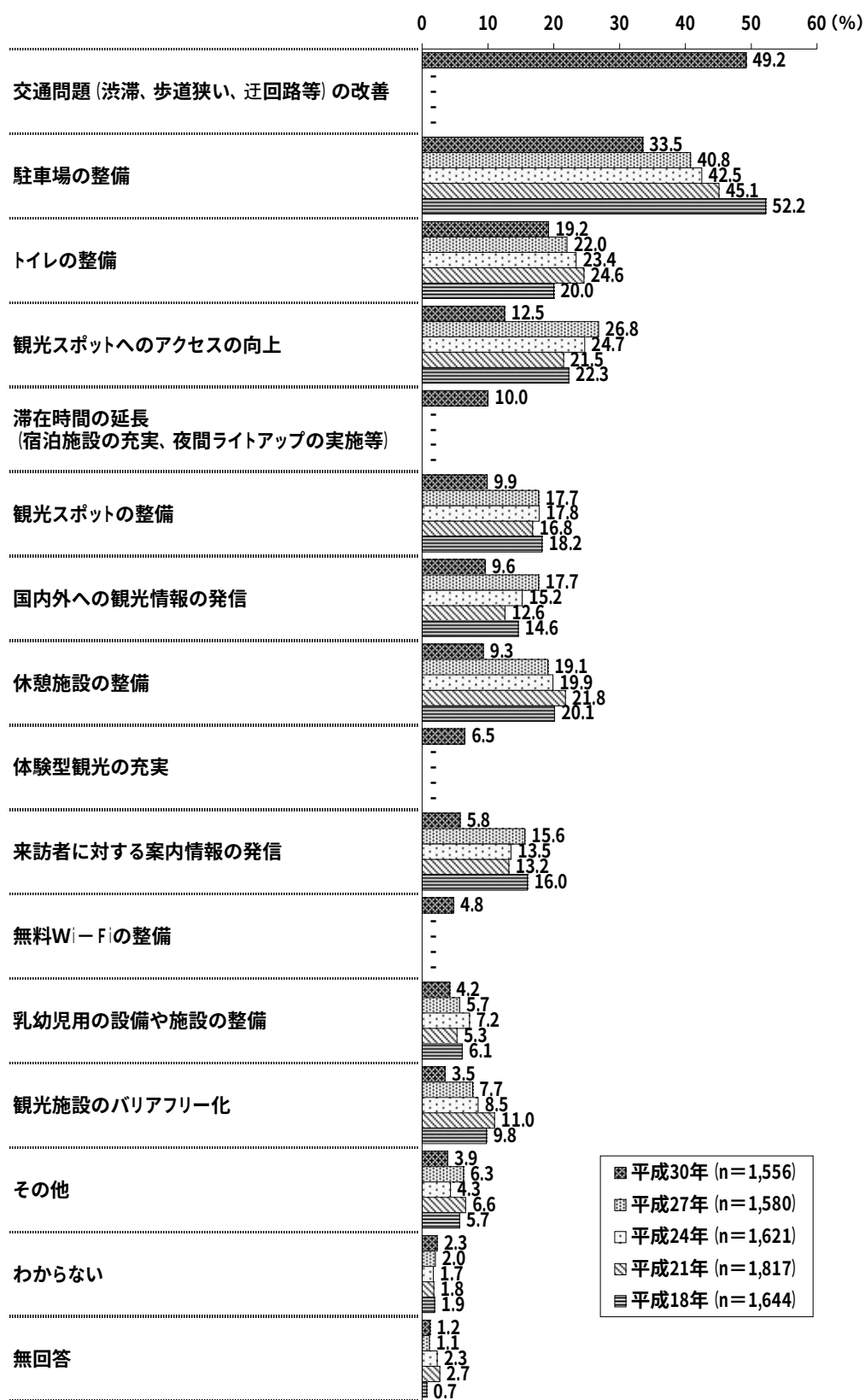


観光振興のために必要な施策をたずねたところ、「交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善」（49.2%）が約5割で最も多くなっている。以下、「駐車場の整備」（33.5%）、「トイレの整備」（19.2%）、「観光スポットへのアクセスの向上」（12.5%）などの順となっている。

（図表2-3-1）

時系列は、選択肢が大幅に変更されているため参考にとどまるが、「駐車場の整備」は平成18年以降減少傾向となっている。（図表2-3-2）

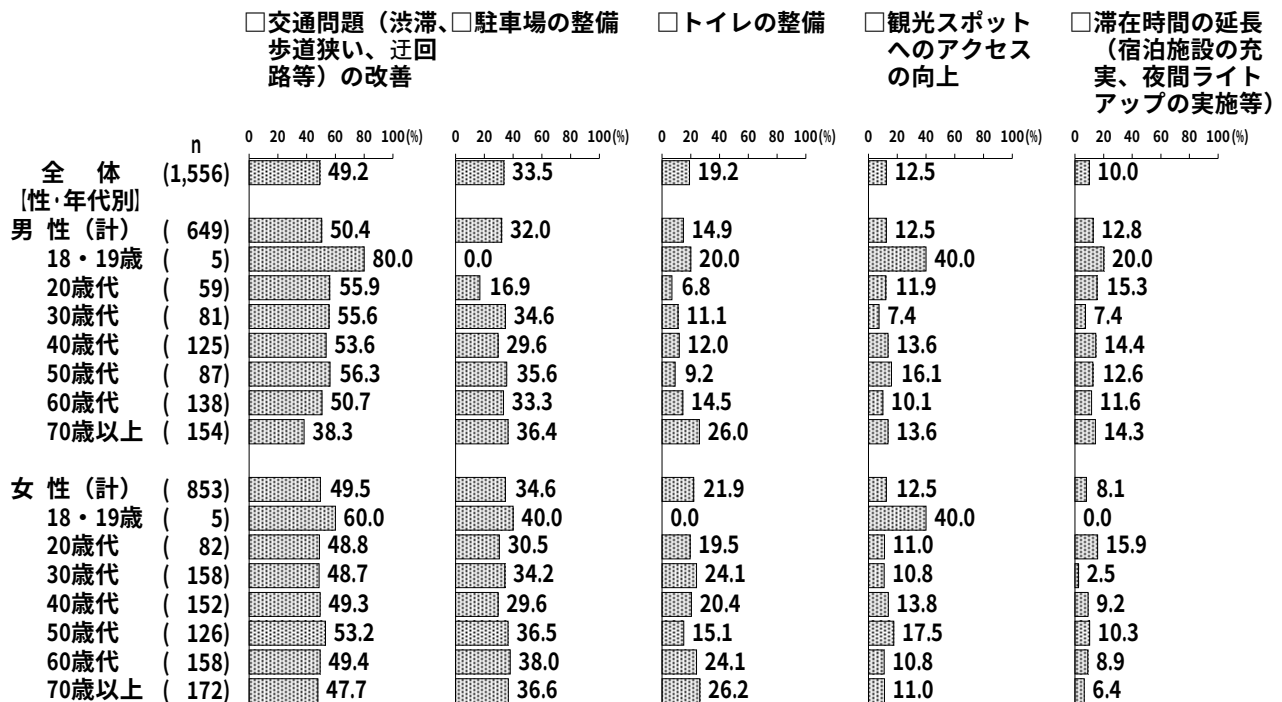
図表2-3-2 時系列－観光振興のために必要な施策



（注）「交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善」、「滞在時間の延長（宿泊施設の充実、夜間ライトアップの実施等）」、「体験型観光の充実」、「無料Wi-Fiの整備」は、平成30年から追加された選択肢。

上位5項目を性・年代別にみると、「交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善」は男性の20歳代から60歳代と女性50歳代で5割台と多くなっている。「トイレの整備」は女性の30歳代、60歳代、70歳以上と男性70歳以上で2割半ばと多くなっている。（図表2-3-3）

図表2-3-3 性・年代別（上位5項目）－観光振興のために必要な施策

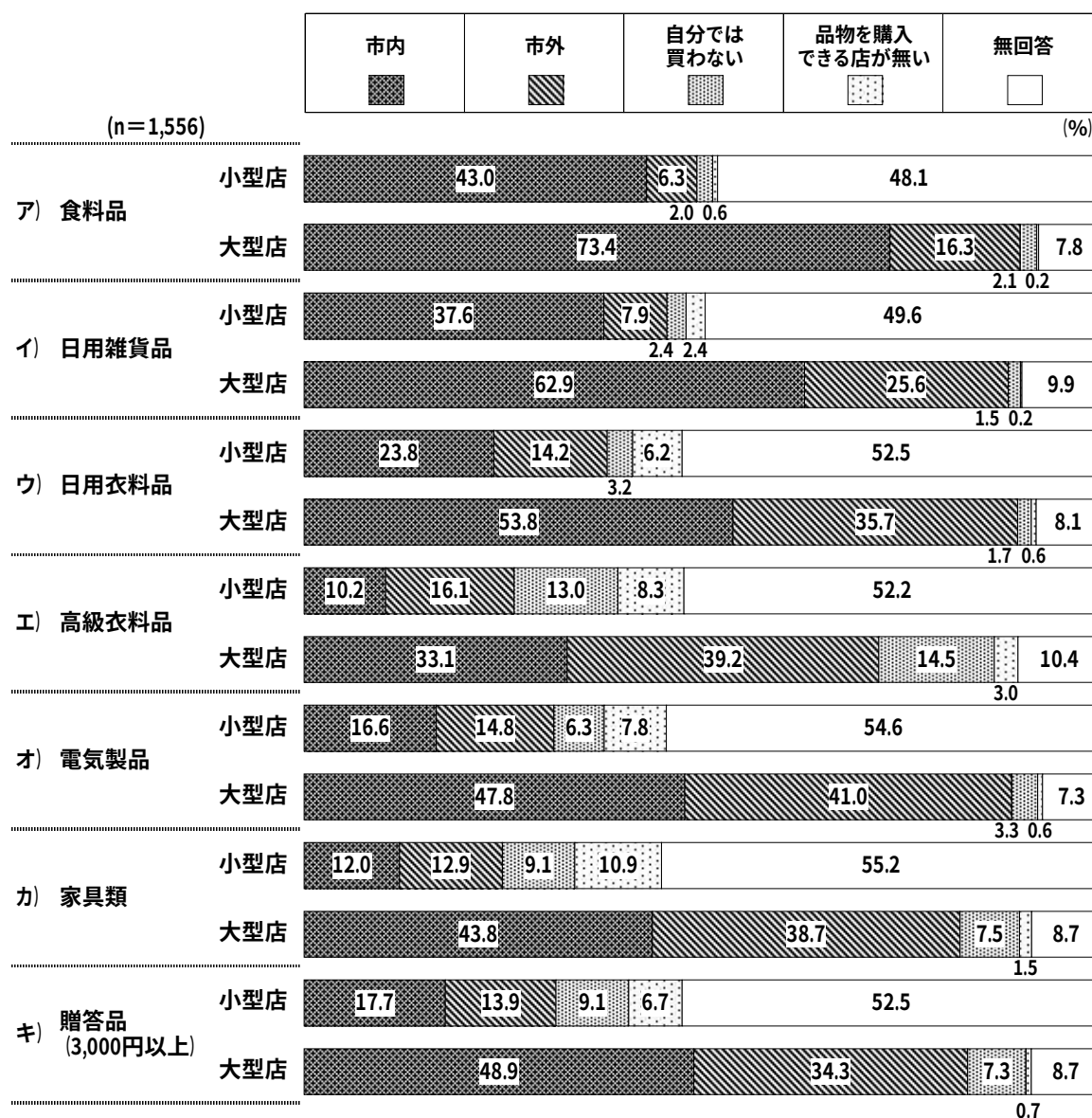


(4) 品物別の主な購入先

◇市内小型店での買い物は“食料品”が43.0%、“日用雑貨品”が37.6%

問9① あなたは、次の品物を主にどこで買いますか。品物別（小型店・大型店別）にそれぞれに該当する地域（1～20）を1つずつ選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

図表2-4-1



品物別の主な購入先をたずねたところ、市内小型店での買い物は、“食料品”（43.0%）が4割を超えて最も多くなっている。以下、“日用雑貨品”（37.6%）、“日用衣料品”（23.8%）、“贈答品（3,000円以上）”（17.7%）などの順となっている。

市内大型店での買い物は、“食料品”（73.4%）が7割を超えて最も多くなっている。以下、“日用雑貨品”（62.9%）、“日用衣料品”（53.8%）、“贈答品（3,000円以上）”（48.9%）などの順となっている。（図表2-4-1）

地区別に各品目の買い物動向をみると、“食料品”では、市内小型店での買い物は、大東地区で5割を超え、山田地区と霞ヶ関地区で5割近くと多くなっている。市外大型店の買い物は、名細地区で約5割、福原地区で約3割と多くなっている。

“日用雑貨品”では、市内小型店での買い物は、霞ヶ関北地区で4割半ばと多くなっている。市外大型店の買い物は、名細地区で6割半ば、川鶴地区で5割近くと多くなっている。

“日用衣料品”では、市内小型店での買い物は、霞ヶ関北地区、霞ヶ関地区、山田地区で3割台と多くなっている。市外大型店の買い物は、名細地区で5割半ば、福原地区で約5割と多くなっている。

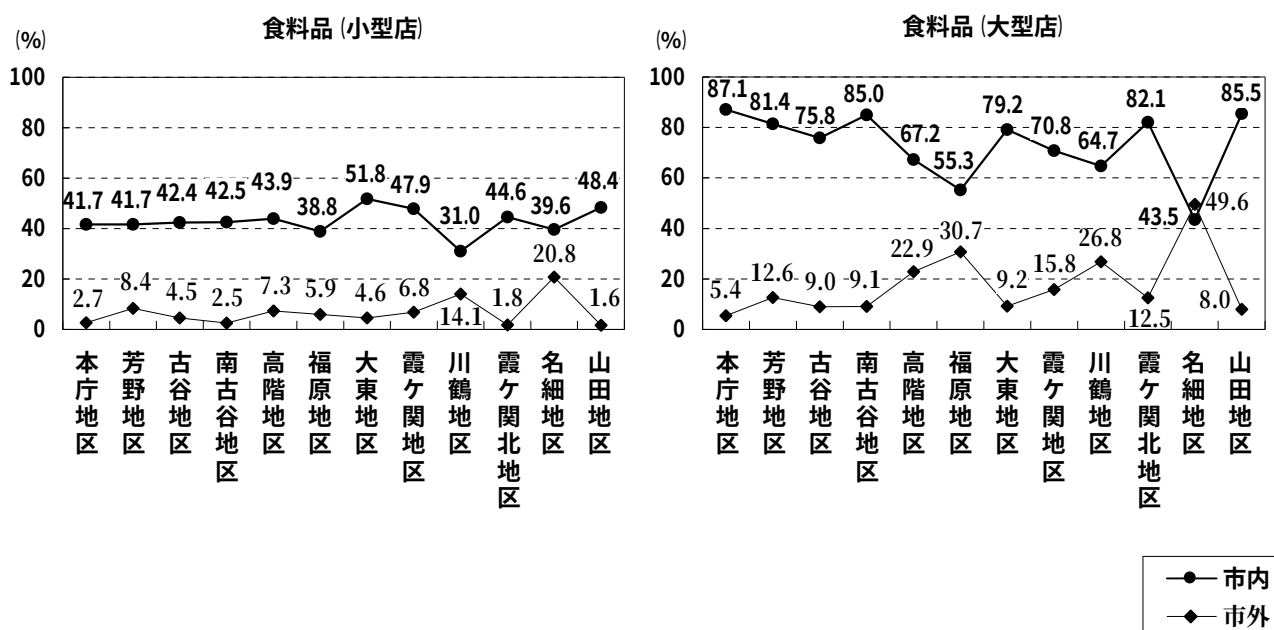
“高級衣料品”では、市内小型店での買い物は、福原地区で2割近くとなっている。市外大型店の買い物は、川鶴地区で5割半ば、高階地区で4割半ばと多くなっている。

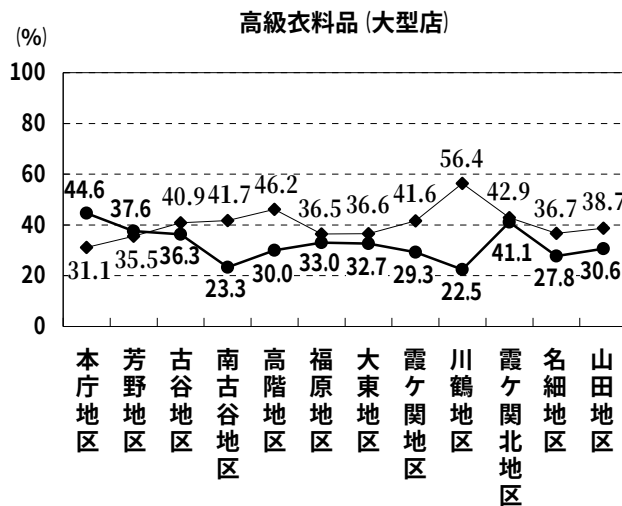
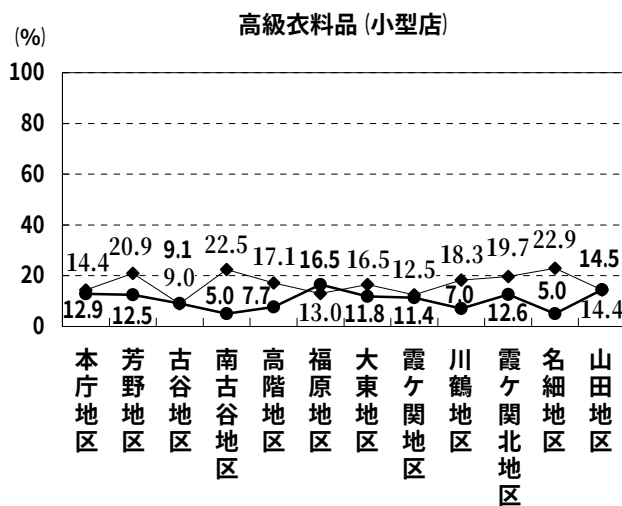
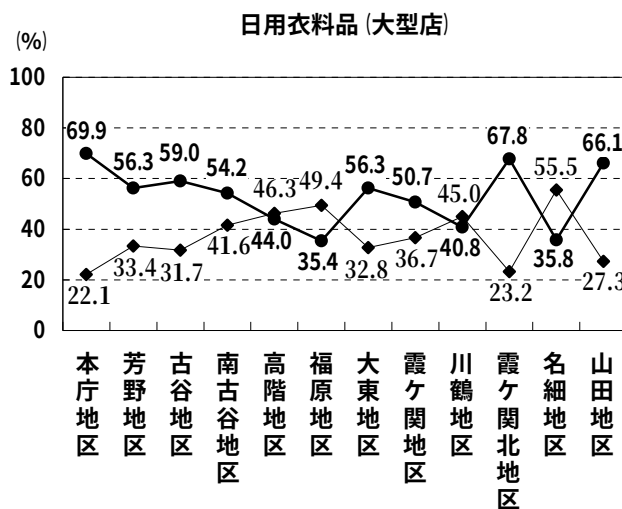
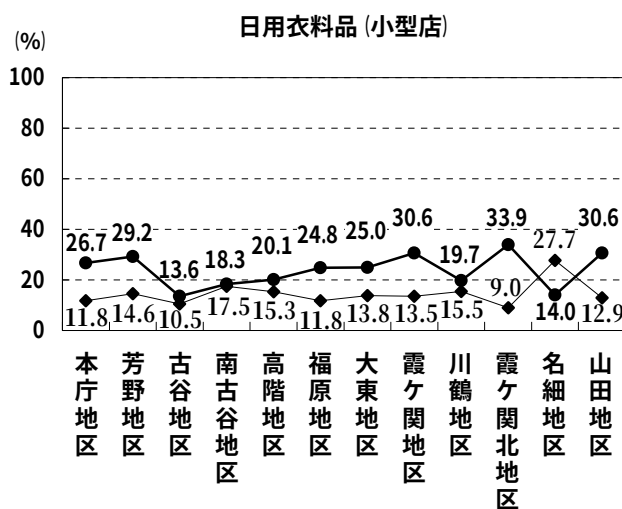
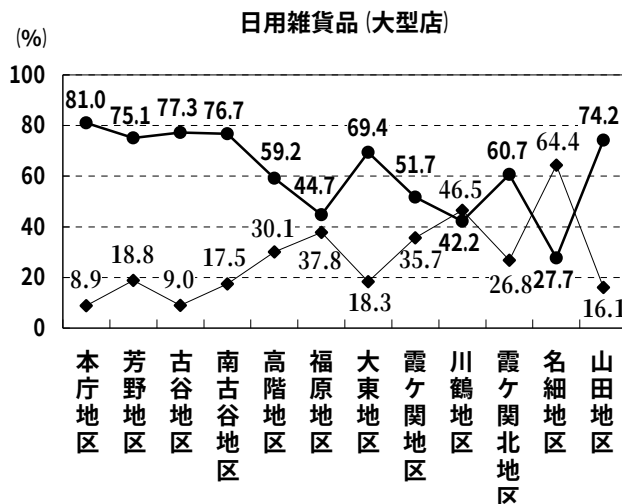
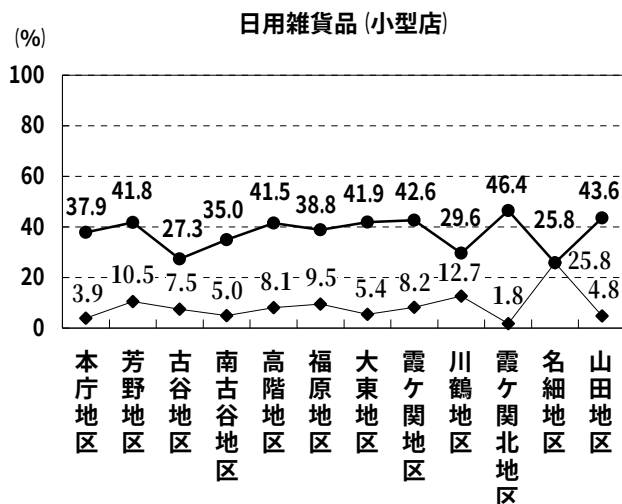
“電気製品”では、市内小型店での買い物は、霞ヶ関北地区で3割を超え、山田地区で2割半ばと多くなっている。市外大型店の買い物は、名細地区で約7割、川鶴地区で約6割、高階地区と霞ヶ関地区で5割を超えて多くなっている。

“家具類”では、市内小型店での買い物は、山田地区で約2割となっている。市外大型店の買い物は、川鶴地区と名細地区で6割台、霞ヶ関地区で5割を超えて多くなっている。

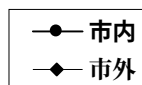
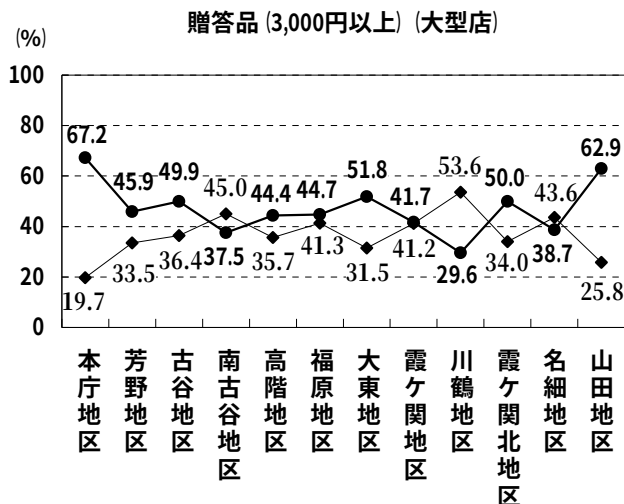
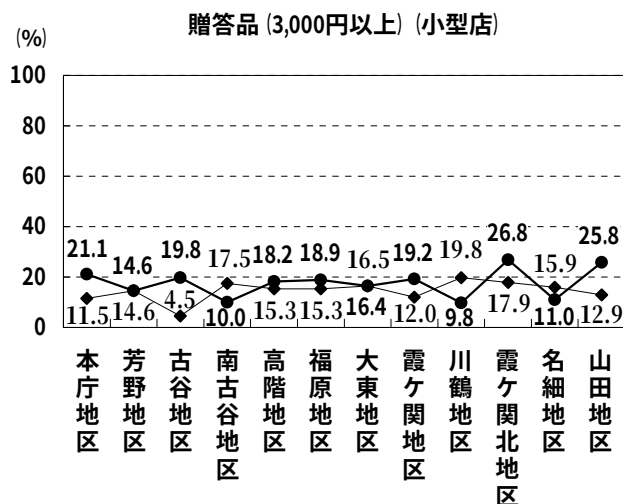
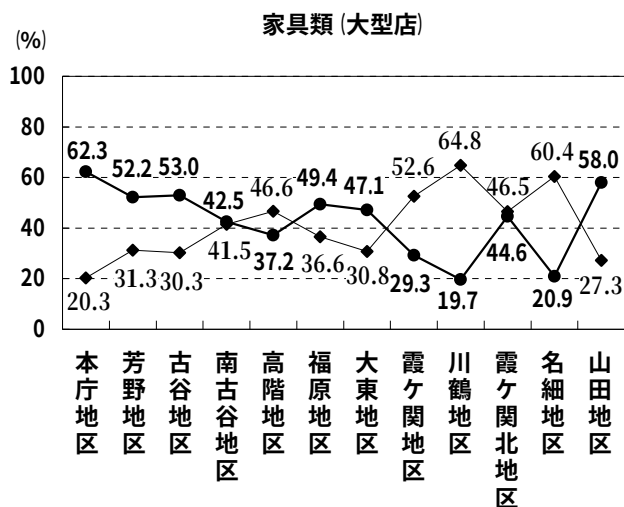
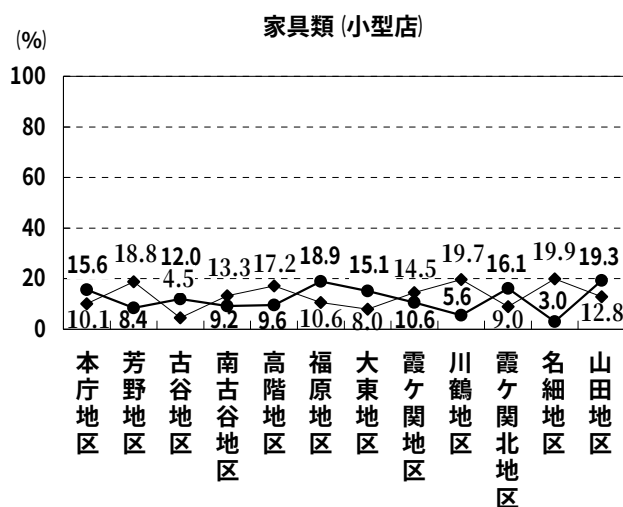
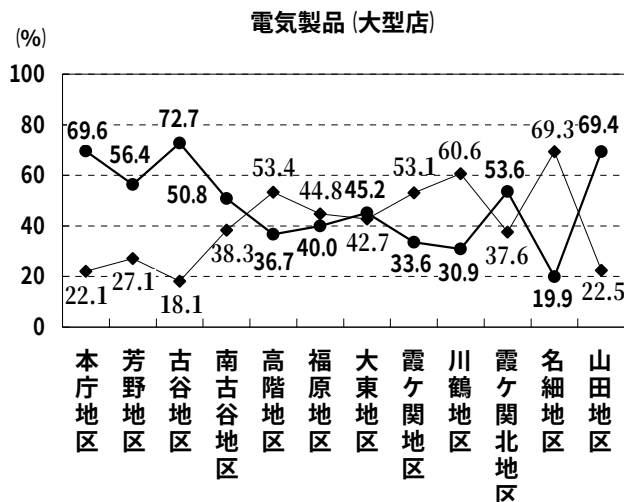
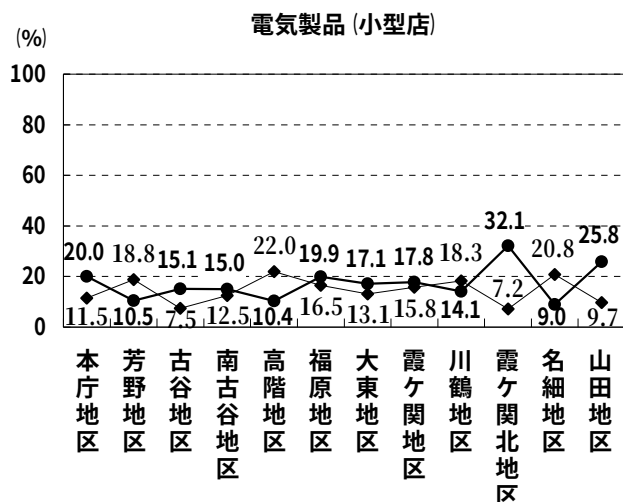
“贈答品(3,000円以上)”では、市内小型店での買い物は、霞ヶ関北地区、山田地区、本庁地区で2割台と多くなっている。市外大型店の買い物は、川鶴地区で5割を超え、南古谷地区で4割半ばと多くなっている。(図表2-4-2)

図表2-4-2 地区別一品物別の主な購入先





● 市内
◆ 市外

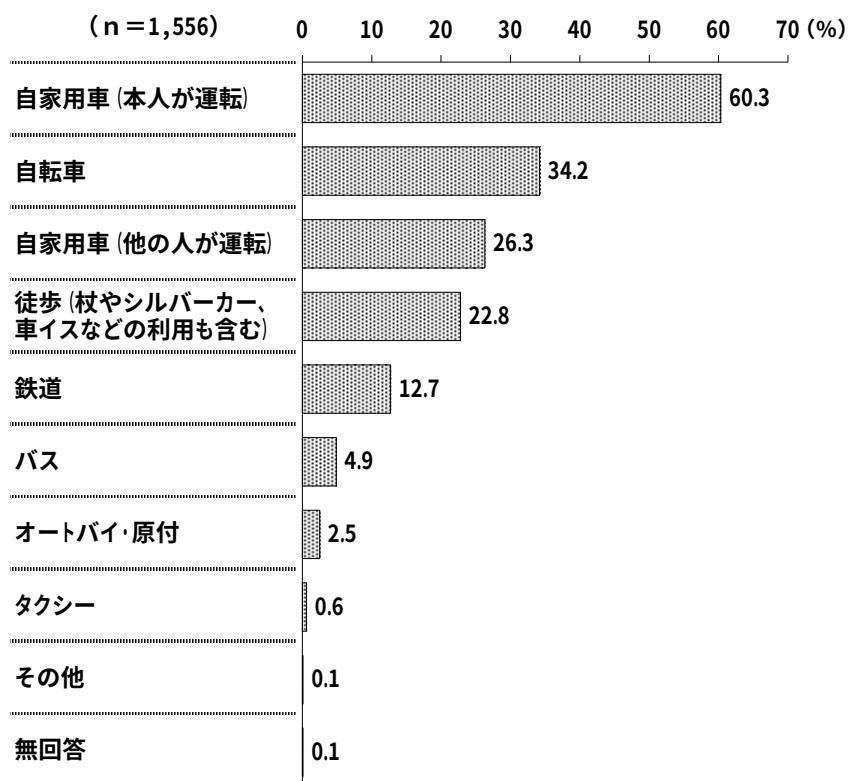


(5) 買い物の際によく利用する交通手段

◇「自家用車（本人が運転）」が60.3%

問9② 買い物に行く際によく利用する交通手段は何ですか。次の中から2つ以内で選んでください。（○は2つ以内）

図表 2 - 5 - 1

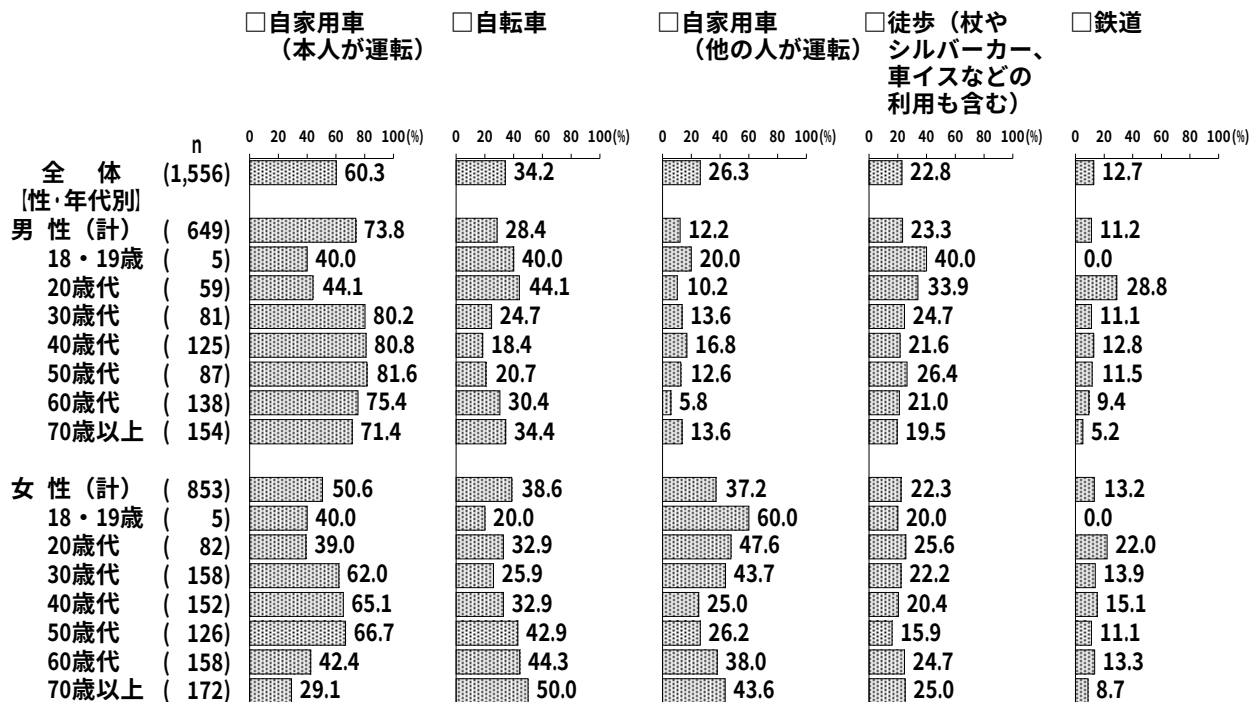


買い物に行く際によく利用する交通手段をたずねたところ、「自家用車（本人が運転）」（60.3%）が6割で最も多くなっている。以下、「自転車」（34.2%）、「自家用車（他の人が運転）」（26.3%）、「徒歩（杖やシルバーカー、車イスなどの利用も含む）」（22.8%）などの順となっている。

（図表 2 - 5 - 1）

上位5項目を性・年代別にみると、「自家用車（本人が運転）」は男性の30歳代から50歳代で8割台と多くなっている。「自転車」は女性70歳以上で5割と多くなっている。「自家用車（他の人が運転）」は女性の20歳代、30歳代、70歳以上で4割台と多くなっている。（図表2-5-2）

図表2-5-2 性・年代別（上位5項目）－買い物の際によく利用する交通手段



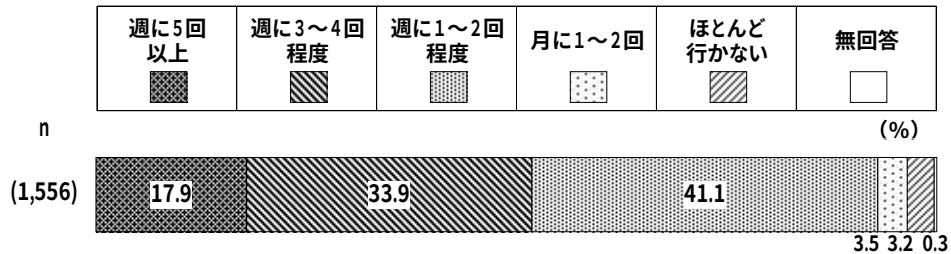
(6) 食料品の買い物に行く頻度

◇「週に1～2回程度」が41.1%

問9③ 食料品の買い物にはどの程度行きますか。次の中から1つ選んでください。

(○は1つ)

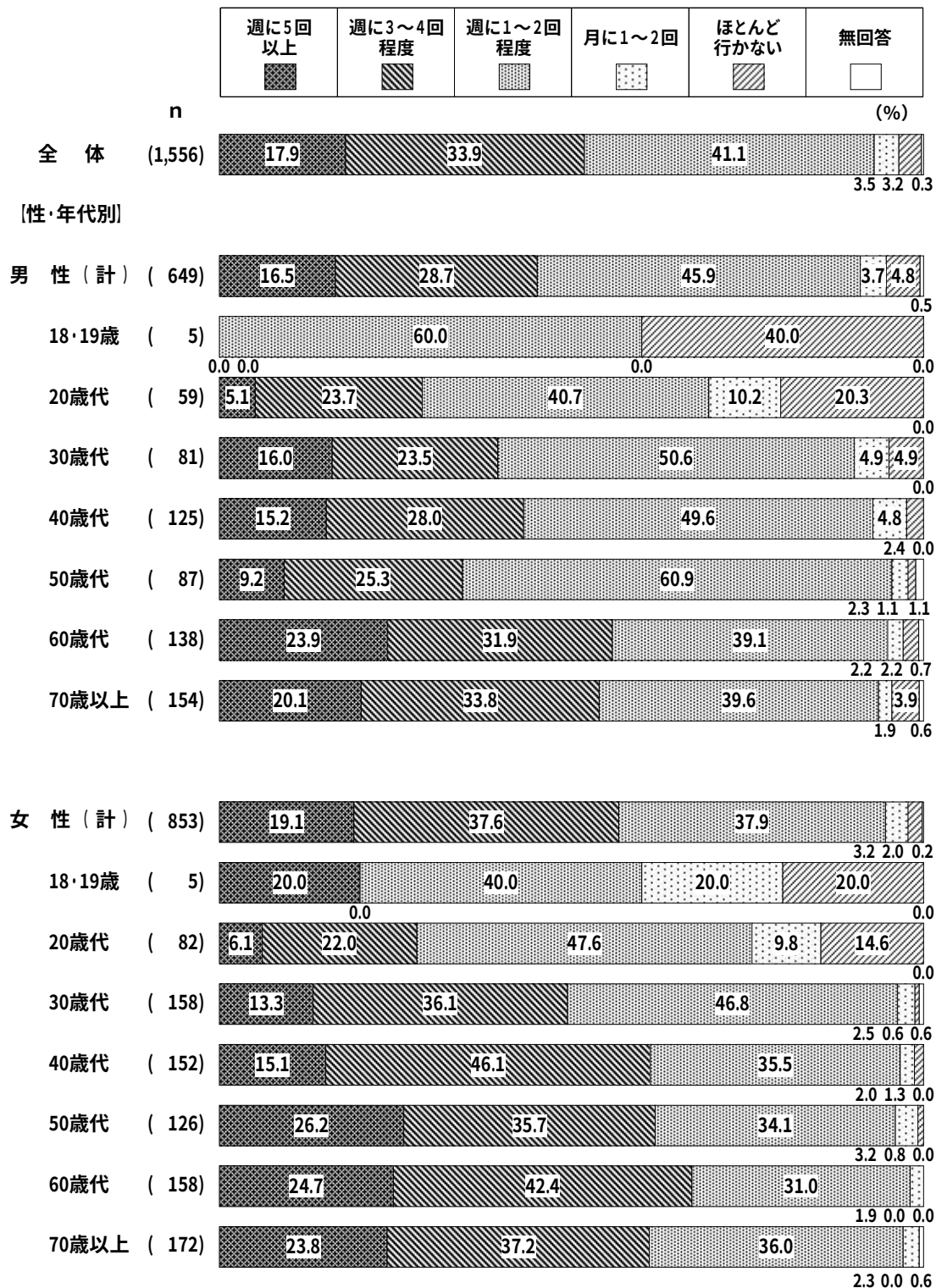
図表2-6-1



食料品の買い物に行く頻度をたずねたところ、「週に1～2回程度」(41.1%)が4割を超えて最も多くなっている。以下、「週に3～4回程度」(33.9%)、「週に5回以上」(17.9%)、「月に1～2回」(3.5%)などの順となっている。(図表2-6-1)

性・年代別にみると、「週に3～4回程度」は女性の40歳代と60歳代で4割台と多くなっている。「週に1～2回程度」は男性50歳代で約6割と多くなっている。「ほとんど行かない」は男性20歳代で2割と多くなっている。（図表2-6-2）

図表2-6-2 性・年代別－食料品の買い物に行く頻度

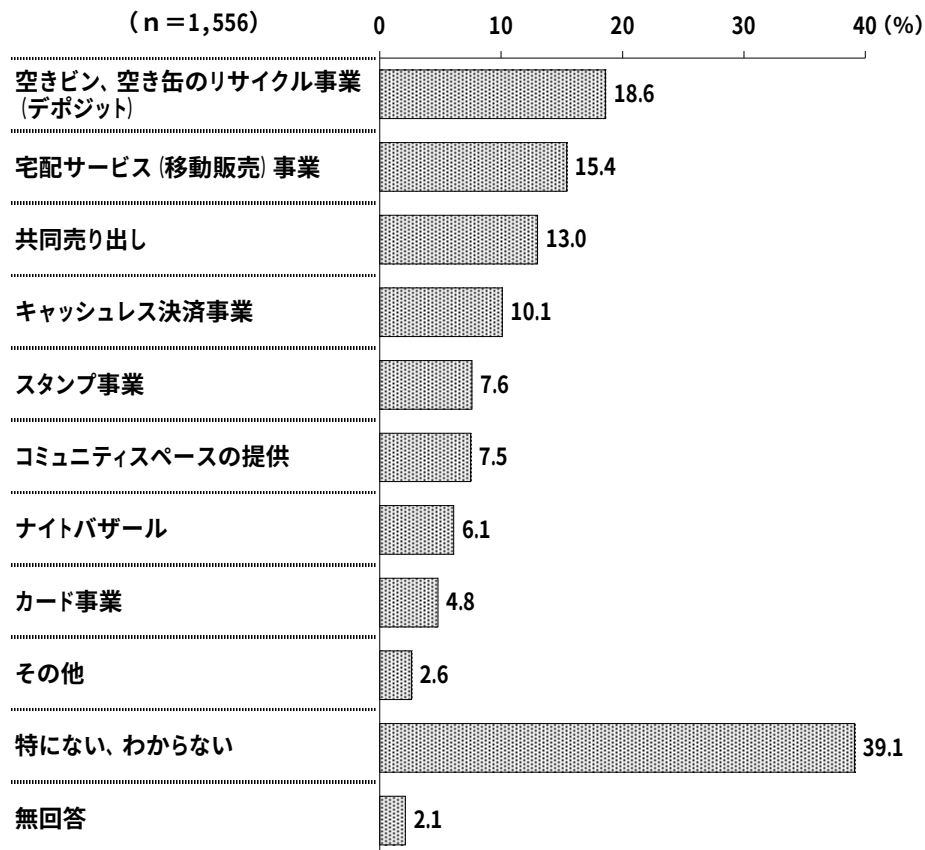


(7) 商店街で実施してほしい事業・サービス

◇「空きビン、空き缶のリサイクル事業（デポジット）」が18.6%

問10 商店街でどんな事業やサービスを実施してほしいですか。（○は2つ以内）

図表 2 - 7 - 1

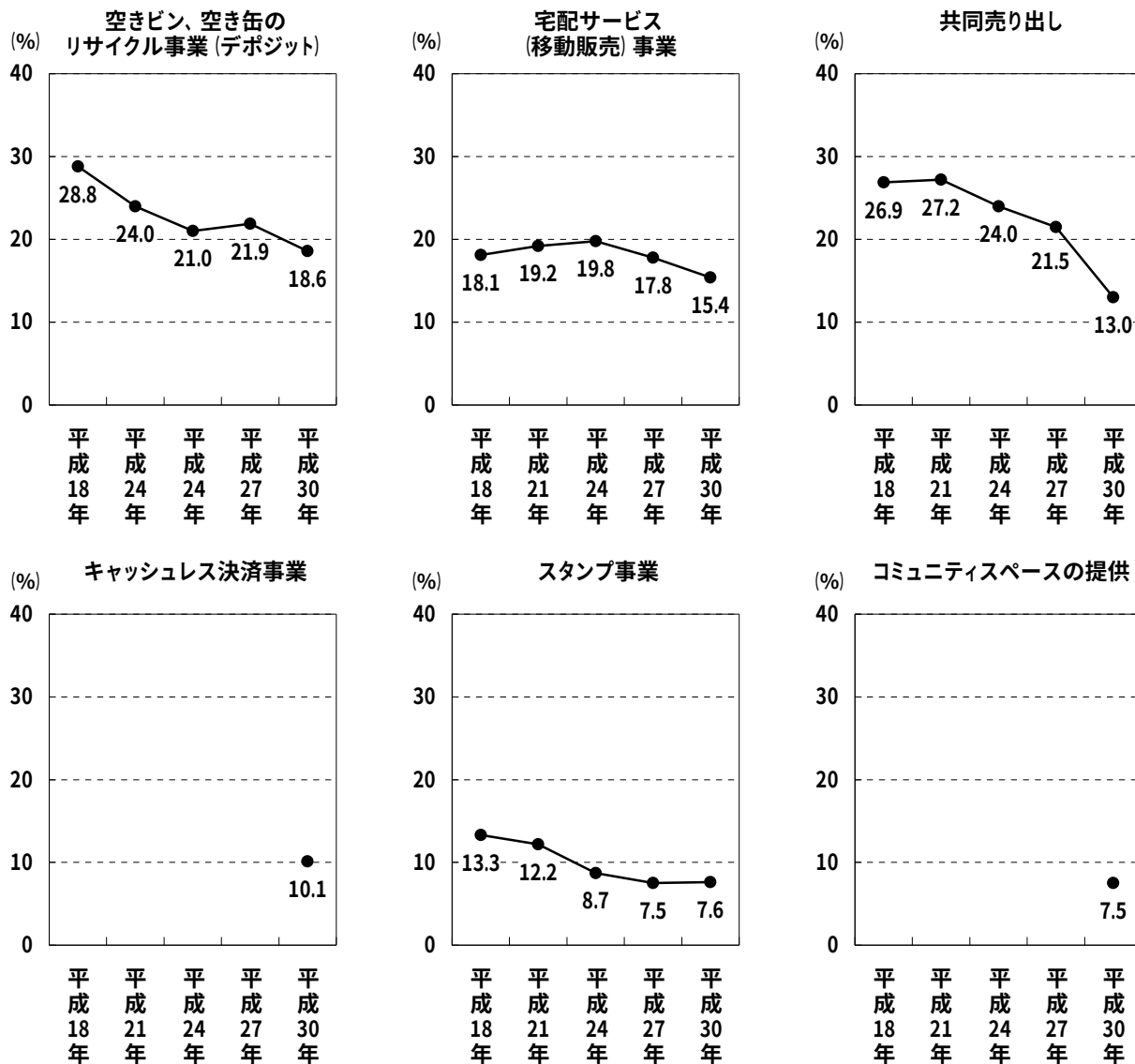


商店街で実施してほしい事業・サービスをたずねたところ、「空きビン、空き缶のリサイクル事業（デポジット）」（18.6%）が2割近くで最も多くなっている。以下、「宅配サービス（移動販売）事業」（15.4%）、「共同売り出し」（13.0%）、「キャッシュレス決済事業」（10.1%）などの順となっている。（図表 2 - 7 - 1）

上位6項目を時系列でみると、「共同売り出し」は前回調査より8.5ポイント、「空きビン、空き缶のリサイクル事業（デポジット）」は前回調査より3.3ポイント、それぞれ減少している。

(図表2-7-2)

図表2-7-2 時系列（上位6項目）－商店街で実施してほしい事業・サービス



(注) 「キャッシュレス決済事業」、「コミュニティスペースの提供」は、平成30年から追加された選択肢。

上位5項目を地区別にみると、「空きビン、空き缶のリサイクル事業（デポジット）」は本庁地区、芳野地区、南古谷地区、高階地区、福原地区、大東地区、霞ヶ関地区、川鶴地区の8地区で同率を含め第1位にあげられている。「宅配サービス（移動販売）事業」は福原地区、霞ヶ関北地区、名細地区、山田地区の4地区で同率を含め第1位にあげられている。「共同売り出し」は古谷地区で第1位にあげられている。

年代別にみると、「空きビン、空き缶のリサイクル事業（デポジット）」は50歳代以下の年代で第1位にあげられている。「共同売り出し」は60歳代、「宅配サービス（移動販売）事業」は70歳以上で第1位にあげられている。(図表2-7-3)

図表 2 - 7 - 3 地区別、年代別（上位 5 項目）－商店街で実施してほしい事業・サービス

(%)

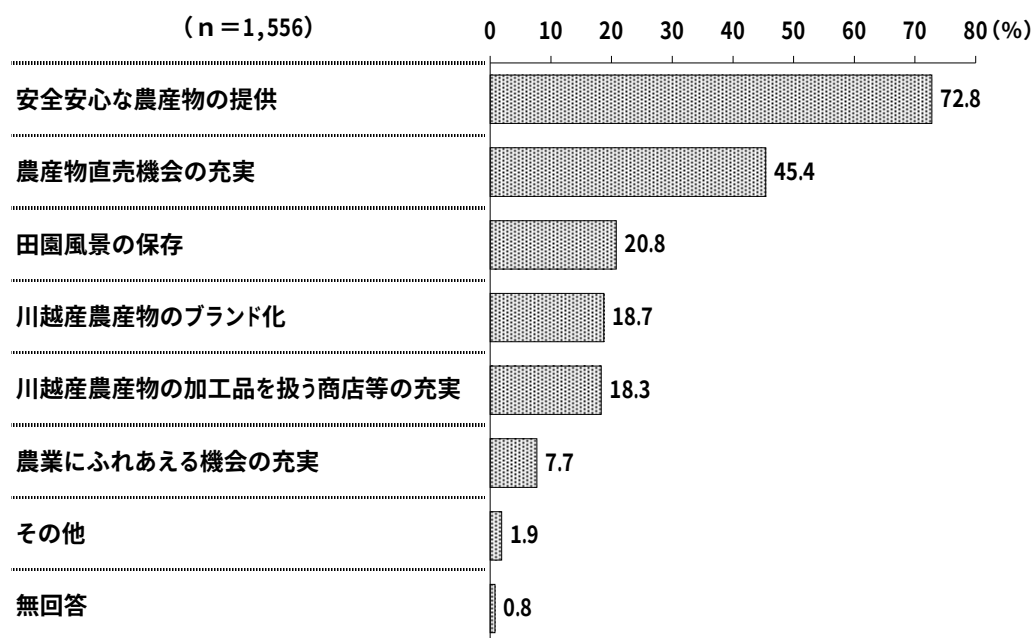
順位 属性	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	1,556	空きビン、空き缶の リサイクル事業 (デポジット) 18.6	宅配サービス (移動販売) 事業 15.4	共同売り出し 13.0	キャッシュレス 決済事業 10.1	スタンプ事業 7.6
【 地 区 別 】						
本 庁 地 区	341	空きビン、空き缶の リサイクル事業 (デポジット) 18.8	宅配サービス (移動販売) 事業 12.9	キャッシュレス 決済事業 12.3	共同売り出し 10.9	コミュニティ スペースの提供 10.6
芳 野 地 区	48	空きビン、空き缶の リサイクル事業 (デポジット) 22.9	宅配サービス (移動販売) 事業 16.7	共同売り出し 14.6	コミュニティ スペースの提供 10.4	キャッシュレス 決済事業 6.3
古 谷 地 区	66	共同売り出し 16.7	空きビン、空き缶の リサイクル事業 (デポジット) 15.2	宅配サービス (移動販売) 事業 12.1	スタンプ事業/コミュニティスペースの 提供/キャッシュレス決済事業 7.6	
南 古 谷 地 区	120	空きビン、空き缶の リサイクル事業 (デポジット) 21.7	宅配サービス (移動販売) 事業 18.3	キャッシュレス 決済事業 15.8	共同売り出し 13.3	スタンプ事業 9.2
高 階 地 区	210	空きビン、空き缶の リサイクル事業 (デポジット) 18.1	スタンプ事業 11.9	宅配サービス (移動販売) 事業 11.4	共同売り出し/キャッシュレス 決済事業 9.5	
福 原 地 区	85	空きビン、空き缶の リサイクル事業(デポ ジット)/宅配サービス(移動販売)事業 15.3		コミュニティ スペースの提供 10.6	キャッシュレス 決済事業 9.4	スタンプ事業 8.2
大 東 地 区	153	空きビン、空き缶の リサイクル事業 (デポジット) 22.2	共同売り出し 15.7	宅配サービス (移動販売) 事業 13.1	キャッシュレス 決済事業 8.5	コミュニティ スペースの提供 6.5
霞ヶ関地区	209	空きビン、空き缶の リサイクル事業 (デポジット) 19.6	宅配サービス (移動販売) 事業 18.7	共同売り出し 17.2	キャッシュレス 決済事業 10.0	スタンプ事業/ ナイトバザール 6.2
川 鶴 地 区	71	空きビン、空き缶の リサイクル事業 (デポジット) 28.2	共同売り出し 18.3	宅配サービス (移動販売) 事業 15.5	カード事業/ナイトバザール /コミュニティスペースの提供 5.6	
霞ヶ関北地区	56	宅配サービス (移動販売) 事業 16.1	共同売り出し/コミュニティスペースの 提供 14.3	キャッシュレス 決済事業 10.7	空きビン、空き缶の リサイクル事業 (デポジット) 8.9	
名 細 地 区	101	宅配サービス (移動販売) 事業 25.7	空きビン、空き缶の リサイクル事業 (デポジット) /共同売り出し 14.9	キャッシュレス 決済事業 8.9	コミュニティ スペースの提供 7.9	
山 田 地 区	62	宅配サービス (移動販売) 事業 17.7	空きビン、空き缶の リサイクル事業 (デポジット) 16.1	共同売り出し 12.9	ナイトバザール/コミュニティスペースの 提供/キャッシュレス決済事業 6.5	
【 年 代 別 】						
18 ・ 19 歳	10	空きビン、空き缶の リサイクル事業 (デポジット) 30.0	宅配サービス (移動販売) 事業/共同売り出し /コミュニティスペースの提供 20.0			ナイトバザール 10.0
20 歳 代	141	空きビン、空き缶の リサイクル事業 (デポジット) 21.3	キャッシュレス 決済事業 17.0	宅配サービス (移動販売) 事業 14.9	ナイトバザール 10.6	カード事業 6.4
30 歳 代	239	空きビン、空き缶の リサイクル事業 (デポジット) 20.9	キャッシュレス 決済事業 15.5	宅配サービス (移動販売) 事業 15.1	スタンプ事業 10.9	コミュニティ スペースの提供 8.4
40 歳 代	277	空きビン、空き缶の リサイクル事業 (デポジット) 19.5	キャッシュレス 決済事業 15.5	宅配サービス (移動販売) 事業 10.8	共同売り出し 9.7	ナイトバザール 8.3
50 歳 代	213	空きビン、空き缶の リサイクル事業 (デポジット) 16.4	宅配サービス (移動販売) 事業 14.1	共同売り出し 12.2	スタンプ事業 11.7	キャッシュレス 決済事業 9.9
60 歳 代	296	共同売り出し 23.3	空きビン、空き缶の リサイクル事業 (デポジット) 18.6	宅配サービス (移動販売) 事業 15.9	コミュニティ スペースの提供 9.1	キャッシュレス 決済事業 6.4
70 歳 以 上	328	宅配サービス (移動販売) 事業 19.2	共同売り出し 18.0	空きビン、空き缶の リサイクル事業 (デポジット) 16.2	コミュニティ スペースの提供 10.1	スタンプ事業 5.2

(8) 農業に期待すること

◇「安全安心な農産物の提供」が72.8%

問11 あなたが農業に期待することは何ですか。（○はいくつでも）

図表 2 - 8 - 1

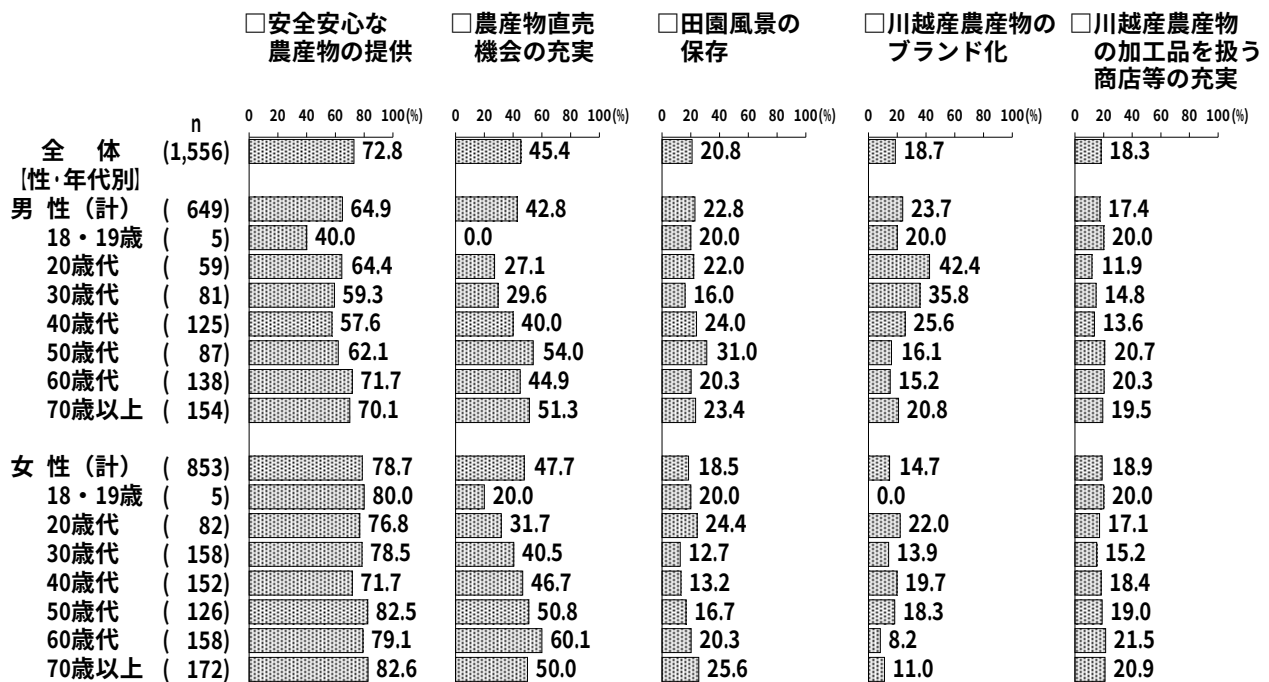


農業に期待することをたずねたところ、「安全安心な農産物の提供」（72.8%）が7割を超えて最も多くなっている。以下、「農産物直売機会の充実」（45.4%）、「田園風景の保存」（20.8%）、「川越産農産物のブランド化」（18.7%）などの順となっている。（図表 2 - 8 - 1）

上位5項目を性・年代別にみると、「安全安心な農産物の提供」は女性の50歳代と70歳以上で8割を超えて多くなっている。「農産物直売機会の充実」は女性60歳代で6割と多くなっている。「川越産農産物のブランド化」は男性20歳代で4割を超え、男性30歳代で3割半ばと多くなっている。

(図表2-8-2)

図表2-8-2 性・年代別（上位5項目）－農業に期待すること

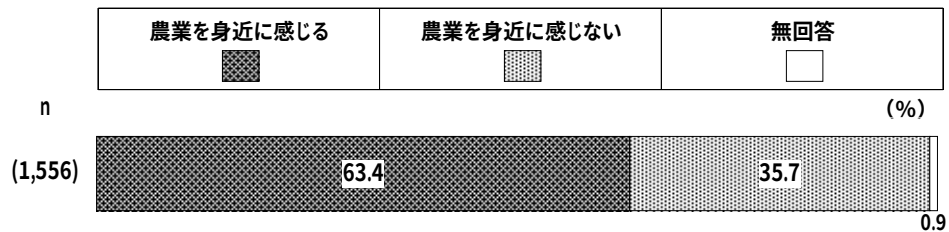


(9) 農業を身近に感じるか

◇「農業を身近に感じる」が63.4%

問12 農業を身近に感じますか。（地場農産物の購入や市民農園の利用、田園風景などを通じて、暮らしの中で農業を身近に感じますか）（○は1つ）

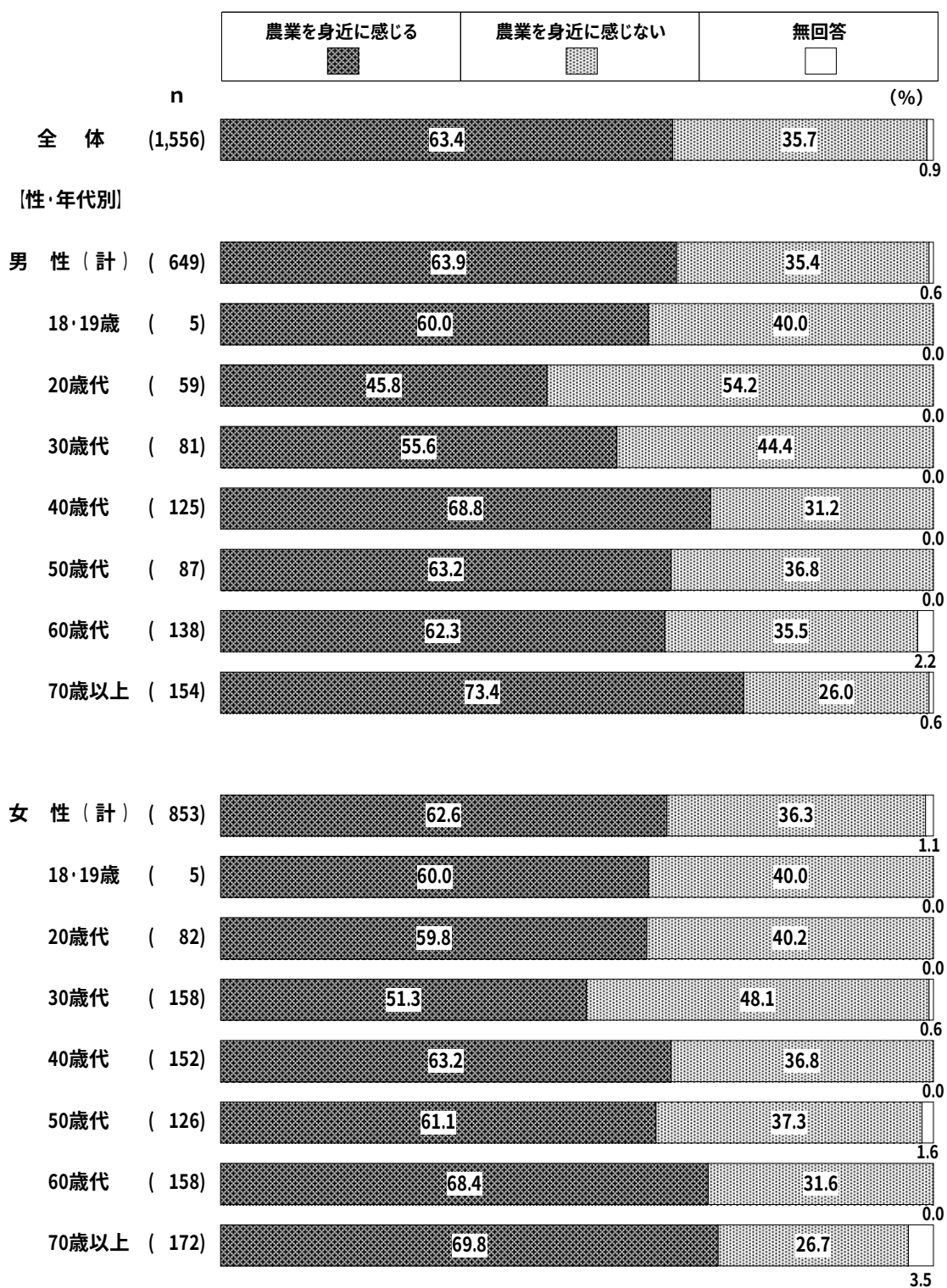
図表2-9-1



農業を身近に感じるかたずねたところ、「農業を身近に感じる」（63.4%）が6割を超え、「農業を身近に感じない」（35.7%）は3割半ばとなっている。（図表2-9-1）

性・年代別にみると、「農業を身近に感じる」は男性70歳以上で7割を超えて多くなっている。一方、「農業を身近に感じない」は男性20歳代で5割半ば、女性30歳代で5割近くと多くなっている。（図表2-9-2）

図表2-9-2 性・年代別－農業を身近に感じるか



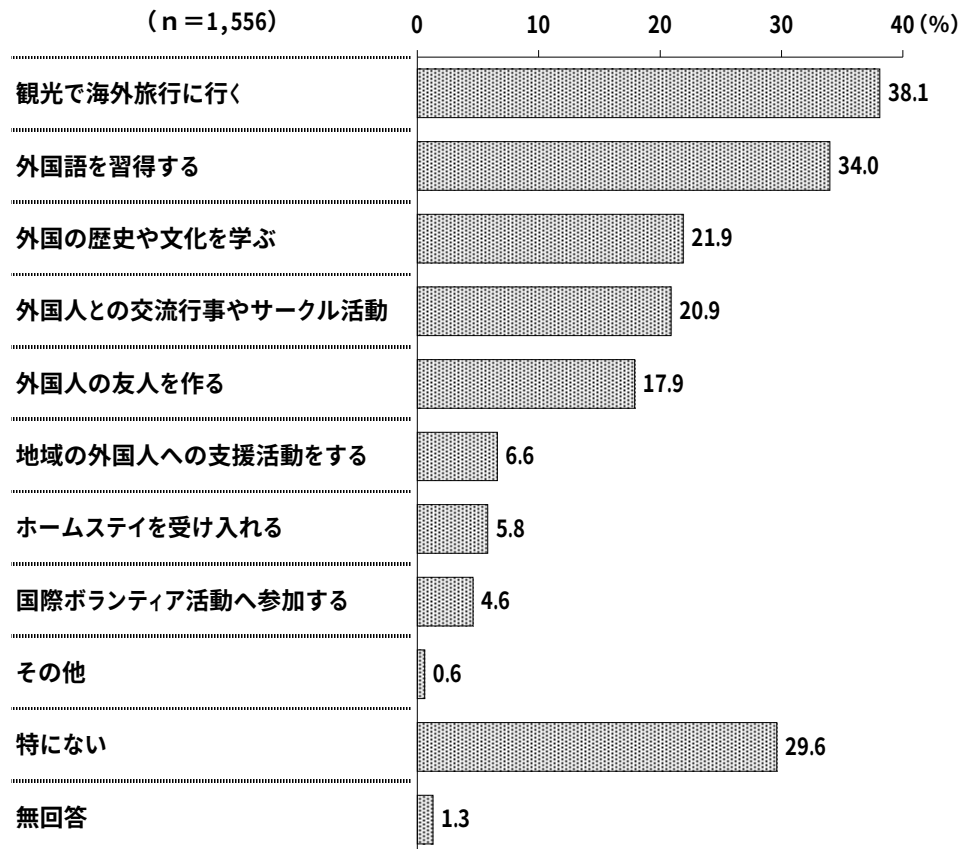
3. 教育・文化・スポーツ

(1) してみたい国際交流活動

◇「観光で海外旅行に行く」が38.1%

問13 あなたは、どんな国際交流をしてみたいと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。（○は3つ以内）

図表3-1-1



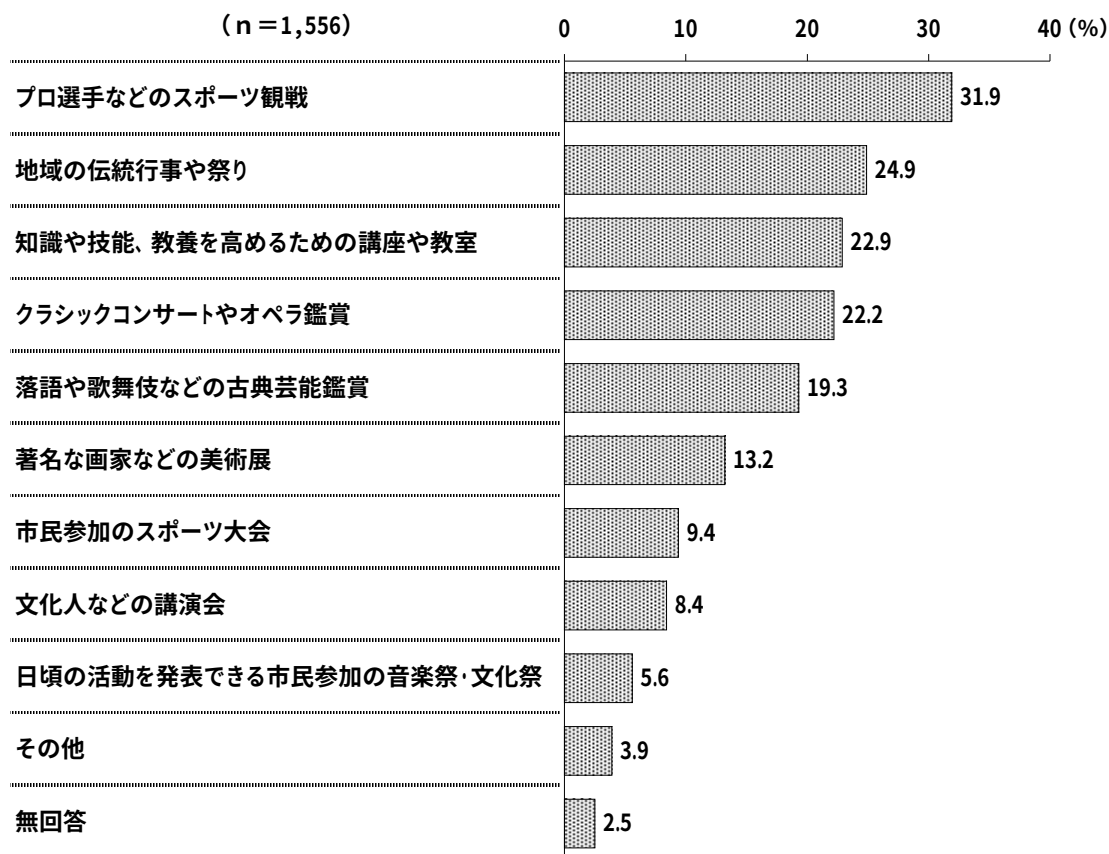
してみたい国際交流活動をたずねたところ、「観光で海外旅行に行く」（38.1%）が4割近くで最も多くなっている。以下、「外国語を習得する」（34.0%）、「外国の歴史や文化を学ぶ」（21.9%）、「外国人との交流行事やサークル活動」（20.9%）などの順となっている。（図表3-1-1）

(2) 興味のある文化・スポーツイベント

◇「プロ選手などのスポーツ観戦」が31.9%

問14 あなたは、どのような文化・スポーツイベントに興味がありますか。次の中から2つ以内で選んでください。（○は2つ以内）

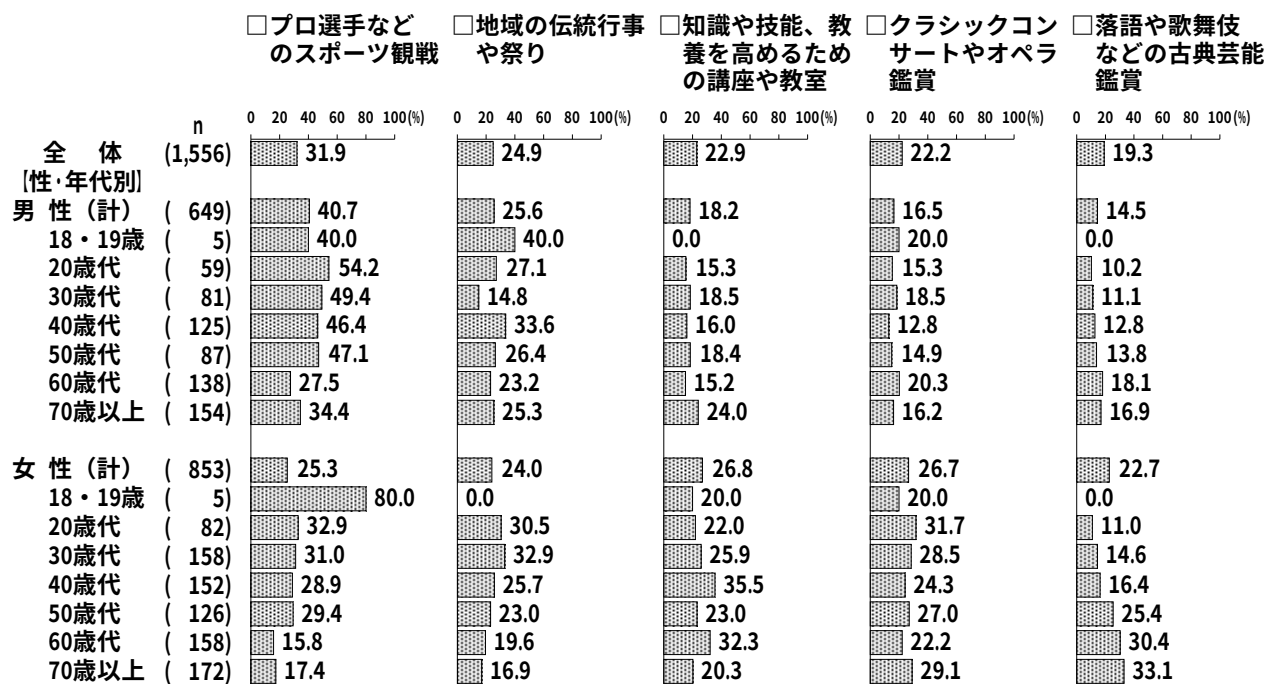
図表3-2-1



興味のある文化・スポーツイベントをたずねたところ、「プロ選手などのスポーツ観戦」(31.9%)が3割を超えて最も多くなっている。以下、「地域の伝統行事や祭り」(24.9%)、「知識や技能、教養を高めるための講座や教室」(22.9%)、「クラシックコンサートやオペラ鑑賞」(22.2%)などの順となっている。(図表3-2-1)

上位5項目を性・年代別にみると、「プロ選手などのスポーツ観戦」は男性20歳代で5割半ば、男性の30歳代から50歳代で4割台と多くなっている。「地域の伝統行事や祭り」は男性40歳代と女性の20歳代、30歳代で3割台と多くなっている。「知識や技能、教養を高めるための講座や教室」は女性の40歳代と60歳代で3割台と多くなっている。（図表3-2-2）

図表3-2-2 性・年代別（上位5項目）－興味のある文化・スポーツイベント

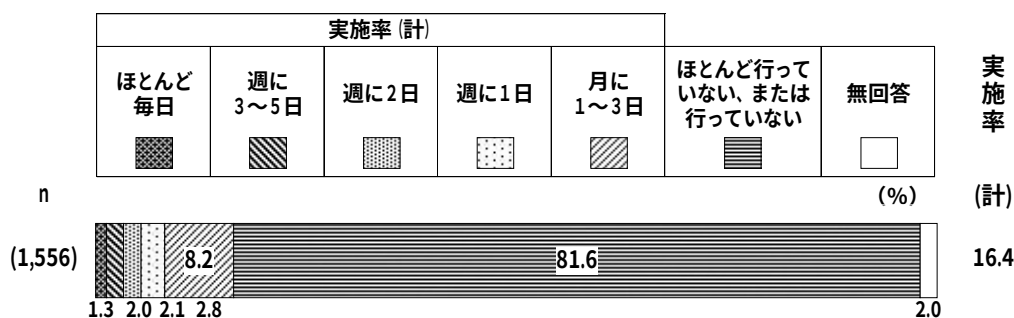


(3) 文化活動の頻度

◇『実施率（計）』は16.4%

問15① あなたは、文化活動をどの程度行っていますか。次の中から1つ選んでください。
(○は1つ)

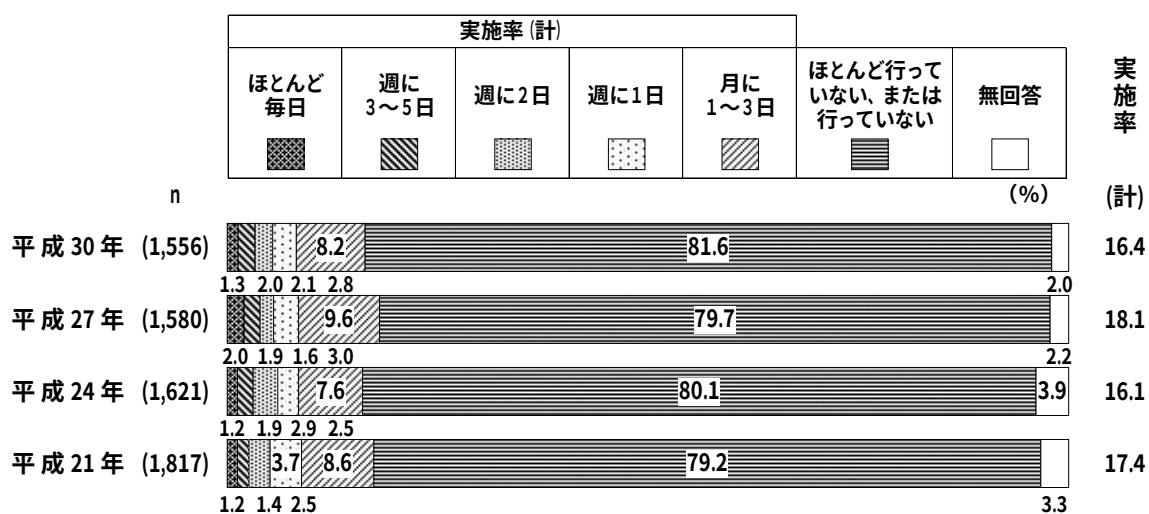
図表3-3-1



文化活動の頻度をたずねたところ、「ほとんど毎日」（1.3%）、「週に3～5日」（2.0%）、「週に2日」（2.1%）、「週に1日」（2.8%）、「月に1～3日」（8.2%）を合わせた『実施率（計）』（16.4%）は1割半ばとなっている。一方、「ほとんど行っていない、または行っていない」（81.6%）は8割を超えている。（図表3-3-1）

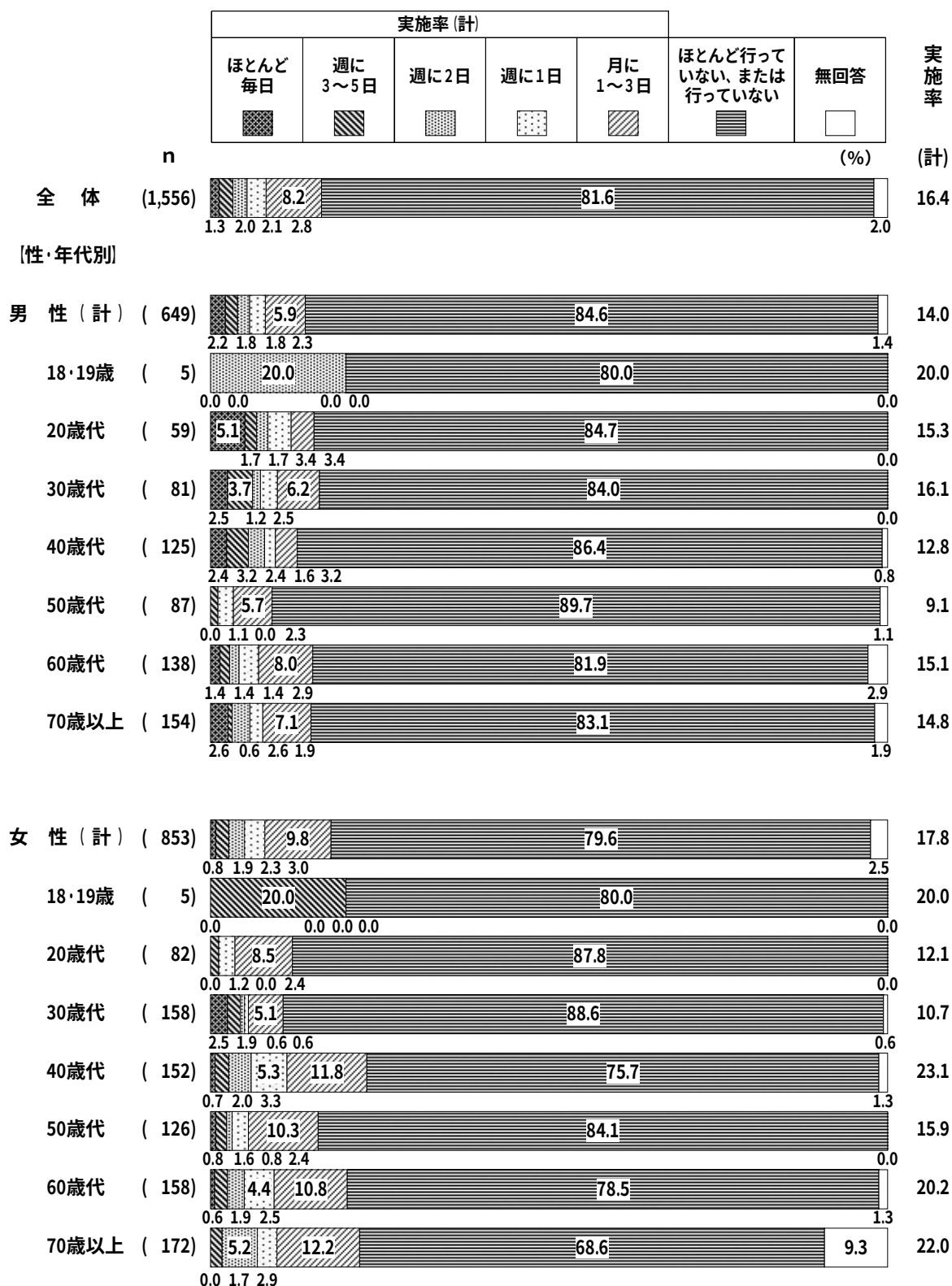
時系列でみると、前回調査と比べて大きな傾向の違いはみられない。（図表3-3-2）

図表3-3-2 時系列－文化活動の頻度



性・年代別にみると、『実施率（計）』は女性の40歳代、60歳代、70歳以上で2割台と多くなっている。一方、「ほとんど行っていない、または行っていない」は男性50歳代で9割と多くなっている。（図表3-3-3）

図表3-3-3 性・年代別－文化活動の頻度



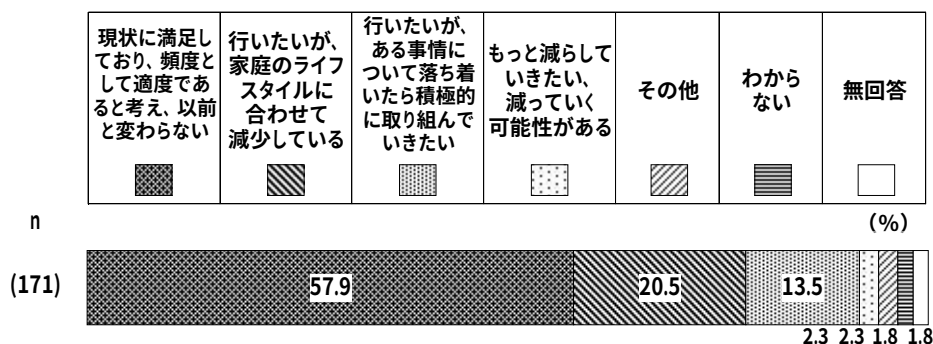
(4) 文化活動への取組

◇「現状に満足しており、頻度として適度であると考え、以前と変わらない」が57.9%

★問15①で「週に1日」「月に1～3日」と答えた方におたずねします。

問15② 現状に対する考え方を教えてください。(○は1つ)

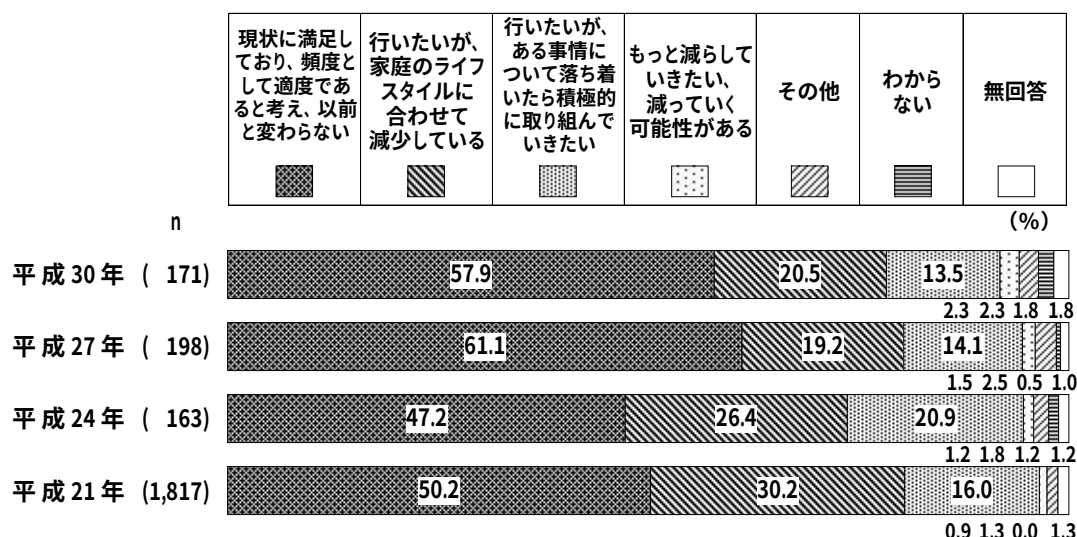
図表3-4-1



問15①で「週に1日」「月に1～3日」文化活動を行っていると答えた人(171人)に、文化活動への取組をたずねたところ、「現状に満足しており、頻度として適度であると考え、以前と変わらない」(57.9%)が6割近くで最も多くなっている。以下、「行いたい、家庭のライフスタイルに合わせて減少している」(20.5%)、「行いたい、ある事情について落ち着いたら積極的に取り組んでいきたい」(13.5%)などの順となっている。(図表3-4-1)

時系列でみると、「現状に満足しており、頻度として適度であると考え、以前と変わらない」は前回調査より3.2ポイント減少している。(図表3-4-2)

図表3-4-2 時系列－文化活動への取組

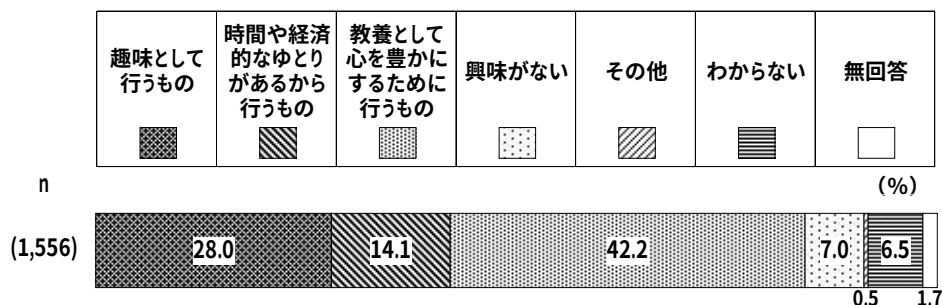


(5) 文化に対する考え方

◇「教養として心を豊かにするために行うもの」が42.2%

問16 文化に対するあなたの考え方を教えてください。(○は1つ)

図表3-5-1

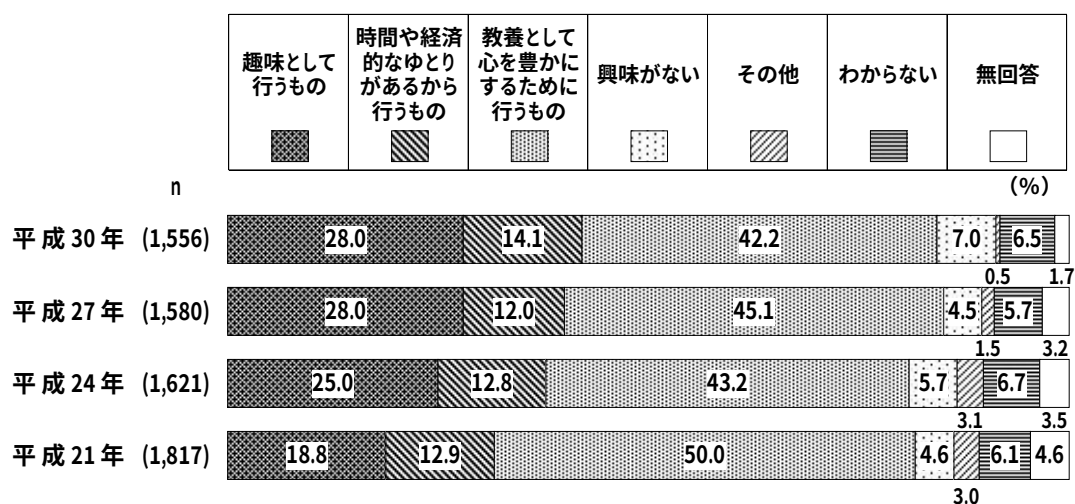


文化に対する考え方をたずねたところ、「教養として心を豊かにするために行うもの」(42.2%)が4割を超えて最も多くなっている。以下、「趣味として行うもの」(28.0%)、「時間や経済的なゆとりがあるから行うもの」(14.1%)、「興味がない」(7.0%)などの順となっている。

(図表3-5-1)

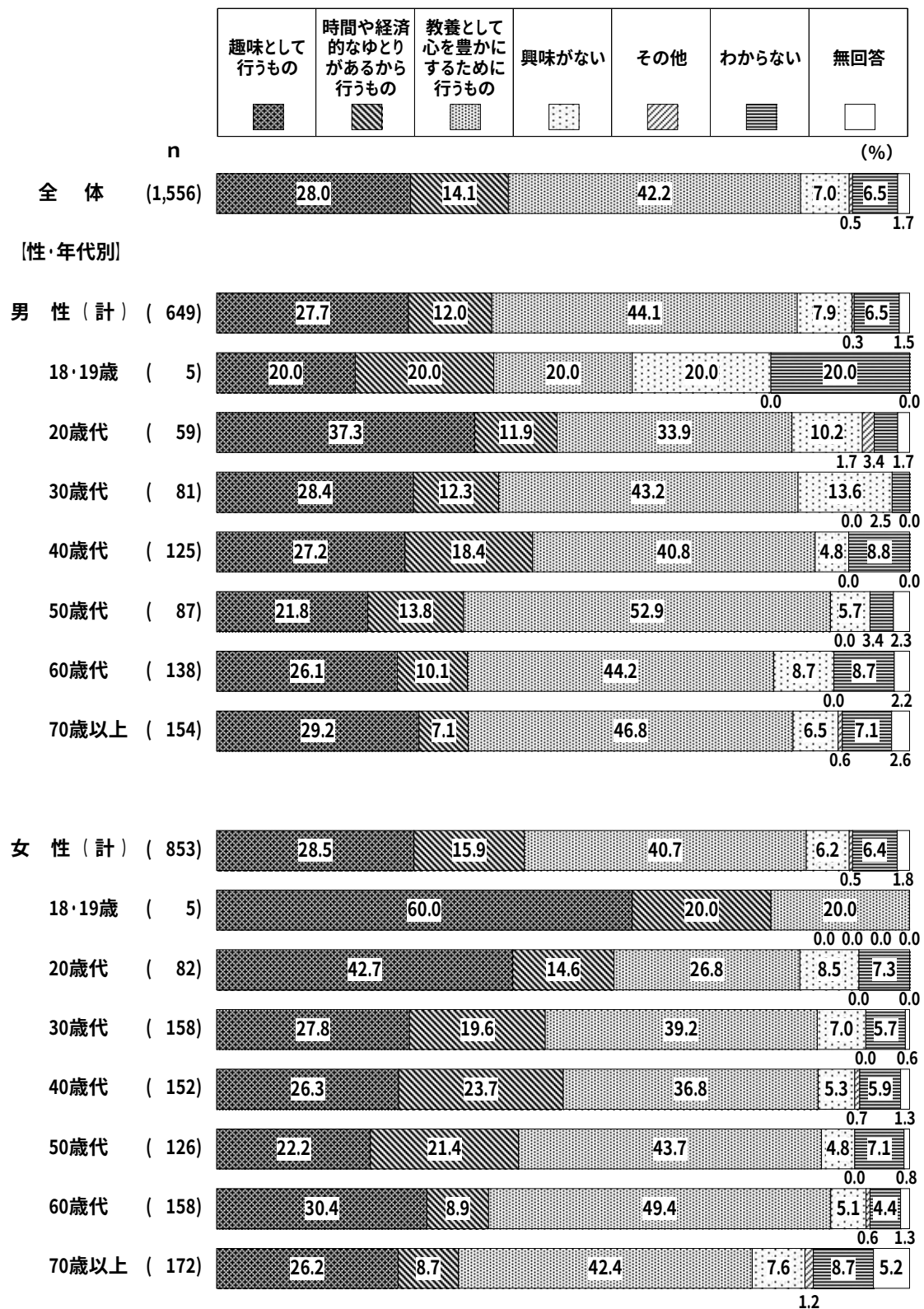
時系列でみると、前回調査と比べて大きな傾向の違いはみられない。(図表3-5-2)

図表3-5-2 時系列－文化に対する考え方



性・年代別にみると、「趣味として行うもの」は女性20歳代で4割を超え、男性20歳代で4割近くと多くなっている。「時間や経済的なゆとりがあるから行うもの」は女性の40歳代と50歳代で2割を超えて多くなっている。「教養として心を豊かにするためにを行うもの」は男性50歳代で5割を超えて多くなっている。（図表3-5-3）

図表3-5-3 性・年代別－文化に対する考え方

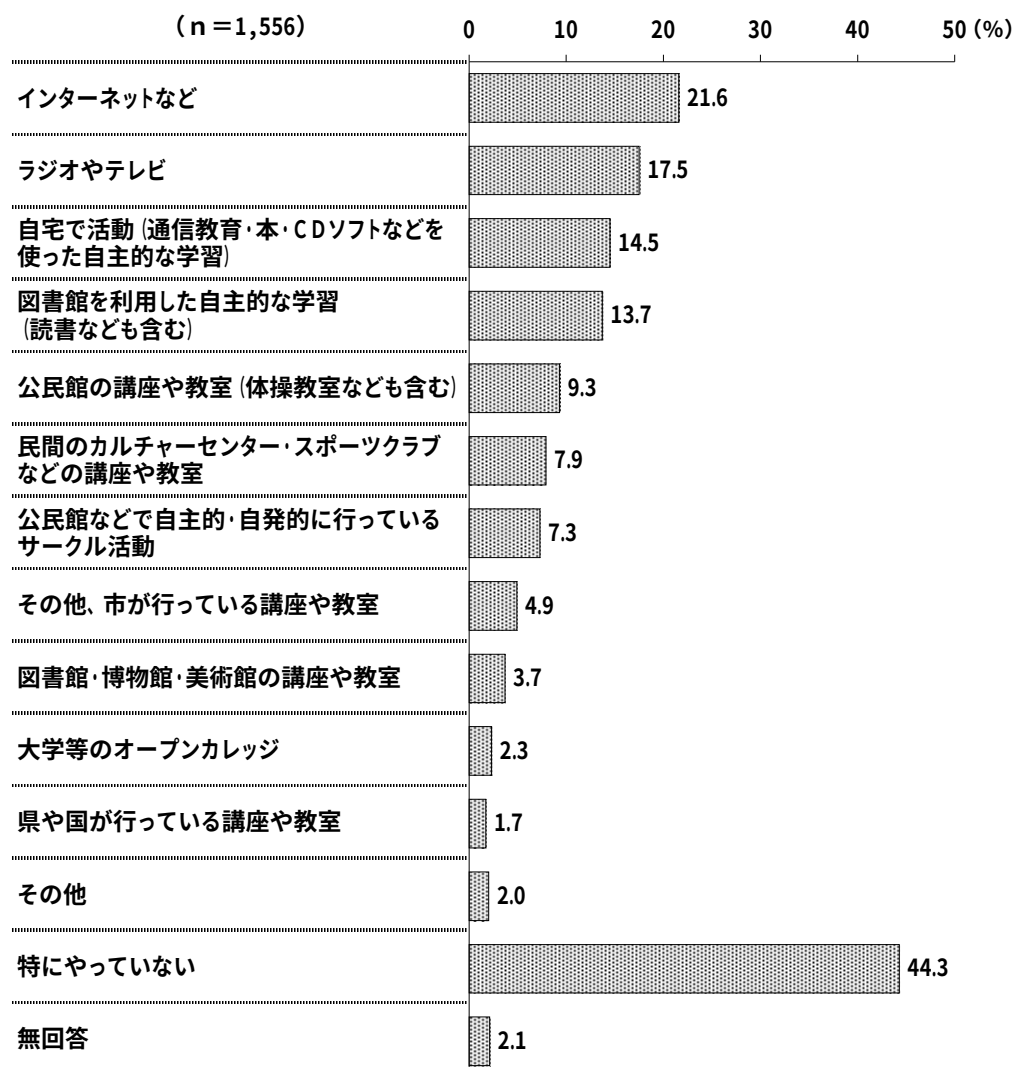


(6) 生涯学習活動の取組状況

◇「インターネットなど」が21.6%

問17① あなたは、日ごろ次のような生涯学習をおこなっていますか。(○はいくつでも)

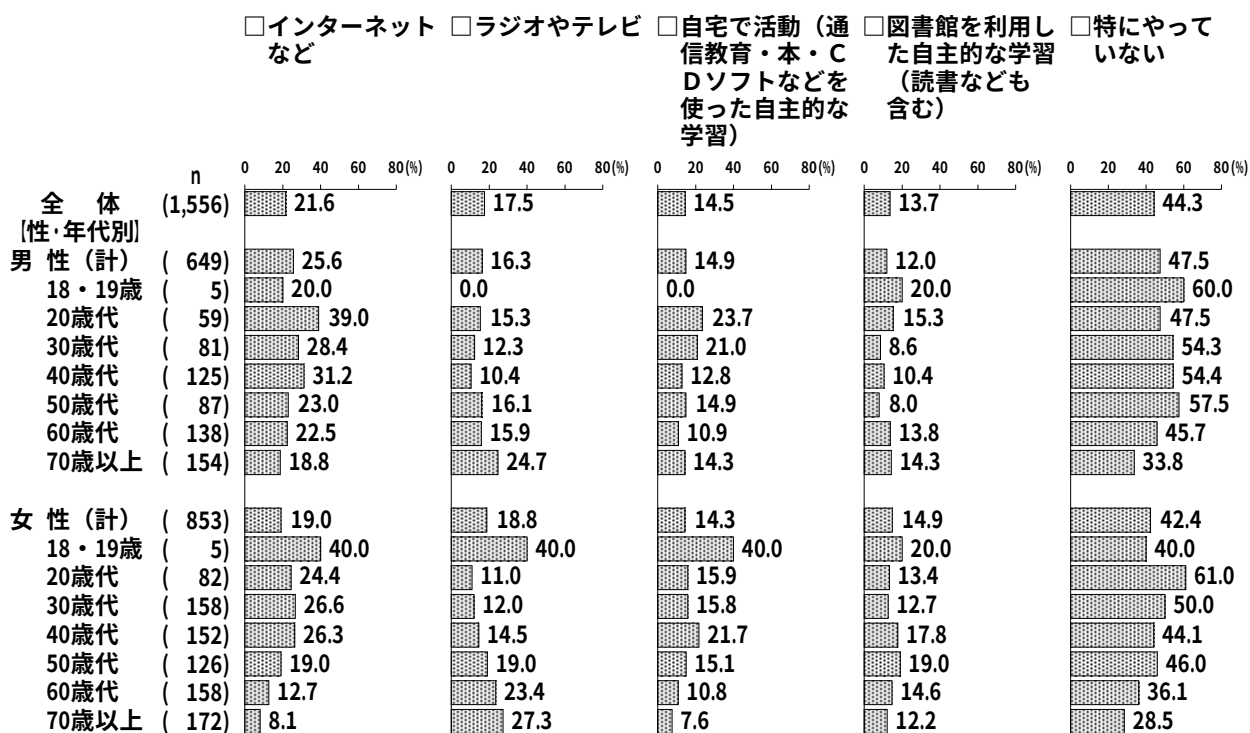
図表3-6-1



生涯学習活動の取組状況をたずねたところ、「インターネットなど」(21.6%)が2割を超えて最も多くなっている。以下、「ラジオやテレビ」(17.5%)、「自宅で活動(通信教育・本・CDソフトなどを使った自主的な学習)」(14.5%)、「図書館を利用した自主的な学習(読書なども含む)」(13.7%)などの順となっている。一方、「特にやっていない」(44.3%)は4割半ばとなっている。(図表3-6-1)

上位5項目を性・年代別にみると、「インターネットなど」は男性20歳代で約4割、男性40歳代で3割を超えて多くなっている。「ラジオやテレビ」は女性の60歳代と70歳以上、男性70歳以上で2割台と多くなっている。「自宅で活動（通信教育・本・CDソフトなどを使った自主的な学習）」は男性の20歳代と30歳代、女性40歳代で2割台と多くなっている。（図表3-6-2）

図表3-6-2 性・年代別（上位5項目）－生涯学習活動の取組状況



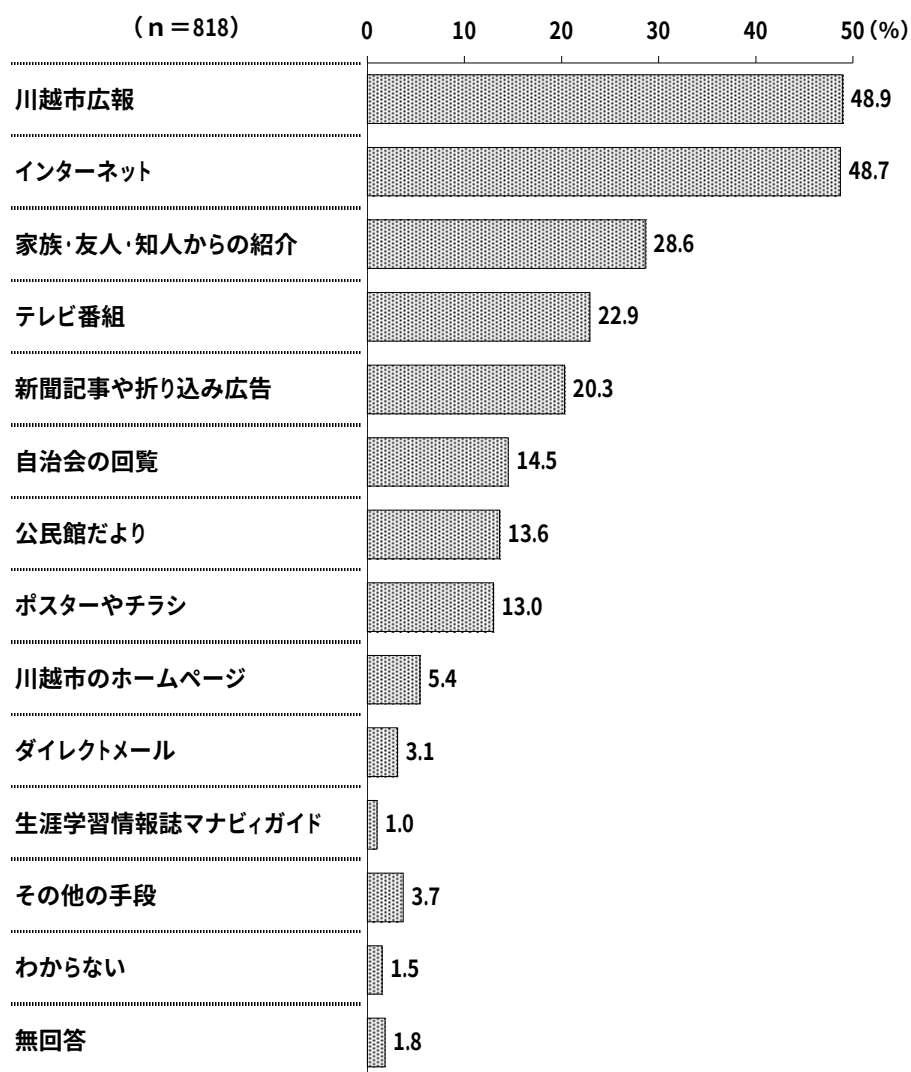
(7) 生涯学習情報の取得方法

◇「川越市広報」が48.9%、「インターネット」が48.7%

★問17①でいずれかの「生涯学習をおこなっている」と答えた方におたずねします。

問17② あなたは、生涯学習に関する情報をどのように得ていますか。次の中からあてはまるものすべてをお選びください。（○はいくつでも）

図表3-7-1



問17①で「生涯学習をおこなっている」と答えた人（818人）に、生涯学習情報の取得方法をたずねたところ、「川越市広報」（48.9%）と「インターネット」（48.7%）が5割近くで多くなっている。以下、「家族・友人・知人からの紹介」（28.6%）、「テレビ番組」（22.9%）、「新聞記事や折り込み広告」（20.3%）などの順となっている。（図表3-7-1）

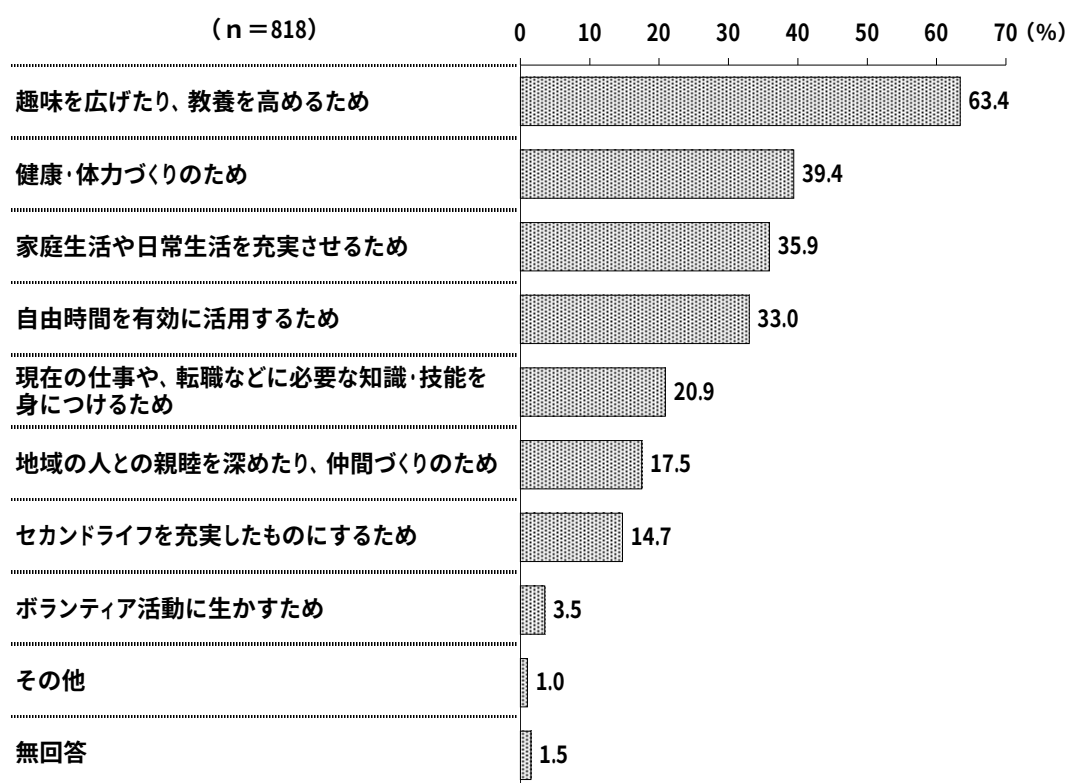
(8) 生涯学習を行う目的

◇「趣味を広げたり、教養を高めるため」が63.4%

★問17①でいずれかの「生涯学習をおこなっている」と答えた方におたずねします。

問17③ あなたの生涯学習を行う主な目的は何ですか。次の中からあてはまるものすべてをお選びください。（○はいくつでも）

図表3-8-1

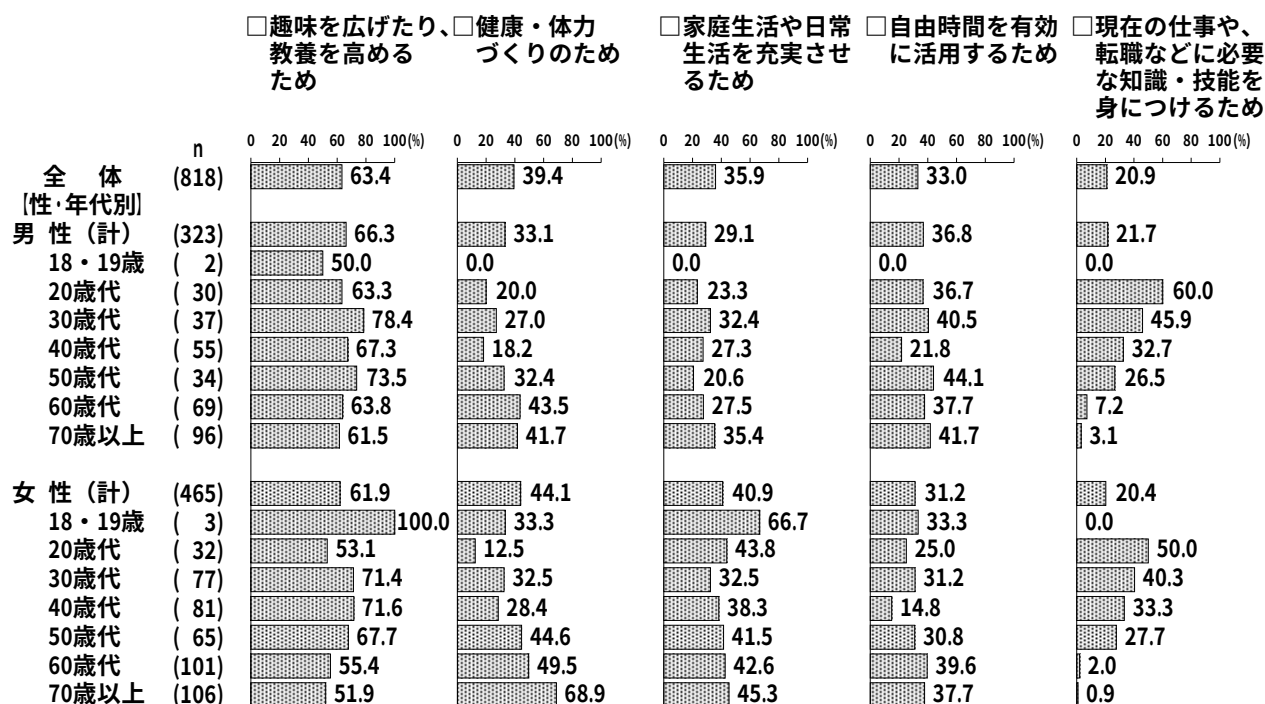


問17①で「生涯学習をおこなっている」と答えた人（818人）に、生涯学習を行う主な目的をたずねたところ、「趣味を広げたり、教養を高めるため」（63.4%）が6割を超えて最も多くなっている。以下、「健康・体力づくりのため」（39.4%）、「家庭生活や日常生活を充実させるため」（35.9%）、「自由時間を有効に活用するため」（33.0%）などの順となっている。

（図表3-8-1）

上位5項目を性・年代別にみると、「趣味を広げたり、教養を高めるため」は男性の30歳代と50歳代、女性の30歳代と40歳代で7割台と多くなっている。「健康・体力づくりのため」は女性70歳以上で7割近くと多くなっている。「現在の仕事や、転職などに必要な知識・技能を身につけるため」は男女ともに年代が低くなるにつれて多く、男性20歳代で6割、女性20歳代で5割となっている。（図表3-8-2）

図表3-8-2 性・年代別（上位5項目）－生涯学習を行う目的

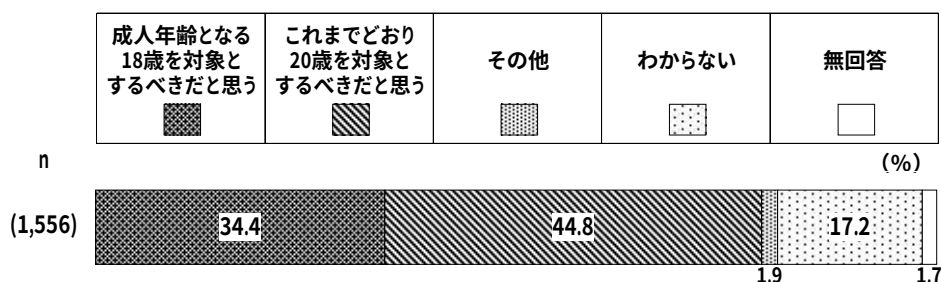


(9) 今後の成人式の対象年齢

◇「これまでどおり20歳を対象とすべきだと思う」が44.8%

問18① 川越市では、毎年の成人の日の前日に、ウェスタ川越で成人式を実施しています。民法が改正され、2022年に成人年齢が18歳に引き下げられますが、今後どのように成人式を実施していくべきだと思いますか。(○は1つ)

図表3-9-1



今後の成人式の対象年齢をたずねたところ、「成人年齢となる18歳を対象とすべきだと思う」(34.4%)は3割半ば、「これまでどおり20歳を対象とすべきだと思う」(44.8%)が4割半ばとなっている。(図表3-9-1)

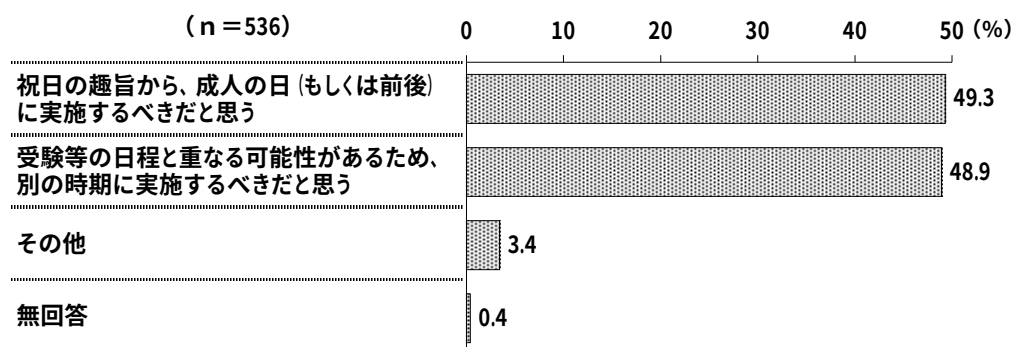
(10) 18歳を対象とする成人式の実施時期

◇「祝日の趣旨から、成人の日(もしくは前後)に実施するべきだと思う」が49.3%

★問18①で「成人年齢となる18歳を対象とすべきだと思う」と答えた方におたずねします。

問18② 18歳を対象とする成人式は、いつ行うのがいいと思いますか。(○はいくつでも)

図表3-10-1



問18①で「成人年齢となる18歳を対象とすべきだと思う」と答えた人(536人)に、18歳を対象とする成人式は、いつ行うのがいいと思うかたずねたところ、「祝日の趣旨から、成人の日(もしくは前後)に実施するべきだと思う」(49.3%)が約5割、「受験等の日程と重なる可能性があるため、別の時期に実施するべきだと思う」(48.9%)は5割近くとなっている。(図表3-10-1)

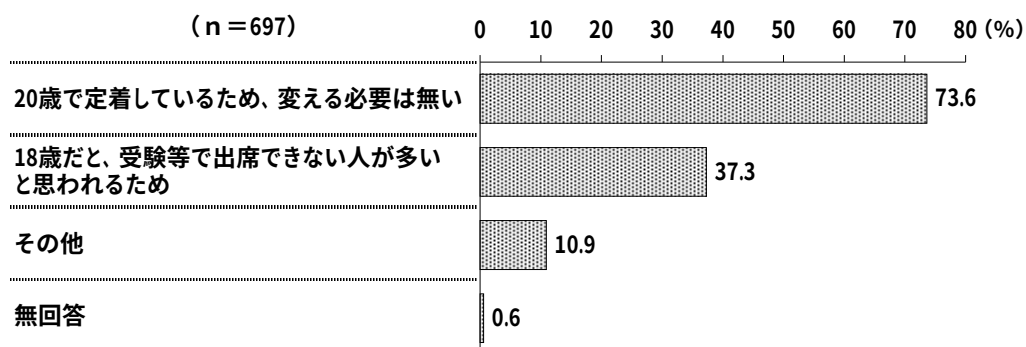
(11) 20歳を対象とするべきだと思う理由

◇「20歳で定着しているため、変える必要は無い」が73.6%

★問18①で「これまでどおり20歳を対象とするべきだと思う」と答えた方におたずねします。

問18③ 20歳を対象とするべきだと思う理由を教えてください。(○はいくつでも)

図表 3-11-1



問18①で「これまでどおり20歳を対象とするべきだと思う」と答えた人(697人)に、20歳を対象とするべきだと思う理由をたずねたところ、「20歳で定着しているため、変える必要は無い」(73.6%)が7割を超え、「18歳だと、受験等で出席できない人が多いと思われるため」(37.3%)は4割近くとなっている。(図表 3-11-1)

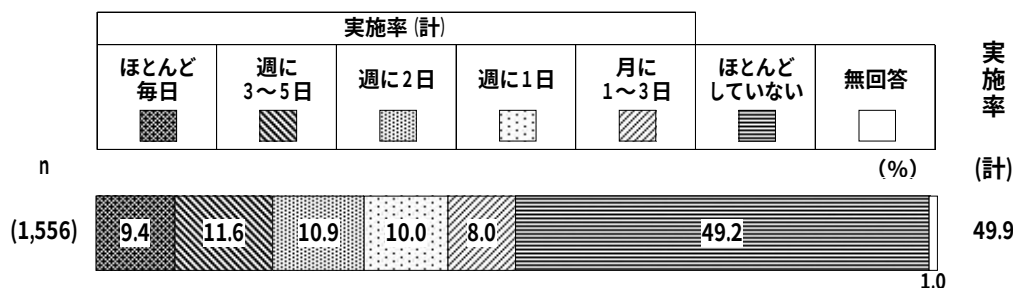
(12) スポーツ・運動の実施頻度

◇『実施率（計）』は49.9%

問19 あなたは、スポーツや運動をどの程度していますか。

① 頻度はどの程度ですか。（○は1つ）

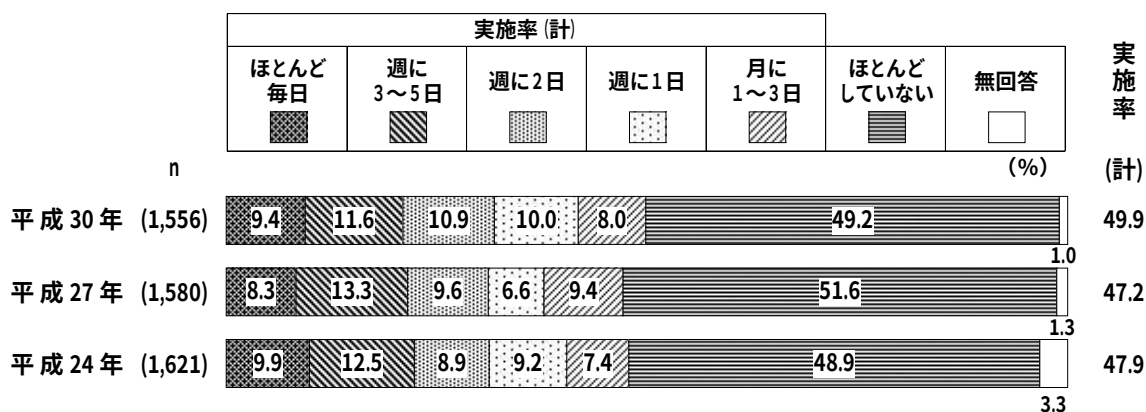
図表 3-12-1



スポーツ・運動の実施頻度をたずねたところ、「ほとんど毎日」（9.4%）、「週に3～5日」（11.6%）、「週に2日」（10.9%）、「週に1日」（10.0%）、「月に1～3日」（8.0%）を合わせた『実施率（計）』（49.9%）は5割となっている。一方、「ほとんどしていない」（49.2%）は約5割となっている。（図表 3-12-1）

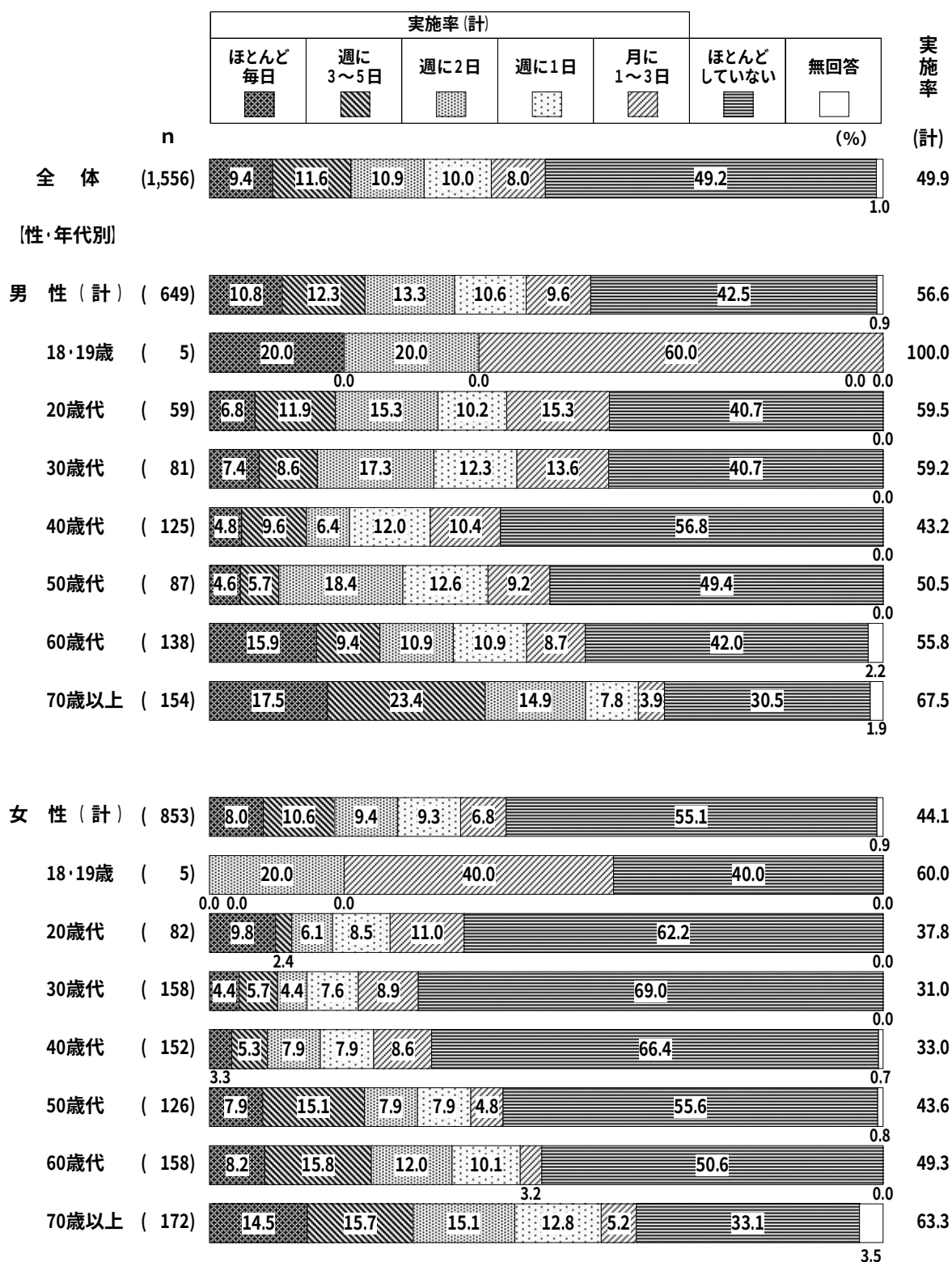
時系列でみると、「週に1日」は前回調査より3.4ポイント増加している。（図表 3-12-2）

図表 3-12-2 時系列－スポーツ・運動の実施頻度



性・年代別にみると、『実施率（計）』は男女ともに70歳以上で6割台と多くなっている。一方、「ほとんどしていない」は女性の20歳代から40歳代で6割台と多くなっている。（図表3-12-3）

図表3-12-3 性・年代別スポーツ・運動の実施頻度



(13) スポーツ・運動 1 回あたりの時間／初めてからの期間／スポーツ・運動の実施場所

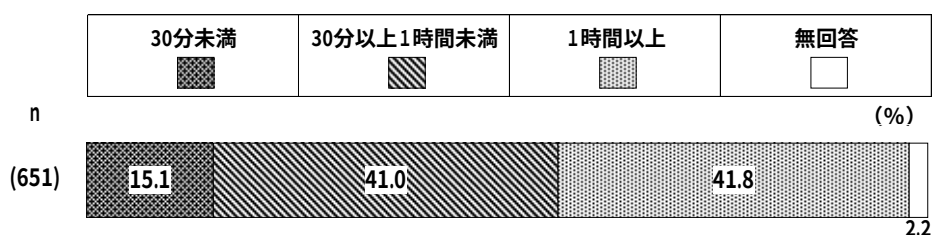
1. 1 回あたりの時間

◇「1 時間以上」が 41.8%

★問19①で「ほとんど毎日」「週に 3～5 日」「週に 2 日」「週に 1 日」と答えた方におたずねします。

問19② 1 回の時間はどの程度ですか。(○は 1 つ)

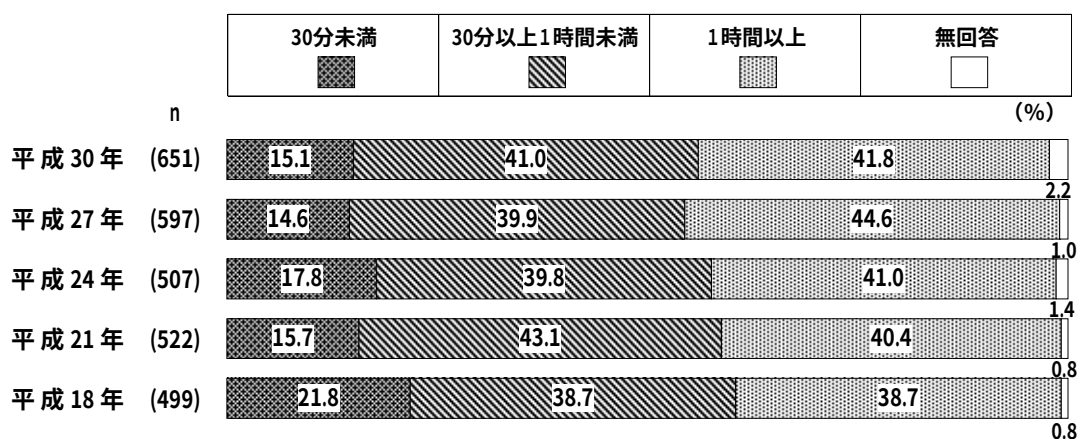
図表 3 -13- 1



問19①で「週に 1 日」以上スポーツ・運動をしていると答えた人（651人）に、1 回あたりの時間をたずねたところ、「1 時間以上」（41.8%）と「30分以上 1 時間未満」（41.0%）が 4 割を超えている。「30分未満」（15.1%）は 1 割半ばとなっている。（図表 3 -13- 1）

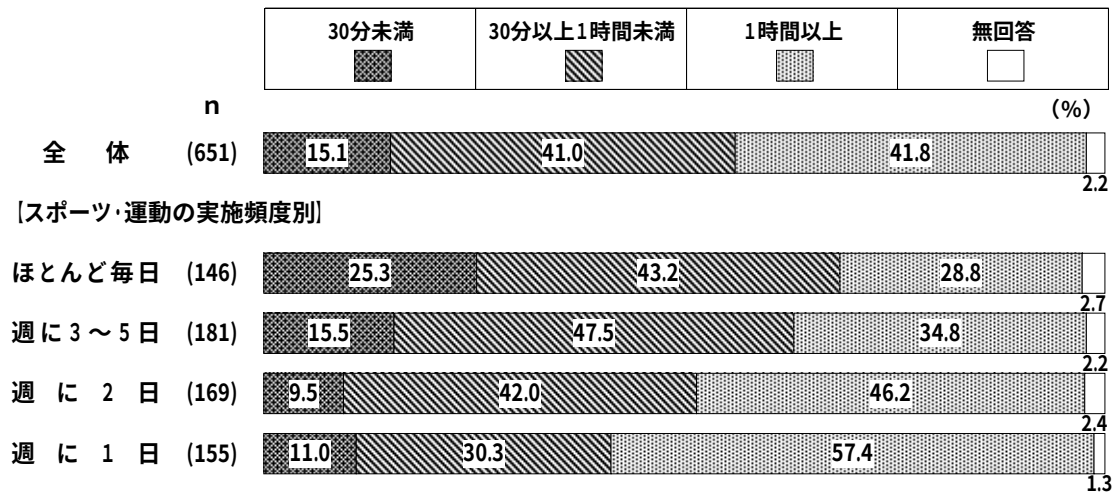
時系列でみると、前回調査と比べて大きな傾向の違いはみられない。（図表 3 -13- 2）

図表 3 -13- 2 時系列－ 1 回あたりの時間



スポーツ・運動の実施頻度（問19①・90ページ参照）別にみると、スポーツ・運動の実施頻度が高くなるほど、1回あたりの時間が短い人の割合が多くなる傾向がみられる。（図表3-13-3）

図表3-13-3 スポーツ・運動の実施頻度別－1回あたりの時間



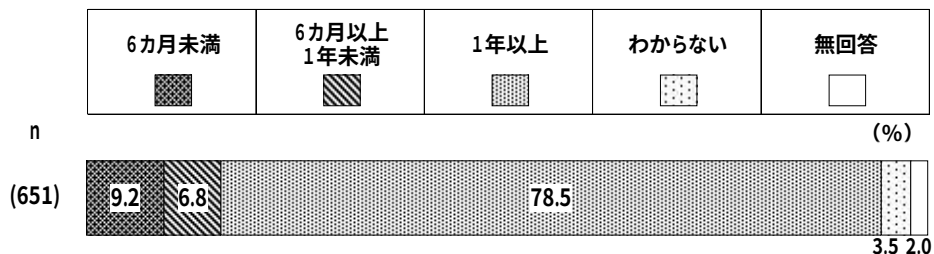
2. 初めてからの期間

◇「1年以上」が78.5%

★問19①で「ほとんど毎日」「週に3～5日」「週に2日」「週に1日」と答えた方におたずねします。

問19③ スポーツや運動を初めてからどの程度期間が経過していますか。（○は1つ）

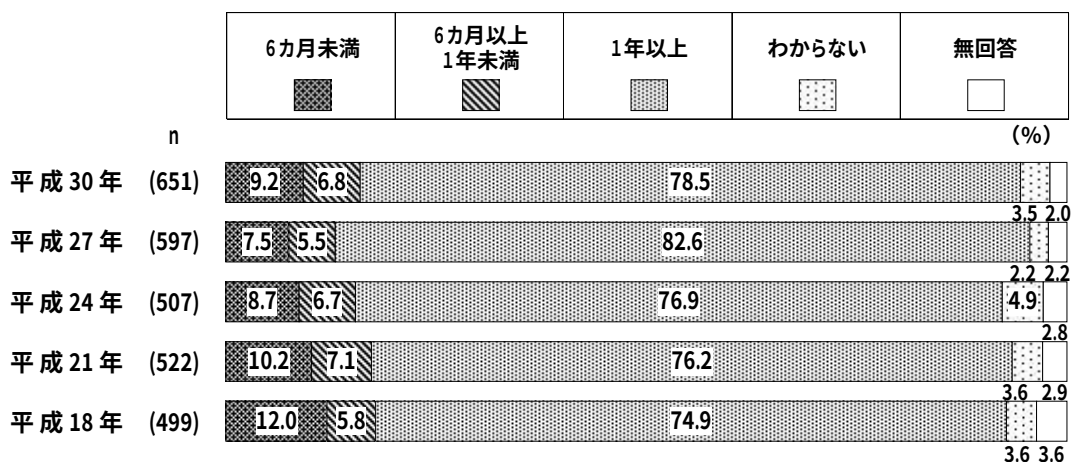
図表3-13-4



問19①で「週に1日」以上スポーツ・運動をしていると答えた人（651人）に、初めてからの期間をたずねたところ、「1年以上」（78.5%）が8割近くで最も多くなっている。以下、「6カ月未満」（9.2%）、「6カ月以上1年未満」（6.8%）などの順となっている。（図表3-13-4）

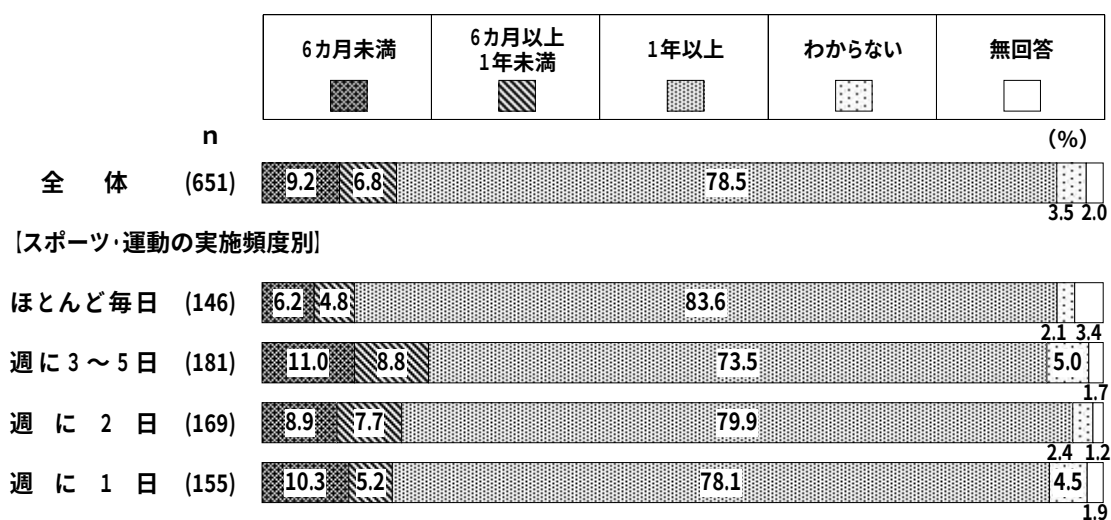
時系列でみると、「1年以上」は前回調査より4.1ポイント減少している。（図表3-13-5）

図表3-13-5 時系列－初めてからの期間



スポーツ・運動の実施頻度（問19①・90ページ参照）別にみると、「1年以上」は“ほとんど毎日”実施している人で8割を超えて多くなっている。（図表3-13-6）

図表3-13-6 スポーツ・運動の実施頻度別—初めてからの期間

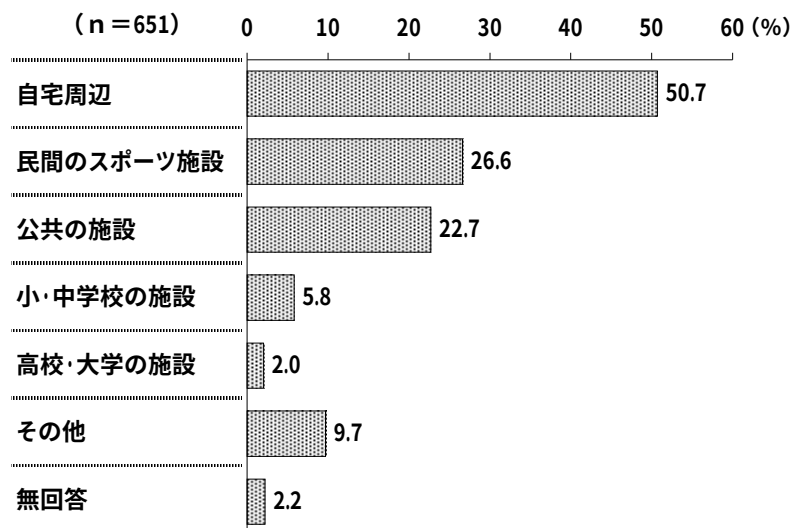


3. スポーツ・運動の実施場所

◇「自宅周辺」が50.7%

★問19①で「ほとんど毎日」「週に3～5日」「週に2日」「週に1日」と答えた方におたずねします。
問19④ あなたは、スポーツや運動をどこで行なっていますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。（○はいくつでも）

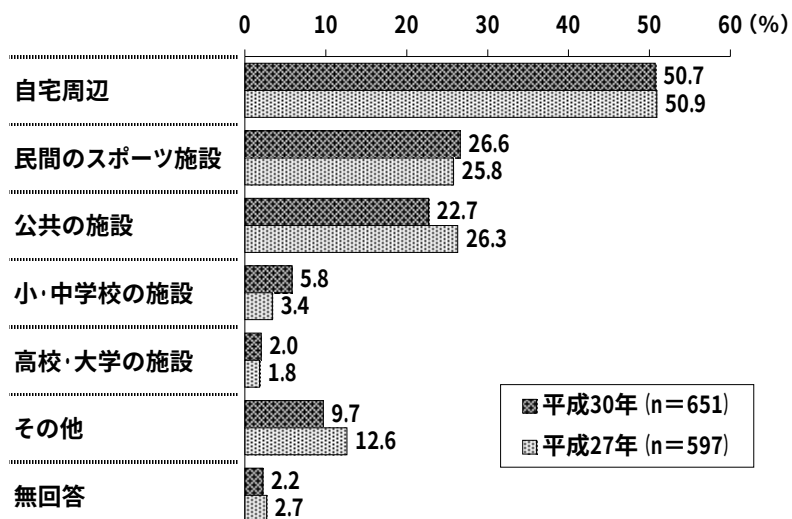
図表 3 -13- 7



問19①で「週に1日」以上スポーツ・運動をしていると答えた人（651人）に、スポーツ・運動の実施場所をたずねたところ、「自宅周辺」（50.7%）が約5割で最も多くなっている。以下、「民間のスポーツ施設」（26.6%）、「公共の施設」（22.7%）、「小・中学校の施設」（5.8%）などの順となっている。（図表 3 -13- 7）

時系列でみると、「公共の施設」は前回調査より3.6ポイント減少している。（図表 3 -13- 8）

図表 3 -13- 8 時系列ースポーツ・運動の実施場所



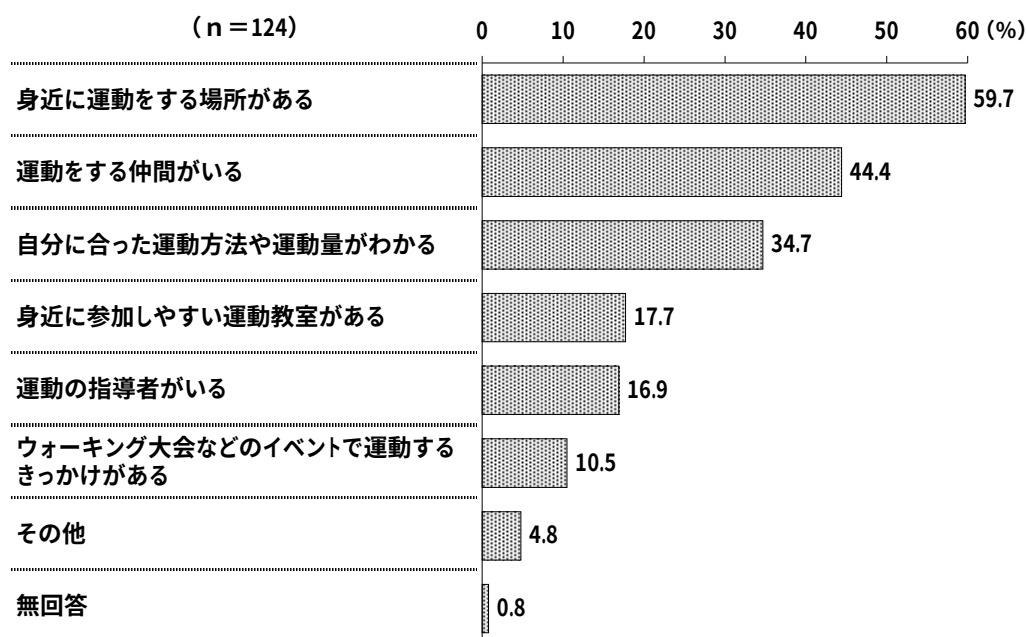
(14) 運動習慣を身に付けるために必要なこと

◇「身近に運動をする場所がある」が59.7%

★問19①で「月に1～3日」と答えた方におたずねします。

問19⑤ 健康を保つための運動習慣を身に付けるために、どのようなことがあるとよいと思いますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。（○はいくつでも）

図表 3-14-1



問19①で「月に1～3日」と答えた人（124人）に、運動習慣を身に付けるために必要なことをたずねたところ、「身近に運動をする場所がある」（59.7%）が6割で最も多くなっている。以下、「運動をする仲間がいる」（44.4%）、「自分に合った運動方法や運動量がわかる」（34.7%）、「身近に参加しやすい運動教室がある」（17.7%）などの順となっている。（図表 3-14-1）

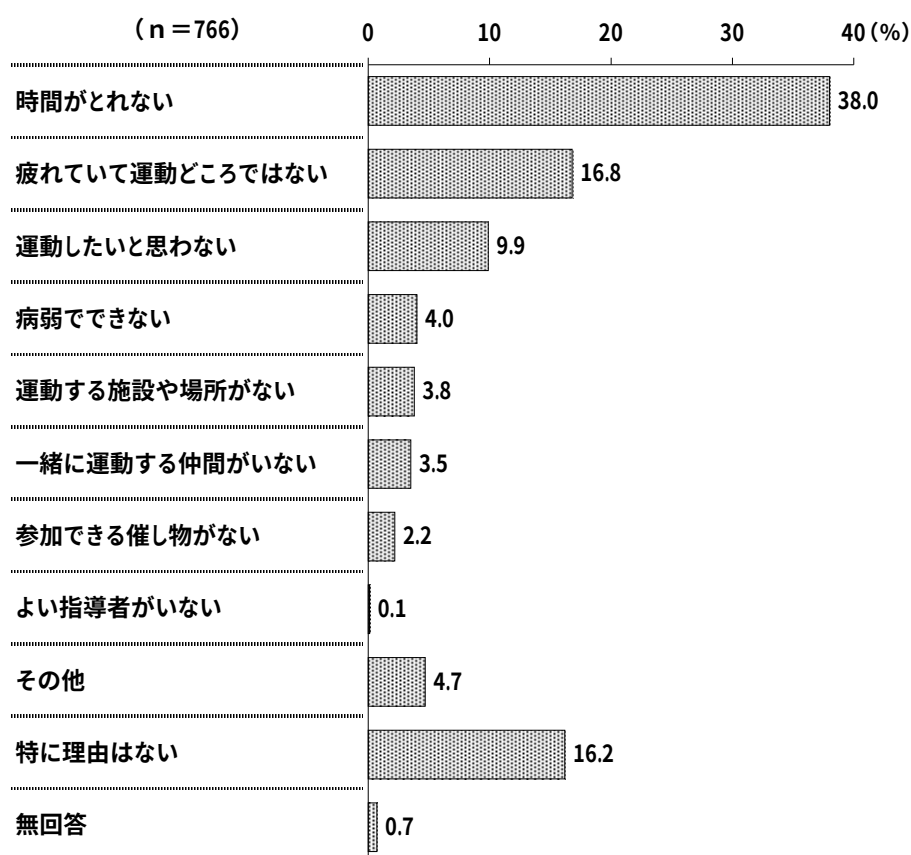
(15) スポーツ・運動をしない理由

◇「時間がとれない」が38.0%

★問19①で「ほとんどしていない」と答えた方におたずねします。

問19⑥ スポーツや運動をほとんどしていない理由は何ですか。次の中から1つだけ選んでください。（○は1つ）

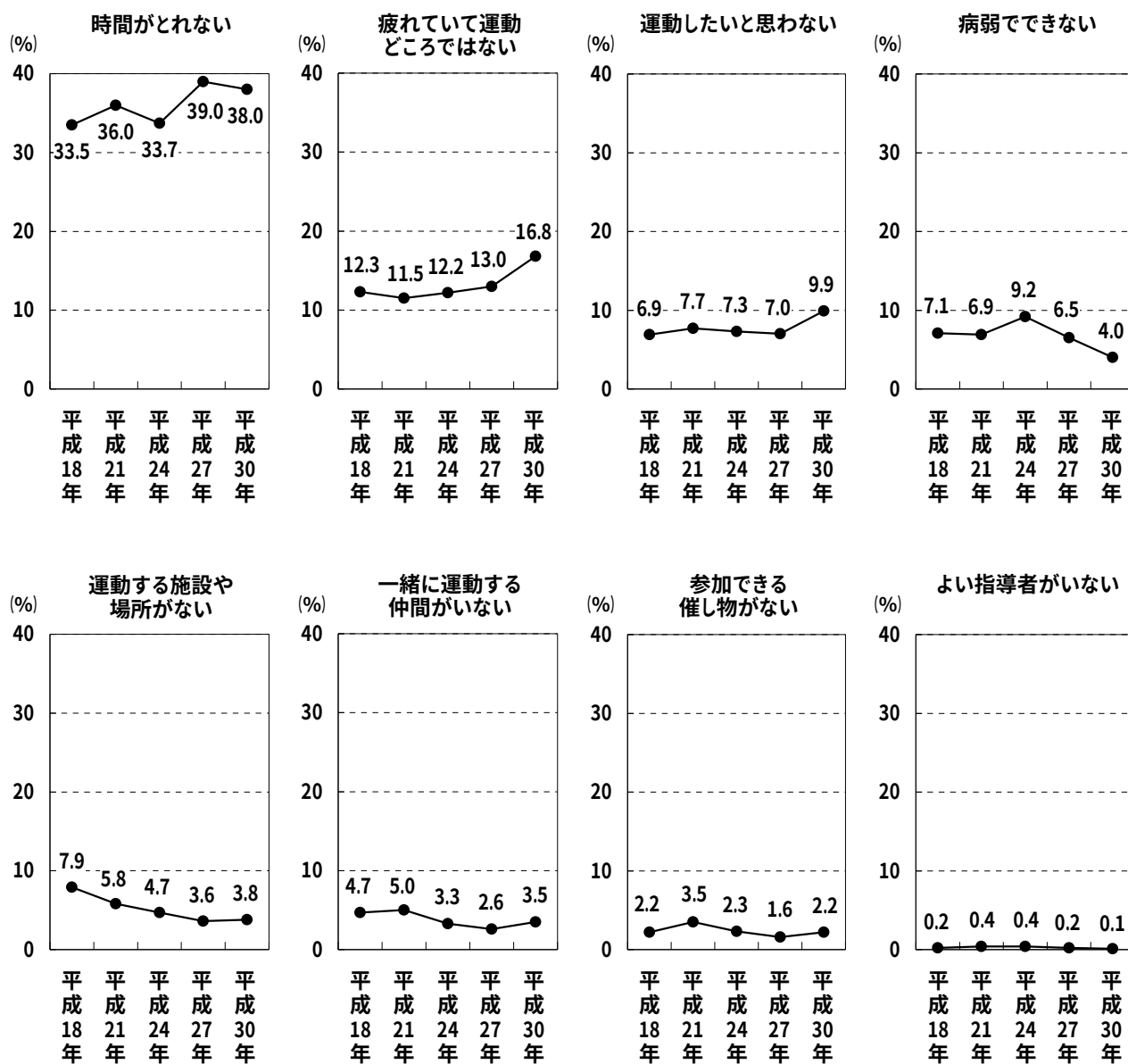
図表 3 -15- 1



問19①で「ほとんどしていない」と答えた人（766人）に、スポーツ・運動をしない理由をたずねたところ、「時間がとれない」（38.0%）が4割近くで最も多くなっている。以下、「疲れていて運動どころではない」（16.8%）、「運動したいと思わない」（9.9%）、「病弱でできない」（4.0%）などの順となっている。また、「特に理由はない」（16.2%）は1割半ばとなっている。（図表 3 -15- 1）

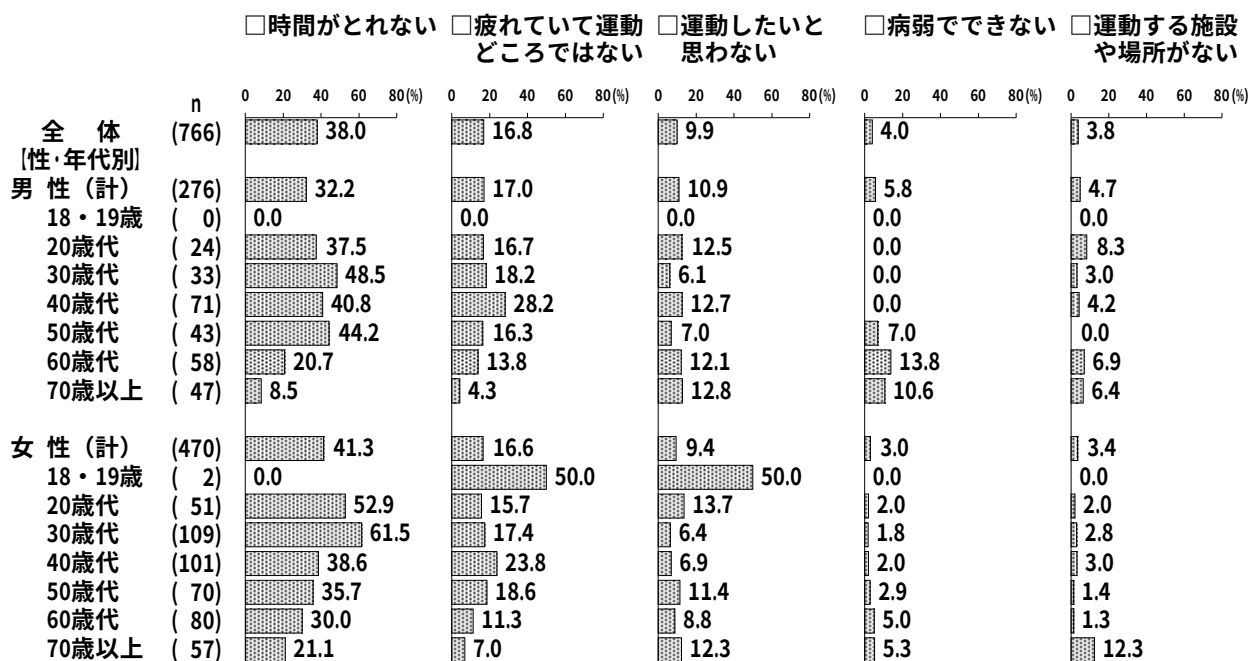
上位8項目を時系列でみると、「疲れていて運動どころではない」は平成21年以降増加傾向となっており、前回調査より3.8ポイント増加している。（図表3-15-2）

図表3-15-2 時系列（「特に理由はない」を除く上位8項目）ースポーツ・運動をしない理由



上位5項目を性・年代別にみると、「時間がとれない」は女性30歳代で6割を超え、女性20歳代で5割を超えて多くなっている。「疲れていて運動どころではない」は男女ともに40歳代で2割台と多くなっている。（図表3-15-3）

図表3-15-3 性・年代別（「特に理由はない」を除く上位5項目）ースポーツ・運動をしない理由

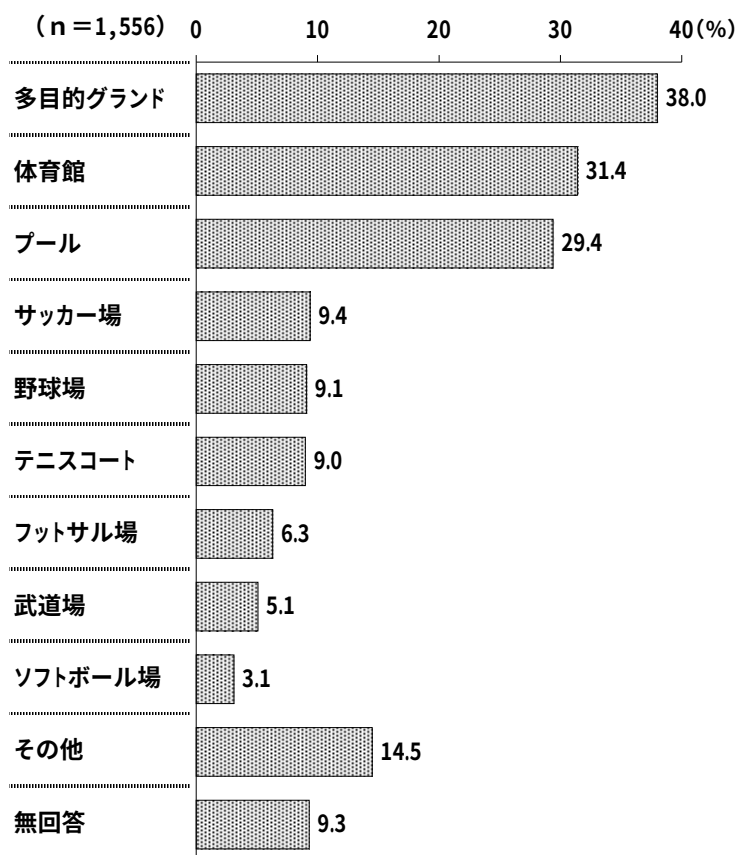


(16) 望まれるスポーツ施設

◇「多目的グラウンド」が38.0%

問20① あなたは、今後、川越市内にどのようなスポーツ施設があると良いと思いますか。
次の中からあてはまるものすべてを選んでください。（○はいくつでも）

図表 3 -16- 1



望まれるスポーツ施設をたずねたところ、「多目的グラウンド」（38.0%）が4割近くで前回の調査に引き続き最も多くなっており、ニーズが多様化していることがうかがえる。以下、「体育館」（31.4%）、「プール」（29.4%）、「サッカー場」（9.4%）などの順となっている。

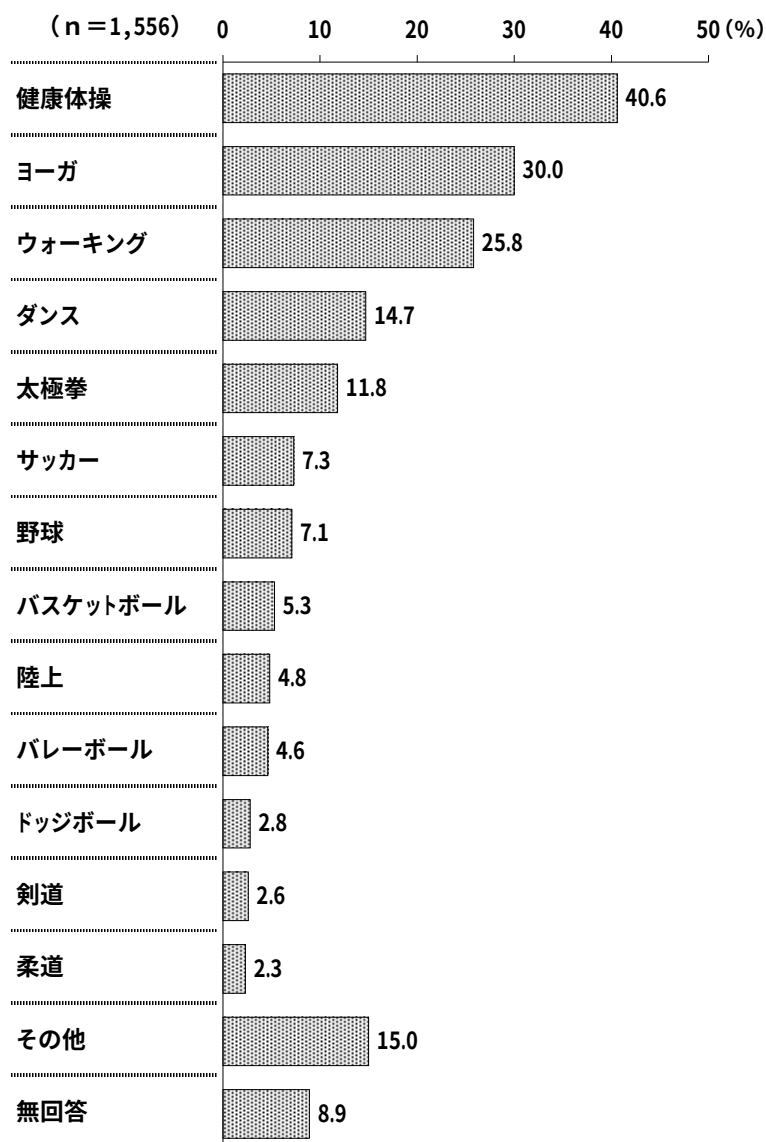
（図表 3 -16- 1）

(17) 望まれるスポーツ教室

◇「健康体操」が40.6%

問20② また、あなたは、川越市にどのようなスポーツ教室の開催を望みますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。（○はいくつでも）

図表3-17-1



望まれるスポーツ教室をたずねたところ、「健康体操」（40.6%）が約4割で最も多くなっている。以下、「ヨーガ」（30.0%）、「ウォーキング」（25.8%）、「ダンス」（14.7%）などの順となっている。（図表3-17-1）

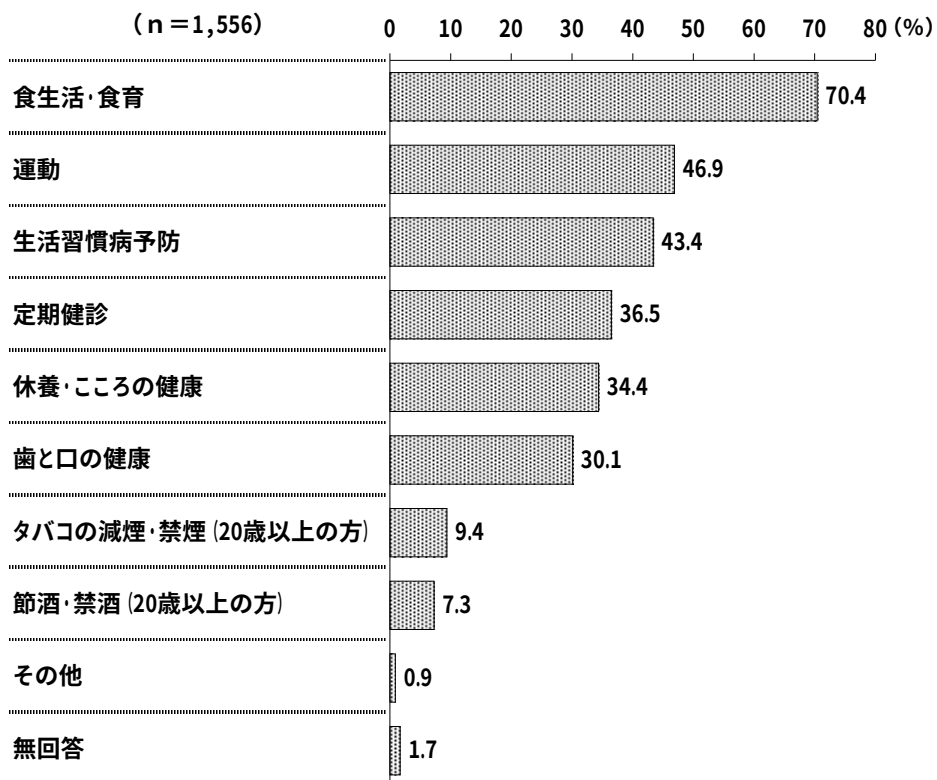
4. 保健・医療・福祉・子ども

(1) 健康づくりで関心のあること

◇「食生活・食育」が70.4%

問21 ふだんの健康づくりで、あなたの関心のあることは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

図表 4 - 1 - 1



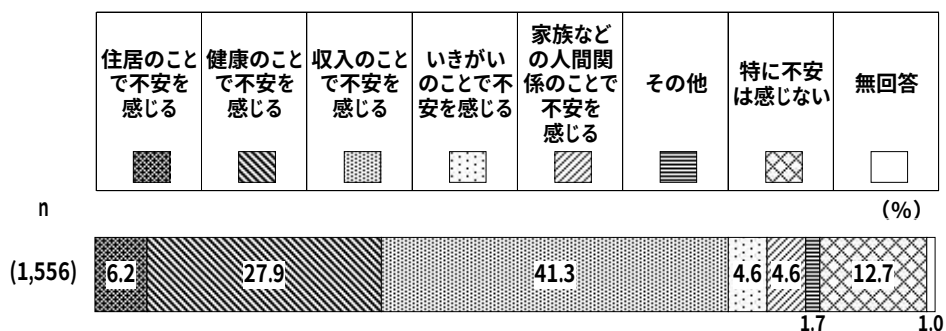
健康づくりで関心のあることをたずねたところ、「食生活・食育」(70.4%)が7割で最も多くなっている。以下、「運動」(46.9%)、「生活習慣病予防」(43.4%)、「定期健診」(36.5%)などの順となっている。(図表 4 - 1 - 1)

(2) 老後の生活への不安

◇「収入のことで不安を感じる」が41.3%

問22 あなたは、老後の生活について不安を感じますか。次の中から主なものを1つだけ選んでください。（○は1つ）

図表 4 - 2 - 1

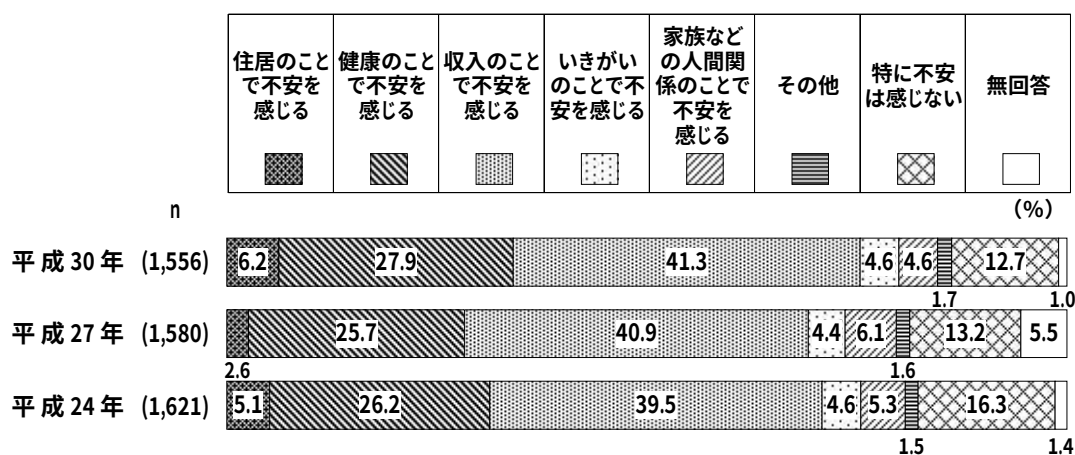


老後の生活への不安をたずねたところ、「収入のことで不安を感じる」（41.3%）が4割を超えて最も多くなっている。以下、「健康のことで不安を感じる」（27.9%）、「住居のことで不安を感じる」（6.2%）などの順となっている。一方、「特に不安は感じない」（12.7%）が1割を超えている。（図表4-2-1）

時系列でみると、「住居のことで不安を感じる」は前回調査より3.6ポイント増加している。

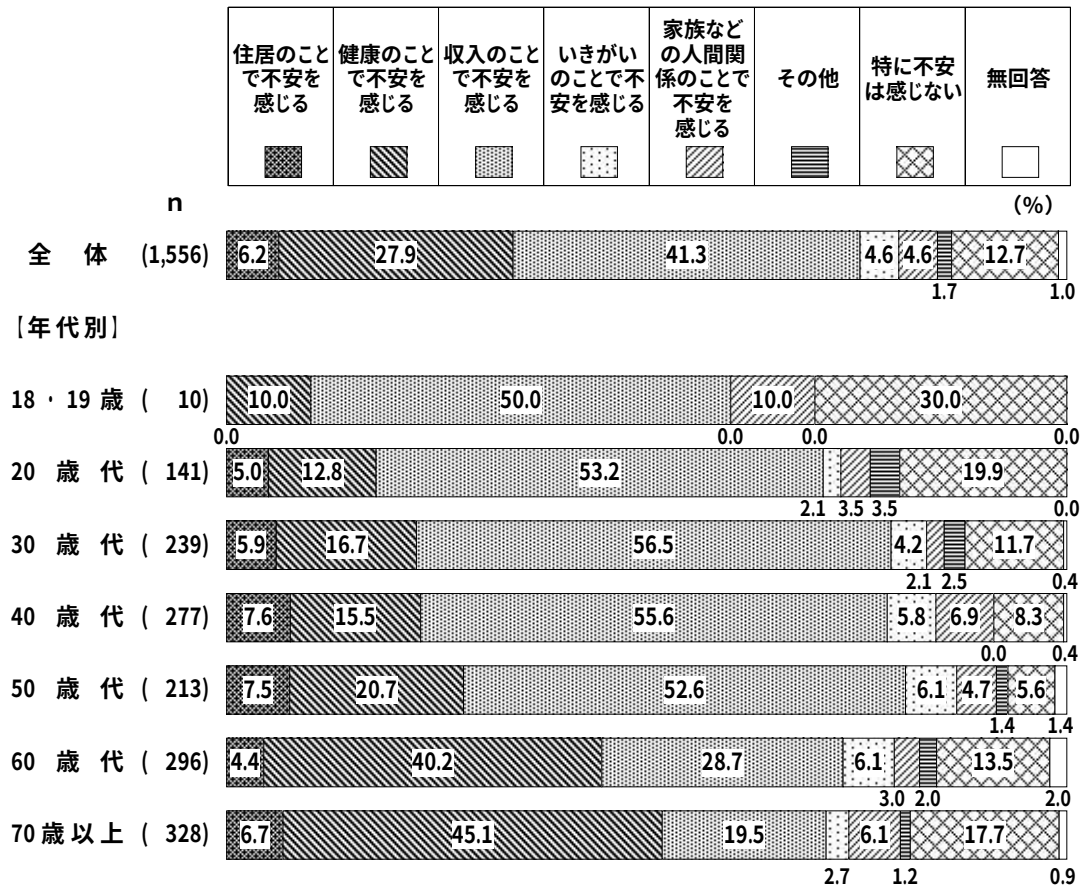
（図表4-2-2）

図表 4 - 2 - 2 時系列－老後の生活への不安



年代別にみると、「健康のことで不安を感じる」はおおむね年代が高くなるにつれて多く、70歳以上で4割半ばとなっている。「収入のことで不安を感じる」は50歳代以下の年代で5割台と多くなっている。（図表4-2-3）

図表4-2-3 年代別－老後の生活への不安

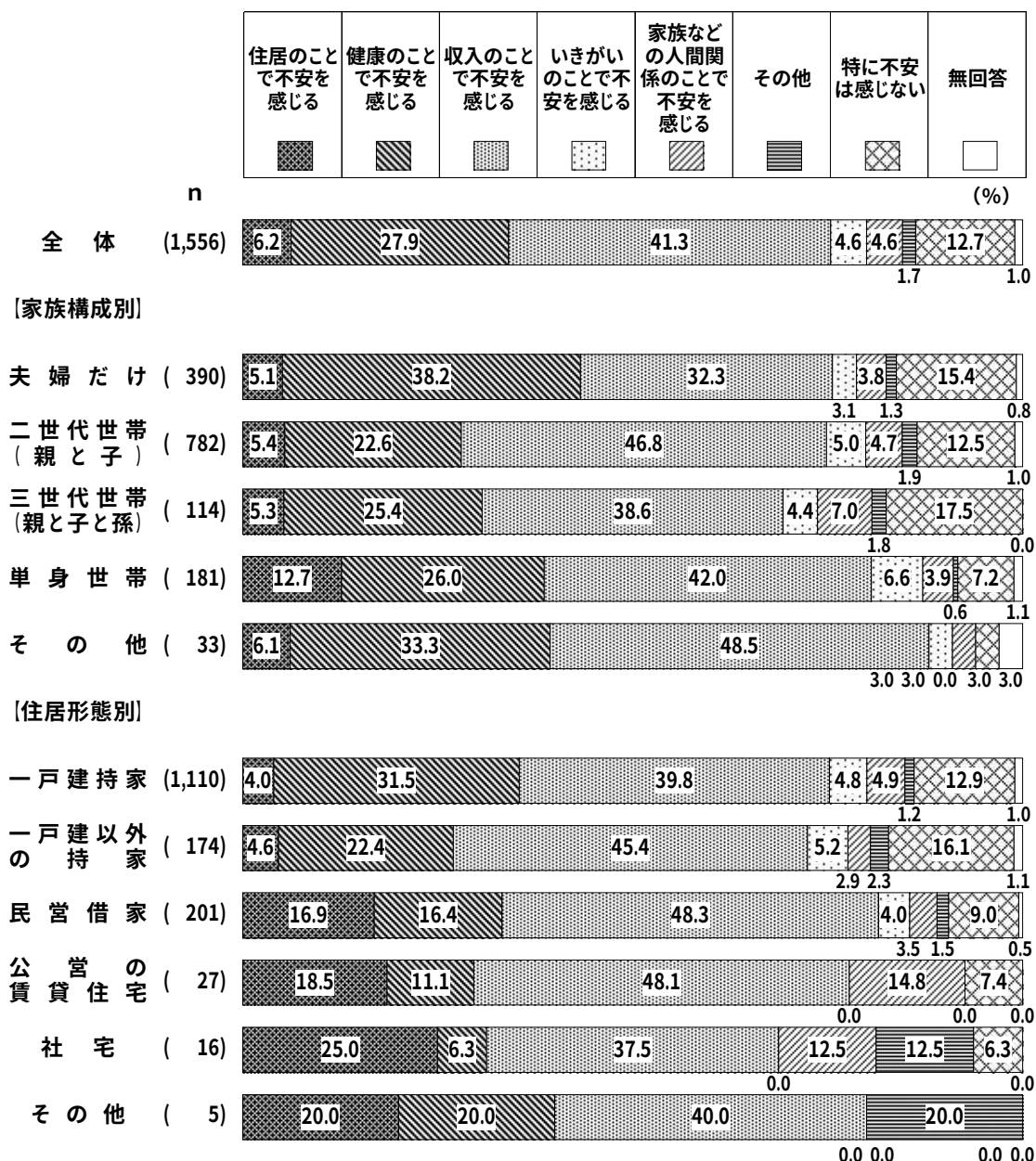


家族構成別にみると、「健康のことで不安を感じる」は夫婦だけの世帯で4割近くと多くなっている。「収入のことで不安を感じる」は二世世代世帯（親と子）で5割近くと多くなっている。

住居形態別にみると、「健康のことで不安を感じる」は一戸建持家で3割を超えて多くなっている。「収入のことで不安を感じる」は民営借家と公営の賃貸住宅で5割近くと多くなっている。

(図表4-2-4)

図表4-2-4 家族構成別、住居形態別—老後の生活への不安

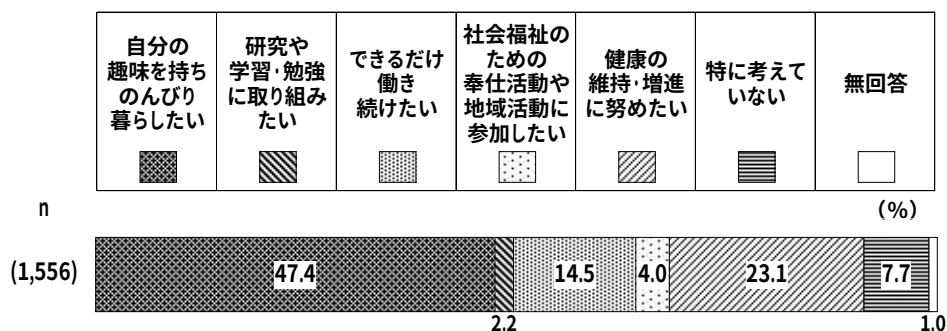


(3) 老後の過ごし方

◇「自分の趣味を持ちのんびり暮らしたい」が47.4%

問23 あなたは、老後の過ごし方についてどのようにお考えですか。自分の考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。(○は1つ)

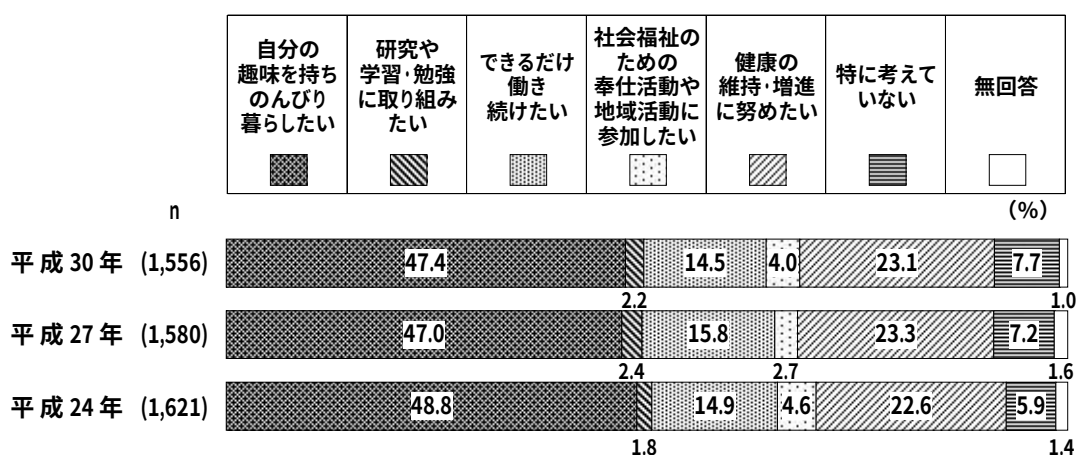
図表 4 - 3 - 1



老後の過ごし方をたずねたところ、「自分の趣味を持ちのんびり暮らしたい」(47.4%)が5割近くで最も多くなっている。以下、「健康の維持・増進に努めたい」(23.1%)、「できるだけ働きたい」(14.5%)などの順となっている。(図表4-3-1)

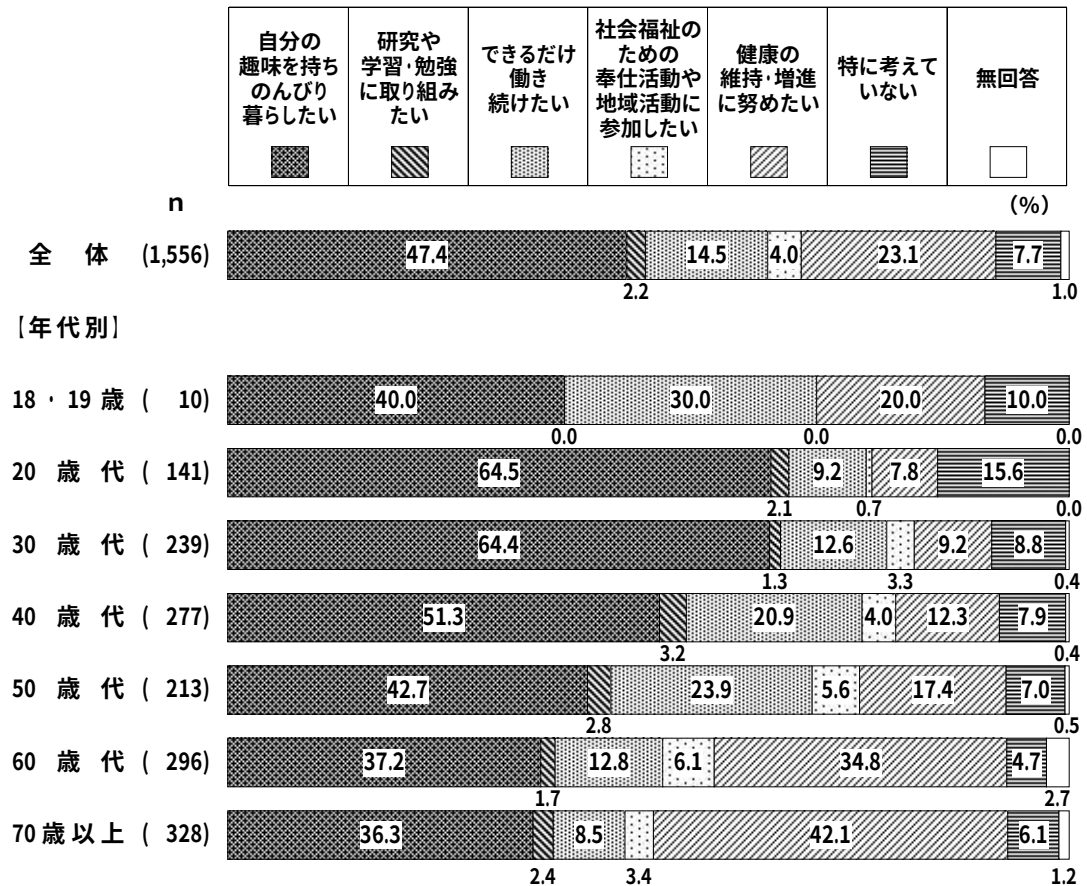
時系列でみると、前回調査と比べて大きな傾向の違いはみられない。(図表4-3-2)

図表 4 - 3 - 2 時系列－老後の過ごし方



年代別にみると、「自分の趣味を持ちのんびり暮らしたい」は20歳代と30歳代で6割半ばと多くなっている。「健康の維持・増進に努めたい」は70歳以上で4割を超え、60歳代で3割半ばと多くなっている。（図表4-3-3）

図表4-3-3 年代別－老後の過ごし方

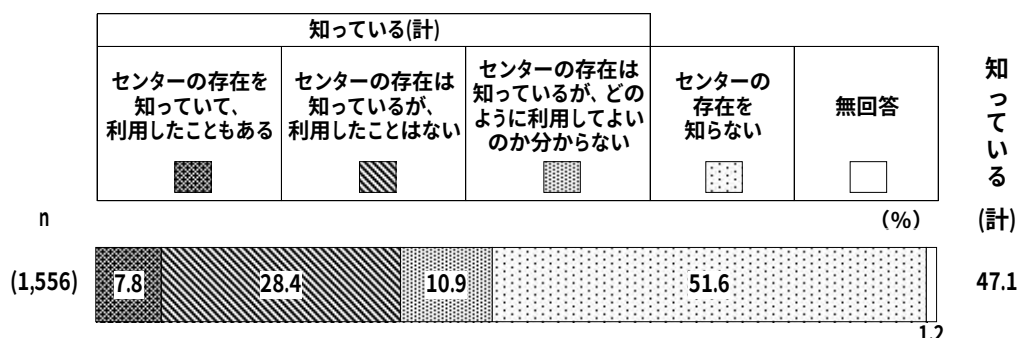


(4) 「地域包括支援センター」の認知度、利用状況

◇『知っている（計）』は47.1%

問24 高齢者の総合的な相談窓口として設置している、「地域包括支援センター」をご存知ですか。また、同センターを利用（相談）したことがありますか。（○は1つ）

図表 4 - 4 - 1



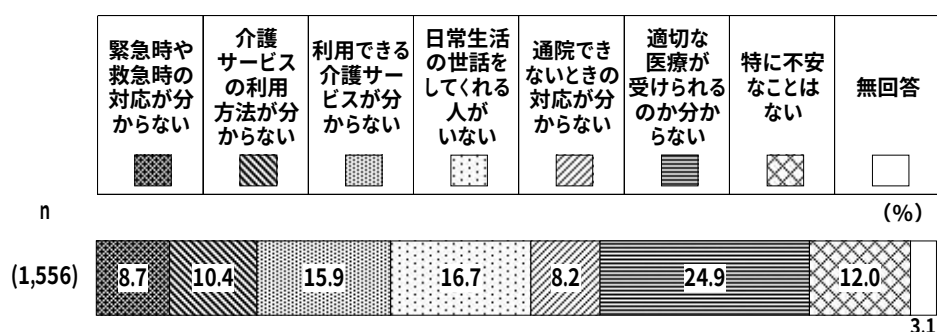
「地域包括支援センター」の認知度、利用状況をたずねたところ、「センターの存在は知っているが、利用したことはない」（28.4%）が3割近くで、これに「センターの存在を知っていて、利用したこともある」（7.8%）と「センターの存在は知っているが、どのように利用してよいのか分からない」（10.9%）を合わせた『知っている（計）』（47.1%）は5割近くとなっている。一方、「センターの存在を知らない」（51.6%）は5割を超えている。（図表4-4-1）

(5) 療養生活への不安

◇「適切な医療が受けられるのか分からない」が24.9%

問25 あなたが自宅で療養生活を送ることになった場合に不安に思うことは何ですか。次の中から最も近いものを1つだけ選んでください。（○は1つ）

図表 4 - 5 - 1



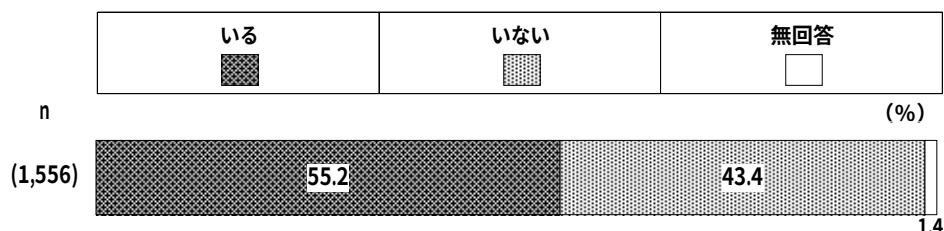
療養生活への不安をたずねたところ、「適切な医療が受けられるのか分からない」（24.9%）が2割半ばで最も多くなっている。以下、「日常生活の世話をしてくれる人がいない」（16.7%）、「利用できる介護サービスが分からない」（15.9%）などの順となっている。一方、「特に不安なことはない」（12.0%）は1割を超えている。（図表4-5-1）

（６）かかりつけ医のいる家族の有無

◇かかりつけ医が「いる」が55.2%

問26① あなたやご家族の中で、病気になったときに決まって診察を受ける医師（かかりつけ医）がいる方はいますか。（○は1つ）

図表 4 - 6 - 1



かかりつけ医のいる家族の有無についてたずねたところ、かかりつけ医が「いる」（55.2%）が5割半ば、かかりつけ医が「いない」（43.4%）は4割を超えている。（図表 4 - 6 - 1）

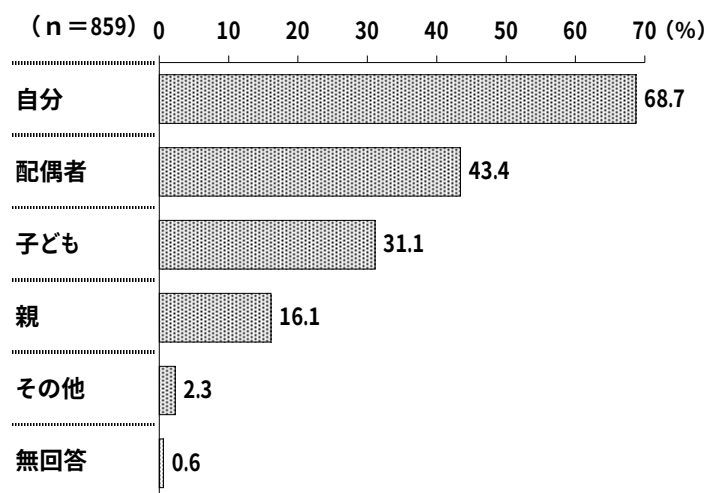
（７）かかりつけ医のいる家族

◇「自分」が68.7%

★問26①で「いる」と答えた方におたずねします。

問26② 「かかりつけ医」がいる方は、どなたですか。（○はいくつでも）

図表 4 - 7 - 1



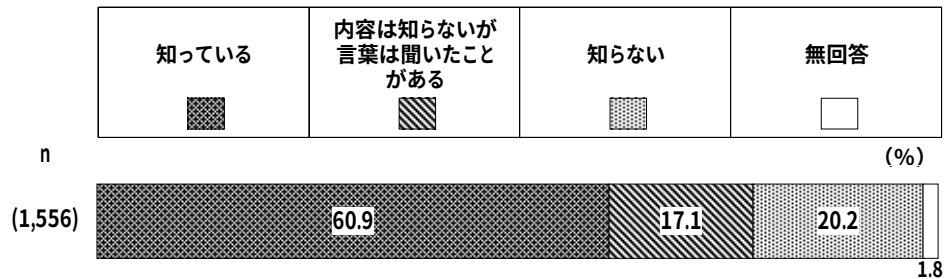
問26①でかかりつけ医が「いる」と答えた人（859人）に、かかりつけ医のいる家族についてたずねたところ、「自分」（68.7%）が7割近くで最も多くなっている。以下、「配偶者」（43.4%）、「子ども」（31.1%）、「親」（16.1%）などの順となっている。（図表 4 - 7 - 1）

(8)「特定健康診査」の認知度

◇「知っている」が60.9%

問27 あなたは「特定健康診査」を知っていますか。(○は1つ)

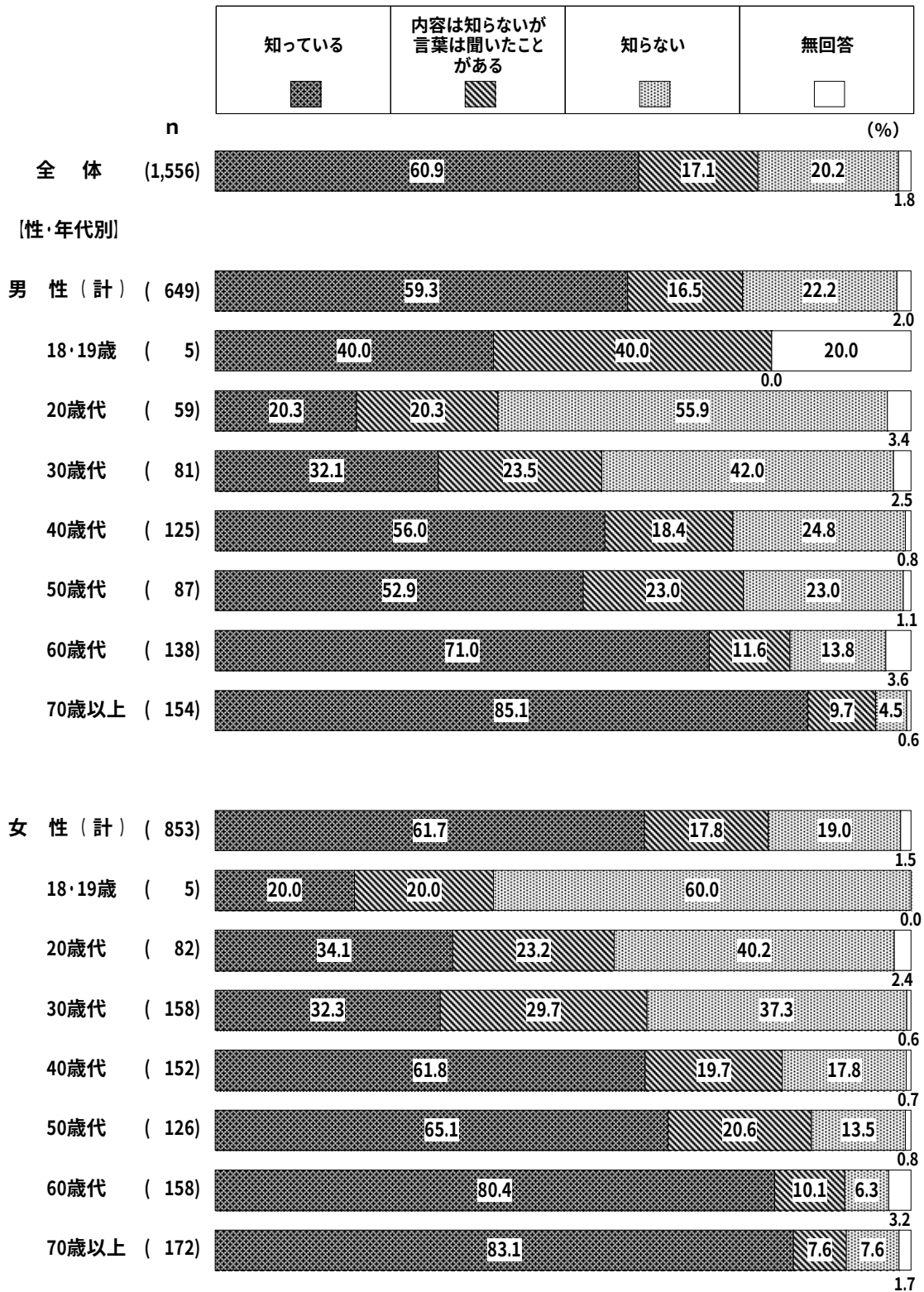
図表4-8-1



「特定健康診査」を知っているかたずねたところ、「知っている」(60.9%)が約6割、「内容は知らないが言葉は聞いたことがある」(17.1%)は2割近くとなっている。一方、「知らない」(20.2%)は2割となっている。(図表4-8-1)

性・年代別にみると、「知っている」は男女ともにおおむね年代が高くなるにつれて多く、男性70歳以上と女性の60歳代、70歳以上で8割台となっている。一方、「知らない」は男性20歳代で5割半ば、男性30歳代と女性20歳代で4割台と多くなっている。（図表4-8-2）

図表4-8-2 性・年代別－「特定健康診査」の認知度



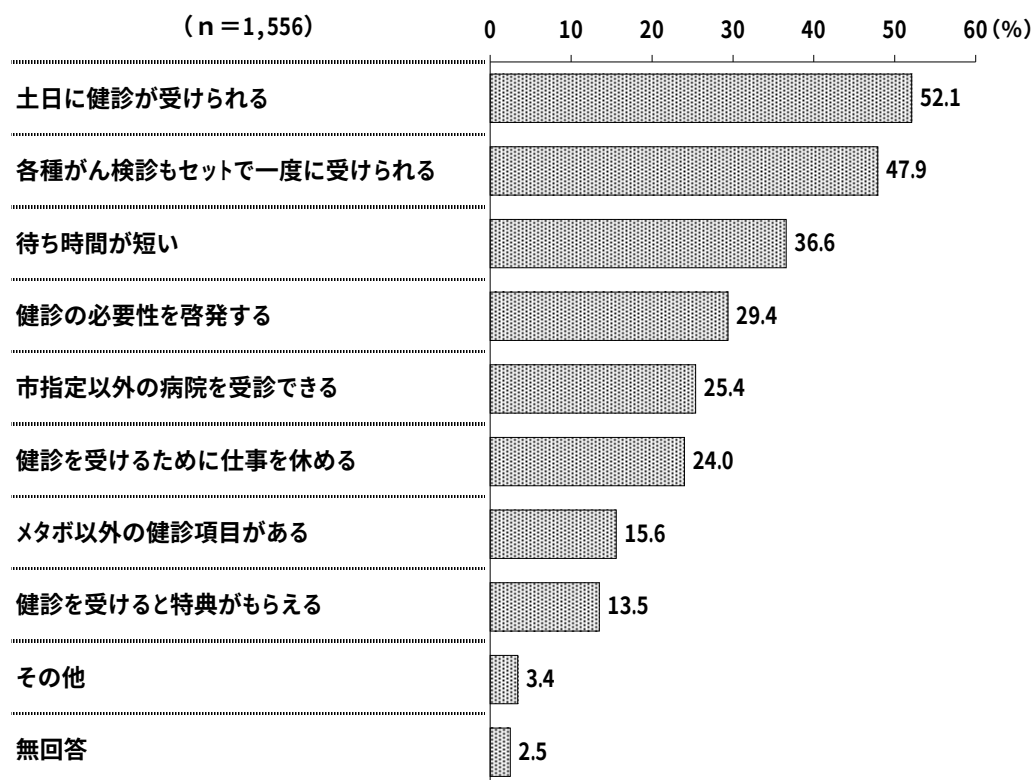
(9)「特定健康診査」の受診率向上のための取組

◇「土日に健診が受けられる」が52.1%

問28 多くの方に特定健康診査を受けてもらうために、どのようにすべきだと思いますか。

(○はいくつでも)

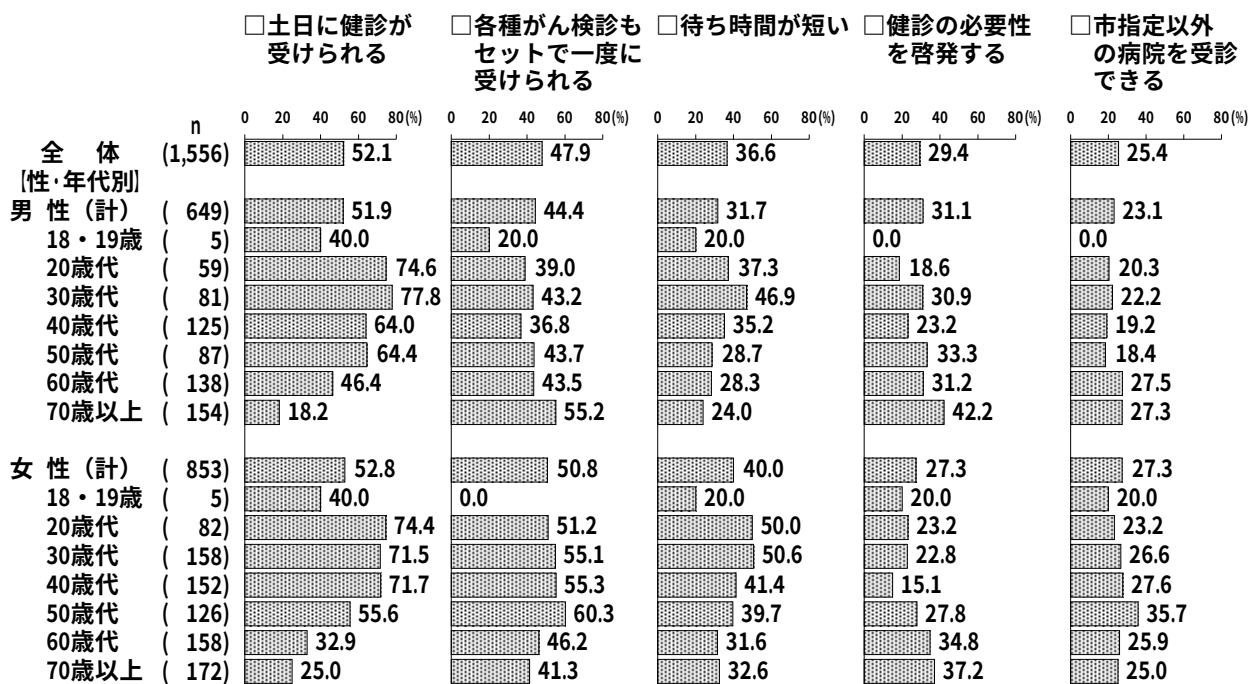
図表 4 - 9 - 1



「特定健康診査」の受診率向上のための取組をたずねたところ、「土日に健診が受けられる」(52.1%)が5割を超えて最も多くなっている。以下、「各種がん検診もセットで一度に受けられる」(47.9%)、「待ち時間が短い」(36.6%)、「健診の必要性を啓発する」(29.4%)などの順となっている。(図表4-9-1)

上位5項目を性・年代別にみると、「土日に健診が受けられる」は男性の20歳代と30歳代、女性の20歳代から40歳代で7割台と多くなっている。「各種がん検診もセットで一度に受けられる」は女性50歳代で6割と多くなっている。「待ち時間が短い」は女性の20歳代と30歳代で約5割と多くなっている。（図表4-9-2）

図表4-9-2 性・年代別（上位5項目）－「特定健康診査」の受診率向上のための取組



(10) がん検診の受診状況

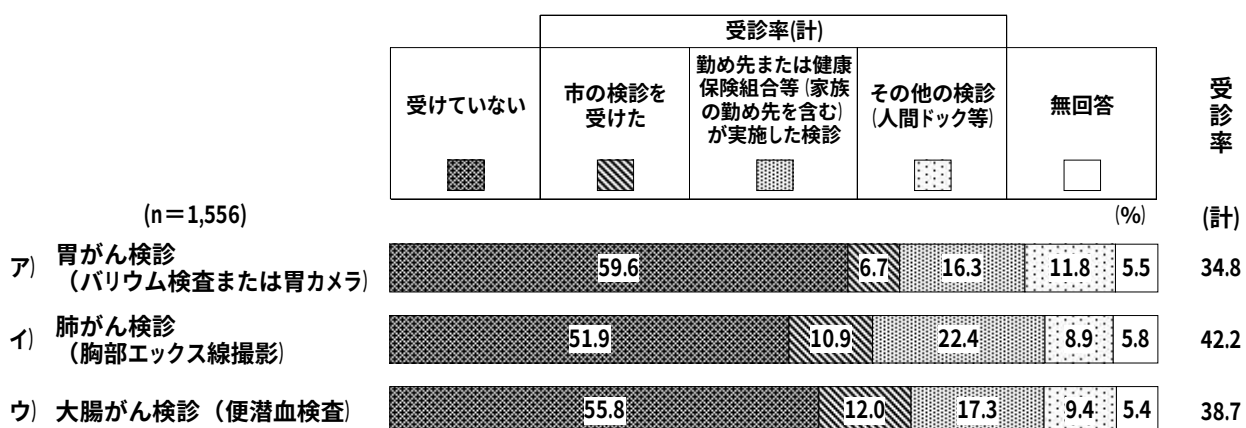
◇『受診率（計）』は“肺がん検診（胸部エックス線撮影）”で42.2%

問29 がん検診の受診状況についてお尋ねします。

- ① あなたは過去1年間に次の検診を受けたことがありますか。（治療や診断のための検査は除きます）ア～ウの項目ごとに1つずつ選んでください。

（○はそれぞれ1つずつ）

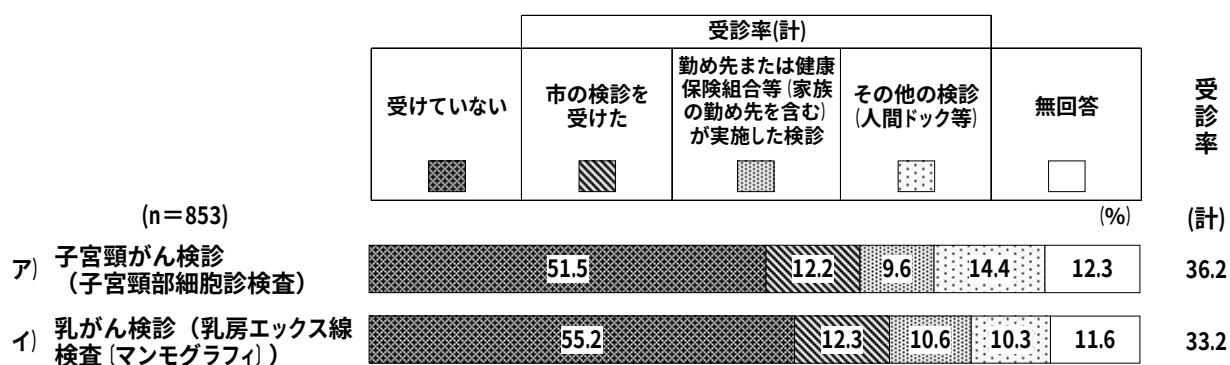
図表 4 -10- 1



★（女性への質問）

- ② あなたは過去2年間に次の検診を受けたことがありますか。ア、イの項目ごとに1つずつ選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

図表 4 -10- 2

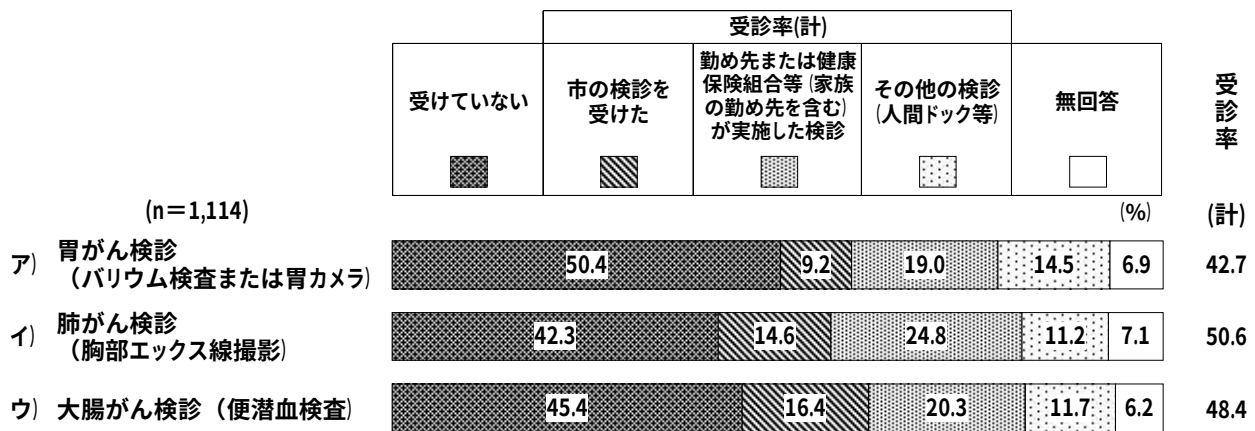


がん検診の受診状況をたずねたところ、「市の検診を受けた」、「勤め先または健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診」、「その他の検診（人間ドック等）」を合わせた『受診率（計）』は、“肺がん検診（胸部エックス線撮影）”（42.2%）で4割を超えて最も多くなっている。以下、“大腸がん検診（便潜血検査）”（38.7%）で4割近くとなっている。

（図表 4 -10- 1、4 -10- 2）

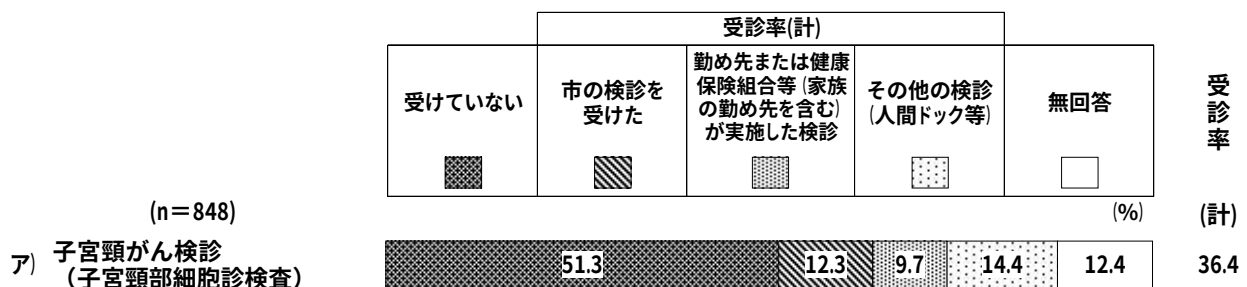
市のがん検診の対象年齢である40歳以上（1,114人）の『受診率（計）』は、“肺がん検診（胸部エックス線撮影）”（50.6%）で約5割と最も多くなっている。（図表4-10-3）

図表4-10-3 がん検診の受診状況（40歳以上の方）



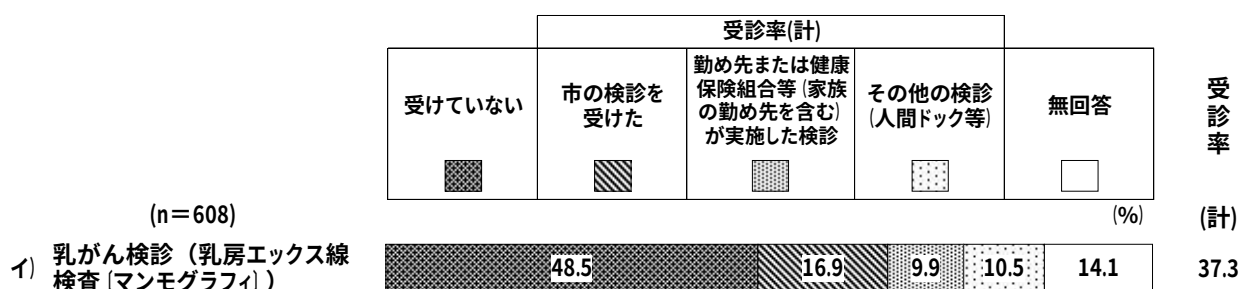
市の子宮頸がん検診（子宮頸部細胞診検査）の対象年齢である女性20歳以上（848人）の『受診率（計）』（36.4%）は3割半ばとなっている。（図表4-10-4）

図表4-10-4 子宮頸がん検診（子宮頸部細胞診検査）の受診状況（女性20歳以上の方）



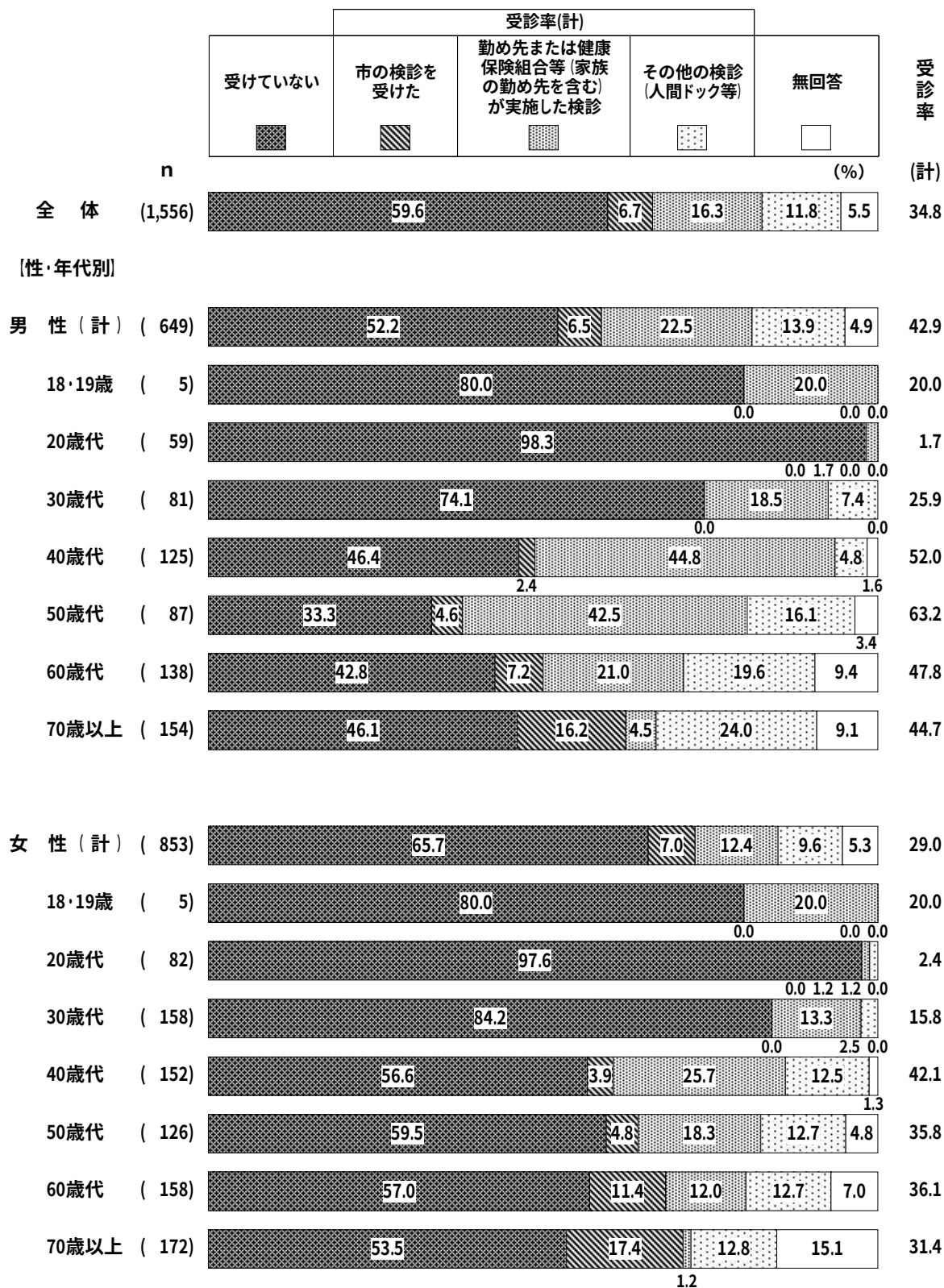
市の乳がん検診（乳房エックス線検査〔マンモグラフィ〕）の対象年齢である女性40歳以上（608人）の『受診率（計）』（37.3%）は4割近くとなっている。（図表4-10-5）

図表4-10-5 乳がん検診（乳房エックス線検査〔マンモグラフィ〕）の受診状況（女性40歳以上の方）



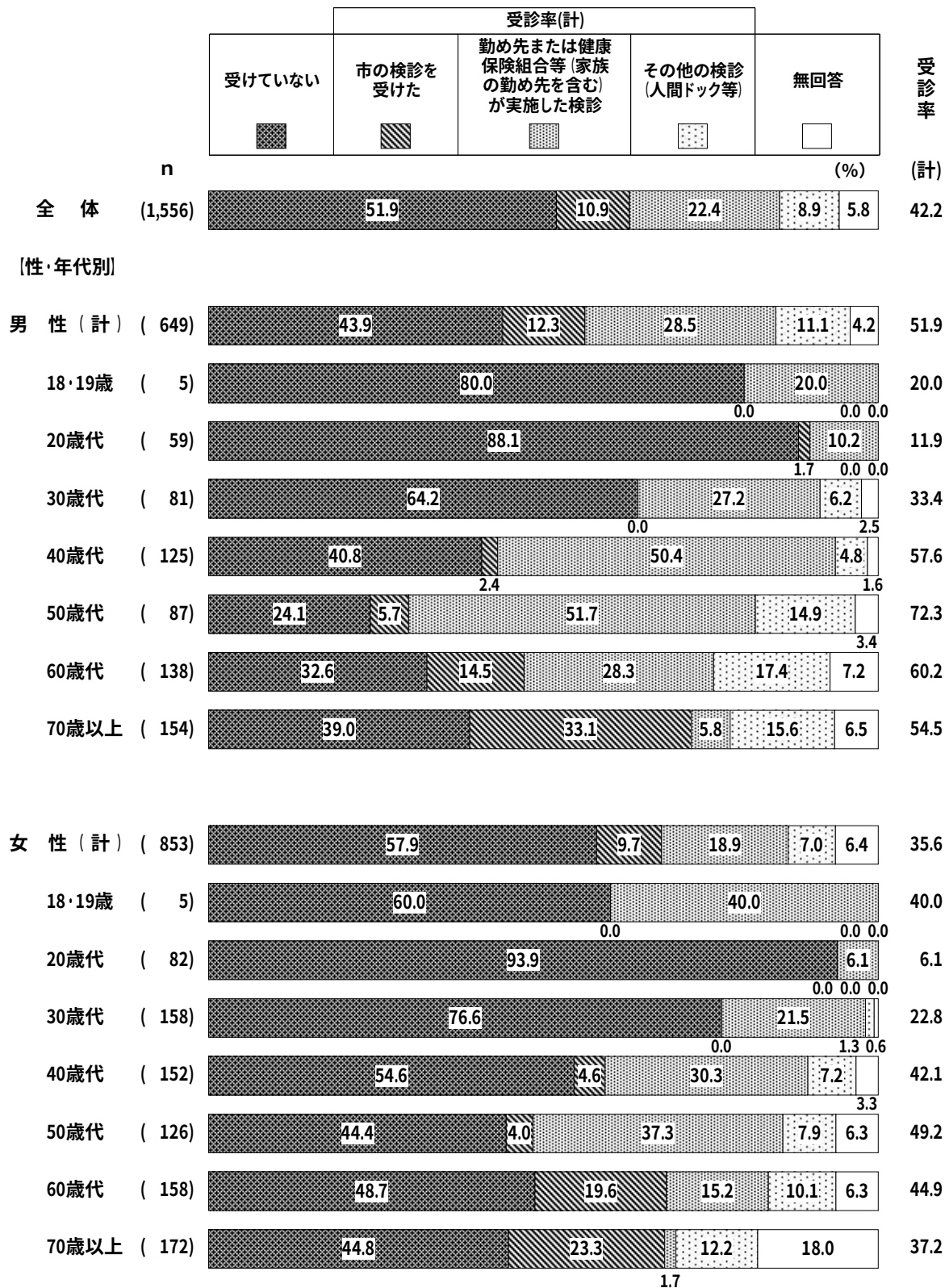
胃がん検診（バリウム検査または胃カメラ）について性・年代別にみると、『受診率（計）』は男性50歳代で6割を超え、男性40歳代で5割を超えて多くなっている。一方、「受けていない」は男女ともに20歳代で10割近くと多くなっている。（図表4-10-6）

図表4-10-6 性・年代別－胃がん検診（バリウム検査または胃カメラ）の受診状況



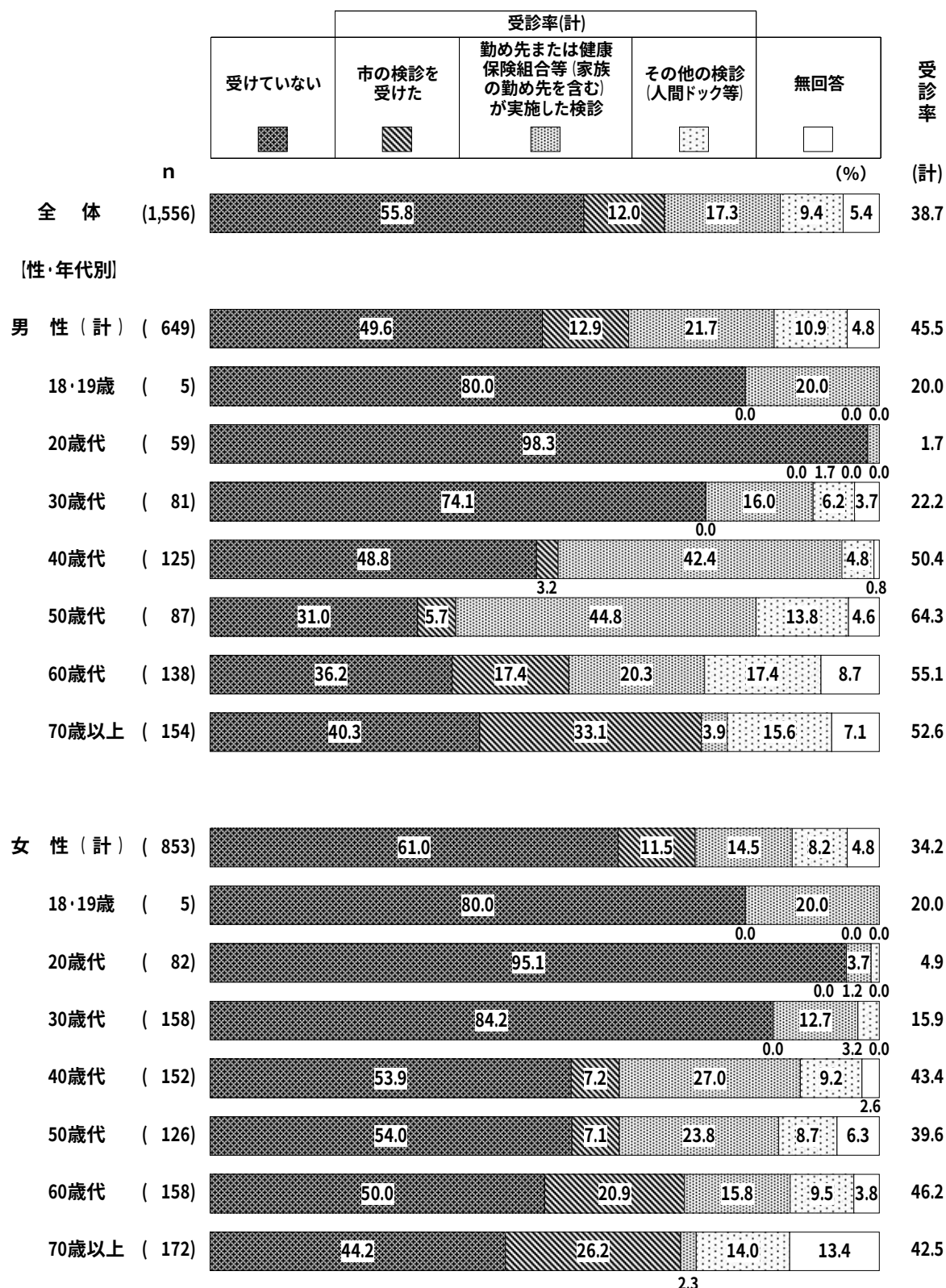
肺がん検診（胸部エックス線撮影）について性・年代別にみると、『受診率（計）』は男性50歳代で7割を超え、男性60歳代で6割と多くなっている。一方、「受けていない」は女性20歳代で9割を超え、男性20歳代で9割近くと多くなっている。（図表4-10-7）

図表4-10-7 性・年代別—肺がん検診（胸部エックス線撮影）の受診状況



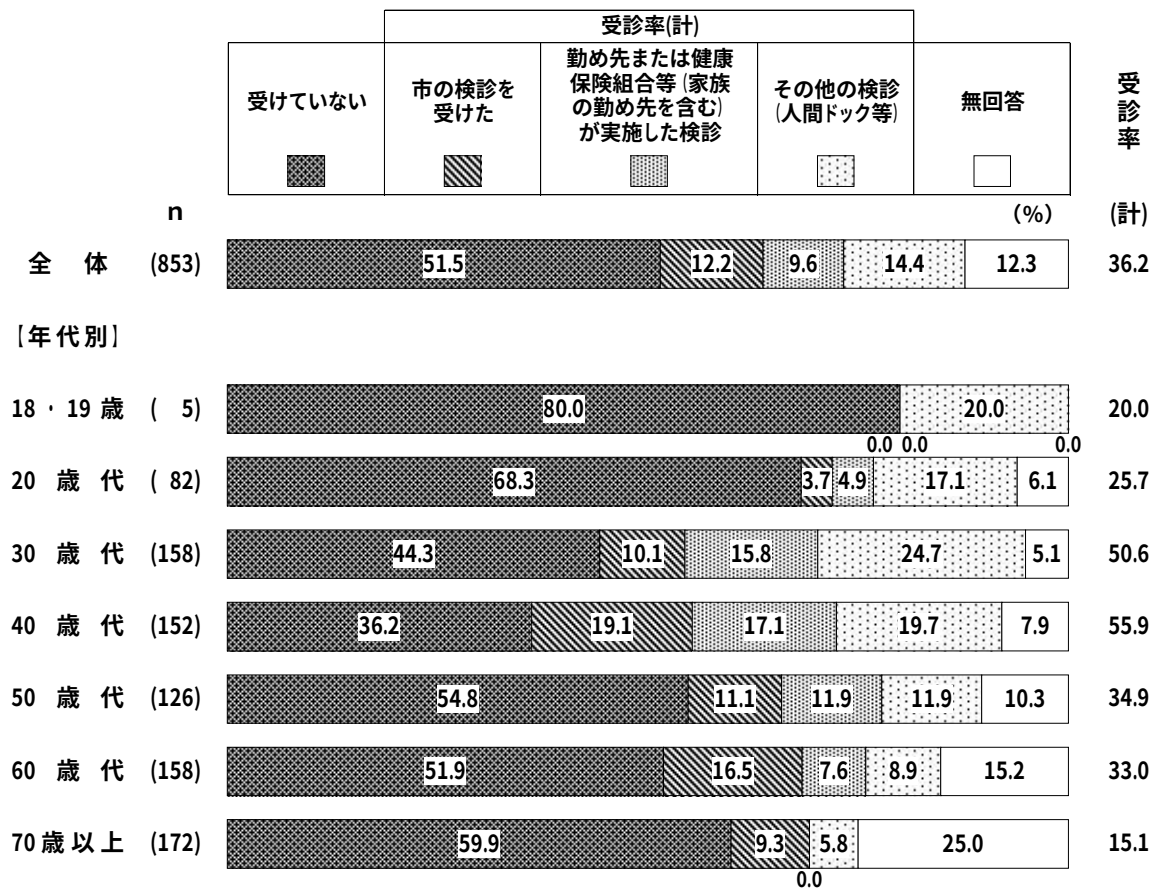
大腸がん検診（便潜血検査）について性・年代別にみると、『受診率（計）』は男性の40歳代以上の年代で5割以上と多くなっている。一方、「受けていない」は男女ともに20歳代で9割台と多くなっている。（図表4-10-8）

図表4-10-8 性・年代別－大腸がん検診（便潜血検査）の受診状況



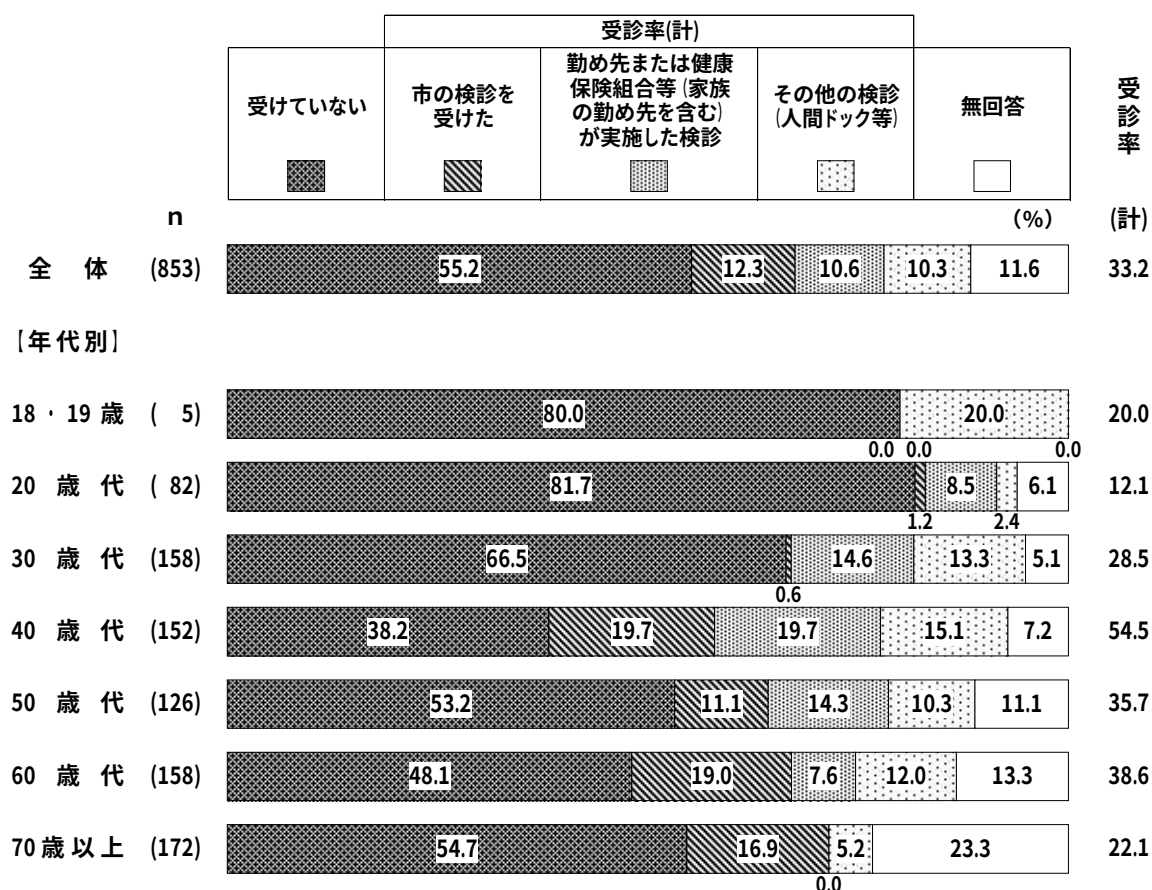
子宮頸がん検診（子宮頸部細胞診検査）について年代別にみると、『受診率（計）』は30歳代と40歳代で5割台と多くなっている。一方、「受けていない」は20歳代で7割近くと多くなっている。
（図表4-10-9）

図表4-10-9 年代別（女性のみ）－子宮頸がん検診（子宮頸部細胞診検査）の受診状況



乳がん検診（乳房エックス線検査〔マンモグラフィ〕）について年代別にみると、『受診率（計）』は40歳代で5割半ばと多くなっている。一方、「受けていない」は20歳代で8割を超え、30歳代で7割近くと多くなっている。（図表4-10-10）

図表4-10-10 年代別（女性のみ）－乳がん検診（乳房エックス線検査〔マンモグラフィ〕）の受診状況



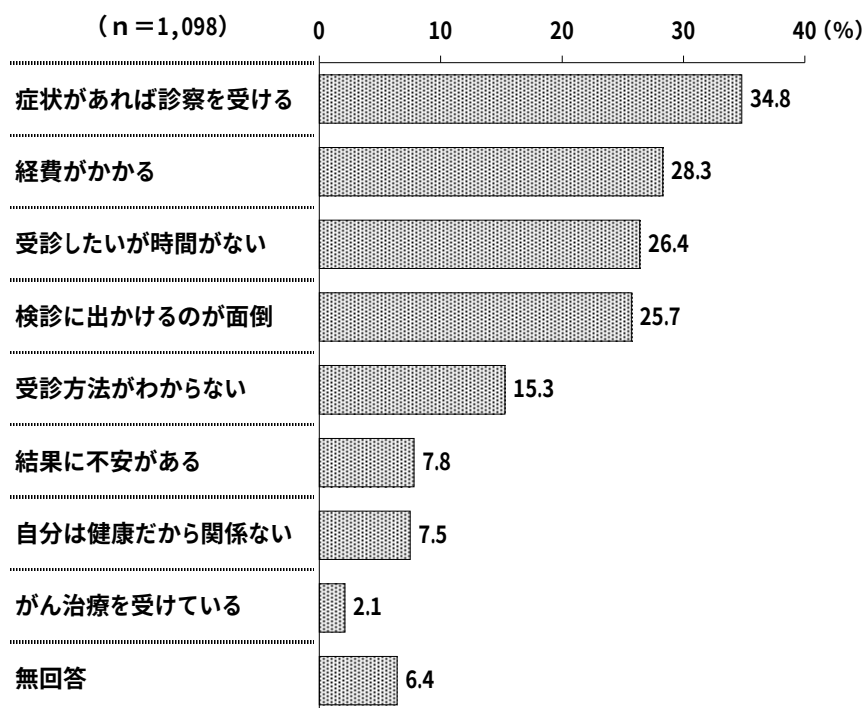
(11) がん検診を受診していない理由

◇「症状があれば診察を受ける」が34.8%

★問29①②でひとつでも「受けていない」と答えた方におたずねします。

問29③ がん検診を受診しない理由は何ですか。（○はいくつでも）

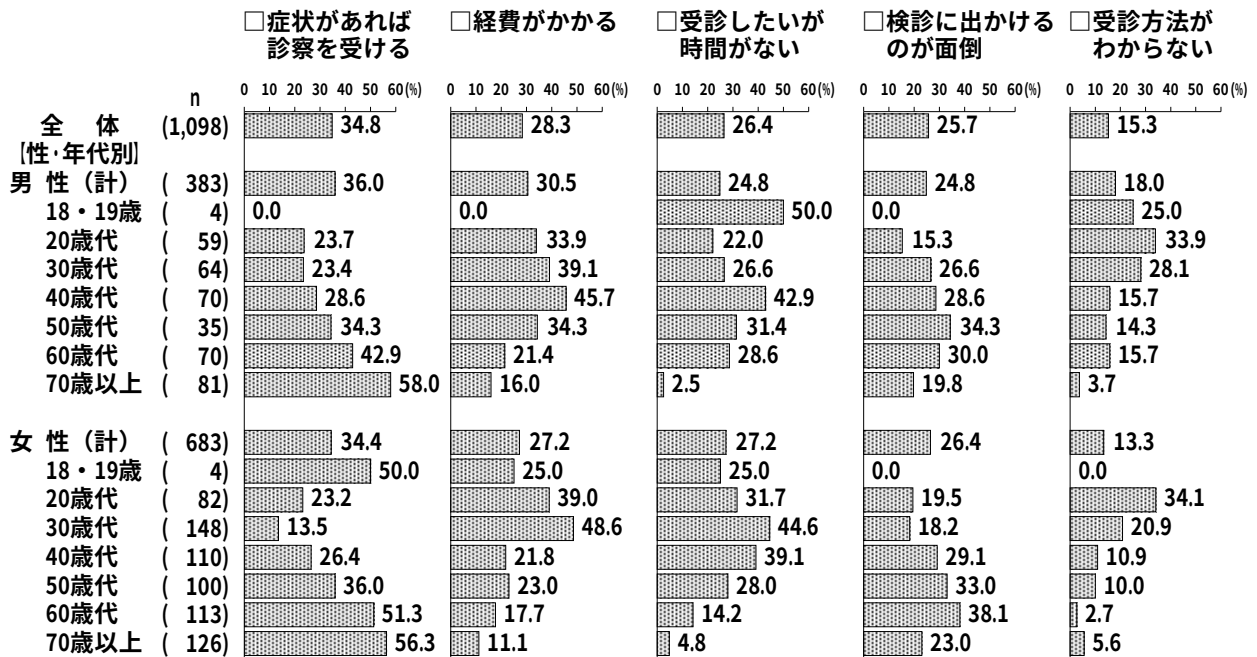
図表 4 - 11 - 1



問29①②でいずれかのがん検診を「受けていない」と答えた人（1,098人）に、その理由をたずねたところ、「症状があれば診察を受ける」（34.8%）が3割半ばで最も多くなっている。以下、「経費がかかる」（28.3%）、「受診したいが時間がない」（26.4%）、「検診に出かけるのが面倒」（25.7%）などの順となっている。（図表4-11-1）

上位5項目を性・年代別にみると、「症状があれば診察を受ける」は男女ともにおおむね年代が高くなるにつれて多く、男性70歳以上と女性の60歳代、70歳以上で5割台となっている。「経費がかかる」は女性30歳代と男性40歳代で4割台と多くなっている。「受診したいが時間がない」は女性30歳代と男性40歳代で4割台と多くなっている。（図表4-11-2）

図表4-11-2 性・年代別（上位5項目）－がん検診を受診していない理由

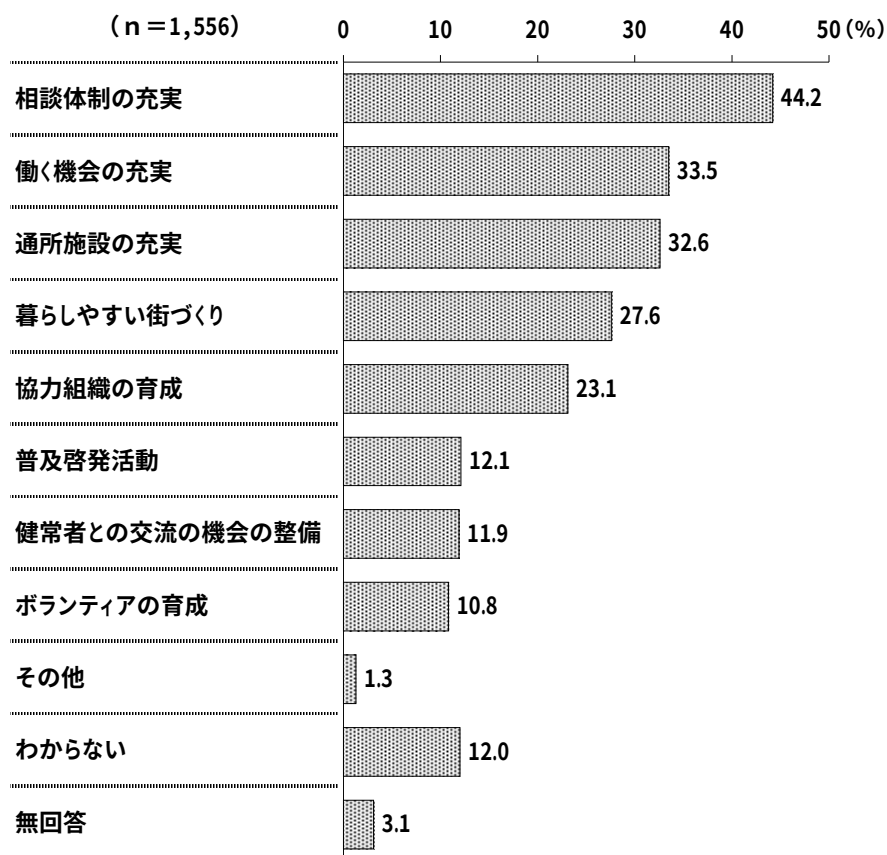


(12) 精神障害者のために充実すべきこと

◇「相談体制の充実」が44.2%

問30 精神に障害がある方のために特に充実していく必要があると思われるものは何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。（○は3つ以内）

図表 4 -12- 1

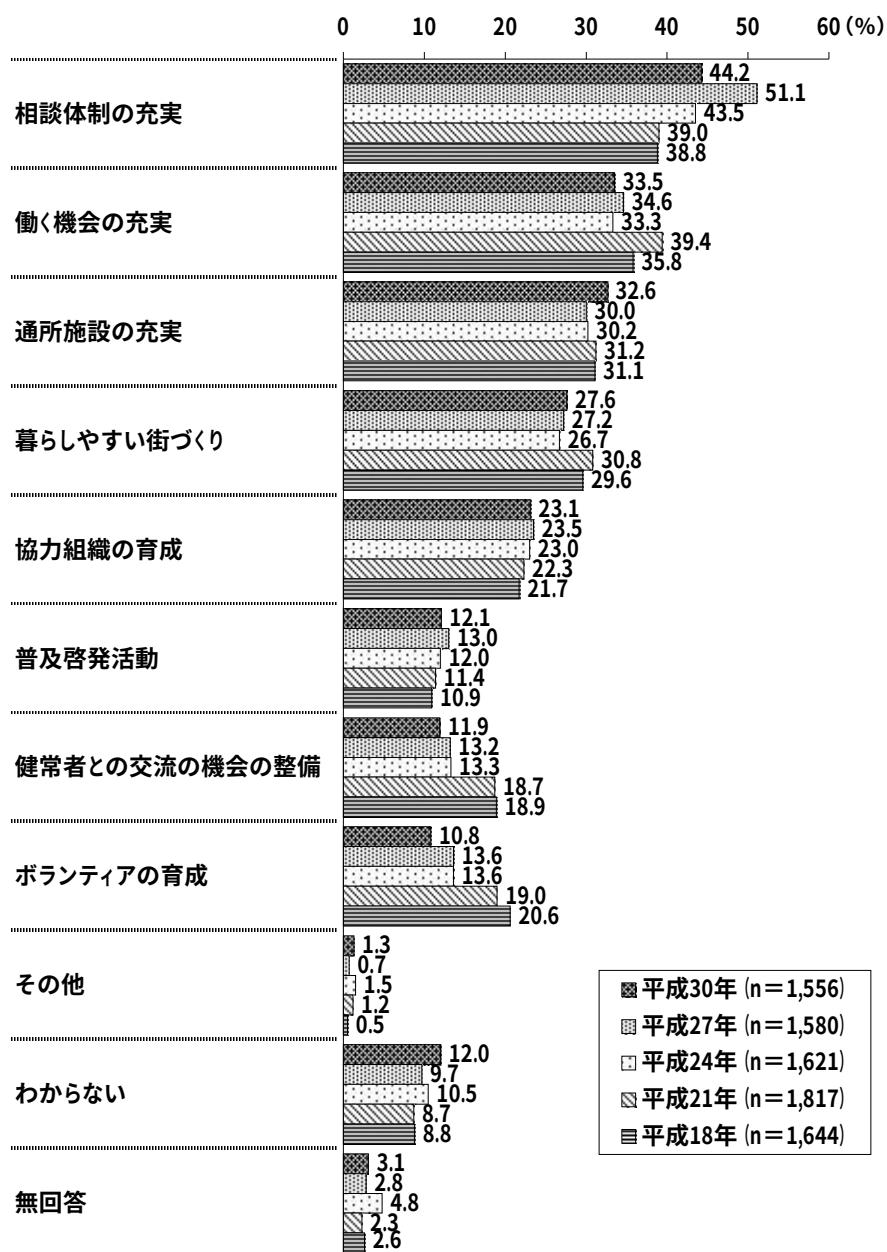


精神障害者のために充実すべきことをたずねたところ、「相談体制の充実」（44.2%）が4割半ばで最も多くなっている。以下、「働く機会の充実」（33.5%）、「通所施設の充実」（32.6%）、「暮らしやすい街づくり」（27.6%）などの順となっている。（図表 4 -12- 1）

時系列でみると、「相談体制の充実」は前回調査より6.9ポイント減少している。

(図表4-12-2)

図表4-12-2 時系列－精神障害者のために充実すべきこと

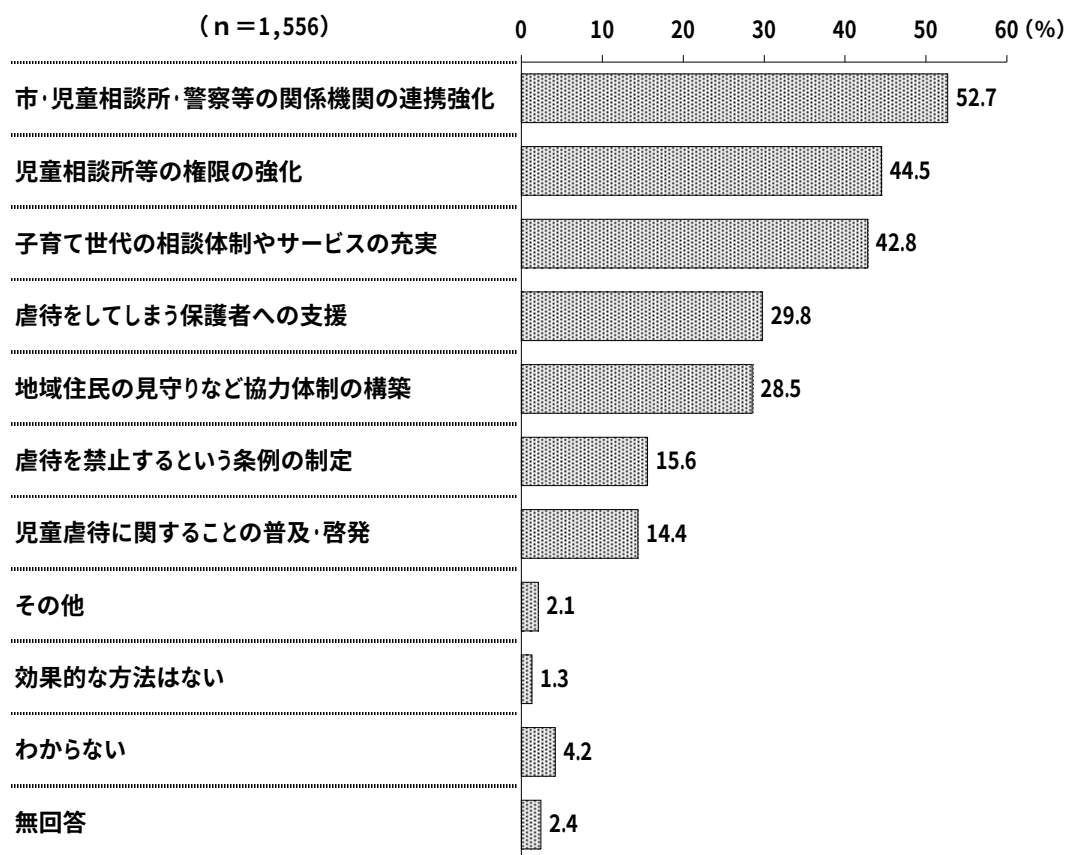


(13) 児童虐待を減らすための効果的な方法

◇「市・児童相談所・警察等の関係機関の連携強化」が52.7%

問31① 児童虐待を減らすためにはどのような方法が効果的だと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。（○は3つ以内）

図表 4-13-1



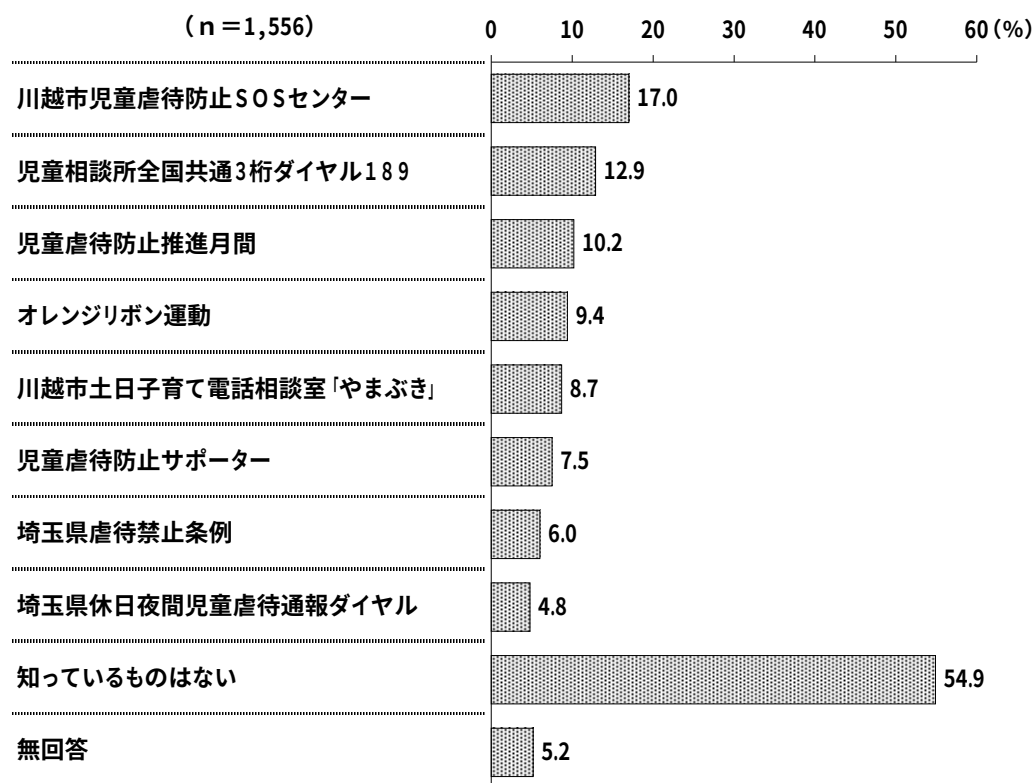
児童虐待を減らすための効果的な方法をたずねたところ、「市・児童相談所・警察等の関係機関の連携強化」（52.7%）が5割を超えて最も多くなっている。以下、「児童相談所等の権限の強化」（44.5%）、「子育て世代の相談体制やサービスの充実」（42.8%）、「虐待をしてしまう保護者への支援」（29.8%）などの順となっている。（図表4-13-1）

(14) 児童虐待に関する国・県・市等の施策の認知状況

◇「川越市児童虐待防止ＳＯＳセンター」が17.0%

問31② 児童虐待に関する国・県・市等の施策を知っていますか。次の中から知っているものすべてを選んでください。（○はいくつでも）

図表 4 -14- 1



児童虐待に関する国・県・市等の施策を知っているかたずねたところ、「川越市児童虐待防止ＳＯＳセンター」（17.0%）が２割近くで最も多くなっている。以下、「児童相談所全国共通３桁ダイヤル１８９」（12.9%）、「児童虐待防止推進月間」（10.2%）、「オレンジリボン運動」（9.4%）などの順となっている。一方、「知っているものはない」（54.9%）は５割半ばとなっている。

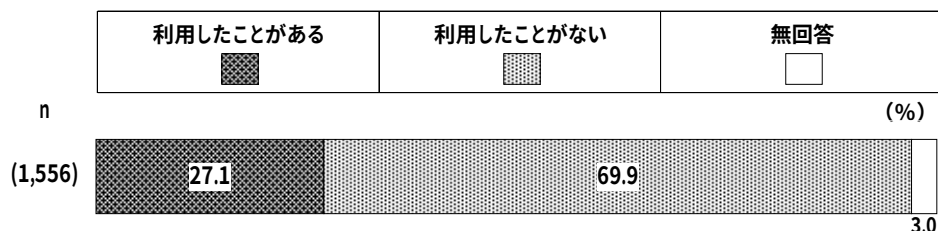
（図表 4 -14- 1）

(15) 児童館の利用状況

◇「利用したことがある」が27.1%

問32① あなたは、これまでに児童館を利用したことがありますか。（○は1つ）

図表 4-15-1



児童館の利用状況をたずねたところ、「利用したことがある」（27.1%）は3割近く、「利用したことがない」（69.9%）が7割となっている。（図表 4-15-1）

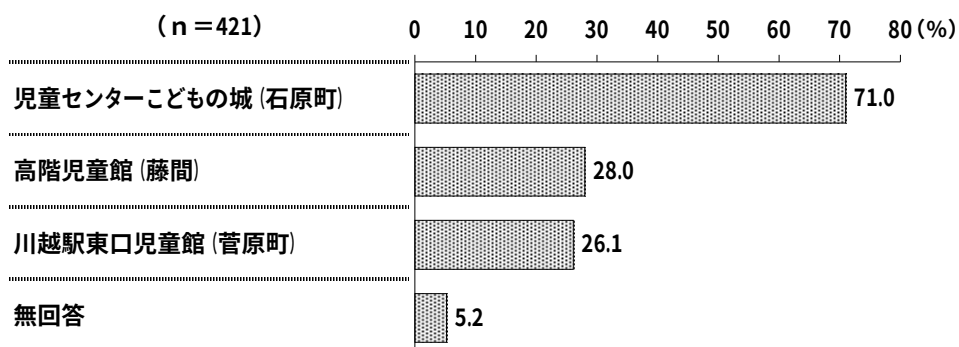
(16) 利用したことがある児童館

◇「児童センターこどもの城（石原町）」が71.0%

★問32①で「利用したことがある」と答えた方におたずねします。

問32② これまでに、どの児童館を利用したことがありますか。（○はいくつでも）

図表 4-16-1



問32①で児童館を「利用したことがある」と答えた人（421人）に、どの児童館を利用したことがあるかたずねたところ、「児童センターこどもの城（石原町）」（71.0%）が7割を超えて最も多くなっている。以下、「高階児童館（藤間）」（28.0%）、「川越駅東口児童館（菅原町）」（26.1%）の順となっている。（図表 4-16-1）

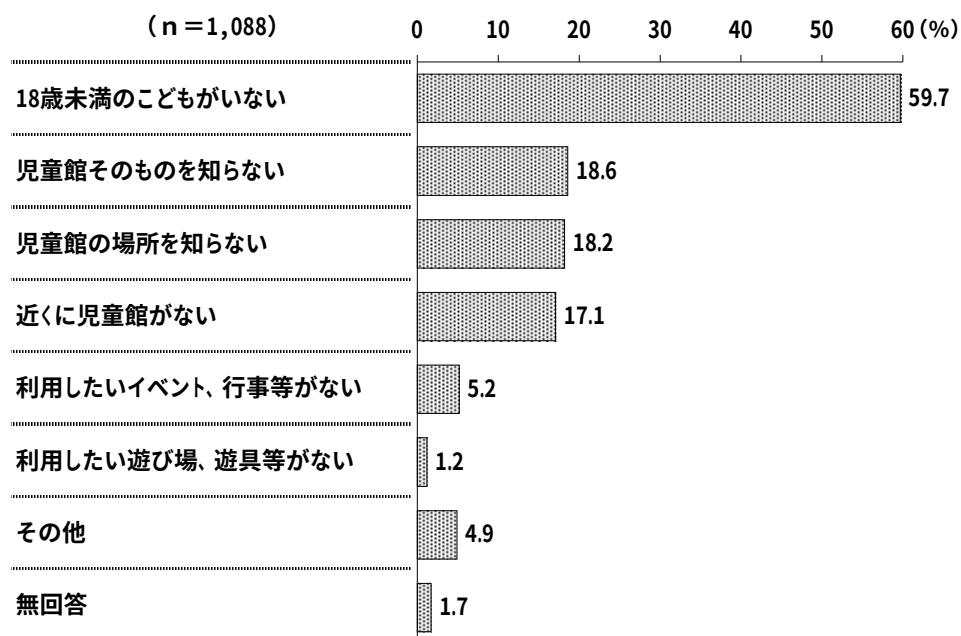
(17) 児童館を利用しなかった理由

◇「18歳未満のこどもがない」が59.7%

★問32①で「利用したことがない」と答えた方におたずねします。

問32③ これまで児童館を利用しなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）

図表 4 -17- 1



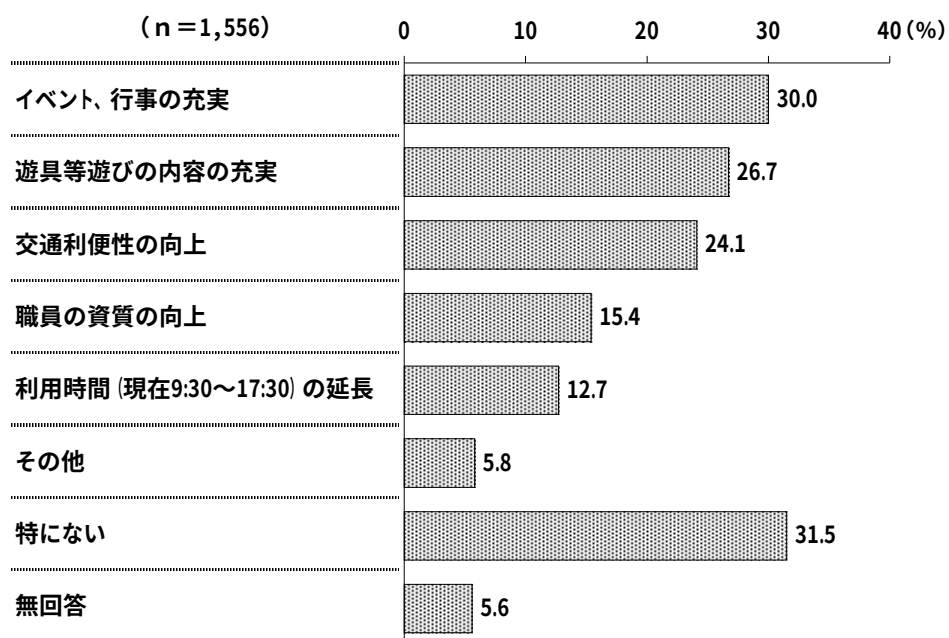
問32①で児童館を「利用したことがない」と答えた人（1,088人）に、その理由をたずねたところ、「18歳未満のこどもがない」（59.7%）が6割で最も多くなっている。以下、「児童館そのものを知らない」（18.6%）、「児童館の場所を知らない」（18.2%）、「近くに児童館がない」（17.1%）などの順となっている。（図表4-17-1）

(18) 今後児童館に求めるもの

◇「イベント、行事の充実」が30.0%

問32④ 今後児童館に求めるものは何ですか。（○はいくつでも）

図表 4 -18- 1



今後児童館に求めるものをたずねたところ、「イベント、行事の充実」（30.0%）が3割で最も多くなっている。以下、「遊具等遊びの内容の充実」（26.7%）、「交通利便性の向上」（24.1%）、「職員の資質の向上」（15.4%）などの順となっている。（図表 4 -18- 1）

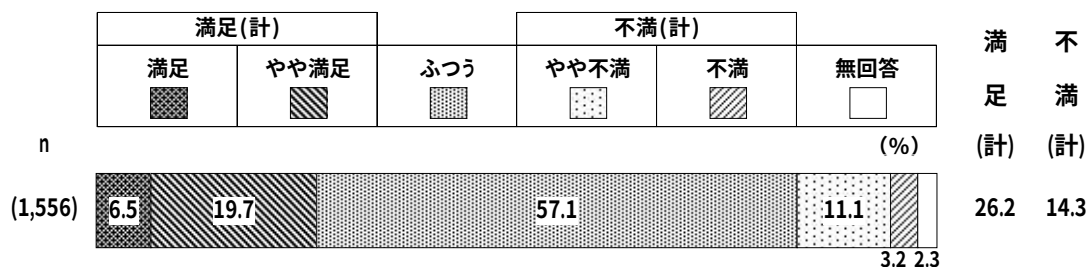
5. 環境

(1) 川越市の環境への満足度

◇『満足（計）』は26.2%

問33 あなたは、川越市の環境について、どのように感じていますか。次の中から1つ選んでください。（○は1つ）

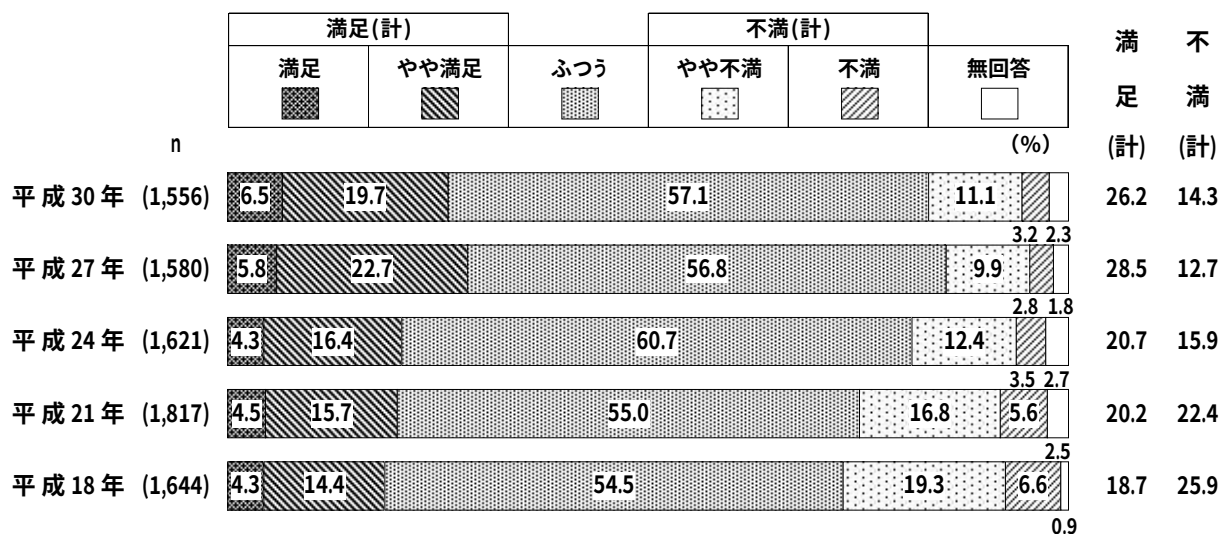
図表5-1-1



川越市の環境への満足度をたずねたところ、「満足」（6.5%）と「やや満足」（19.7%）を合わせた『満足（計）』（26.2%）は2割半ばとなっている。一方、「やや不満」（11.1%）と「不満」（3.2%）を合わせた『不満（計）』（14.3%）は1割半ばとなっている。（図表5-1-1）

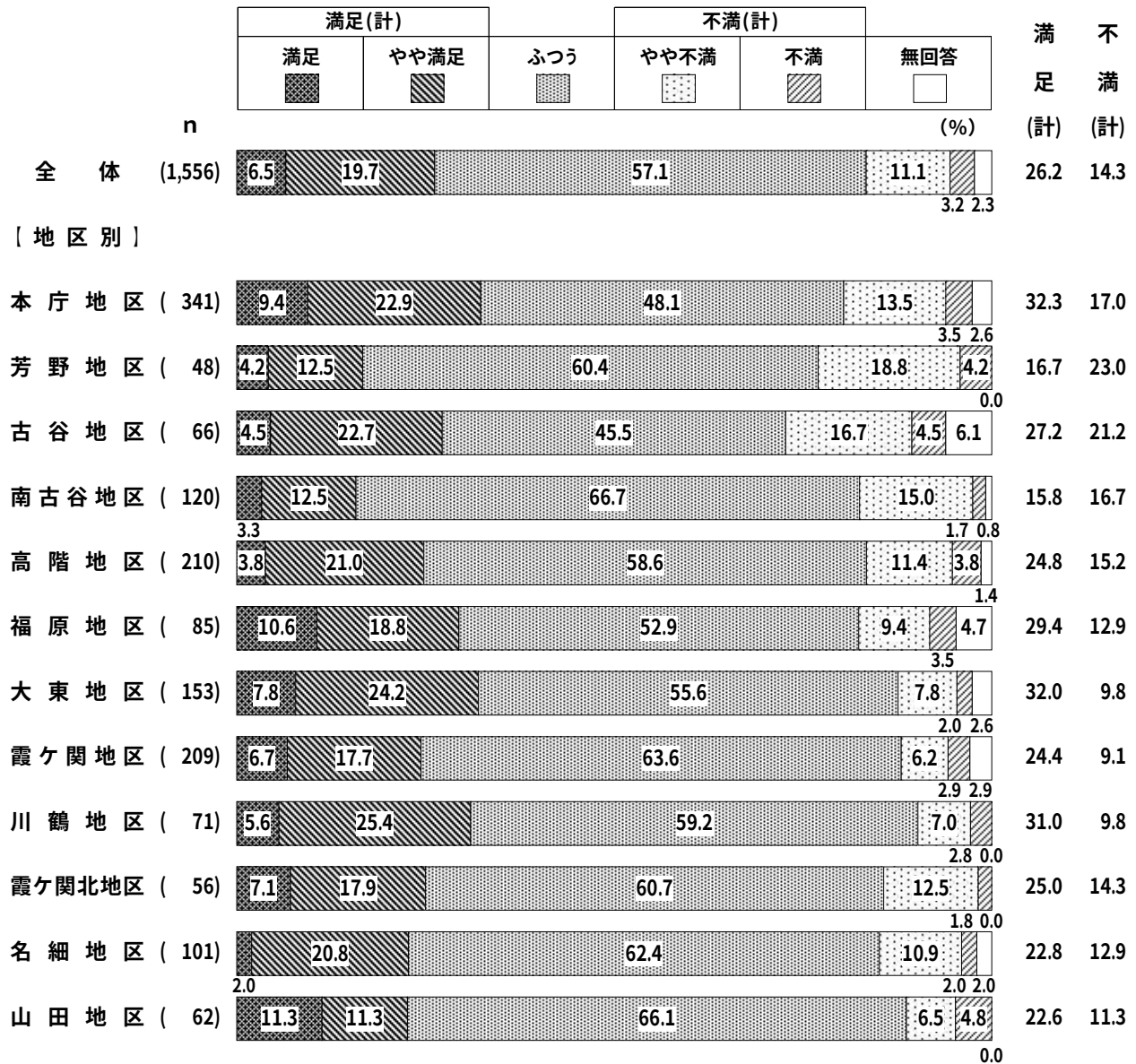
時系列でみると、前回調査と比べて大きな傾向の違いはみられない。（図表5-1-2）

図表5-1-2 時系列－川越市の環境への満足度



地区別にみると、『満足（計）』は本庁地区、大東地区、川鶴地区で3割を超えて多くなっている。一方、『不満（計）』は芳野地区と古谷地区で2割を超えて多くなっている。（図表5-1-3）

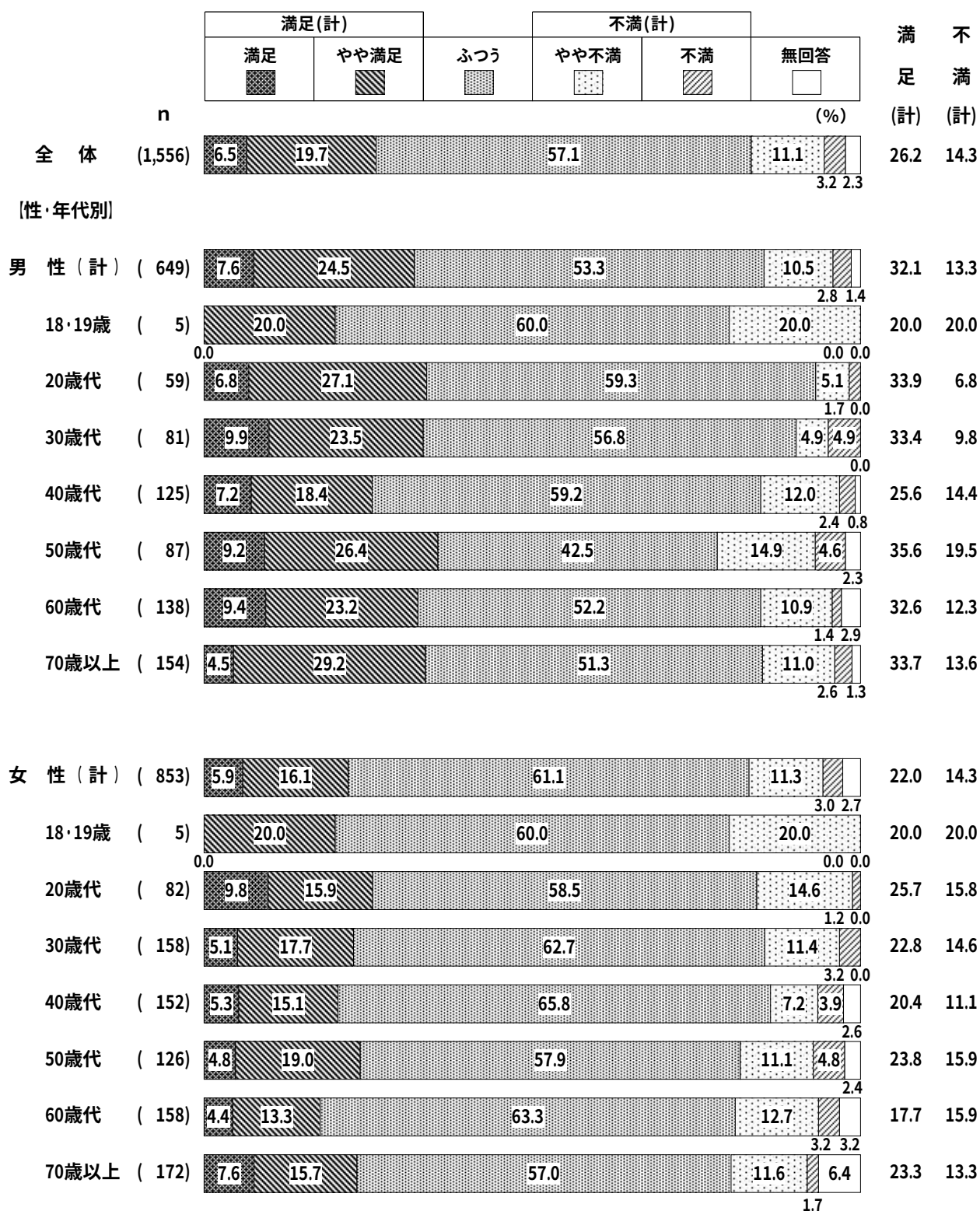
図表5-1-3 地区別—川越市の環境への満足度



性・年代別にみると、『満足（計）』は男性50歳代で3割半ばと多くなっている。

（図表5-1-4）

図表5-1-4 性・年代別ー川越市の環境への満足度

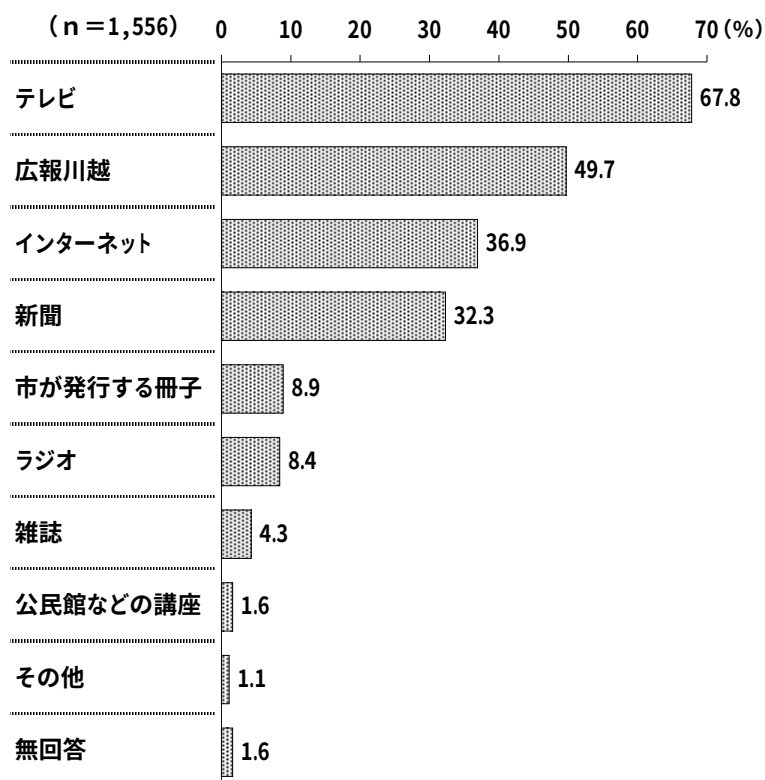


(2) 環境に関する情報の入手先

◇「テレビ」が67.8%

問34 あなたは、普段、環境に関する情報をどこから入手していますか。次の中から3つ以内で選んでください。(○は3つ以内)

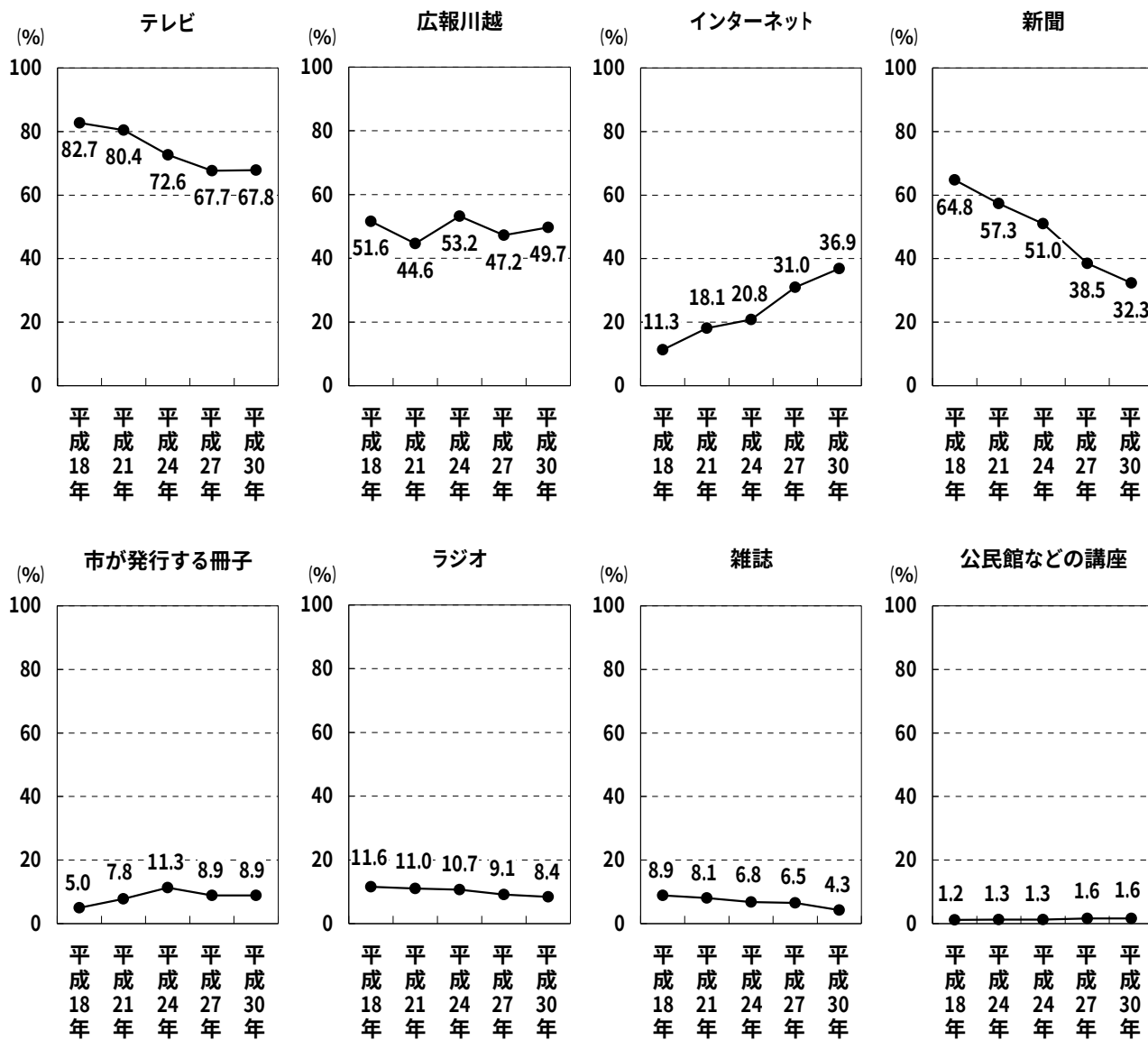
図表 5 - 2 - 1



環境に関する情報の入手先をたずねたところ、「テレビ」(67.8%)が7割近くで最も多くなっている。以下、「広報川越」(49.7%)、「インターネット」(36.9%)、「新聞」(32.3%)などの順となっている。(図表 5 - 2 - 1)

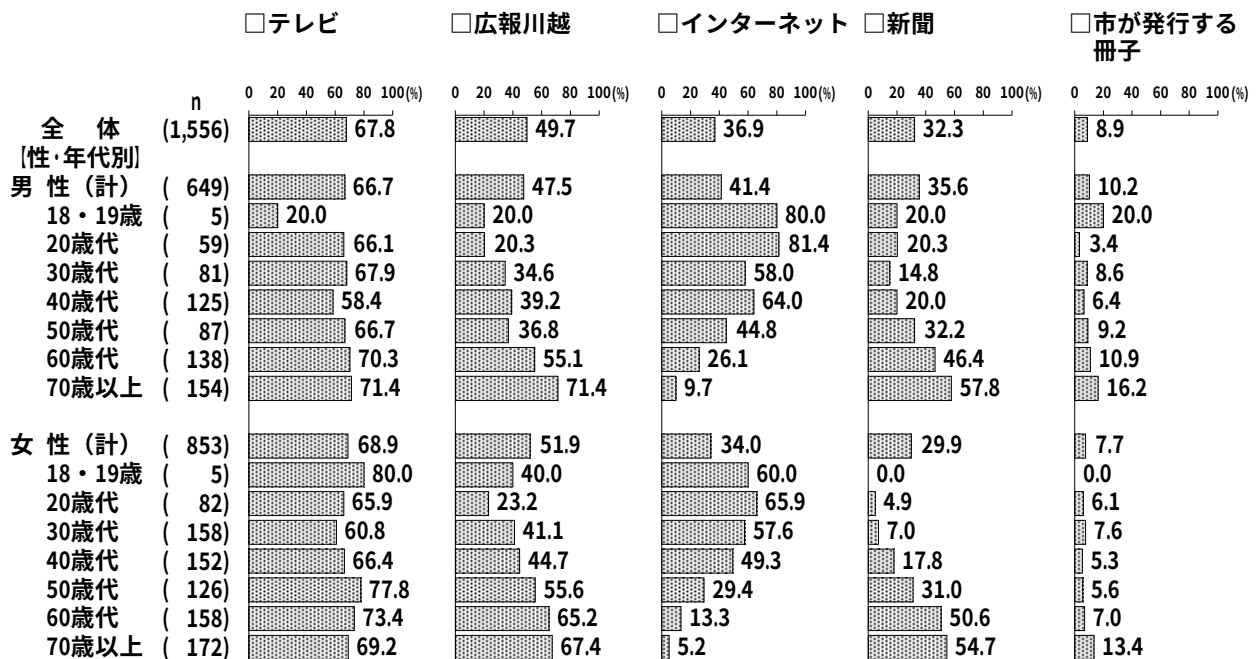
時系列でみると、「インターネット」は平成18年以降増加傾向となっており、前回調査より5.9ポイント増加している。一方、「新聞」は平成18年以降減少傾向となっており、前回調査より6.2ポイント減少している。（図表5-2-2）

図表5-2-2 時系列ー環境に関する情報の入手先



上位5項目を性・年代別にみると、「テレビ」は女性50歳代で8割近くと多くなっている。「広報川越」は男女ともにおおむね年代が高くなるにつれて多く、男性70歳以上で7割を超え、女性の60歳代と70歳以上で6割台となっている。「インターネット」は男性20歳代で8割を超え、女性20歳代と男性40歳代で6割半ばと多くなっている。（図表5-2-3）

図表5-2-3 性・年代別（上位5項目）－環境に関する情報の入手先



(3) 資源ごみの収集回数／収集回数を増やす品目／収集回数を増やすための経費

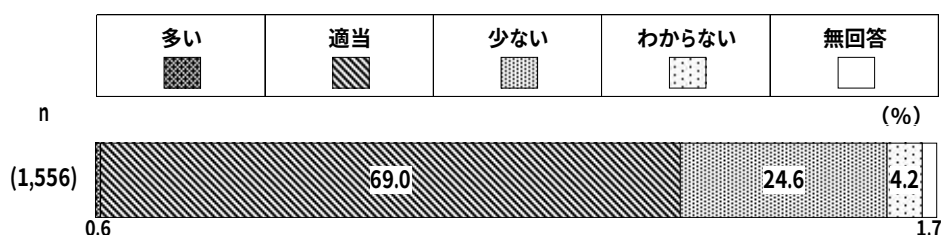
1. 収集回数

◇「適当」が69.0%

問35 資源の循環的な利用を促進する取組として、資源ごみ収集についておたずねします。

①-1 収集回数は適当だと思いますか。(○は1つ)

図表 5-3-1



資源ごみの収集回数についてたずねたところ、「適当」(69.0%)が約7割で最も多くなっている。「多い」(0.6%)はわずかとなっており、「少ない」(24.6%)は2割半ばとなっている。

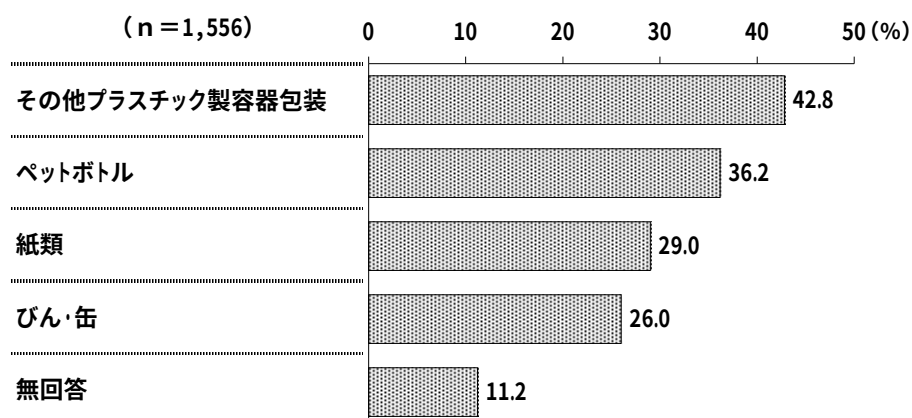
(図表 5-3-1)

2. 収集回数を増やす品目

◇「その他プラスチック製容器包装」が42.8%

問35①-2 収集回数を更に増やすなら、品目は何がよいですか。(○はいくつでも)

図表 5-3-2



収集回数を増やす品目についてたずねたところ、「その他プラスチック製容器包装」(42.8%)が4割を超えて最も多くなっている。以下、「ペットボトル」(36.2%)、「紙類」(29.0%)、「びん・缶」(26.0%)の順となっている。(図表 5-3-2)

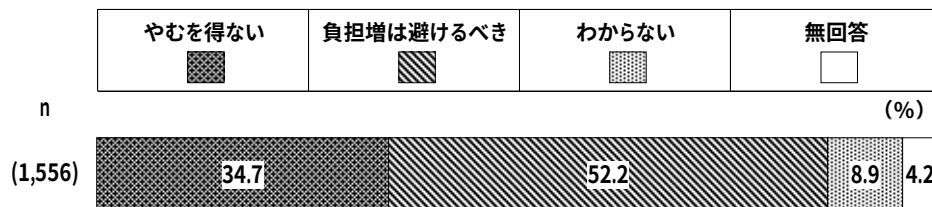
3. 収集回数を増やすための経費

◇「負担増は避けるべき」が52.2%

問35①-3 収集回数を増やすため、経費が増えることについて、どのように思いますか。

(○は1つ)

図表5-3-3



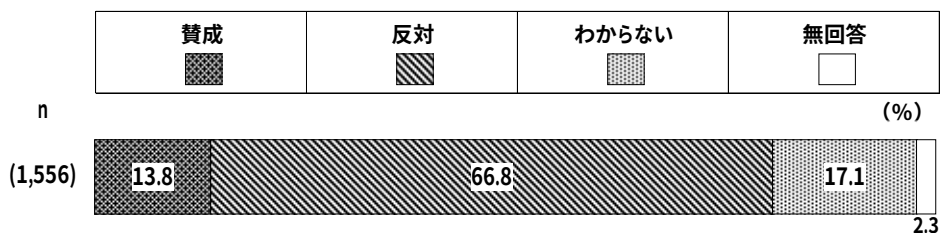
収集回数を増やすための経費についてたずねたところ、「やむを得ない」(34.7%)は3割半ば、「負担増は避けるべき」(52.2%)が5割を超えている。(図表5-3-3)

(4) 家庭ごみ収集の有料化

◇「反対」が66.8%

問35② ごみ処理費用負担の公平性の観点から、家庭ごみ収集を有料化することについて、どのように思いますか。(○は1つ)

図表5-4-1



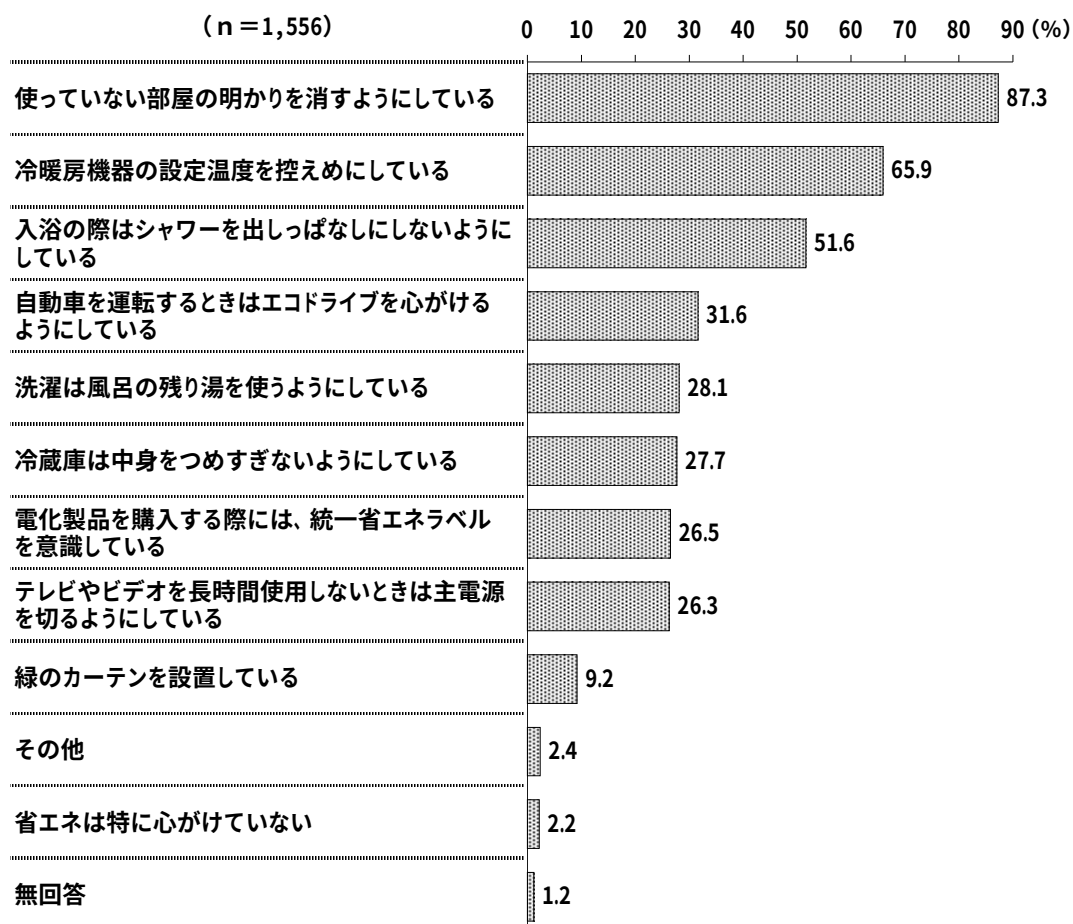
家庭ごみ収集の有料化についてたずねたところ、「賛成」(13.8%)は1割を超え、「反対」(66.8%)が7割近くとなっている。(図表5-4-1)

(5) 実行している省エネ活動

◇「使っていない部屋の明かりを消すようにしている」が87.3%

問36 あなたは、省エネのためにどのようなことを行っていますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。(○はいくつでも)

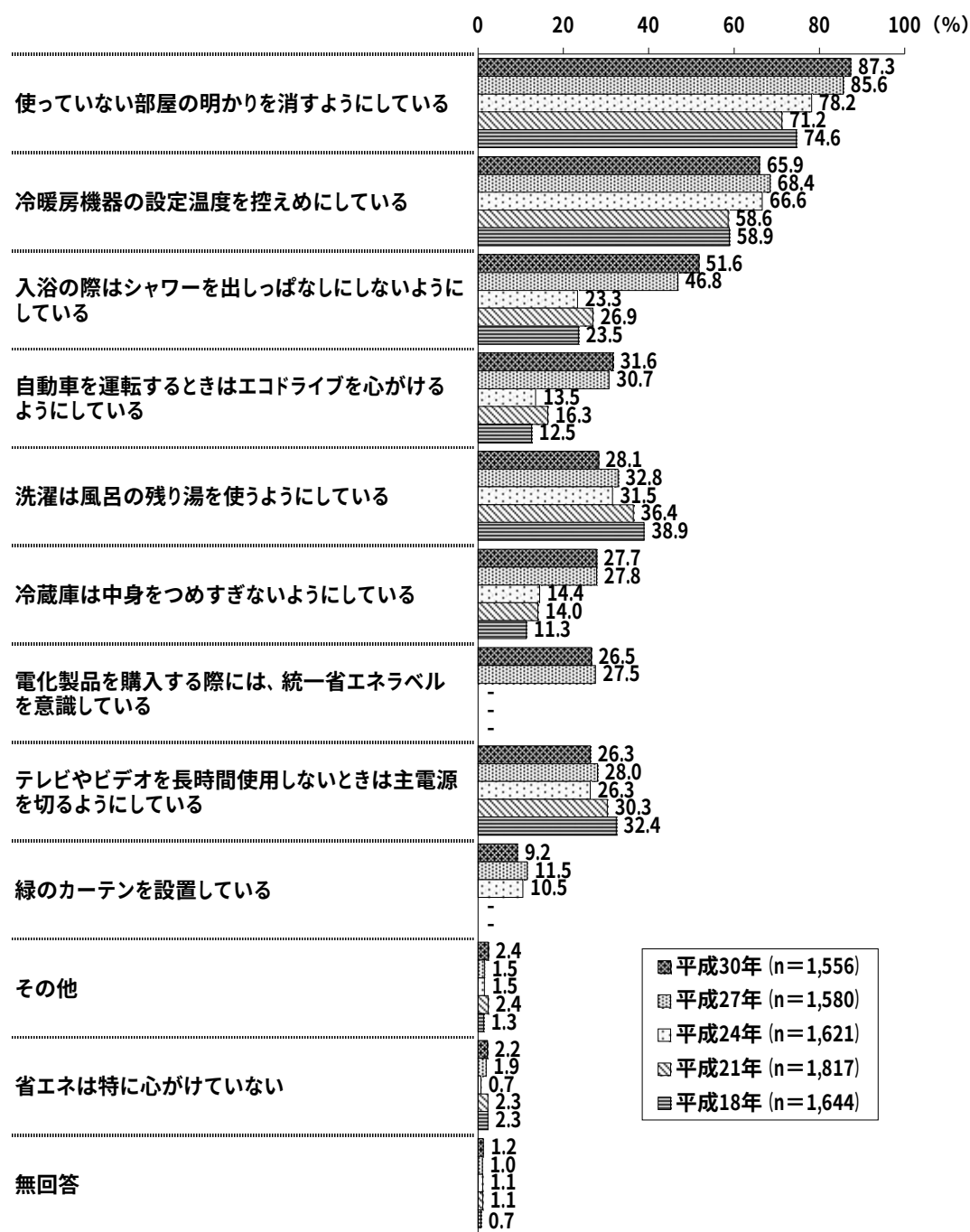
図表 5 - 5 - 1



実行している省エネ活動をたずねたところ、「使っていない部屋の明かりを消すようにしている」(87.3%) が9割近くで最も多くなっている。以下、「冷暖房機器の設定温度を控えめにしている」(65.9%)、「入浴の際はシャワーを出しっぱなしにしないようにしている」(51.6%)、「自動車を運転するときはエコドライブを心がけるようにしている」(31.6%)などの順となっている。
(図表 5 - 5 - 1)

時系列でみると、「入浴の際はシャワーを出しっぱなしにしないようにしている」は前回調査より4.8ポイント増加している。一方、「洗濯は風呂の残り湯を使うようにしている」は前回調査より4.7ポイント減少している。（図表5-5-2）

図表5-5-2 時系列－実行している省エネ活動

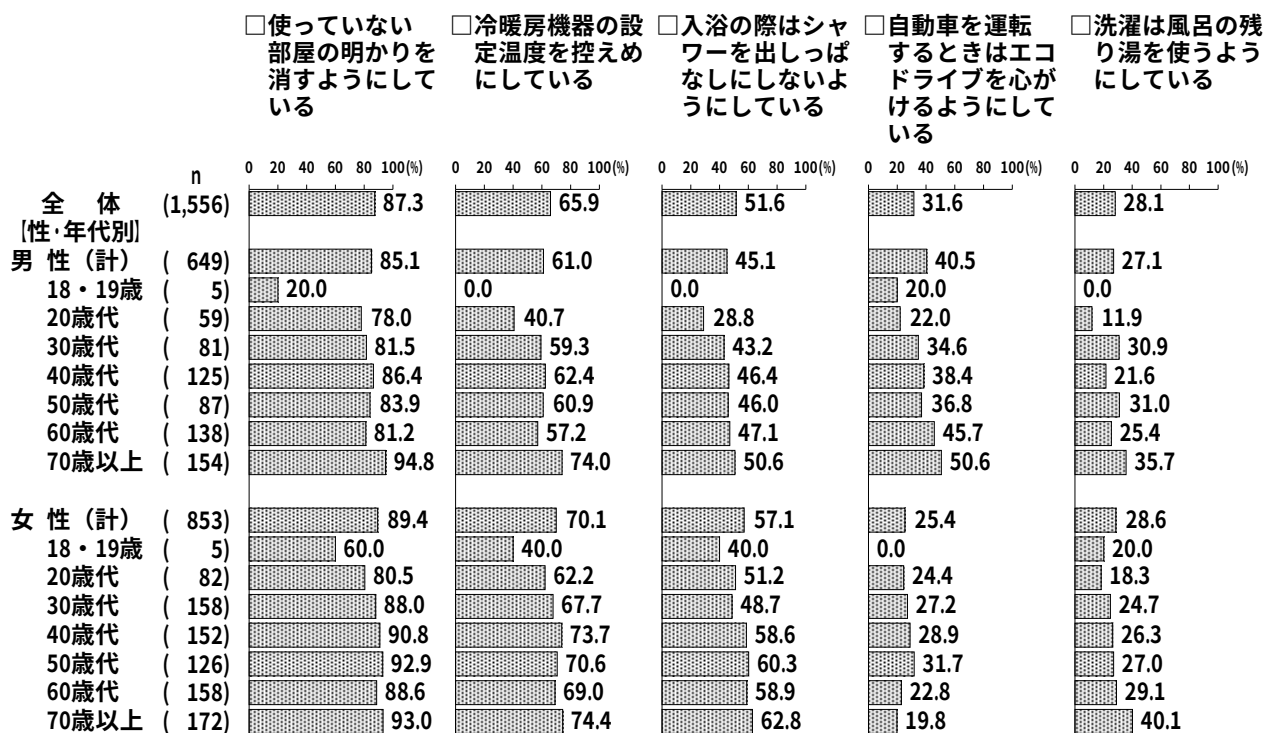


(注1) 「電化製品を購入する際には、統一省エネラベルを意識している」は、平成27年から追加された選択肢。

(注2) 「緑のカーテンを設置している」は、平成24年から追加された選択肢。

上位5項目を性・年代別にみると、「使っていない部屋の明かりを消すようにしている」は男性70歳以上で9割半ばと多くなっている。「冷暖房機器の設定温度を控えめにしている」は男女ともに70歳以上で7割半ばと多くなっている。「自動車を運転するときはエコドライブを心がけるようにしている」は男性70歳以上で約5割と多くなっている。（図表5-5-3）

図表5-5-3 性・年代別（上位5項目）－実行している省エネ活動



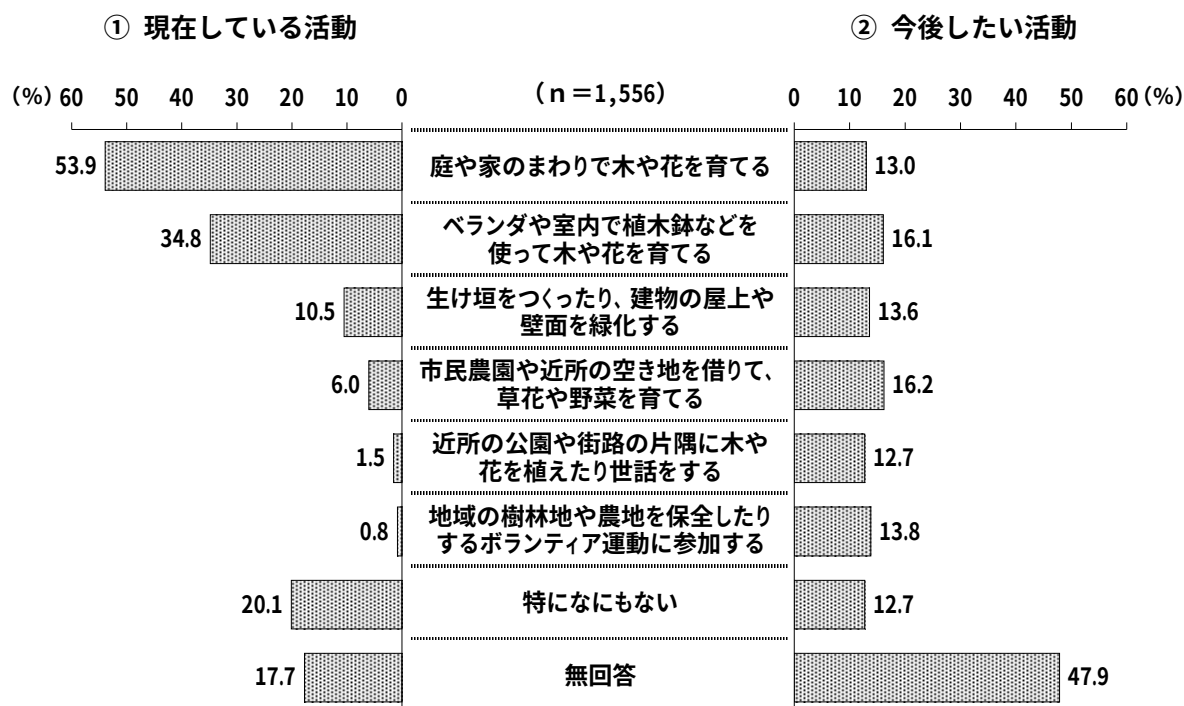
(6) まちの緑化への活動内容

◇《現在している活動》は「庭や家のまわりで木や花を育てる」が53.9%、

《今後したい活動》は「市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる」が16.2%、
「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」が16.1%

問37 あなたは、緑を増やすために、①現在どのようなことをしていますか。また、②今後どのようなことをしたいですか。（○はいくつでも）

図表 5 - 6 - 1



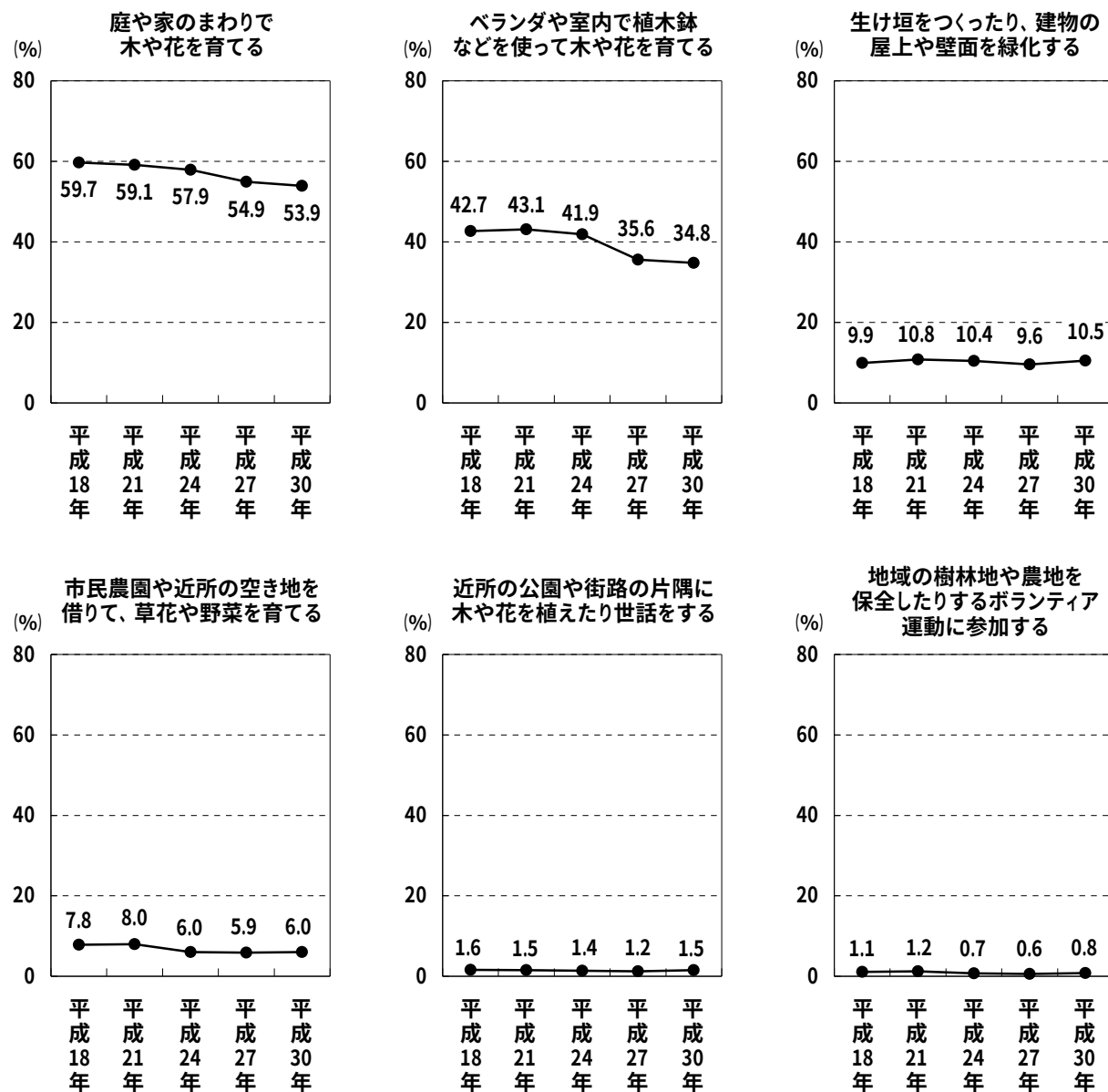
まちの緑化のために《現在している活動》と《今後したい活動》をたずねたところ、《現在している活動》は、「庭や家のまわりで木や花を育てる」（53.9%）が5割を超えて最も多くなっている。以下、「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」（34.8%）、「生け垣をつくったり、建物の屋上や壁面を緑化する」（10.5%）などの順となっている。

《今後したい活動》は、「市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる」（16.2%）と「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」（16.1%）が1割半ばとなっている。

（図表 5 - 6 - 1）

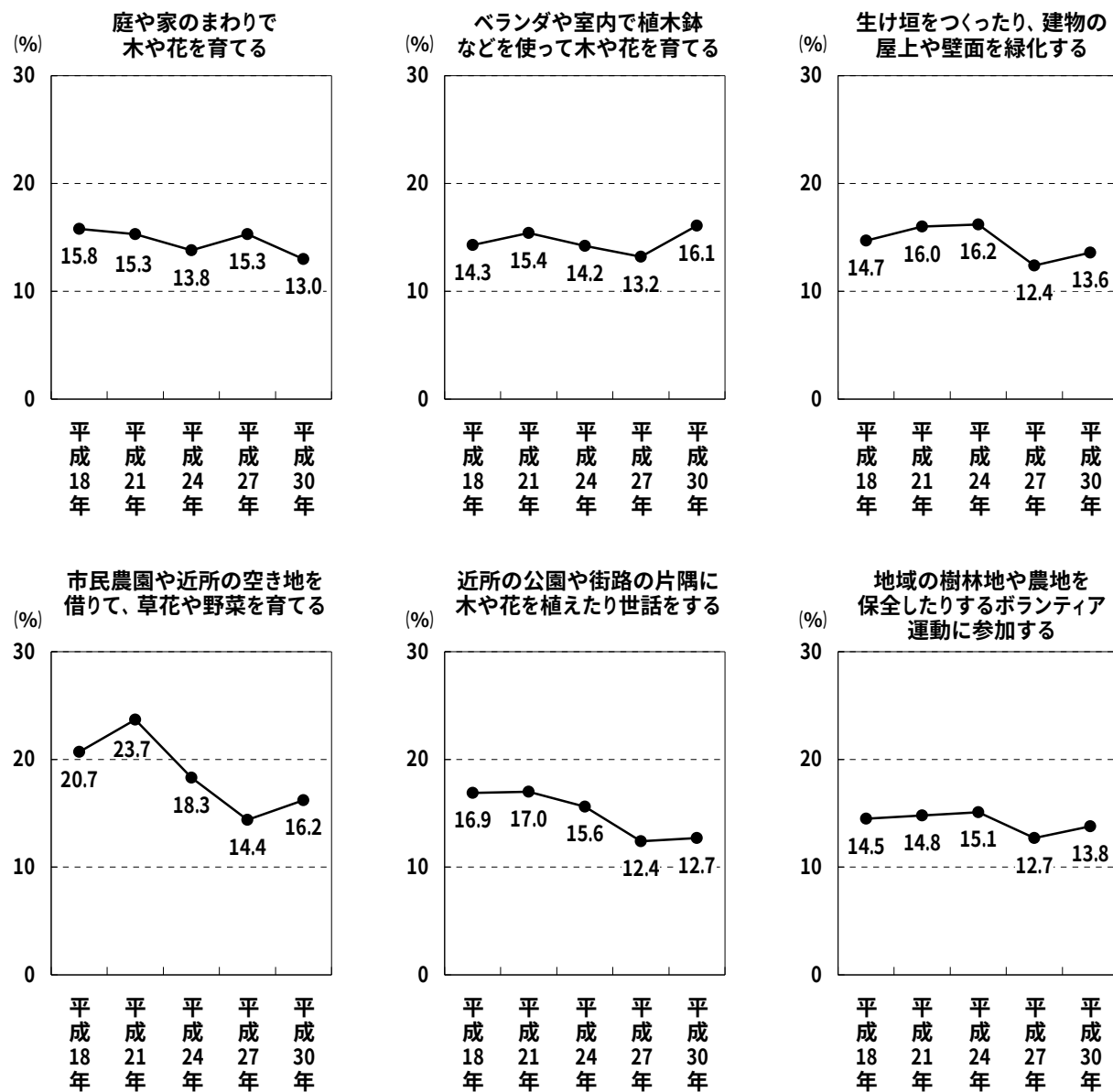
《現在している活動》を時系列でみると、「庭や家のまわりで木や花を育てる」は平成18年以降、「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」は平成21年以降、それぞれ減少傾向となっている。（図表5-6-2）

図表5-6-2 時系列ーまちの緑化への活動内容 《現在している活動》



《今後したい活動》を時系列でみると、「庭や家のまわりで木や花を育てる」を除くすべての項目で、前回調査より増加している。（図表5-6-3）

図表5-6-3 時系列—まちの緑化への活動内容 《今後したい活動》

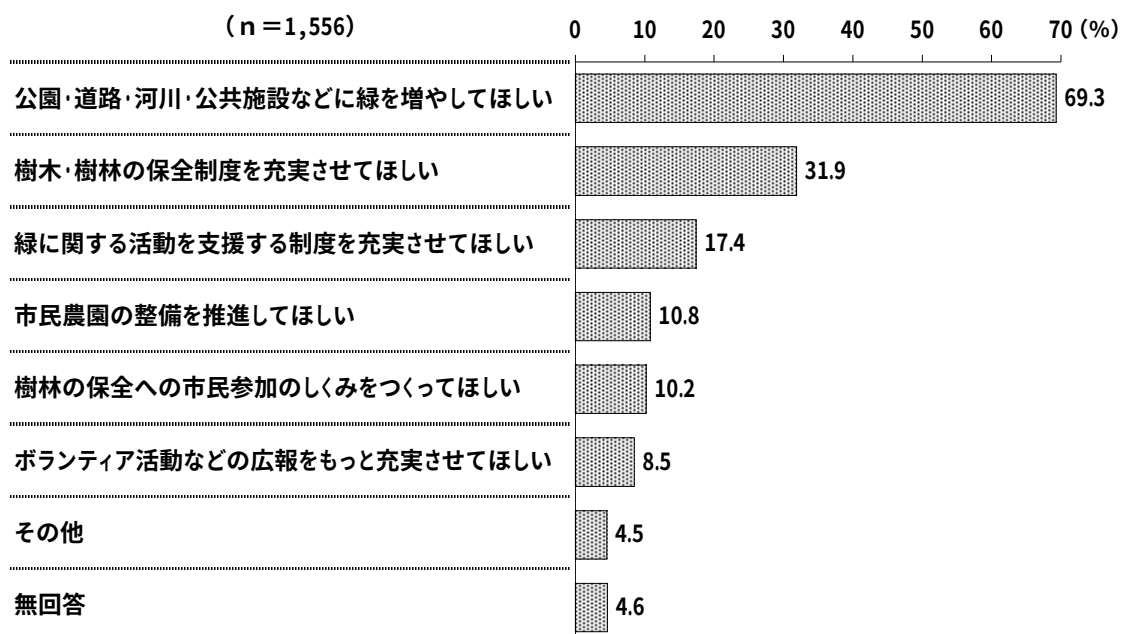


(7) まちの緑化への施策

◇「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」が69.3%

問38 あなたは、街の緑を守り、増やすために、どのようなことを望みますか。次の中から3つ以内で選んでください。（○は3つ以内）

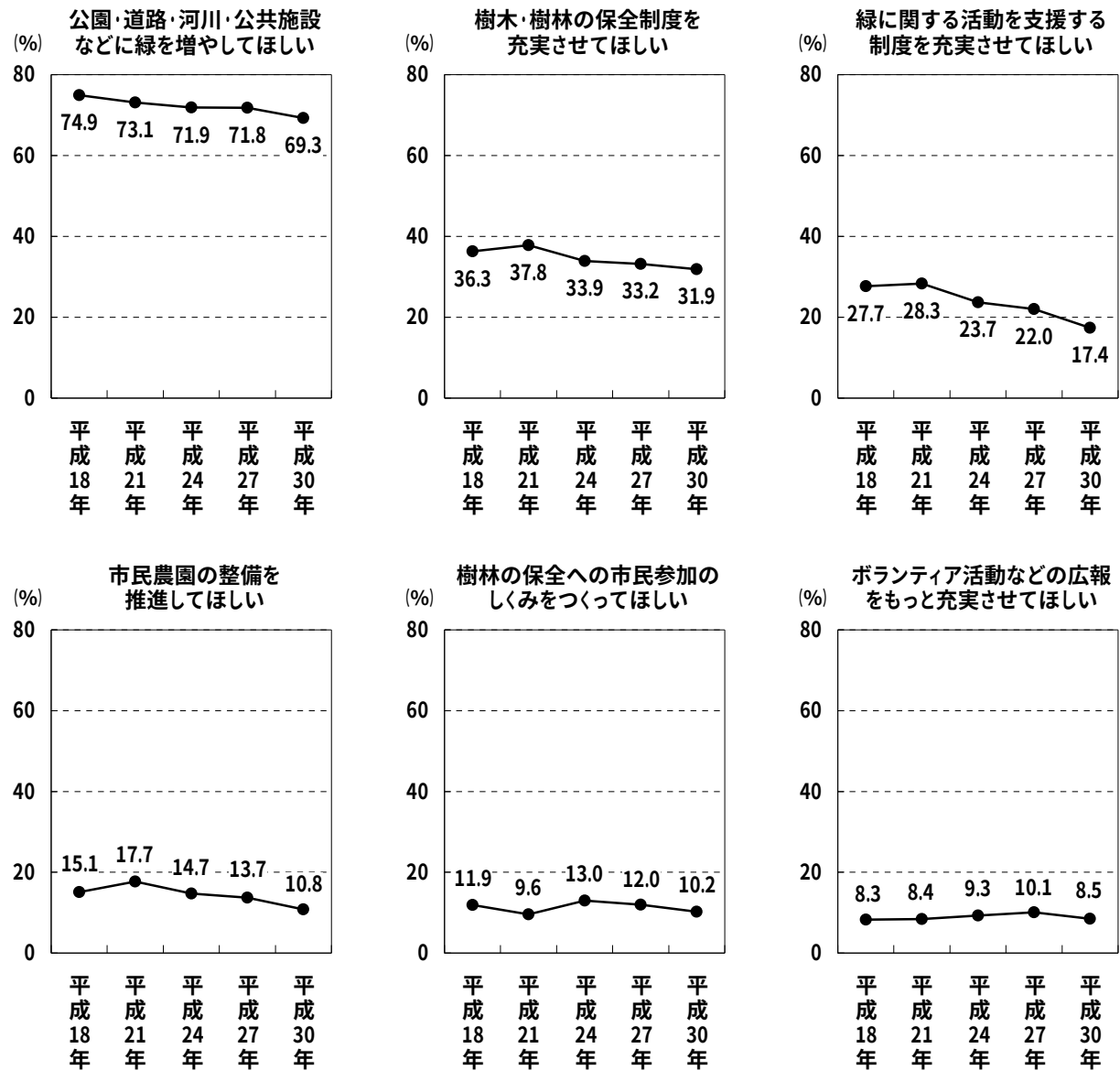
図表 5 - 7 - 1



まちの緑化への施策をたずねたところ、「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」（69.3%）が約7割で最も多くなっている。以下、「樹木・樹林の保全制度を充実させてほしい」（31.9%）、「緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい」（17.4%）、「市民農園の整備を推進してほしい」（10.8%）などの順となっている。（図表 5 - 7 - 1）

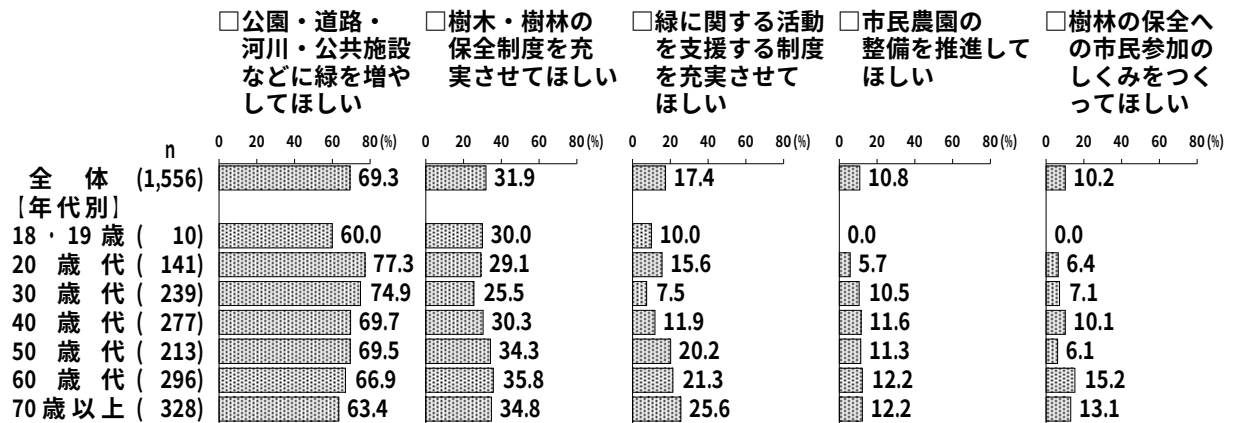
時系列でみると、「緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい」は平成21年以降減少傾向となっており、前回調査より4.6ポイント減少している。（図表5-7-2）

図表5-7-2 時系列ーまちの緑化への施策



上位5項目を年代別にみると、「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」は20歳代と30歳代で7割台と多くなっている。「緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい」は70歳以上で2割半ばと多くなっている。（図表5-7-3）

図表5-7-3 年代別（上位5項目）－まちの緑化への施策



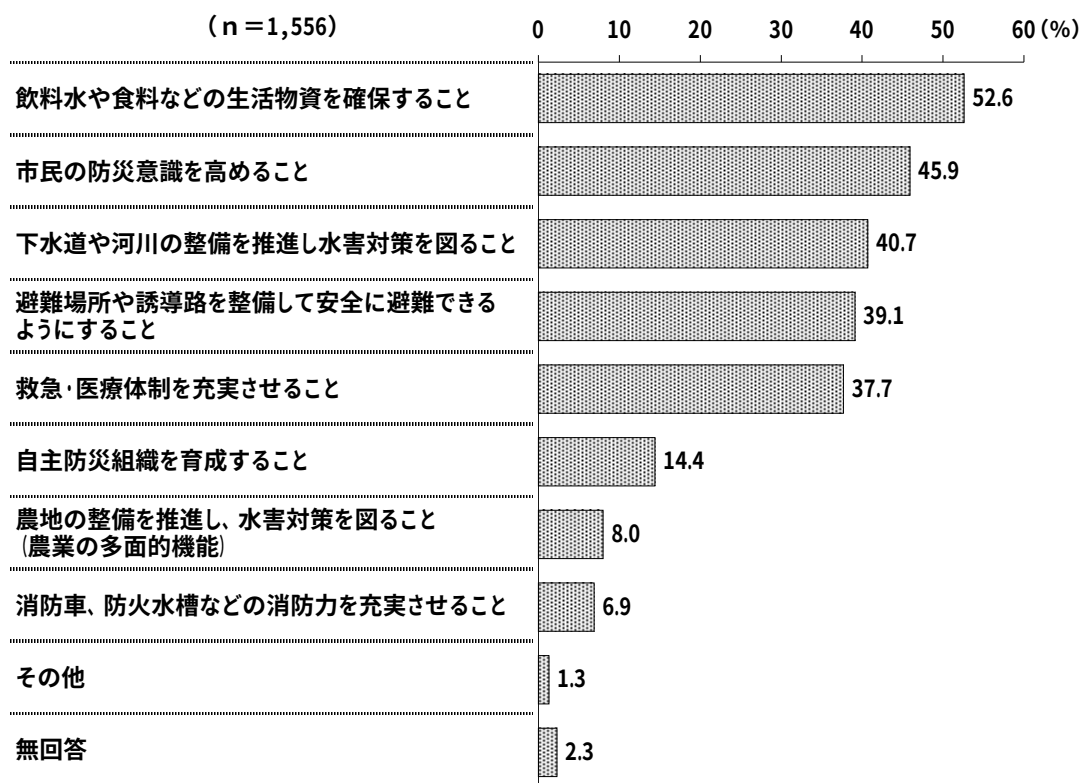
6. 地域社会と市民生活

(1) 防災対策として必要な施策

◇「飲料水や食料などの生活物資を確保すること」が52.6%

問39 あなたは、防災対策として、どのような施策が必要だと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。（○は3つ以内）

図表 6 - 1 - 1

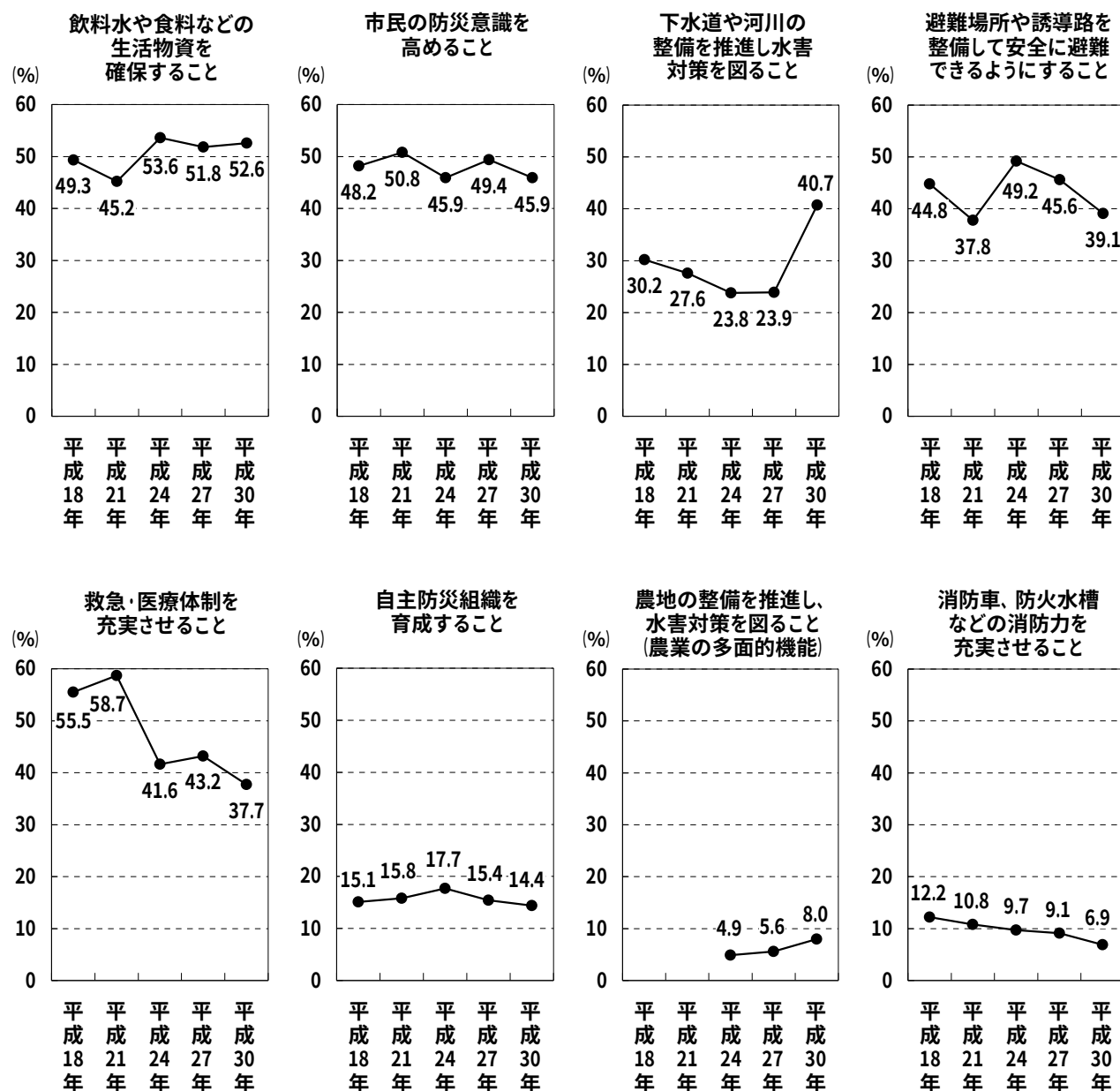


防災対策として必要な施策をたずねたところ、「飲料水や食料などの生活物資を確保すること」(52.6%)が5割を超えて最も多くなっている。以下、「市民の防災意識を高めること」(45.9%)、「下水道や河川の整備を推進し水害対策を図ること」(40.7%)、「避難場所や誘導路を整備して安全に避難できるようにすること」(39.1%)などの順となっている。(図表 6 - 1 - 1)

時系列でみると、「下水道や河川の整備を推進し水害対策を図ること」は前回調査より16.8ポイント増加している。一方、「避難場所や誘導路を整備して安全に避難できるようにすること」は前回調査より6.5ポイント、「救急・医療体制を充実させること」は前回調査より5.5ポイント、「市民の防災意識を高めること」は前回調査より3.5ポイント、それぞれ減少している。

(図表6-1-2)

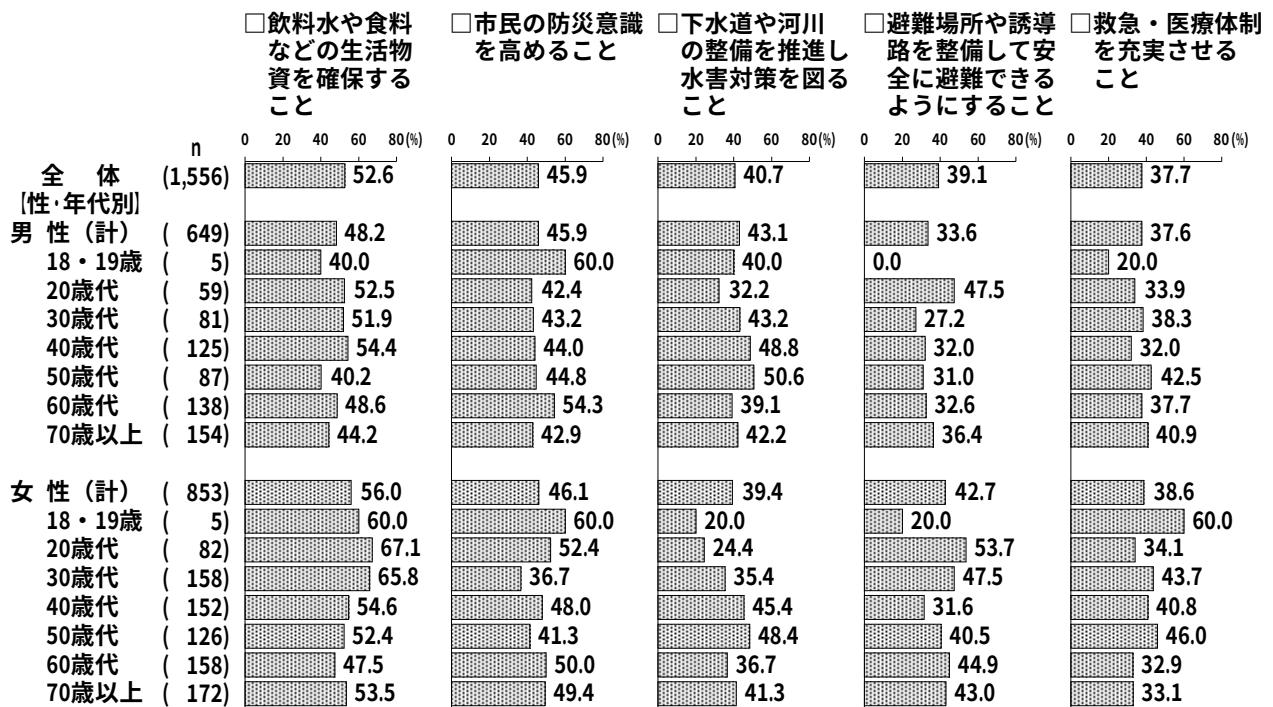
図表6-1-2 時系列－防災対策として必要な施策



(注) 「農地の整備を推進し、水害対策を図ること（農業の多面的機能）」は、平成24年から追加された選択肢。

上位5項目を性・年代別にみると、「飲料水や食料などの生活物資を確保すること」は女性の20歳代と30歳代で6割台と多くなっている。「市民の防災意識を高めること」は男性60歳代で5割半ばと多くなっている。「避難場所や誘導路を整備して安全に避難できるようにすること」は女性20歳代で5割を超えて多くなっている。（図表6-1-3）

図表6-1-3 性・年代別（上位5項目）－防災対策として必要な施策

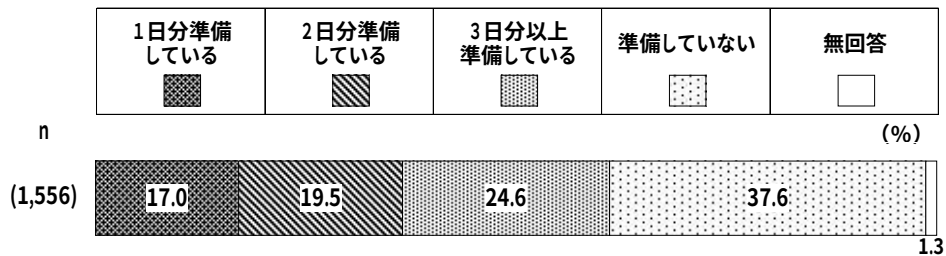


(2) 水・食料の備蓄量

◇「3日分以上準備している」が24.6%

問40 東日本大震災以降、個人で3日分以上の水や食料の備蓄が必要といわれておりますが、あなたは何日分準備していますか。（○は1つ）

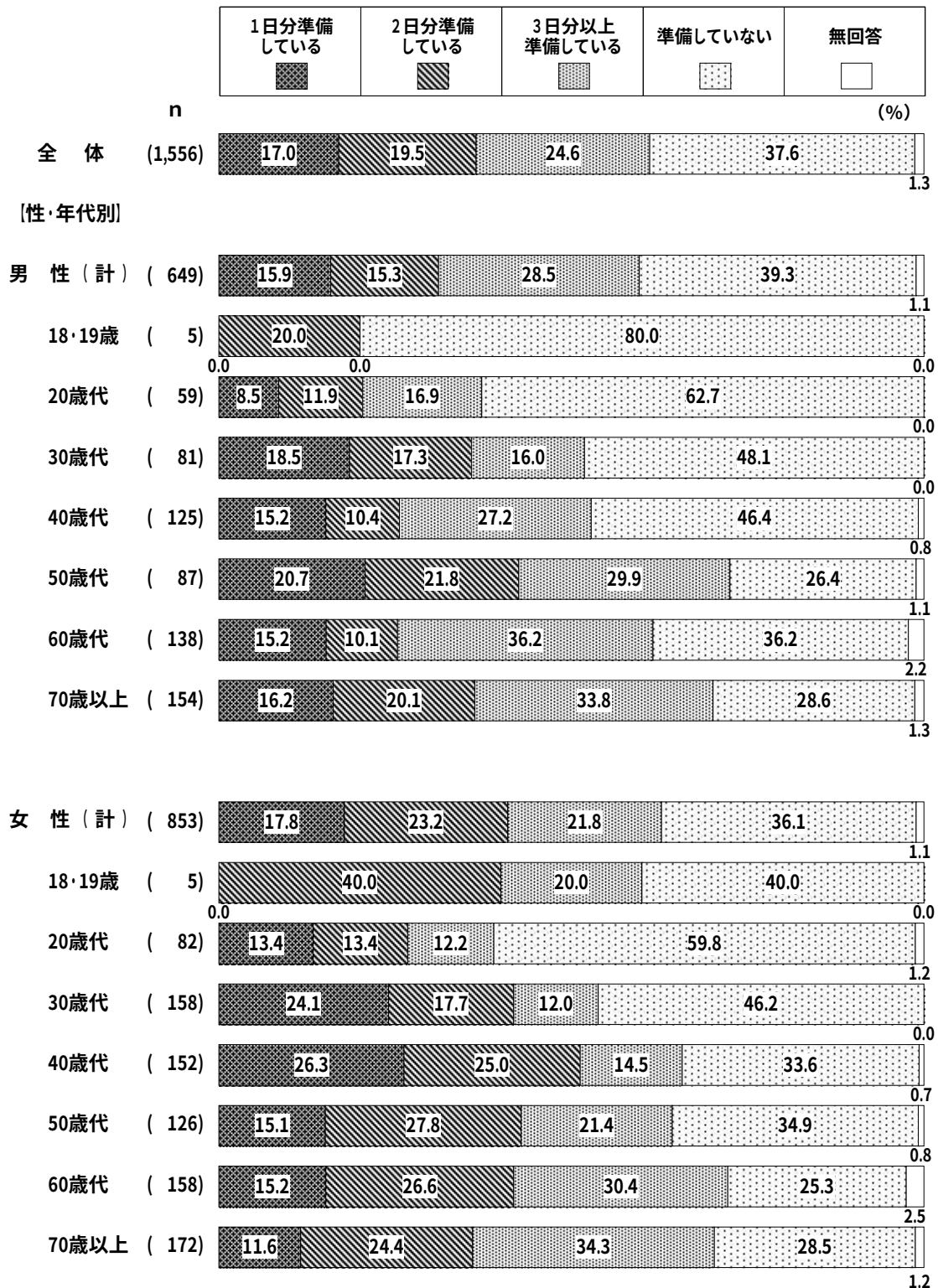
図表 6 - 2 - 1



水・食料の備蓄量をたずねたところ、「3日分以上準備している」（24.6%）が2割半ばとなっている。「2日分準備している」（19.5%）は2割、「1日分準備している」（17.0%）は2割近くとなっている。一方、「準備していない」（37.6%）は4割近くとなっている。（図表 6 - 2 - 1）

性・年代別にみると、「1日分準備している」は女性の30歳代と40歳代で2割半ばと多くなっている。「3日以上準備している」は男女ともに60歳代と70歳以上で3割台と多くなっている。一方、「準備していない」は男女ともにおおむね年代が低くなるにつれて多く、男性20歳代で6割を超え、女性20歳代で6割となっている。（図表6-2-2）

図表6-2-2 性・年代別－水・食料の備蓄量

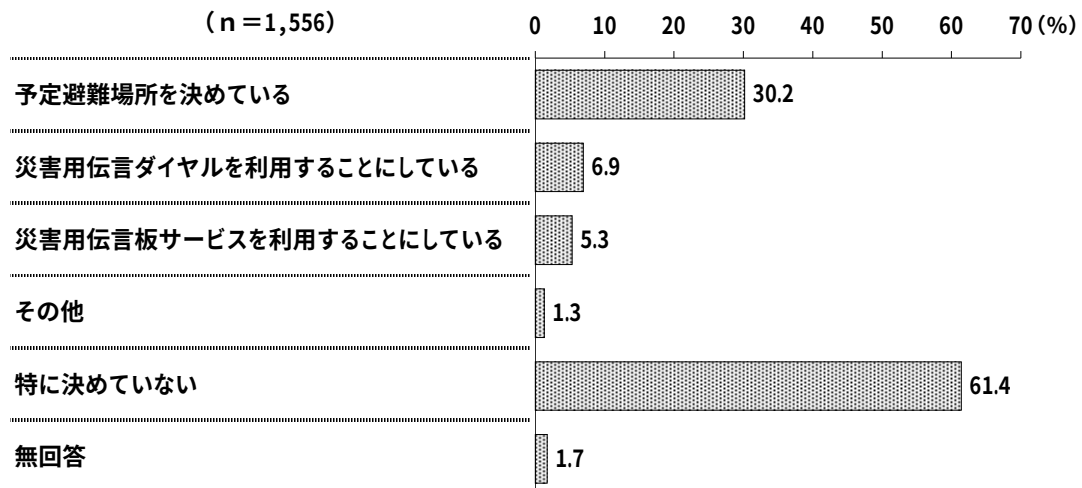


(3) 家族等との安否確認手段

◇「予定避難場所を決めている」が30.2%

問41 あなたは、家族等との安否確認手段を決めていますか。(○はいくつでも)

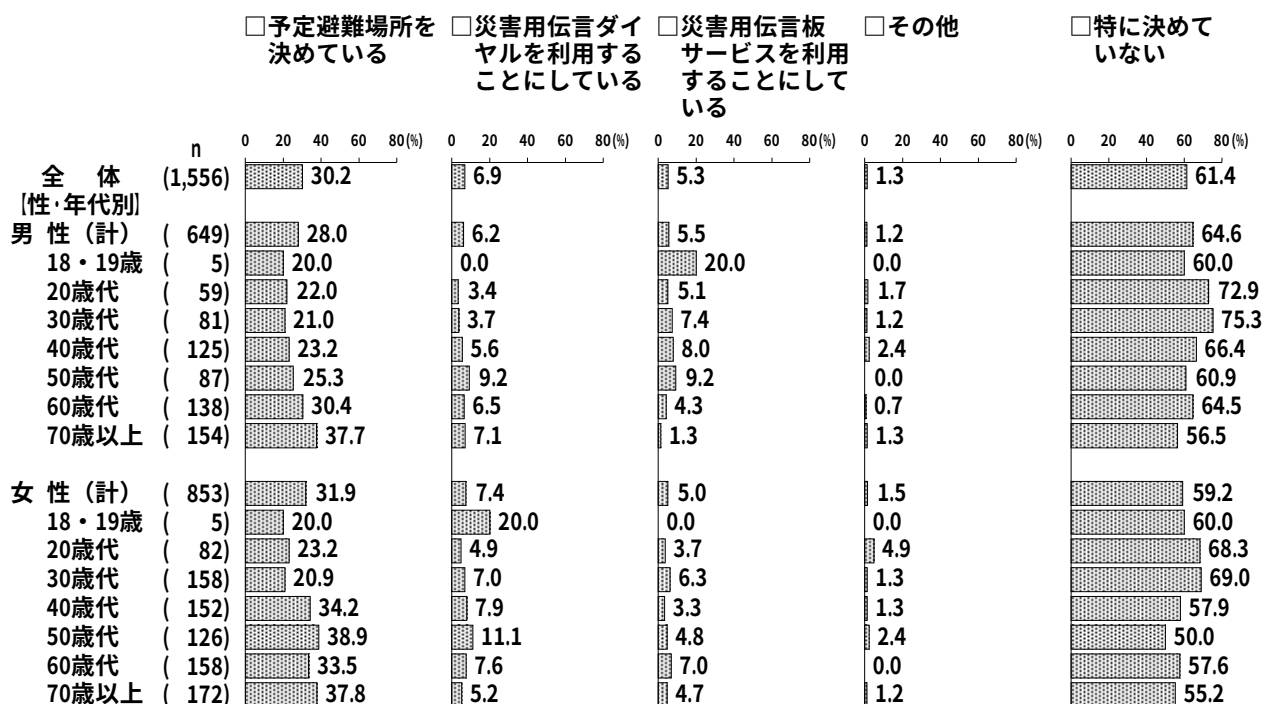
図表 6 - 3 - 1



家族等との安否確認手段を決めているかたずねたところ、「予定避難場所を決めている」(30.2%)が3割で最も多くなっている。以下、「災害用伝言ダイヤルを利用することになっている」(6.9%)、「災害用伝言板サービスを利用することになっている」(5.3%)などの順となっている。一方、「特に決めていない」(61.4%)は6割を超えている。(図表 6 - 3 - 1)

性・年代別にみると、「予定避難場所を決めている」は女性の50歳代と70歳以上、男性70歳以上で4割近くと多くなっている。一方、「特に決めていない」は男性の20歳代と30歳代で7割台と多くなっている。（図表6-3-2）

図表6-3-2 性・年代別—家族等との安否確認手段

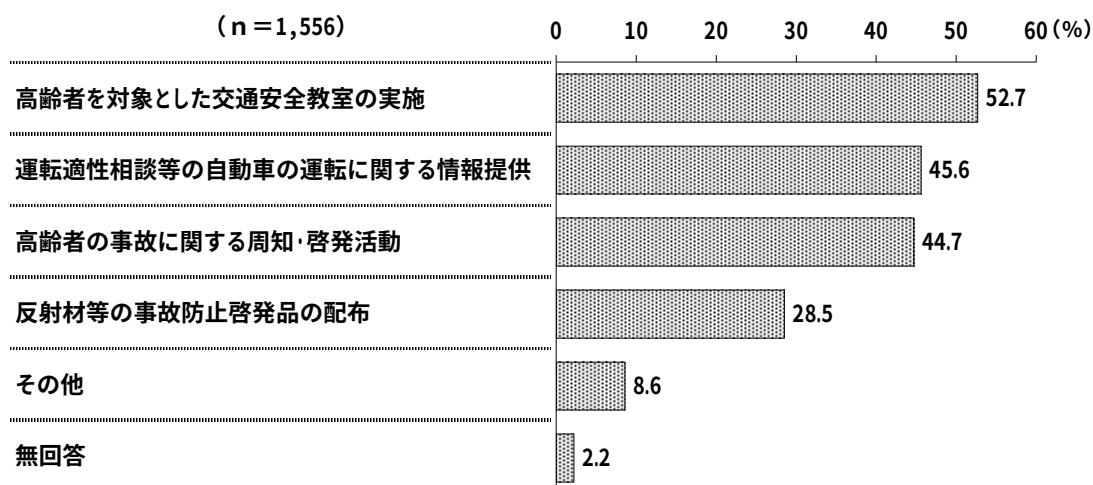


(4) 高齢者の交通事故防止に必要なこと

◇「高齢者を対象とした交通安全教室の実施」が52.7%

問42 あなたは、高齢者の交通事故防止に何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

図表 6 - 4 - 1



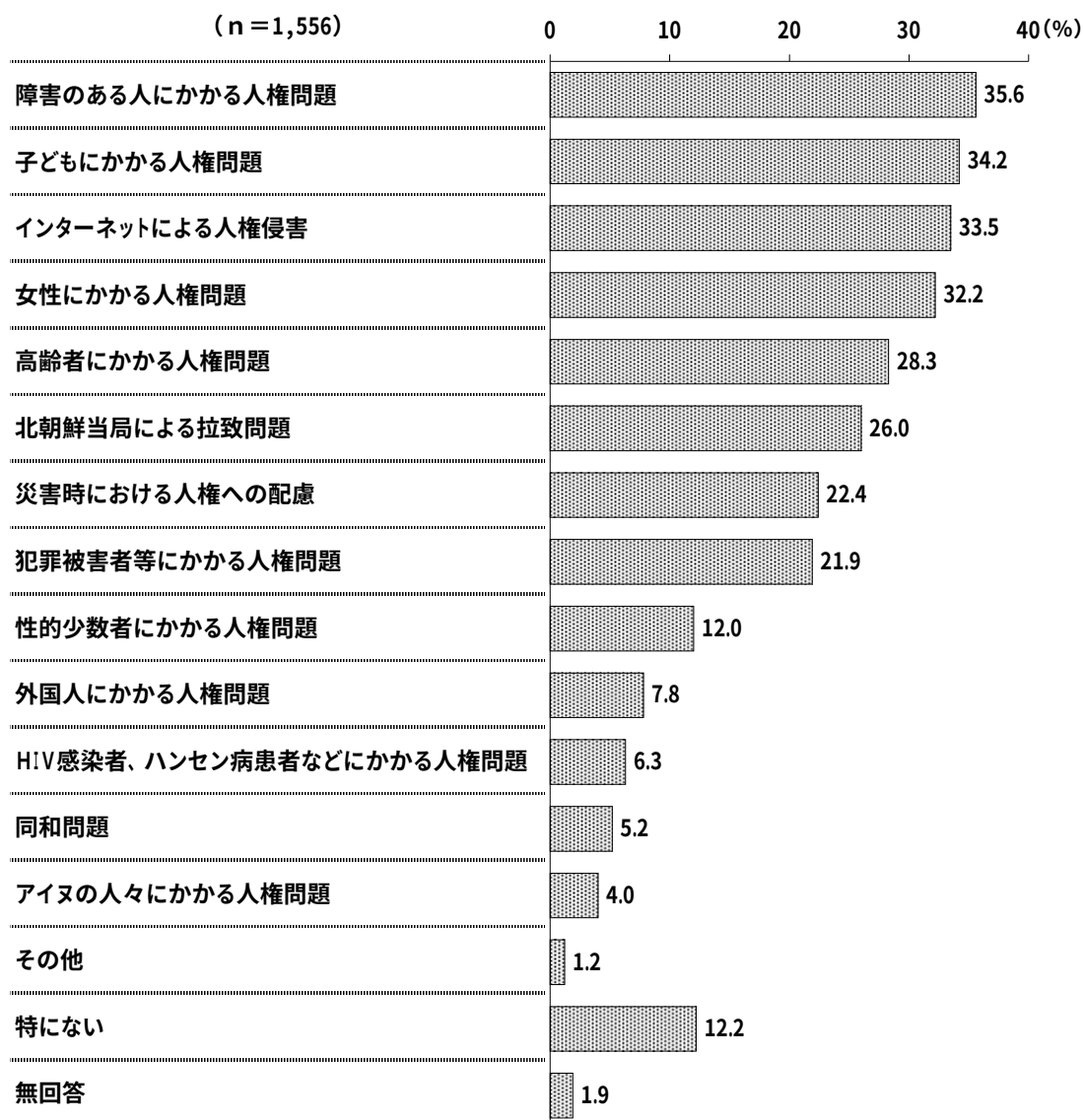
高齢者の交通事故防止に必要なことをたずねたところ、「高齢者を対象とした交通安全教室の実施」（52.7%）が5割を超えて最も多くなっている。以下、「運転適性相談等の自動車の運転に関する情報提供」（45.6%）、「高齢者の事故に関する周知・啓発活動」（44.7%）、「反射材等の事故防止啓発品の配布」（28.5%）などの順となっている。（図表 6 - 4 - 1）

（５）関心のある人権問題

◇「障害のある人にかかる人権問題」が35.6%、「子どもにかかる人権問題」が34.2%

問43 現在、日本の社会には基本的人権に関わる問題がいくつかありますが、あなたが関心のあるものはどのようなものですか。（○はいくつでも）

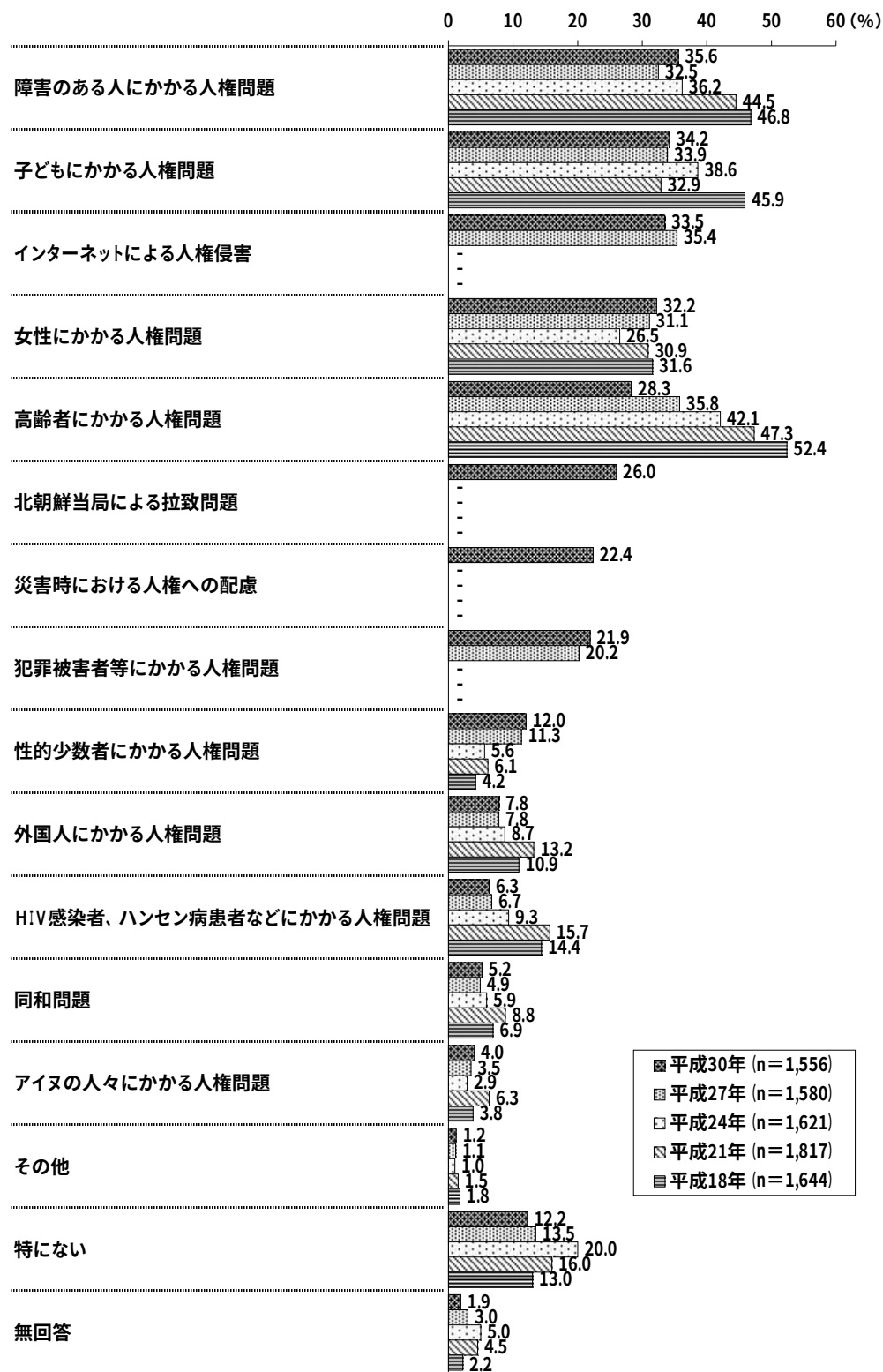
図表 6 - 5 - 1



関心のある人権問題をたずねたところ、「障害のある人にかかる人権問題」（35.6%）と「子どもにかかる人権問題」（34.2%）が3割半ばで多くなっている。以下、「インターネットによる人権侵害」（33.5%）、「女性にかかる人権問題」（32.2%）、「高齢者にかかる人権問題」（28.3%）などの順となっている。（図表 6 - 5 - 1）

時系列でみると、「障害のある人にかかる人権問題」は前回調査より3.1ポイント増加している。一方、「高齢者にかかる人権問題」は平成18年以降減少傾向となっており、前回調査より7.5ポイント減少している。（図表6-5-2）

図表6-5-2 時系列－関心のある人権問題

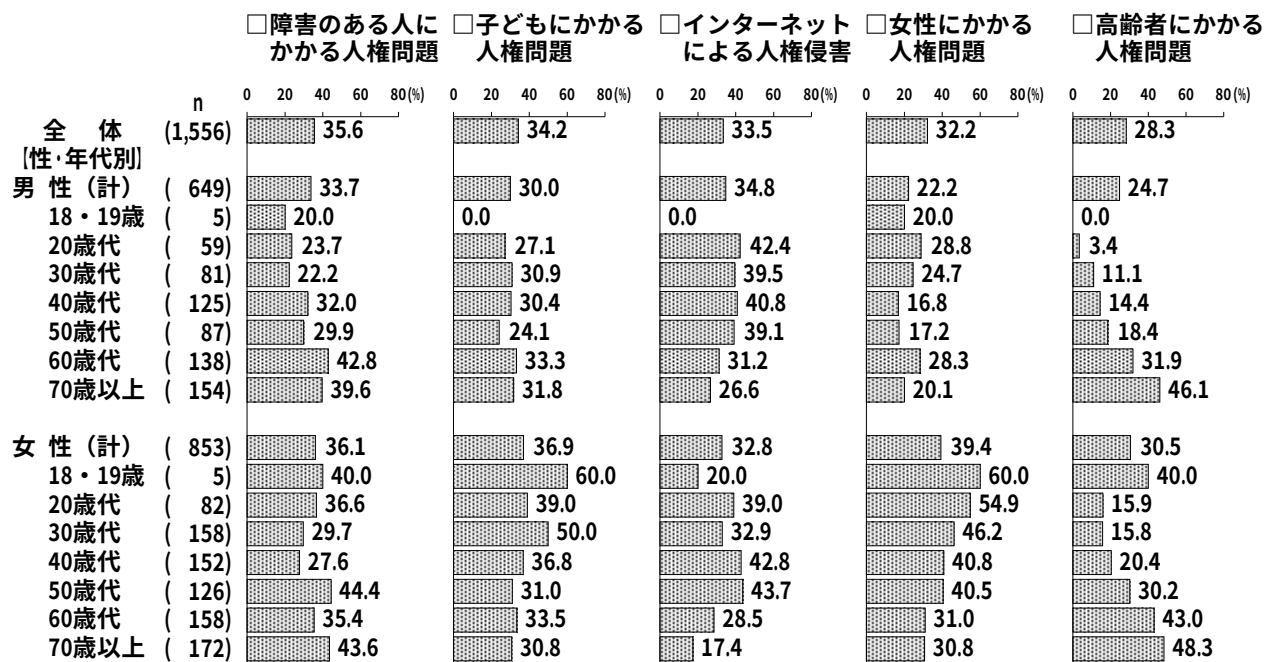


(注1) 「北朝鮮当局による拉致問題」、「災害時における人権への配慮」は、平成30年から追加された選択肢。

(注2) 「インターネットによる人権侵害」、「犯罪被害者等にかかる人権問題」は、平成27年から追加された選択肢。

上位5項目を性・年代別にみると、「子どもにかかる人権問題」は女性30歳代で5割と多くなっている。「女性にかかる人権問題」は女性20歳代で5割半ばと多くなっている。「高齢者にかかる人権問題」は男女ともにおおむね年代が高くなるにつれて多く、女性の60歳代と70歳以上、男性70歳以上で4割台となっている。（図表6-5-3）

図表6-5-3 性・年代別（上位5項目）－関心のある人権問題

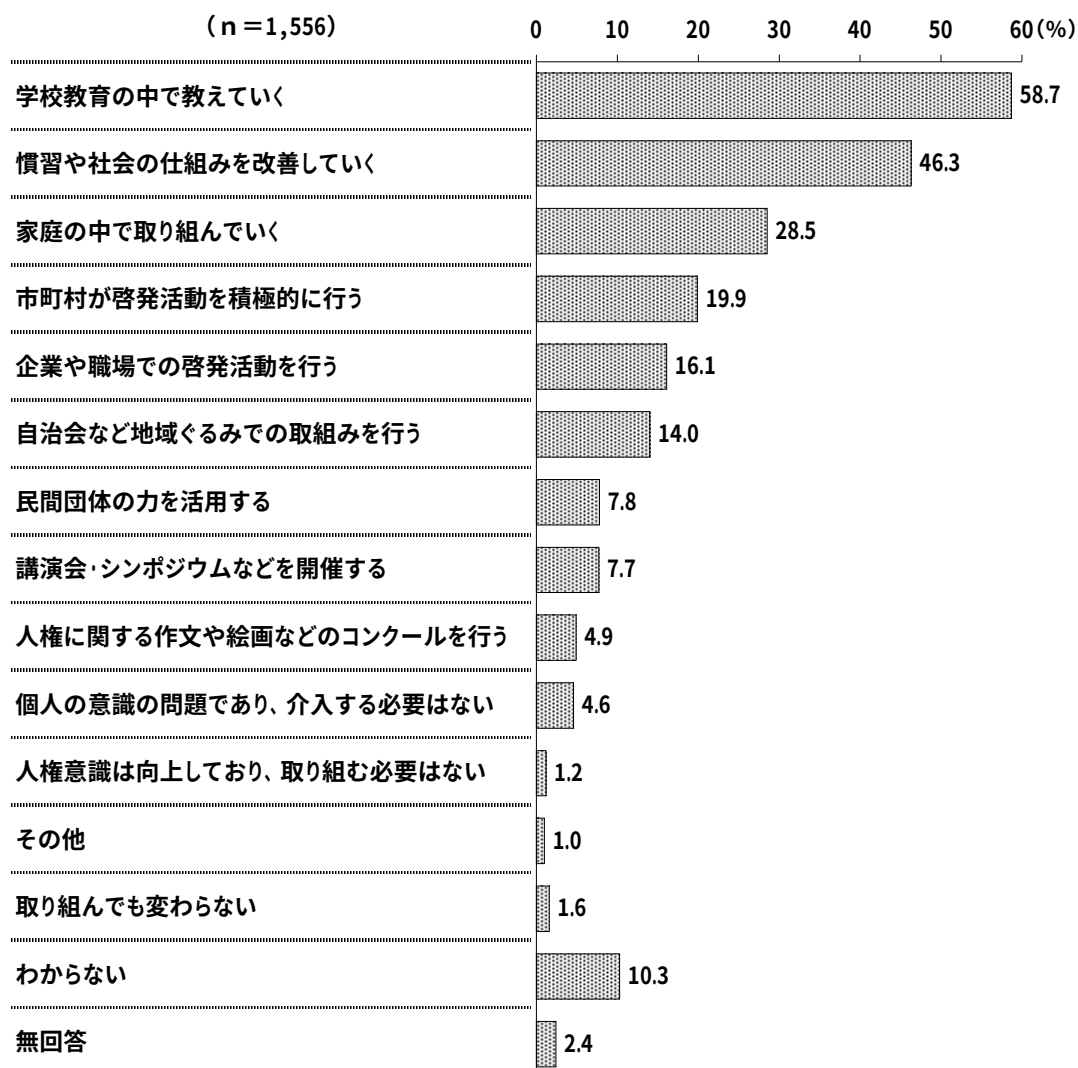


(6) 人権意識を高めていくために必要な取組

◇「学校教育の中で教えていく」が58.7%

問44 人権問題についての理解を深め、人権意識を高めていくためには、今後どのような取組が必要だとお考えですか。（○はいくつでも）

図表 6 - 6 - 1

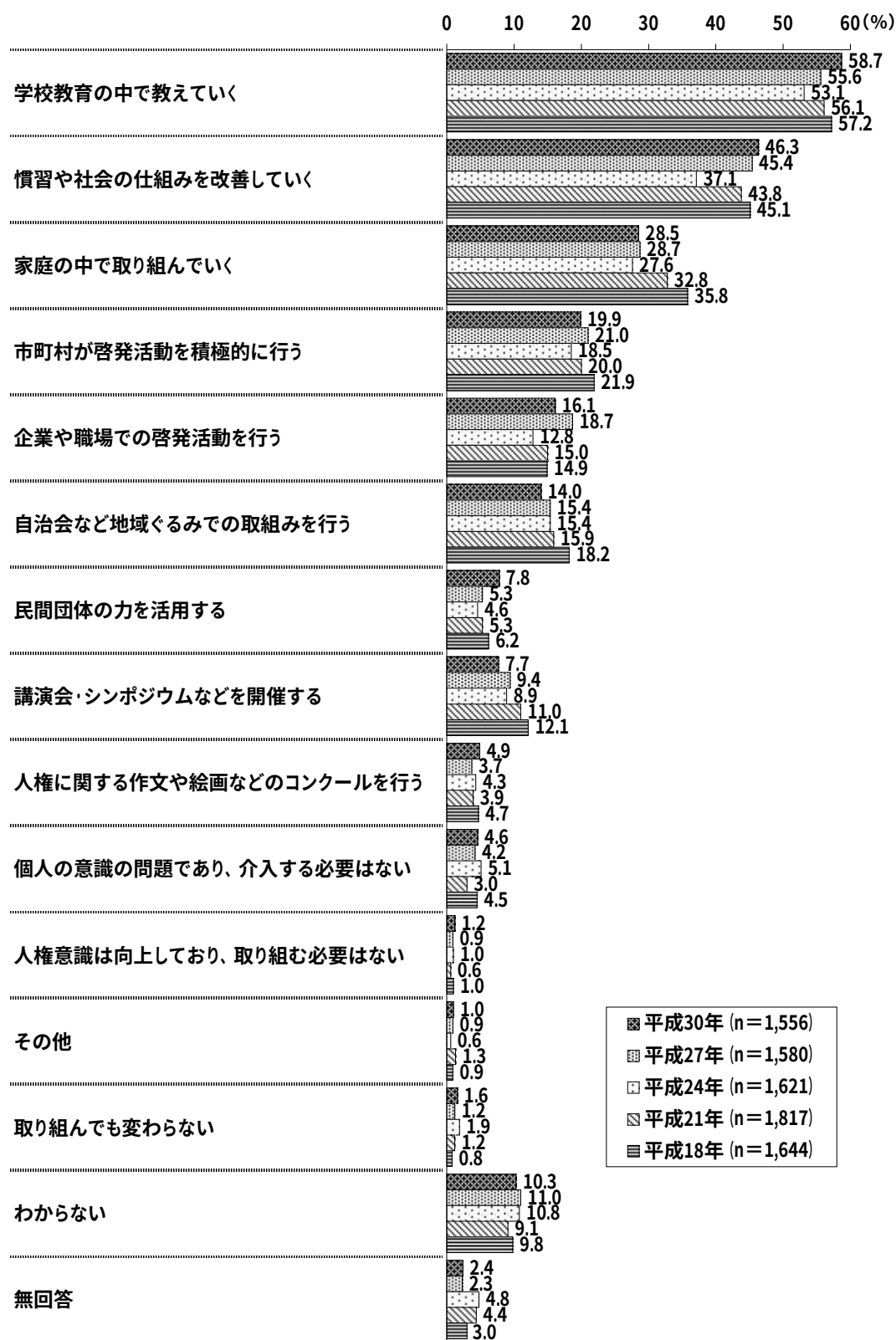


人権意識を高めていくために必要な取組をたずねたところ、「学校教育の中で教えていく」(58.7%)が6割近くで最も多くなっている。以下、「慣習や社会の仕組みを改善していく」(46.3%)、「家庭の中で取り組んでいく」(28.5%)、「市町村が啓発活動を積極的に行う」(19.9%)などの順となっている。(図表 6 - 6 - 1)

時系列でみると、「学校教育の中で教えていく」は前回調査より3.1ポイント増加している。

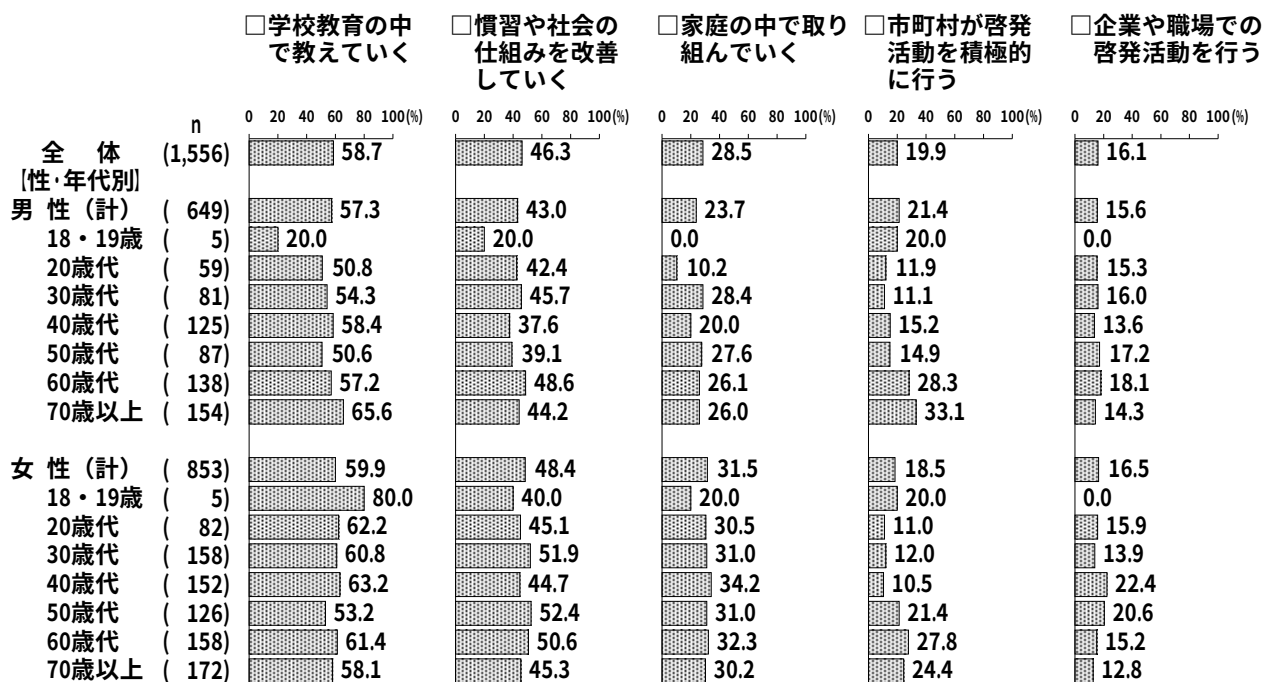
(図表6-6-2)

図表6-6-2 時系列—人権意識を高めていくために必要な取組



上位5項目を性・年代別にみると、「学校教育の中で教えていく」は男性70歳以上で6割半ばと多くなっている。「慣習や社会の仕組みを改善していく」は女性の30歳代、50歳代、60歳代で5割台と多くなっている。「市町村が啓発活動を積極的に行う」は男性70歳以上で3割を超えて多くなっている。（図表6-6-3）

図表6-6-3 性・年代別（上位5項目）一人権意識を高めていくために必要な取組

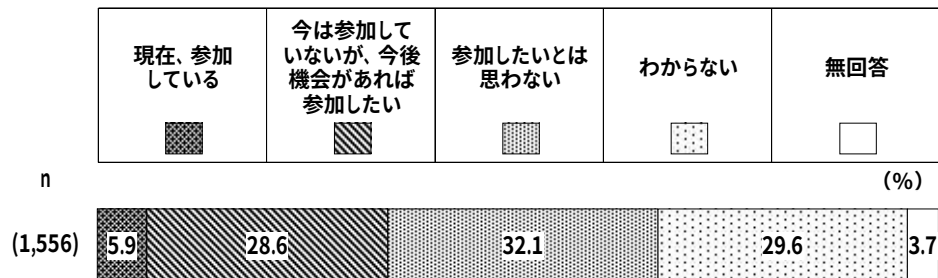


(7) 市民活動への参加意向

◇「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が28.6%

問45① あなたは、市民活動に参加したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。(○は1つ)

図表6-7-1



市民活動への参加意向をたずねたところ、「現在、参加している」(5.9%)は1割未満、「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」(28.6%)が3割近くとなっている。一方、「参加したいとは思わない」(32.1%)は3割を超えている。(図表6-7-1)

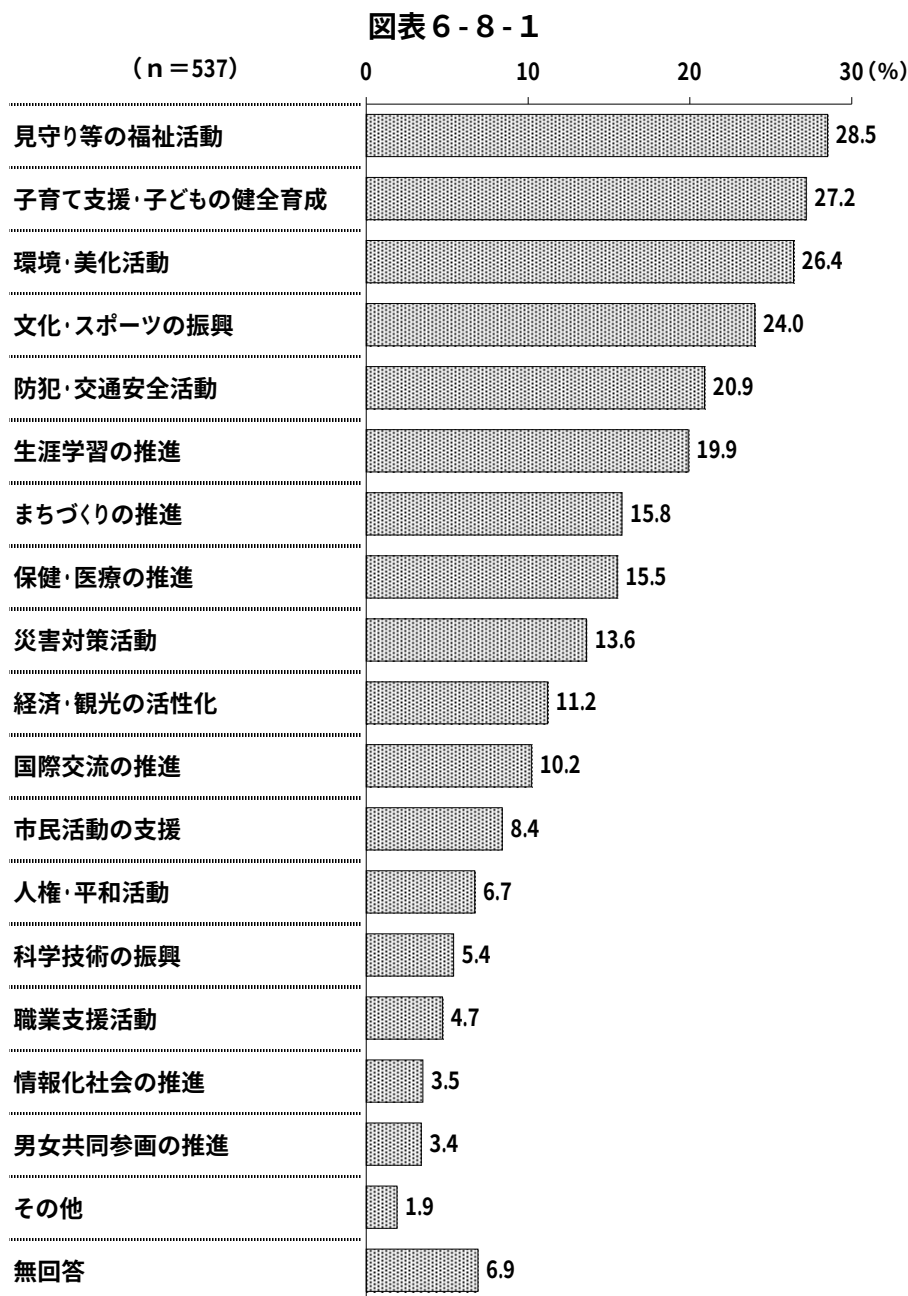
(8) 参加したい市民活動の分野

◇「見守り等の福祉活動」が28.5%、「子育て支援・子どもの健全育成」が27.2%

★問45①で「現在、参加している」「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」と答えた方におたずねします。

問45② あなたが参加している、または参加したいと思う市民活動の分野を選んでください。

(○はいくつでも)



問45①で「現在、参加している」「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」と答えた人(537人)に、参加している、または参加したい市民活動の分野をたずねたところ、「見守り等の福祉活動」(28.5%)と「子育て支援・子どもの健全育成」(27.2%)が3割近くで多くなっている。以下、「環境・美化活動」(26.4%)、「文化・スポーツの振興」(24.0%)などの順となっている。(図表6-8-1)

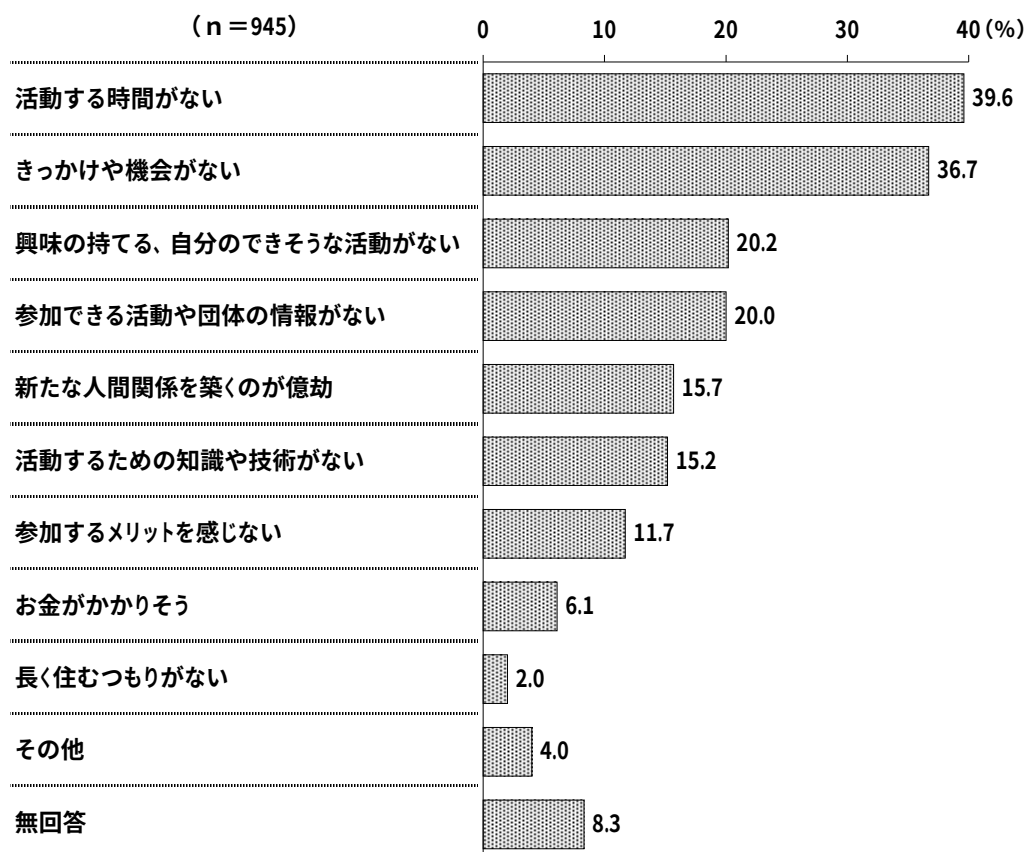
(9) 市民活動に参加していない、参加したいと思わない理由

◇「活動する時間がない」が39.6%

★問45①で「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」「参加したいとは思わない」と答えた方におたずねします。

問45③ 参加していない、または参加したいと思わない理由としてあてはまるものを、次の中から選んでください。(○はいくつでも)

図表 6 - 9 - 1



問45①で「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」「参加したいとは思わない」と答えた人(945人)に、参加していない、または参加したいと思わない理由をたずねたところ、「活動する時間がない」(39.6%)が4割で最も多くなっている。以下、「きっかけや機会がない」(36.7%)、「興味の持てる、自分のできそうな活動がない」(20.2%)、「参加できる活動や団体の情報がない」(20.0%)などの順となっている。(図表 6 - 9 - 1)

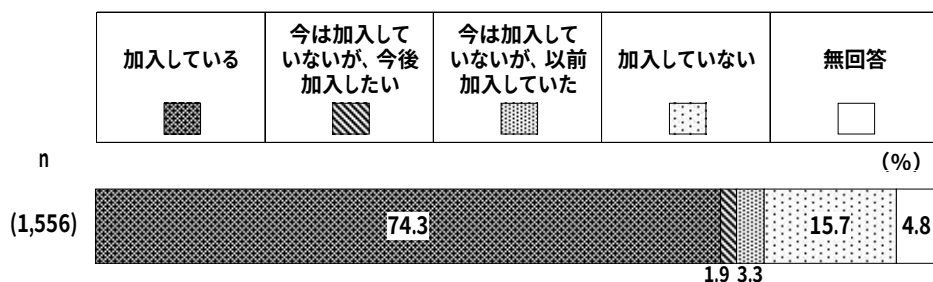
(10) 自治会への加入の有無

◇「加入している」が74.3%

問46① 自治会への加入の有無についてお伺いします。次の中から1つだけ選んでください。

(○は1つ)

図表 6 -10- 1

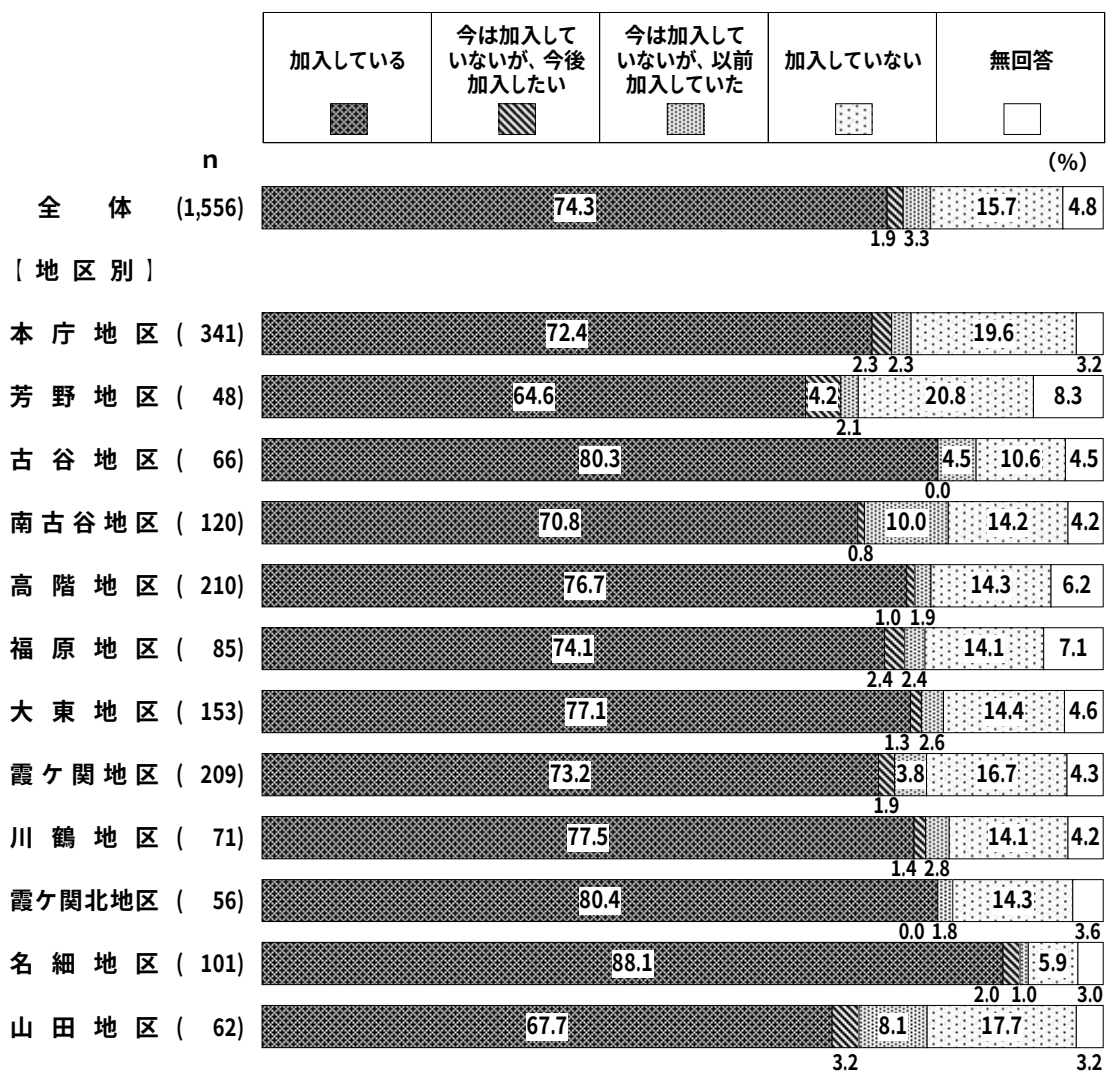


自治会への加入の有無についてたずねたところ、「加入している」（74.3%）が7割半ばで最も多くなっている。「今は加入していないが、今後加入したい」（1.9%）と「今は加入していないが、以前加入していた」（3.3%）はわずかとなっており、「加入していない」（15.7%）は1割半ばとなっている。（図表 6 -10- 1）

地区別にみると、「加入している」は名細地区で9割近く、霞ヶ関北地区と古谷地区で8割と多くなっている。一方、「加入していない」は芳野地区と本庁地区で約2割となっている。

(図表6-10-2)

図表6-10-2 地区別—自治会への加入の有無



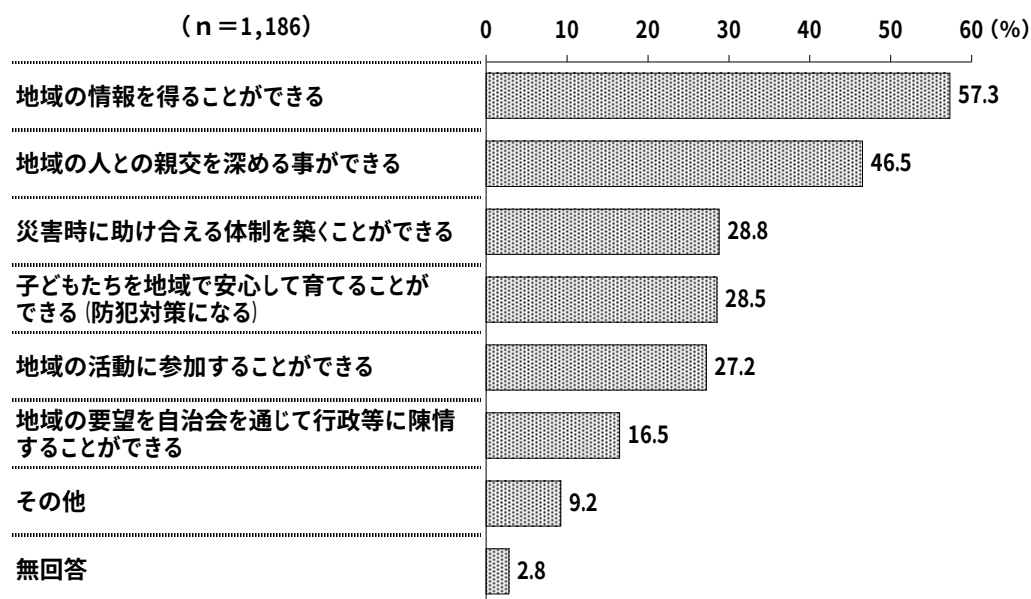
(11) 自治会に加入していて良かった、加入したいと思う理由

◇「地域の情報を得ることができる」が57.3%

★問46①で「加入している」「今は加入していないが、今後加入したい」と答えた方におたずねします。

問46② あなたが自治会に加入していて良かった、または加入したいと思う理由としてあてはまるものを、次の中から選んでください。（○はいくつでも）

図表 6 -11- 1



問46①で「加入している」「今は加入していないが、今後加入したい」と答えた人（1,186人）に、加入していて良かった、または加入したいと思う理由をたずねたところ、「地域の情報を得ることができる」（57.3%）が6割近くで最も多くなっている。以下、「地域の人との親交を深める事ができる」（46.5%）、「災害時に助け合える体制を築くことができる」（28.8%）、「子どもたちを地域で安心して育てることができる（防犯対策になる）」（28.5%）などの順となっている。

（図表 6 -11- 1）

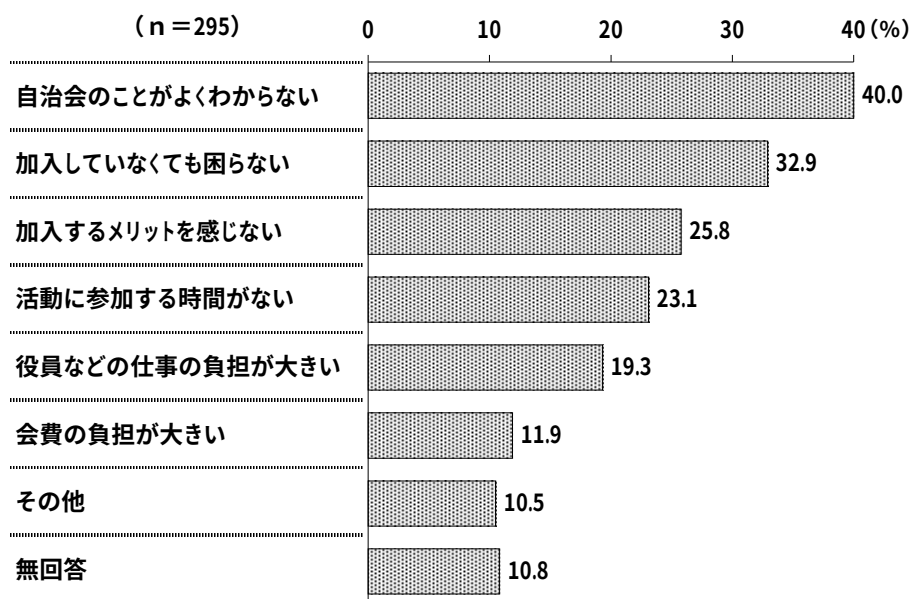
(12) 自治会に加入していない、加入したいと思わない理由

◇「自治会のことがよくわからない」が40.0%

★問46①で「今は加入していないが、以前加入していた」「加入していない」と答えた方におたずねします。

問46③ あなたが自治会に加入していない、または加入したいと思わない理由としてあてはまるものを、次の中から選んでください。（○はいくつでも）

図表 6 -12- 1



問46①で「今は加入していないが、以前加入していた」「加入していない」と答えた人（295人）に、加入していない、または加入したいと思わない理由をたずねたところ、「自治会のことがよくわからない」（40.0%）が4割で最も多くなっている。以下、「加入していなくても困らない」（32.9%）、「加入するメリットを感じない」（25.8%）、「活動に参加する時間がない」（23.1%）などの順となっている。（図表 6 -12- 1）

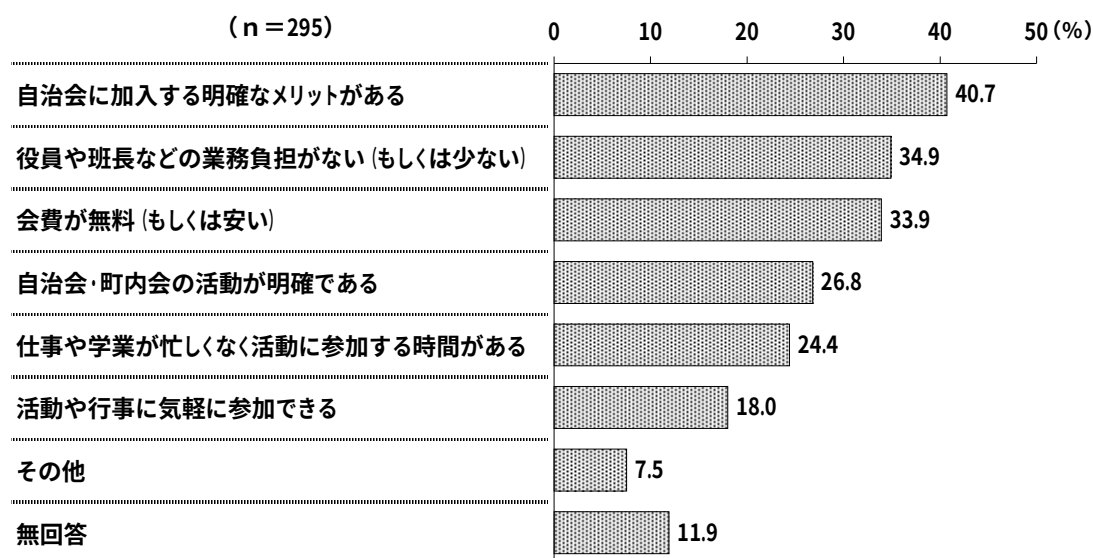
(13) 自治会への加入を考えてもいい、加入したいと思える条件

◇「自治会に加入する明確なメリットがある」が40.7%

★問46①で「今は加入していないが、以前加入していた」「加入していない」と答えた方におたずねします。

問46④ あなたが自治会への加入を考えてもいい、または加入したいと思える条件としてあてはまるものを、次の中から選んでください。（○はいくつでも）

図表 6 -13- 1



問46①で「今は加入していないが、以前加入していた」「加入していない」と答えた人（295人）に、加入を考えてもいい、または加入したいと思える条件をたずねたところ、「自治会に加入する明確なメリットがある」（40.7%）が約4割で最も多くなっている。以下、「役員や班長などの業務負担がない（もしくは少ない）」（34.9%）、「会費が無料（もしくは安い）」（33.9%）、「自治会・町内会の活動が明確である」（26.8%）などの順となっている。（図表 6 -13- 1）

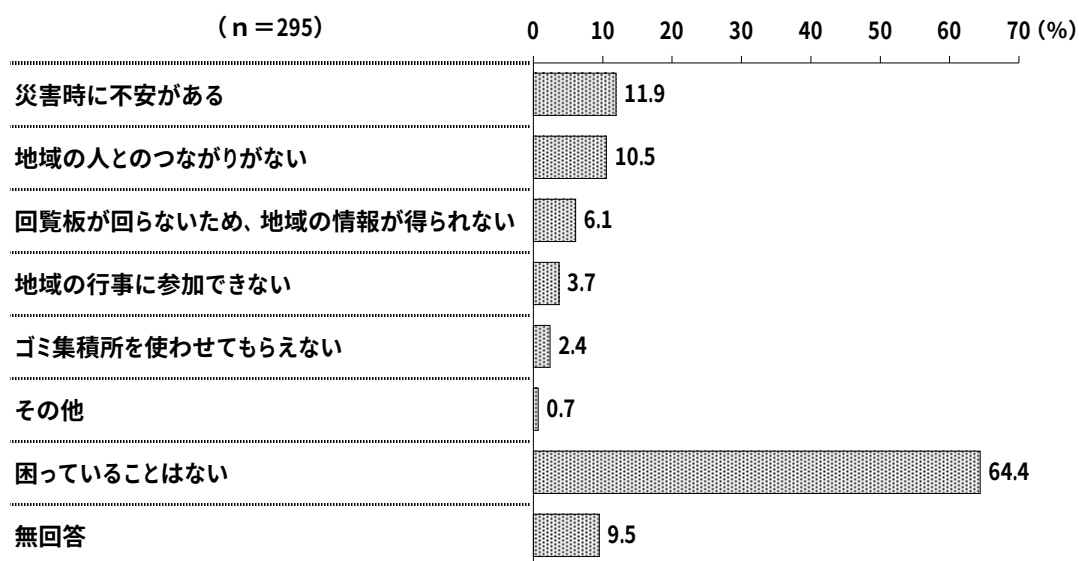
(14) 自治会に加入していないことで困っていること

◇「災害時に不安がある」が11.9%

★問46①で「今は加入していないが、以前加入していた」「加入していない」と答えた方におたずねします。

問46⑤ 自治会に加入していないことで、困っていることとしてあてはまるものを、次の中から選んでください。（○はいくつでも）

図表 6 -14- 1



問46①で「今は加入していないが、以前加入していた」「加入していない」と答えた人（295人）に、加入していないことで困っていることをたずねたところ、「災害時に不安がある」（11.9%）が1割を超えて最も多くなっている。以下、「地域の人とのつながりがない」（10.5%）、「回覧板が回らないため、地域の情報が得られない」（6.1%）などの順となっている。一方、「困っていることはない」（64.4%）は6割半ばとなっている。（図表 6 -14- 1）

(15) 市民センター・連絡所での手続きの認知度

◇「知っている」が89.9%

問47 住民票や戸籍などの証明書の取得、印鑑の登録、また住所変更（転入・転出など）や戸籍の届出（婚姻・出生など）は、市役所本庁舎以外にも、各市民センター（旧出張所）・連絡所でも手続きができることをご存知ですか。（○は1つ）

図表 6 -15- 1



市民センター・連絡所での手続きの認知度をたずねたところ、「知っている」（89.9%）が9割、「知らなかった」（5.1%）は1割未満となっている。（図表 6 -15- 1）

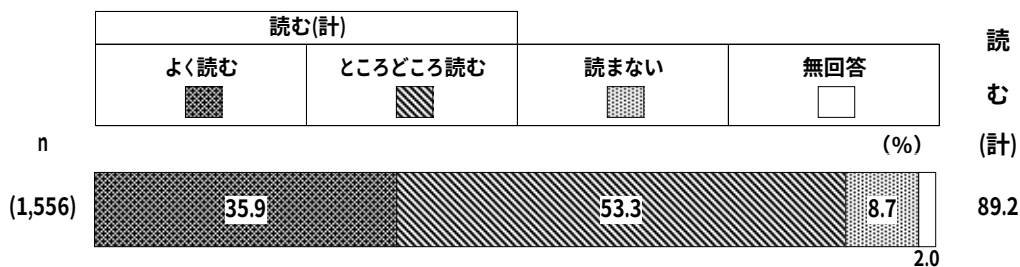
7. 市政全般

(1) 「広報川越」の閲覧状況

◇『読む（計）』は89.2%

問48 あなたは、「広報川越」をご覧になりますか。（○は1つ）

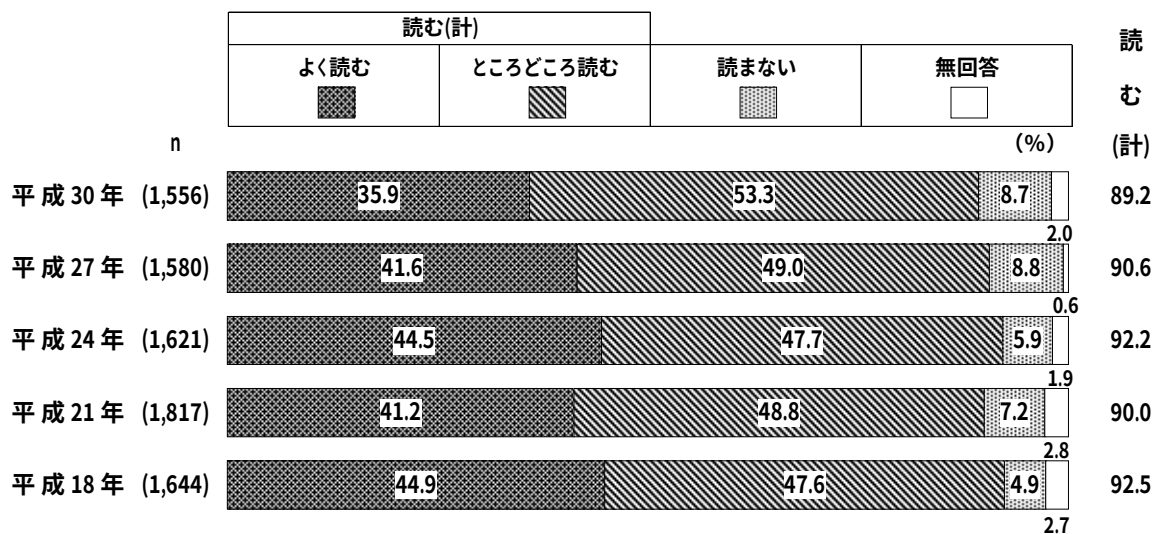
図表 7 - 1 - 1



「広報川越」の閲覧状況をたずねたところ、「よく読む」(35.9%)と「ところどころ読む」(53.3%)を合わせた『読む（計）』（89.2%）は約9割で多くなっている。一方、「読まない」（8.7%）は1割未満となっている。（図表7-1-1）

時系列でみると、「ところどころ読む」は前回調査より4.3ポイント増加している。一方、「よく読む」は前回調査より5.7ポイント減少している。（図表7-1-2）

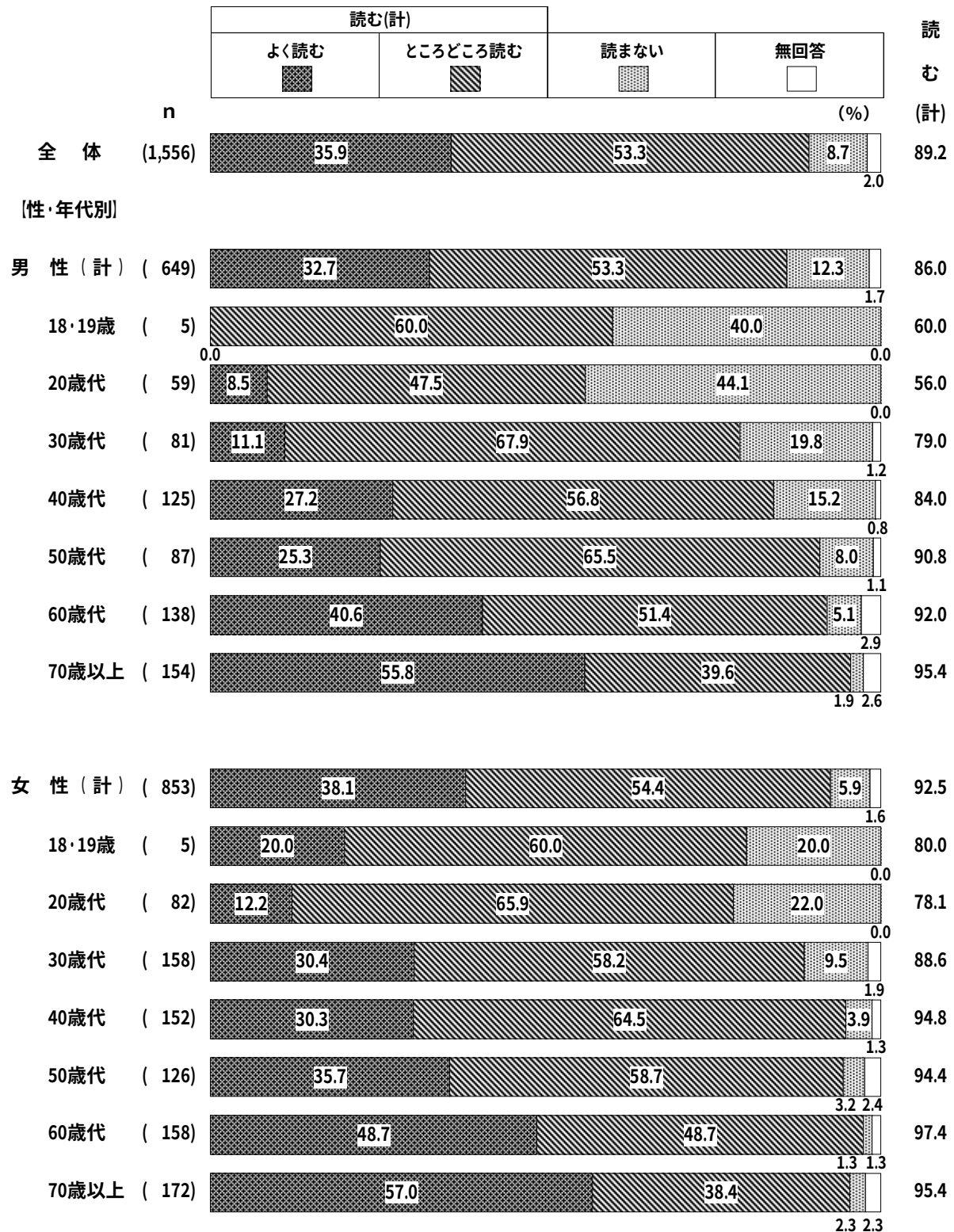
図表 7 - 1 - 2 時系列－「広報川越」の閲覧状況



性・年代別にみると、『読む（計）』は男性の50歳代以上の年代と女性の40歳代以上の年代で9割台と多くなっている。一方、「読まない」は男性20歳代で4割半ばと多くなっている。

(図表7-1-3)

図表7-1-3 性・年代別ー「広報川越」の閲覧状況

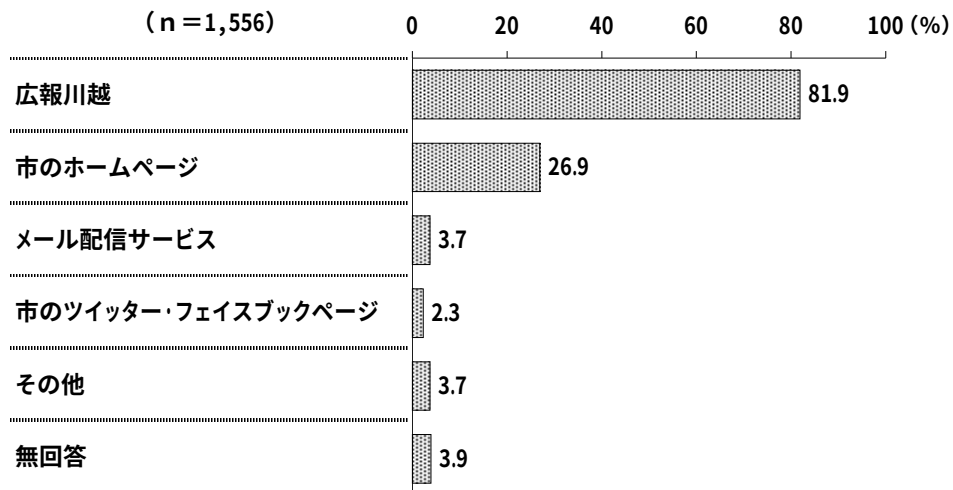


(2) 市の情報の入手方法

◇「広報川越」が81.9%

問49 あなたは、市の情報をどのような方法で取得していますか。（○はいくつでも）

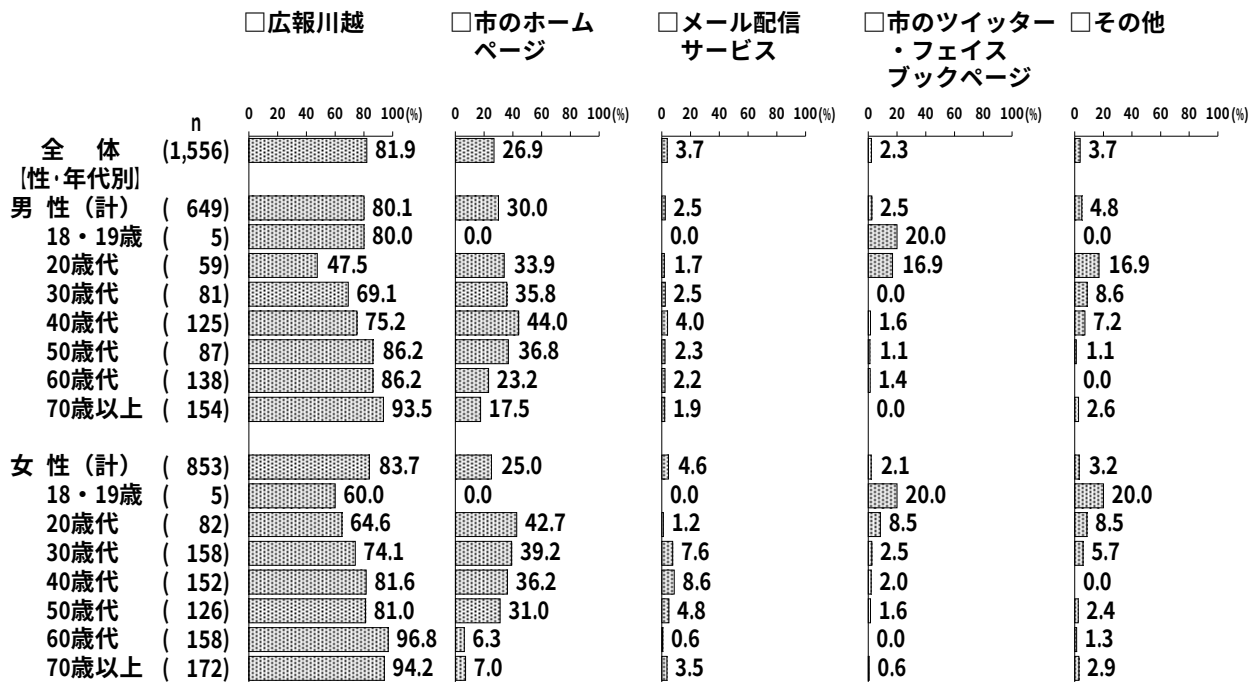
図表 7 - 2 - 1



市の情報の入手方法をたずねたところ、「広報川越」（81.9%）が8割を超えて最も多くなっている。以下、「市のホームページ」（26.9%）、「メール配信サービス」（3.7%）、「市のツイッター・フェイスブックページ」（2.3%）などの順となっている。（図表 7 - 2 - 1）

性・年代別にみると、「広報川越」は男女ともにおおむね年代が高くなるにつれて多く、女性の60歳代と70歳以上、男性70歳以上で9割台となっている。「市のホームページ」は男性40歳代と女性20歳代で4割台と多くなっている。（図表7-2-2）

図表7-2-2 性・年代別－市の情報の入手方法

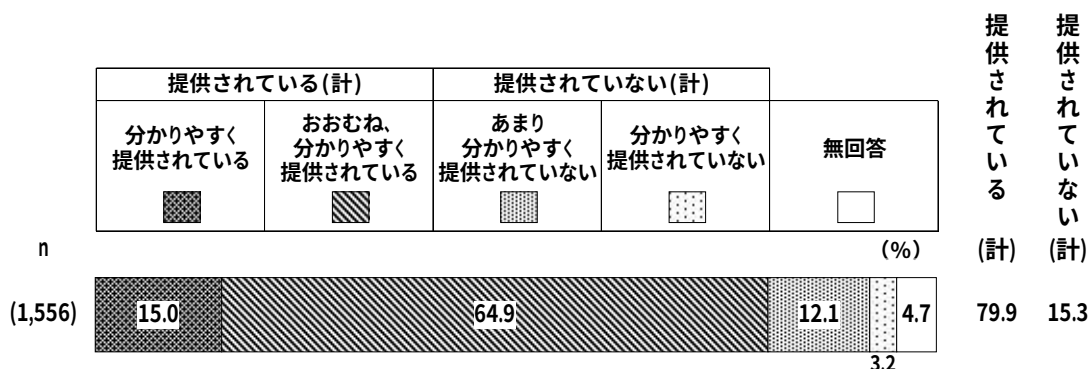


(3) 市の情報提供に対する満足度

◇『提供されている（計）』は79.9%

問50 あなたは、市の行政に関する情報提供について、分かりやすく提供されていると思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。（○は1つ）

図表 7 - 3 - 1

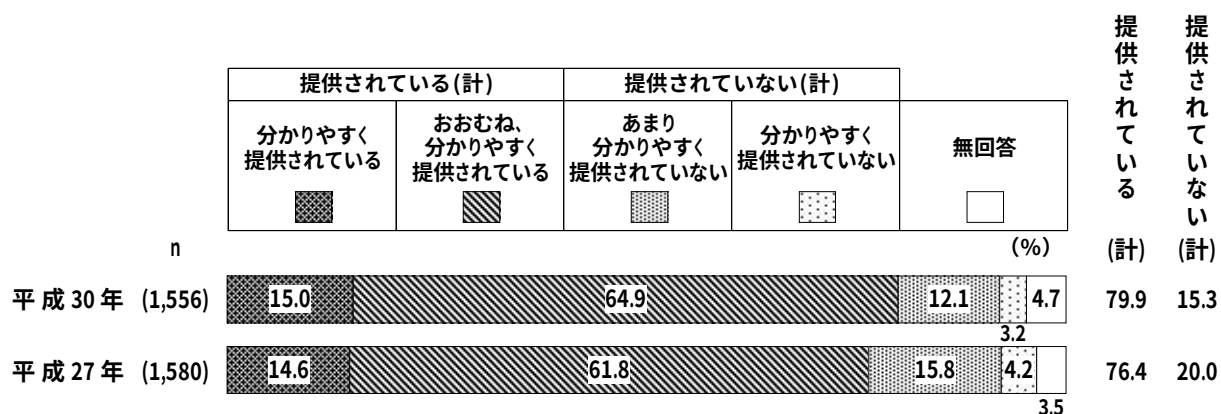


市の情報提供に対する満足度をたずねたところ、「分かりやすく提供されている」（15.0%）と「おおむね、分かりやすく提供されている」（64.9%）を合わせた『提供されている（計）』（79.9%）は8割と多くなっている。一方、「あまり分かりやすく提供されていない」（12.1%）と「分かりやすく提供されていない」（3.2%）を合わせた『提供されていない（計）』（15.3%）は1割半ばとなっている。（図表 7 - 3 - 1）

時系列でみると、『提供されている（計）』は前回調査より3.5ポイント増加している。

（図表 7 - 3 - 2）

図表 7 - 3 - 2 時系列－市の情報提供に対する満足度

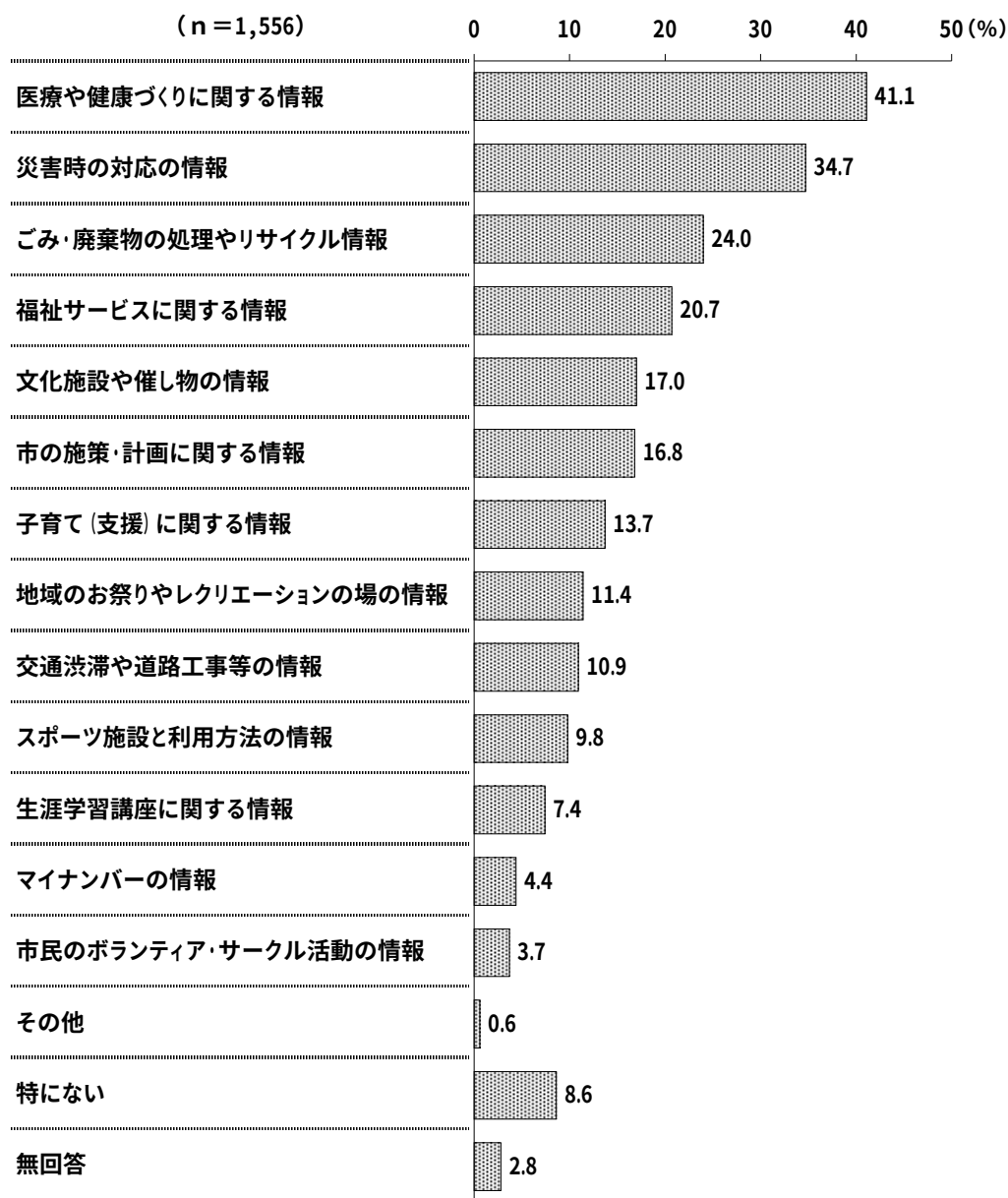


(4) 必要な市の行政情報

◇「医療や健康づくりに関する情報」が41.1%

問51 あなたが今必要としている市からの情報は何か。次の中から3つ以内で選んでください。(○は3つ以内)

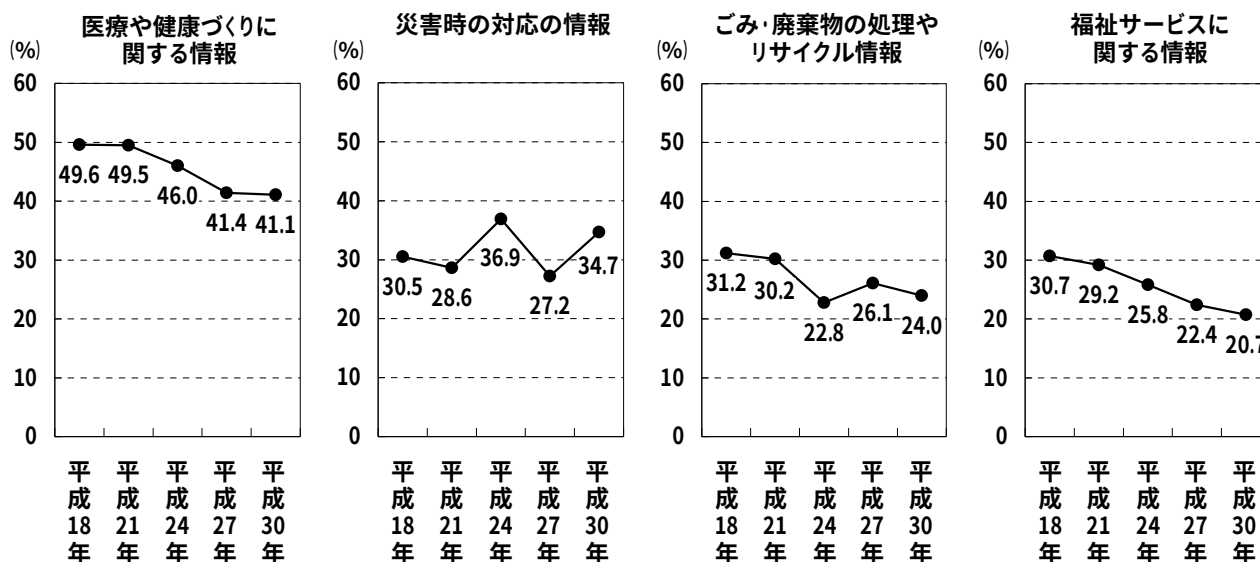
図表 7 - 4 - 1



必要な市の行政情報をたずねたところ、「医療や健康づくりに関する情報」(41.1%)が4割を超えて最も多くなっている。以下、「災害時の対応の情報」(34.7%)、「ごみ・廃棄物の処理やリサイクル情報」(24.0%)、「福祉サービスに関する情報」(20.7%)などの順となっている。(図表 7 - 4 - 1)

上位4項目を時系列でみると、「災害時の対応の情報」は前回調査より7.5ポイント増加している。一方、「医療や健康づくりに関する情報」と「福祉サービスに関する情報」は平成18年以降減少傾向となっている。（図表7-4-2）

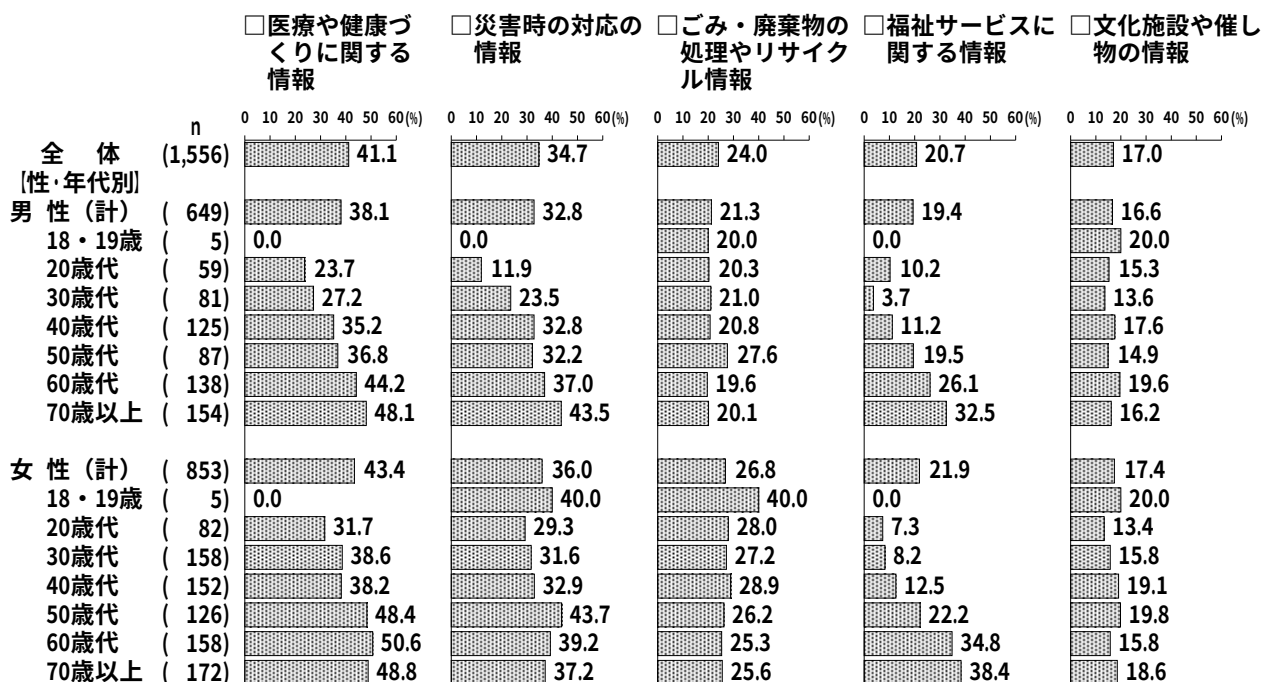
図表7-4-2 時系列（上位4項目）－必要な市の行政情報



上位5項目を性・年代別にみると、「医療や健康づくりに関する情報」は女性60歳代で約5割と多くなっている。「災害時の対応の情報」は女性50歳代と男性70歳以上で4割を超えて多くなっている。「福祉サービスに関する情報」は女性70歳以上で4割近くと多くなっている。

（図表7-4-3）

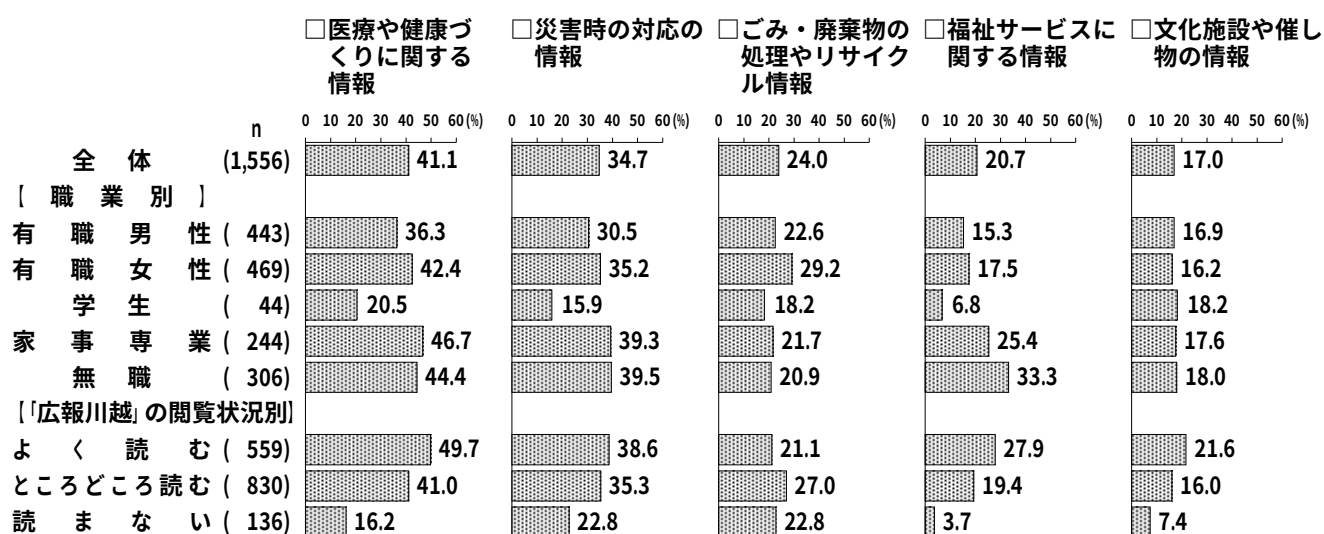
図表7-4-3 性・年代別（上位5項目）－必要な市の行政情報



上位5項目を職業別にみると、「医療や健康づくりに関する情報」は家事専業で5割近くと多くなっている。「災害時の対応の情報」は無職と家事専業で約4割と多くなっている。「福祉サービスに関する情報」は無職で3割を超えて多くなっている。

「広報川越」の閲覧状況（問48・172ページ参照）別にみると、「医療や健康づくりに関する情報」、「災害時の対応の情報」、「福祉サービスに関する情報」、「文化施設や催し物の情報」では「広報川越」の閲覧頻度が高い人ほど、割合が多くなる傾向がみられる。（図表7-4-4）

図表7-4-4 職業別、「広報川越」の閲覧状況別（上位5項目）－必要な市の行政情報

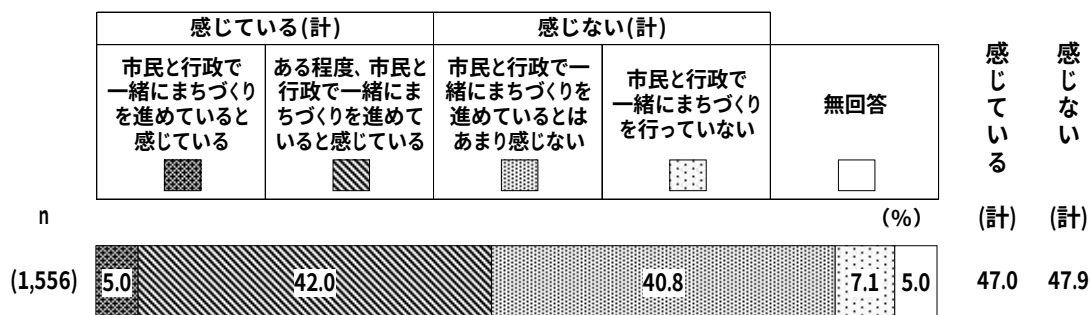


(5) 市民・行政が協働したまちづくりの実感

◇『感じている（計）』と『感じない（計）』はほぼ同数

問52 あなたは、市民と行政で一緒にまちづくりを進めていると感じていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。（○は1つ）

図表 7 - 5 - 1



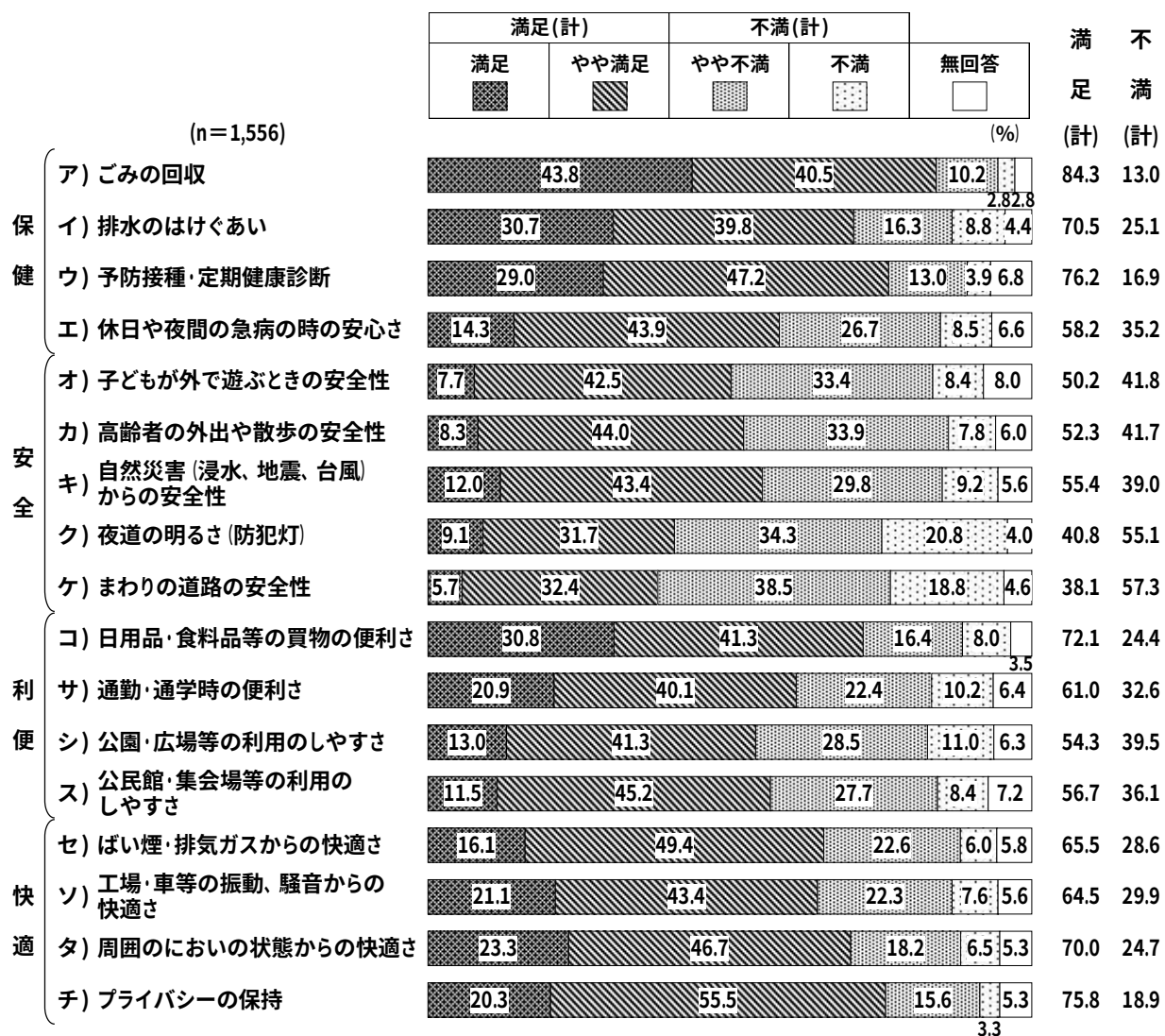
市民・行政が協働したまちづくりの実感をたずねたところ、「市民と行政で一緒にまちづくりを進めていると感じている」（5.0%）と「ある程度、市民と行政で一緒にまちづくりを進めていると感じている」（42.0%）を合わせた『感じている（計）』（47.0%）は5割近くとなっている。一方、「市民と行政で一緒にまちづくりを進めているとはあまり感じない」（40.8%）と「市民と行政で一緒にまちづくりを行っていない」（7.1%）を合わせた『感じない（計）』（47.9%）は5割近くとなっている。（図表 7 - 5 - 1）

(6) 地域の生活環境の満足度

◇17項目中15項目で『満足（計）』が『不満（計）』を上回っている

問53 あなたの住んでいる地域の生活環境について、どのように感じていますか。ア～チの項目ごとに1つずつ選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

図表 7 - 6 - 1



地域の生活環境の満足度をたずねたところ、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足（計）』は、＜保健＞の分野では“ごみの回収”（84.3%）で8割半ば、＜安全＞の分野では“自然災害（浸水、地震、台風）からの安全性”（55.4%）で5割半ば、＜利便＞の分野では“日用品・食料品等の買物の便利さ”（72.1%）で7割を超え、＜快適＞の分野では“プライバシーの保持”（75.8%）で7割半ばと、それぞれ最も多くなっている。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満（計）』は、＜安全＞の分野で“まわりの道路の安全性”（57.3%）と“夜道の明るさ（防犯灯）”（55.1%）で5割台と多くなっており、『不満（計）』が『満足（計）』を上回っている。（図表 7 - 6 - 1）

この質問では、項目間の比較を簡単にするため、下式のように5段階評価を与えて、各項目の評価点を算出した。

$$\text{評価点} = \frac{(\text{「満足」の回答者数} \times 2 \text{点}) + (\text{「やや満足」} \times 1 \text{点}) + \text{「やや不満」} \times (-1 \text{点}) + \text{「不満」} \times (-2 \text{点})}{\text{回答者数} - \text{無回答}}$$

この算出方法では、評価点は-2.00点～+2.00点の間に分布し、0.00点が中間点であり、+2.00点に近いほど評価が良く、逆に-2.00点に近いほど評価が悪いことになる。

評価点を地区別にみると、＜保健＞の分野では、各項目ともすべての地区で評価点が0.00以上となっている。

＜安全＞の分野では、“夜道の明るさ（防犯灯）”の評価点が0.00以上となっているのは霞ヶ関北地区のみとなっており、特に芳野地区（-0.64）の評価点が低くなっている。“まわりの道路の安全性”の評価点が0.00以上となっているのは川鶴地区と霞ヶ関北地区のみとなっており、特に芳野地区（-0.87）の評価点が低くなっている。

＜利便＞の分野では、“日用品・食料品等の買物の便利さ”は芳野地区を除く11地区で評価点が0.00以上となっている。“通勤・通学時の便利さ”は芳野地区、古谷地区、福原地区を除く9地区で評価点が0.00以上となっており、評価点が最高の本庁地区（0.84）と最低の芳野地区（-0.77）との差が1.61となっており、地域差が最も大きくなっている。“公民館・集会場等の利用のしやすさ”は南古谷地区を除く11地区で評価点が0.00以上となっている。

＜快適＞の分野では、“ばい煙・排気ガスからの快適さ”はすべての地区で評価点が0.00以上となっている。“工場・車等の振動、騒音からの快適さ”、“周囲のにおいの状態からの快適さ”の2項目は、芳野地区を除く11地区で評価点が0.00以上となっている。

ア）からチ）までの評価点の平均値である総合評価点で、すべての地区で評価点が0.00以上となっており、最も評価点が高いのは川鶴地区（0.77）となっている。（図表7-6-2）

図表 7 - 6 - 2 地区別－地域の生活環境の満足度（評価点）

地 区		市全体	本庁地区	芳野地区	古谷地区	南古谷地区	高階地区	福原地区	大東地区	霞ヶ関地区	川鶴地区	霞ヶ関北地区	名細地区	山田地区	評価点の最高と最低の差
保 健	ア) ごみの回収	1.15	1.20	1.00	1.23	0.97	1.00	1.13	1.24	1.19	1.24	1.40	1.32	1.16	0.43
	イ) 排水のはけぐあい	0.70	0.93	0.49	0.44	0.30	0.55	0.25	0.77	0.79	1.08	1.07	0.72	0.47	0.83
健	ウ) 予防接種・定期健康診断	0.91	1.05	1.07	0.73	0.77	0.85	0.72	0.92	0.98	0.87	1.06	0.89	0.79	0.35
	エ) 休日や夜間の急病の時の安心さ	0.31	0.45	0.72	0.49	0.30	0.28	0.01	0.39	0.19	0.09	0.16	0.18	0.47	0.71
安 全	オ) 子どもが外で遊ぶときの安全性	0.08	-0.04	0.07	0.06	0.14	-0.13	-0.11	0.23	0.31	0.61	0.34	0.06	-0.09	0.74
	カ) 高齢者の外出や散歩の安全性	0.12	0.05	-0.09	0.25	0.23	-0.05	0.09	0.31	0.14	0.72	0.19	-0.02	-0.03	0.81
	キ) 自然災害（浸水、地震、台風）からの安全性	0.20	0.32	-0.23	-0.19	-0.13	-0.13	0.18	0.59	0.36	0.80	0.35	0.03	0.24	1.03
	ク) 夜道の明るさ（防犯灯）	-0.27	-0.12	-0.64	-0.46	-0.54	-0.42	-0.52	-0.26	-0.08	-0.09	0.08	-0.28	-0.20	0.72
	ケ) まわりの道路の安全性	-0.34	-0.21	-0.87	-0.53	-0.51	-0.54	-0.72	-0.27	-0.15	0.32	0.00	-0.60	-0.25	1.19
利 便	コ) 日用品・食料品等の買物の便利さ	0.73	1.18	-0.17	0.02	0.91	0.77	0.05	0.56	0.71	1.07	1.31	0.13	0.69	1.48
	サ) 通勤・通学時の便利さ	0.42	0.84	-0.77	-0.33	0.13	0.69	-0.04	0.28	0.50	0.74	0.76	0.14	0.00	1.61
	シ) 公園・広場等の利用のしやすさ	0.18	0.12	-0.21	0.16	-0.15	0.02	-0.01	0.46	0.38	1.00	0.90	-0.02	-0.07	1.21
	ス) 公民館・集会場等の利用のしやすさ	0.25	0.21	0.13	0.10	-0.02	0.25	0.20	0.49	0.27	0.75	0.62	0.32	0.14	0.77
快 適	セ) ばい煙・排気ガスからの快適さ	0.50	0.53	0.24	0.41	0.56	0.55	0.20	0.42	0.50	0.97	0.71	0.68	0.30	0.77
	ソ) 工場・車等の振動、騒音からの快適さ	0.51	0.48	-0.17	0.45	0.33	0.74	0.23	0.44	0.55	0.94	0.93	0.71	0.36	1.11
	タ) 周囲のにおいの状態からの快適さ	0.66	0.79	-0.09	0.32	0.39	0.82	0.22	0.72	0.71	0.98	0.96	0.69	0.57	1.07
	チ) プライバシーの保持	0.78	0.84	0.41	0.68	0.75	0.80	0.61	0.74	0.74	1.02	1.17	0.85	0.92	0.76
総合評価点		0.41	0.51	0.05	0.23	0.26	0.36	0.15	0.47	0.48	0.77	0.71	0.34	0.32	0.72

注1)  は、評価点の最高値、 は、評価点の最低値

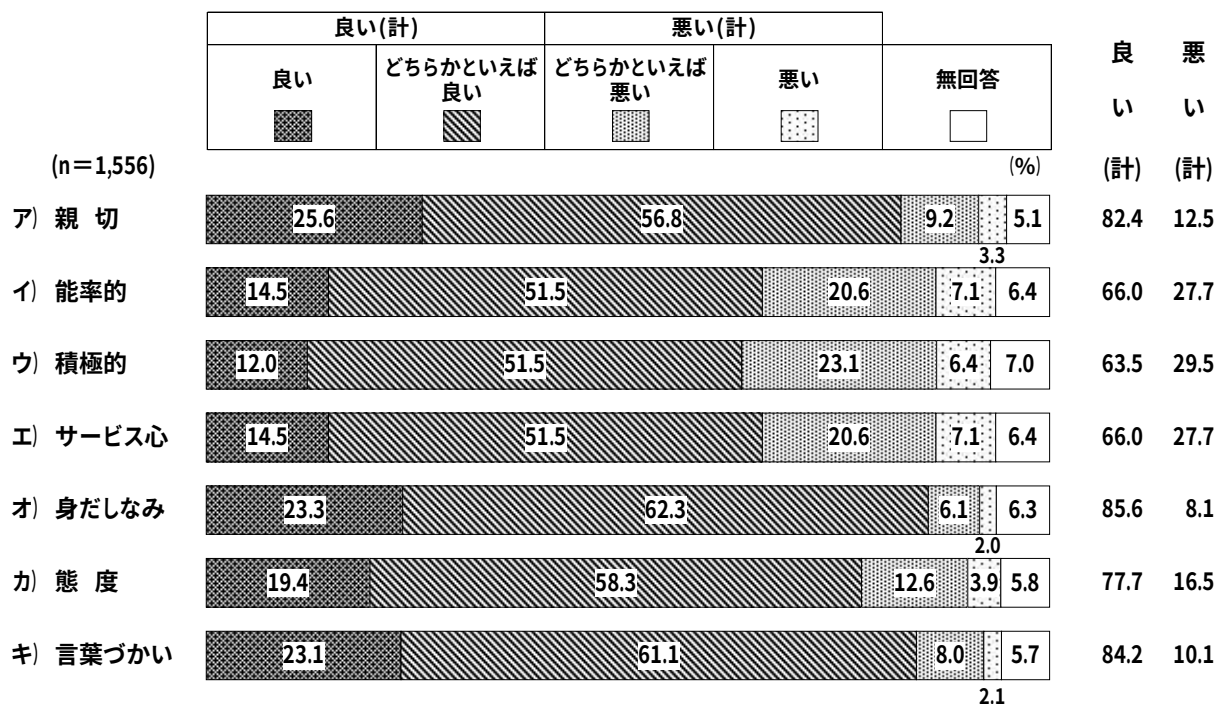
注2) 総合評価点は各項目の評価点の平均値

(7) 市職員のイメージについて

◇『良い(計)』は“身だしなみ”で85.6%、“言葉づかい”で84.2%

問54 市役所職員のイメージについてどう思いますか。それぞれのイメージについて評価してください。(○はそれぞれ1つずつ)

図表 7 - 7 - 1



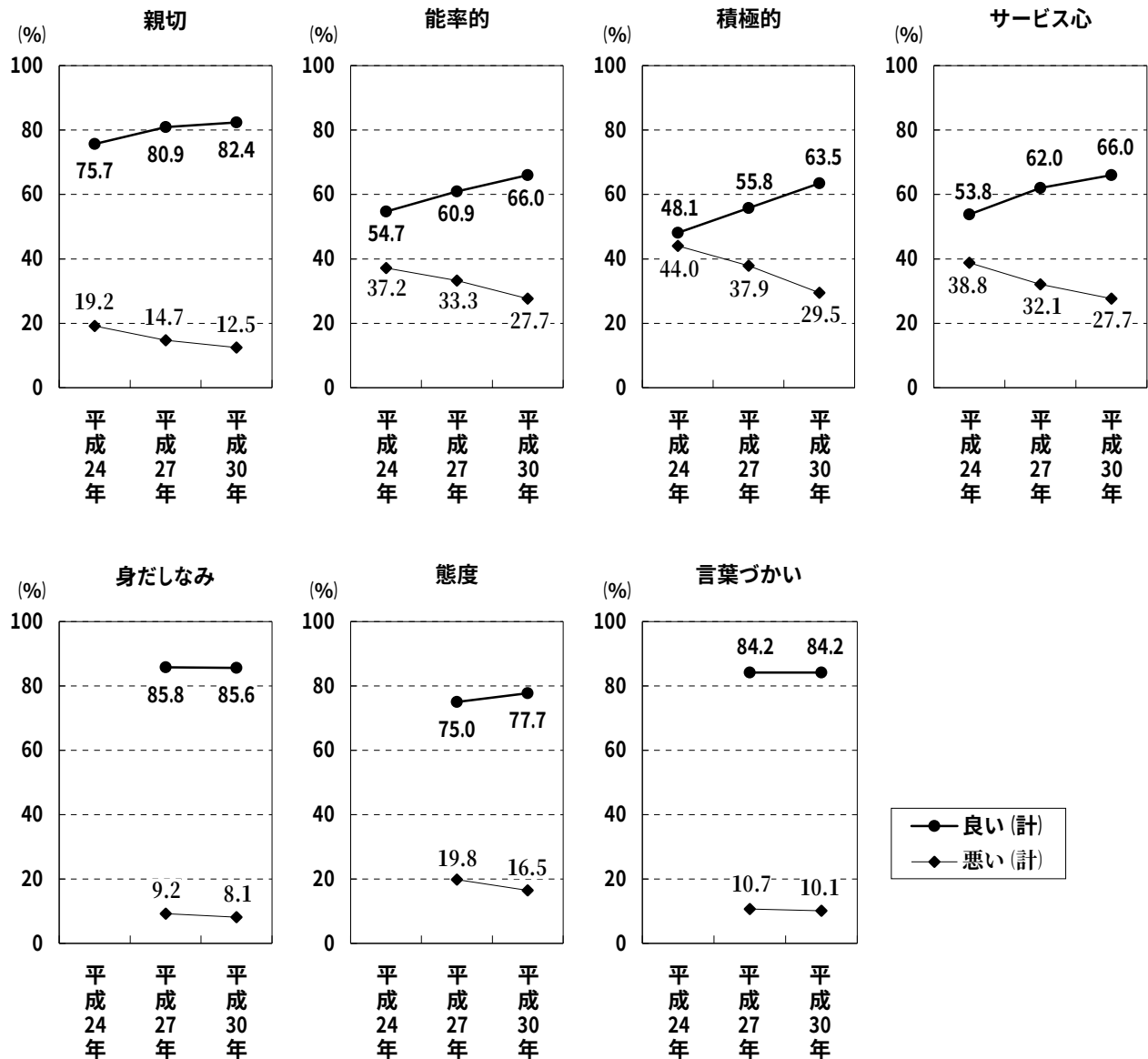
市職員のイメージについて、7項目に分けて評価をたずねたところ、「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた『良い(計)』は“身だしなみ”(85.6%)と“言葉づかい”(84.2%)で8割半ばと多くなっている。以下、“親切”(82.4%)、“態度”(77.7%)などの順となっている。

一方、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせた『悪い(計)』は“積極的”(29.5%)で3割と最も多くなっている。以下、“能率的”と“サービス心”(ともに27.7%)などの順となっている。(図表7-7-1)

時系列でみると、『良い（計）』は“親切”、“能率的”、“積極的”、“サービス心”で平成24年以降増加傾向となっており、“積極的”では前回調査より7.7ポイント増加している。

（図表7-7-2）

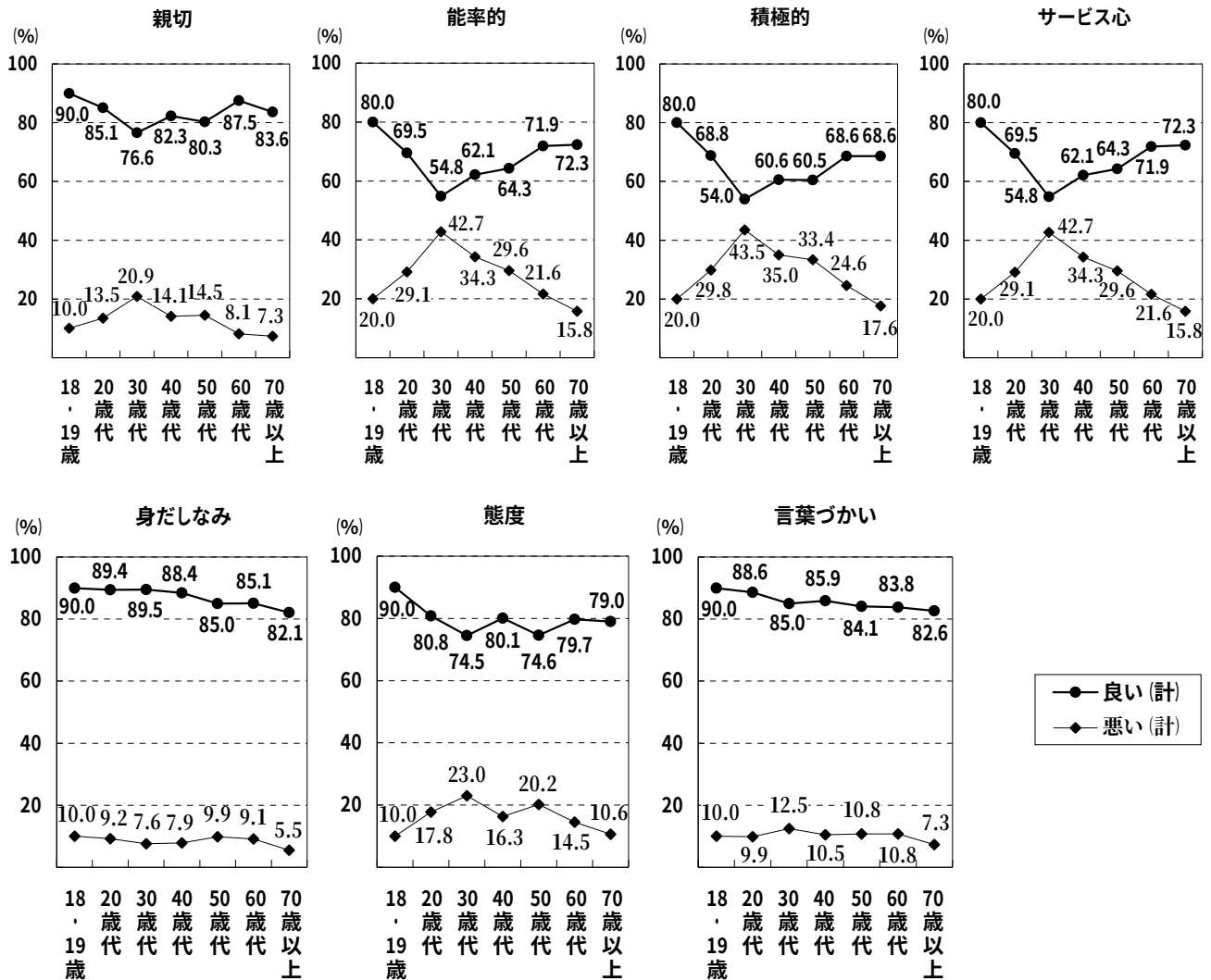
図表7-7-2 時系列－市職員のイメージについて



（注）「身だしなみ」、「態度」、「言葉づかい」は、平成27年から追加された選択肢。

年代別にみると、『良い（計）』は“能率的”と“サービス心”で30歳代以上の年代では年代が高くなるにつれて多くなっている。一方、『悪い（計）』は“能率的”、“積極的”、“サービス心”で30歳代が4割を超えて多くなっている。（図表7-7-3）

図表7-7-3 年代別一市職員のイメージについて



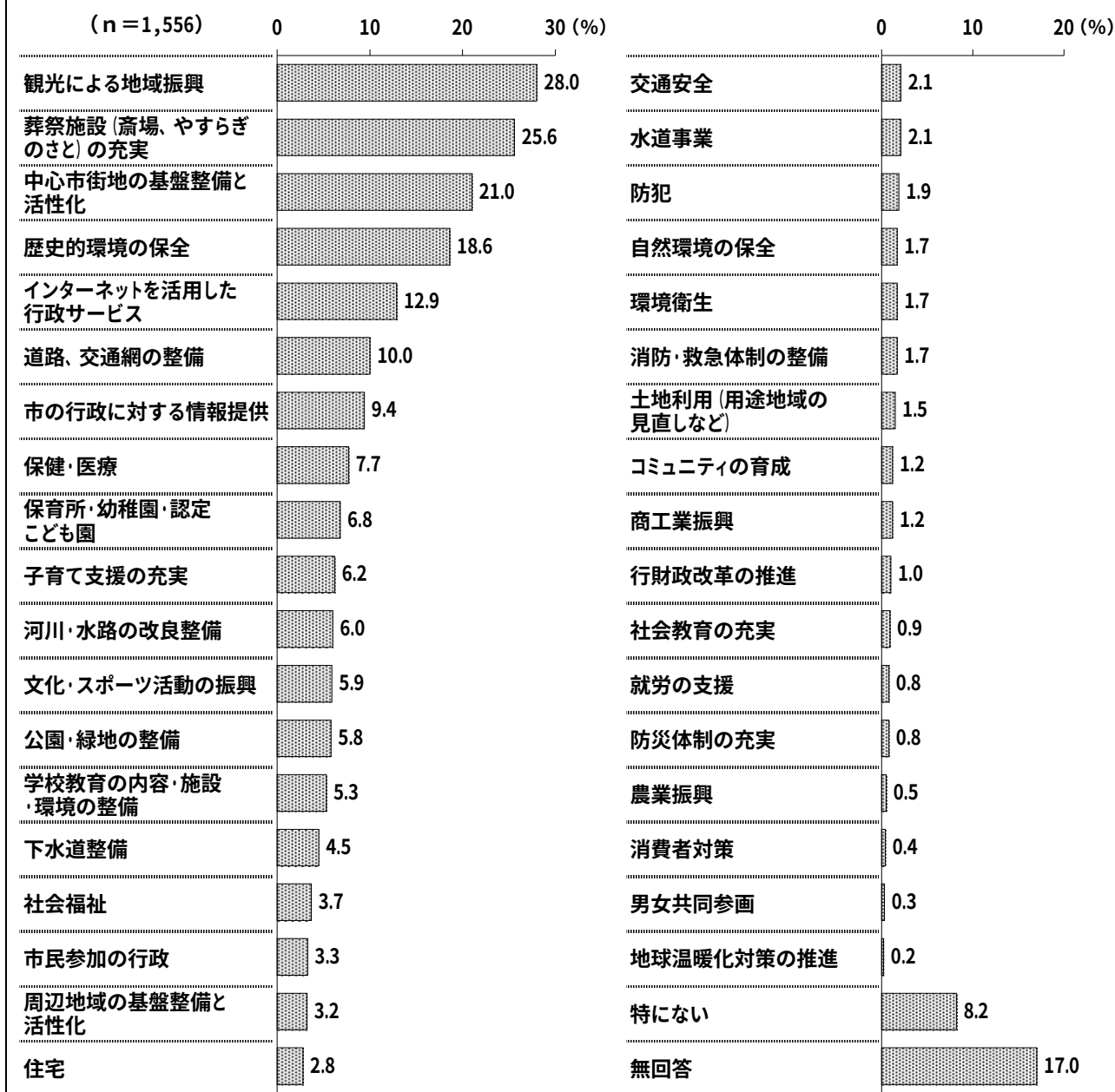
(8) よくなってきた市の施策／力を入れるべき市の施策

1. よくなってきた市の施策

◇「観光による地域振興」が28.0%

問55 市政全般について、よくなってきた施策、また、あなたが力を入れてほしい施策をそれぞれ3つずつ選んで回答欄に番号を記入してください。

図表 7 - 8 - 1

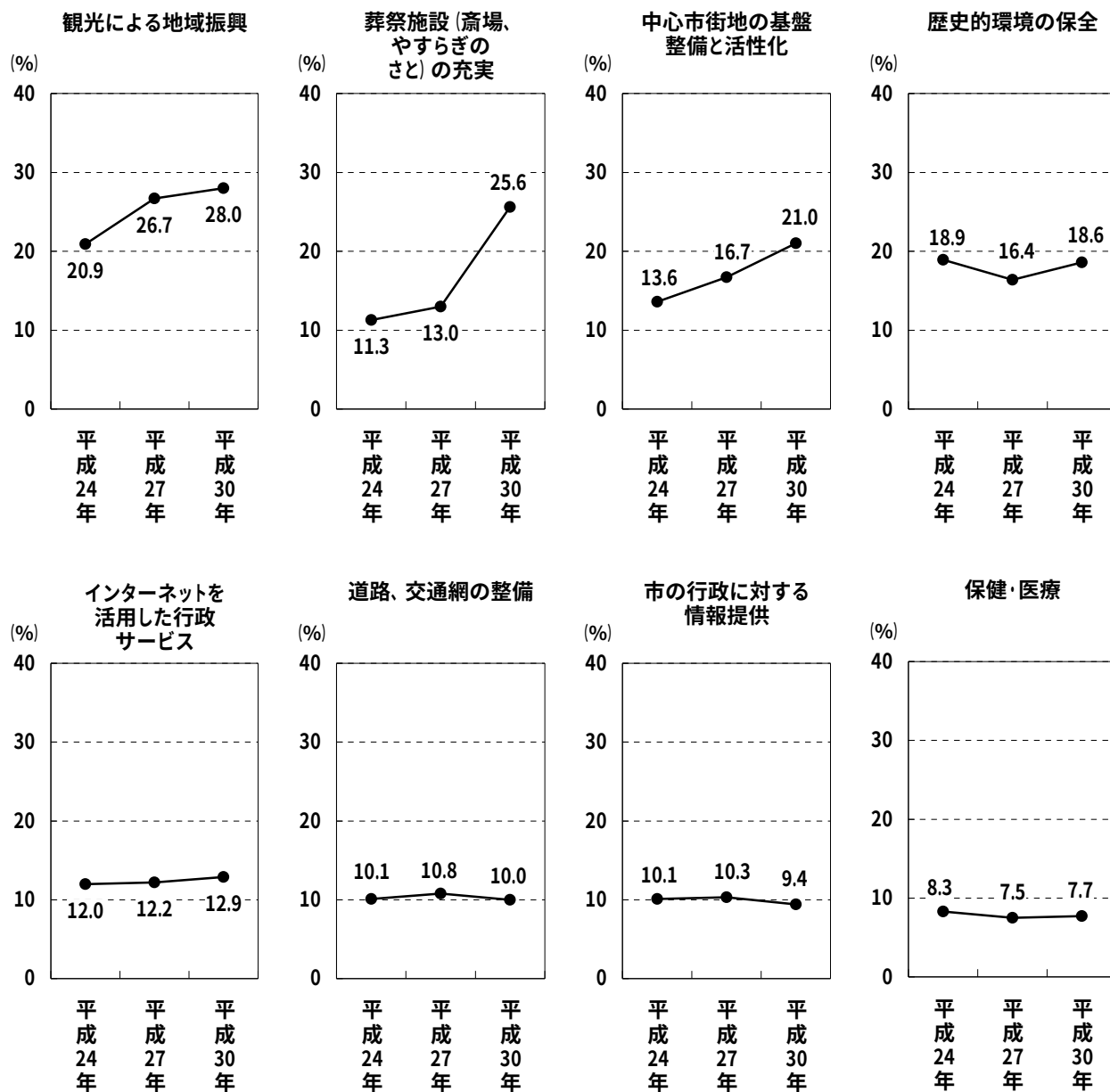


よくなってきた市の施策をたずねたところ、「観光による地域振興」(28.0%)が3割近くで最も多くなっている。以下、「葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実」(25.6%)、「中心市街地の基盤整備と活性化」(21.0%)、「歴史的環境の保全」(18.6%)などの順となっている。

(図表 7 - 8 - 1)

上位8項目を時系列でみると、「観光による地域振興」、「葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実」、「中心市街地の基盤整備と活性化」、「インターネットを活用した行政サービス」は平成24年以降増加傾向となっており、「葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実」では前回調査より12.6ポイント増加している。（図表7-8-2）

図表7-8-2 時系列（上位8項目）－よくなってきた市の施策



地区別に上位5項目をみると、「葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実」は古谷地区、南古谷地区、高階地区、川鶴地区、名細地区、山田地区の6地区で第1位にあげられている。「観光による地域振興」は本庁地区、芳野地区、福原地区、大東地区、霞ヶ関地区の5地区で第1位にあげられている。「歴史的環境の保全」は霞ヶ関北地区で第1位にあげられている。（図表7-8-3）

図表7-8-3 地区別（上位5項目）－よくなってきた市の施策

(%)

順位 属性	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	1,556	観光による地域振興 28.0	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 25.6	中心市街地の基盤整備と活性化 21.0	歴史的環境の保全 18.6	インターネットを活用した行政サービス 12.9
【地区別】						
本 庁 地 区	341	観光による地域振興 38.7	中心市街地の基盤整備と活性化 26.1	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 25.8	歴史的環境の保全 24.3	インターネットを活用した行政サービス 14.4
芳 野 地 区	48	観光による地域振興 29.2	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 25.0	保育所・幼稚園・認定こども園 18.8	インターネットを活用した行政サービス/中心市街地の基盤整備と活性化 16.7	
古 谷 地 区	66	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 40.9	観光による地域振興 27.3	中心市街地の基盤整備と活性化 22.7	インターネットを活用した行政サービス 19.7	市の行政に対する情報提供 15.2
南 古 谷 地 区	120	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 27.5	観光による地域振興 20.8	インターネットを活用した行政サービス 18.3	中心市街地の基盤整備と活性化 16.7	歴史的環境の保全 15.8
高 階 地 区	210	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 25.2	観光による地域振興 23.3	中心市街地の基盤整備と活性化 19.0	歴史的環境の保全 14.3	河川・水路の改良整備 12.4
福 原 地 区	85	観光による地域振興 18.8	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 16.5	道路、交通網の整備 15.3	保健・医療 / 中心市街地の基盤整備と活性化 14.1	
大 東 地 区	153	観光による地域振興 31.4	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 26.8	中心市街地の基盤整備と活性化 22.2	歴史的環境の保全 15.0	インターネットを活用した行政サービス / 保健・医療 11.1
霞 ヶ 関 地 区	209	観光による地域振興 27.3	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 23.9	中心市街地の基盤整備と活性化 22.0	歴史的環境の保全 20.1	市の行政に対する情報提供/インターネットを活用した行政サービス 9.6
川 鶴 地 区	71	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 28.2	観光による地域振興 26.8	歴史的環境の保全/中心市街地の基盤整備と活性化 19.7		市の行政に対する情報提供/インターネットを活用した行政サービス 12.7
霞ヶ関北地区	56	歴史的環境の保全 25.0	中心市街地の基盤整備と活性化 21.4	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 16.1	観光による地域振興 14.3	市の行政に対する情報提供/公園・緑地の整備 10.7
名 細 地 区	101	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 30.7	観光による地域振興 26.7	歴史的環境の保全 21.8	インターネットを活用した行政サービス 18.8	中心市街地の基盤整備と活性化 17.8
山 田 地 区	62	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 30.6	観光による地域振興 27.4	中心市街地の基盤整備と活性化 22.6	歴史的環境の保全 19.4	保健・医療 14.5

性別に上位5項目をみると、「葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実」は女性（27.8%・第2位）が男性（23.6%・第2位）より4.2ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「観光による地域振興」は男性の20歳代から50歳代と女性の20歳代、30歳代、50歳代で同率を含め第1位にあげられている。「葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実」は男性70歳以上と女性の40歳代以上の年代で同率を含め第1位にあげられている。「中心市街地の基盤整備と活性化」は男性60歳代で第1位にあげられている。（図表7-8-4）

図表7-8-4 性別、性・年代別（上位5項目）－よくなってきた市の施策

(%)

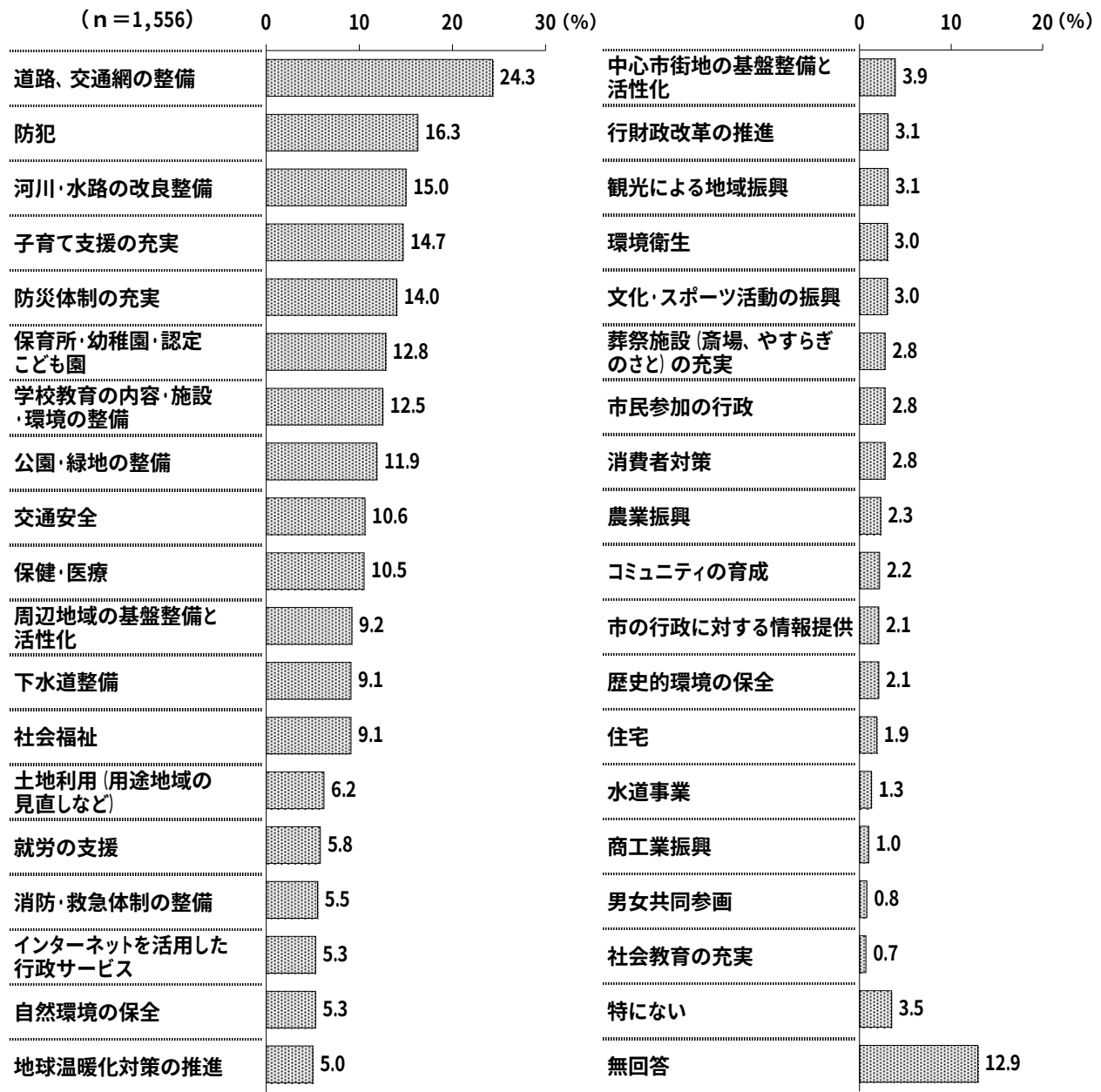
属性	順位	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体		1,556	観光による地域振興 28.0	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 25.6	中心市街地の基盤整備と活性化 21.0	歴史的環境の保全 18.6	インターネットを活用した行政サービス 12.9
[性別、性・年代別]							
男 性 (計)		649	観光による地域振興 28.0	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 23.6	中心市街地の基盤整備と活性化 22.3	歴史的環境の保全 20.8	道路、交通網の整備 13.1
18・19歳		5	インターネットを活用した行政サービス/子育て支援の充実 40.0		市民参加の行政/歴史的環境の保全/葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実 20.0		
20歳代		59	観光による地域振興 32.2	歴史的環境の保全 28.8	中心市街地の基盤整備と活性化 20.3	インターネットを活用した行政サービス 16.9	道路、交通網の整備 15.3
30歳代		81	観光による地域振興 29.6	歴史的環境の保全 23.5	中心市街地の基盤整備と活性化 22.2	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 14.8	インターネットを活用した行政サービス/道路、交通網の整備 11.1
40歳代		125	観光による地域振興 36.8	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 28.8	中心市街地の基盤整備と活性化 25.6	歴史的環境の保全 24.8	インターネットを活用した行政サービス 16.8
50歳代		87	観光による地域振興 32.2	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 27.6	歴史的環境の保全 21.8	中心市街地の基盤整備と活性化 17.2	道路、交通網の整備 14.9
60歳代		138	中心市街地の基盤整備と活性化 23.9	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 23.2	観光による地域振興 21.7	市の行政に対する情報提供 18.8	歴史的環境の保全 15.9
70歳以上		154	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 28.6	中心市街地の基盤整備と活性化/観光による地域振興 22.7	市の行政に対する情報提供 17.5	歴史的環境の保全 16.9	インターネットを活用した行政サービス 12.9
女 性 (計)		853	観光による地域振興 28.1	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 27.8	中心市街地の基盤整備と活性化 20.6	歴史的環境の保全 17.4	インターネットを活用した行政サービス 12.9
18・19歳		5	歴史的環境の保全 60.0	市の行政に対する情報提供/行財政改革の推進/保育所・幼稚園・認定こども園/文化・スポーツ活動の振興/学校教育の内容・施設・環境の整備/公園・緑地の整備/消費者対策 20.0			
20歳代		82	観光による地域振興 40.2	歴史的環境の保全/中心市街地の基盤整備と活性化 19.5		インターネットを活用した行政サービス 17.1	道路、交通網の整備 13.4
30歳代		158	観光による地域振興 31.0	インターネットを活用した行政サービス/歴史的環境の保全 18.4		中心市街地の基盤整備と活性化 17.1	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 15.8
40歳代		152	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 33.6	観光による地域振興 29.6	中心市街地の基盤整備と活性化 19.1	インターネットを活用した行政サービス/歴史的環境の保全 17.8	
50歳代		126	観光による地域振興/葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実 36.5		中心市街地の基盤整備と活性化 27.8	歴史的環境の保全 23.0	インターネットを活用した行政サービス 18.3
60歳代		158	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 39.2	観光による地域振興 24.7	中心市街地の基盤整備と活性化 22.8	歴史的環境の保全 19.0	市の行政に対する情報提供 10.8
70歳以上		172	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 25.6	中心市街地の基盤整備と活性化 19.2	観光による地域振興 16.3	保健・医療 15.7	市の行政に対する情報提供 9.9

２．力を入れるべき市の施策

◇「道路、交通網の整備」が24.3%

問55 市政全般について、よくなってきた施策、また、あなたが力を入れてほしい施策をそれぞれ3つずつ選んで回答欄に番号を記入してください。

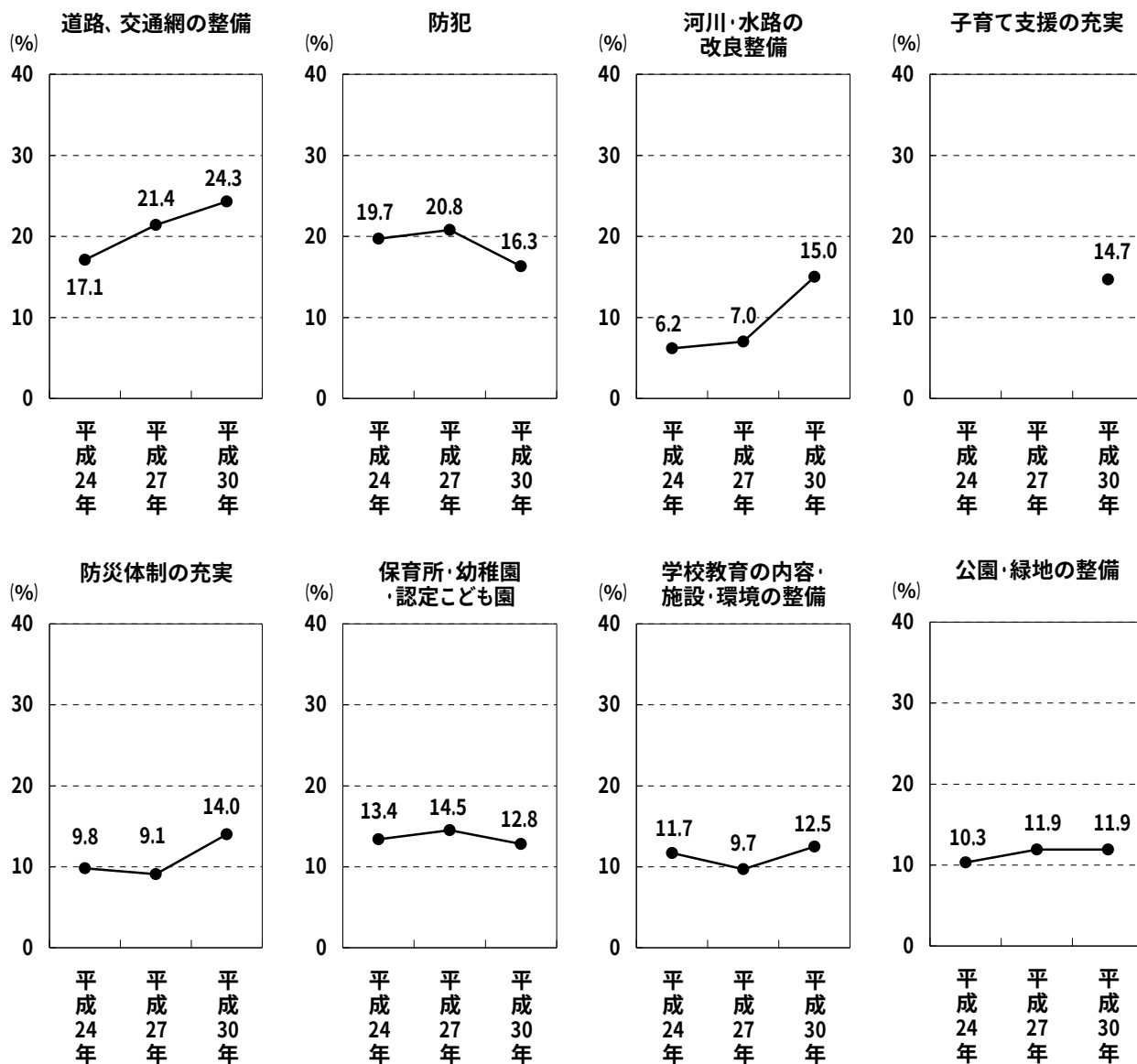
図表 7 - 8 - 5



力を入れるべき市の施策をたずねたところ、「道路、交通網の整備」(24.3%)が2割半ばで最も多くなっている。以下、「防犯」(16.3%)、「河川・水路の改良整備」(15.0%)、「子育て支援の充実」(14.7%)などの順となっている。(図表7-8-5)

上位8項目を時系列でみると、「河川・水路の改良整備」は前回調査より8.0ポイント、「防災体制の充実」は前回調査より4.9ポイント、それぞれ増加している。一方、「防犯」は前回調査より4.5ポイント減少している。（図表7-8-6）

図表7-8-6 時系列（上位8項目）－力を入れるべき市の施策



（注）「子育て支援の充実」は、平成30年から追加された選択肢。

地区別に上位5項目をみると、「道路、交通網の整備」は古谷地区と川鶴地区を除く10地区で同率を含め第1位にあげられている。「河川・水路の改良整備」は古谷地区で第1位にあげられている。「子育て支援の充実」は川鶴地区で第1位にあげられている。「防犯」は霞ヶ関北地区で同率で第1位にあげられている。（図表7-8-7）

図表7-8-7 地区別（上位5項目）－力を入れるべき市の施策

(%)

属性 \ 順位	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	1,556	道路、交通網の整備 24.3	防犯 16.3	河川・水路の改良整備 15.0	子育て支援の充実 14.7	防災体制の充実 14.0
【地区別】						
本 庁 地 区	341	道路、交通網の整備 30.2	防犯 17.9	子育て支援の充実/河川・水路の改良整備 15.2		公園・緑地の整備/防災体制の充実 14.1
芳 野 地 区	48	道路、交通網の整備 27.1	河川・水路の改良整備 25.0	子育て支援の充実 22.9	学校教育の内容・施設・環境の整備 20.8	公園・緑地の整備 16.7
古 谷 地 区	66	河川・水路の改良整備 31.8	下水道整備 21.2	防犯 16.7	保育所・幼稚園・認定こども園/道路、交通網の整備 15.2	
南 古 谷 地 区	120	道路、交通網の整備 26.7	河川・水路の改良整備 21.7	防犯 17.5	子育て支援の充実/防災体制の充実 16.7	
高 階 地 区	210	道路、交通網の整備 24.3	防犯 18.1	河川・水路の改良整備 16.2	公園・緑地の整備/防災体制の充実 15.2	
福 原 地 区	85	道路、交通網の整備 21.2	下水道整備 17.6	交通安全 14.1	子育て支援の充実/防犯/防災体制の充実 12.9	
大 東 地 区	153	道路、交通網の整備 21.6	保育所・幼稚園・認定こども園/子育て支援の充実 17.6		防災体制の充実 17.0	学校教育の内容・施設・環境の整備/防犯 16.3
霞ヶ関地区	209	道路、交通網の整備 24.4	防犯 17.2	保育所・幼稚園・認定こども園/学校教育の内容・施設・環境の整備 12.9		公園・緑地の整備 12.4
川 鶴 地 区	71	子育て支援の充実 22.5	保健・医療 18.3	保育所・幼稚園・認定こども園/防災体制の充実 14.1		周辺地域の基盤整備と活性化/道路、交通網の整備/防犯 11.3
霞ヶ関北地区	56	道路、交通網の整備/防犯 19.6		防災体制の充実 17.9	保健・医療/河川・水路の改良整備 14.3	
名 細 地 区	101	道路、交通網の整備 23.8	河川・水路の改良整備 19.8	下水道整備 16.8	社会福祉/防犯 15.8	
山 田 地 区	62	道路、交通網の整備 30.6	学校教育の内容・施設・環境の整備 22.6	公園・緑地の整備 19.4	子育て支援の充実 16.1	下水道整備/河川・水路の改良整備 12.9

性別に上位5項目をみると、「道路、交通網の整備」は男性（26.5%・第1位）が女性（22.7%・第1位）より3.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「道路、交通網の整備」は男性の40歳代以上の年代と女性の50歳代以上の年代で同率を含め第1位にあげられている。「子育て支援の充実」は男性30歳代と女性の20歳代、30歳代で第1位にあげられている。「防犯」は男性20歳代で第1位にあげられている。「河川・水路の改良整備」は男性60歳代で同率を含め第1位にあげられている。「学校教育の内容・施設・環境の整備」は女性40歳代で第1位にあげられている。（図表7-8-8）

図表7-8-8 性別、性・年代別（上位5項目）－力を入れるべき市の施策

(%)

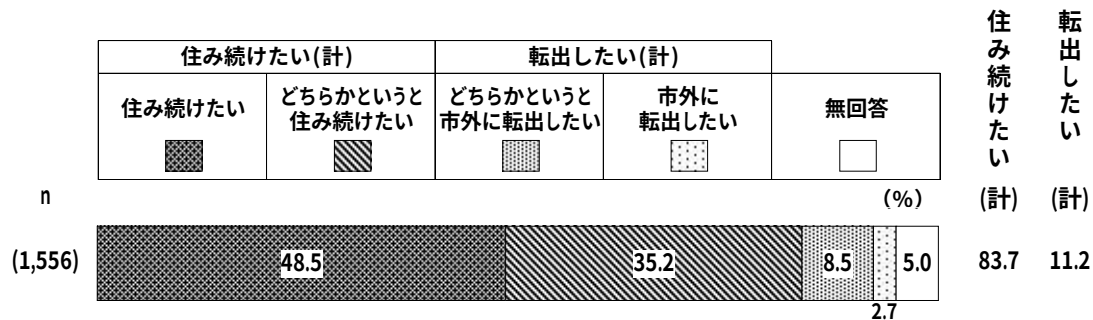
属性	順位	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体		1,556	道路、交通網の整備 24.3	防犯 16.3	河川・水路の改良整備 15.0	子育て支援の充実 14.7	防災体制の充実 14.0
[性別、性・年代別]							
男 性（計）		649	道路、交通網の整備 26.5	河川・水路の改良整備/防犯 16.5	防災体制の充実 13.9	子育て支援の充実 13.6	
18・19歳		5	防犯 40.0	文化・スポーツ活動の振興/学校教育の内容・施設・環境の整備/周辺地域の基盤整備と活性化/道路、交通網の整備/下水道整備/公園・緑地の整備/河川・水路の改良整備/交通安全/消防・救急体制の整備/消費者対策 20.0			
20歳代		59	防犯 25.4	道路、交通網の整備 20.3	保育所・幼稚園・認定こども園 18.6	子育て支援の充実 15.3	インターネットを活用した行政サービス 13.6
30歳代		81	子育て支援の充実 37.0	道路、交通網の整備 30.9	保育所・幼稚園・認定こども園 21.0	交通安全 16.0	学校教育の内容・施設・環境の整備 13.6
40歳代		125	道路、交通網の整備 34.4	子育て支援の充実 17.6	河川・水路の改良整備 16.0	防犯 15.2	インターネットを活用した行政サービス/学校教育の内容・施設・環境の整備/就労の支援/防災体制の充実 12.0
50歳代		87	道路、交通網の整備 28.7	河川・水路の改良整備 19.5	交通安全 17.2	防犯/防災体制の充実 16.1	
60歳代		138	道路、交通網の整備/河川・水路の改良整備/防犯 18.8		防災体制の充実 16.7	保健・医療 14.5	
70歳以上		154	道路、交通網の整備 26.0	周辺地域の基盤整備と活性化 17.5	河川・水路の改良整備/防災体制の充実 16.9	防犯 14.3	
女 性（計）		853	道路、交通網の整備 22.7	防犯 16.4	子育て支援の充実 15.9	学校教育の内容・施設・環境の整備 15.1	防災体制の充実 14.7
18・19歳		5	学校教育の内容・施設・環境の整備/道路、交通網の整備 40.0	文化・スポーツ活動の振興/社会教育の充実/周辺地域の基盤整備と活性化/公園・緑地の整備/自然環境の保全/防災体制の充実 20.0			
20歳代		82	子育て支援の充実 35.4	保育所・幼稚園・認定こども園 31.7	道路、交通網の整備 20.7	防犯 15.9	公園・緑地の整備 14.6
30歳代		158	子育て支援の充実 42.4	保育所・幼稚園・認定こども園 32.3	学校教育の内容・施設・環境の整備 27.8	公園・緑地の整備 24.1	道路、交通網の整備 20.9
40歳代		152	学校教育の内容・施設・環境の整備 26.3	道路、交通網の整備 23.0	防災体制の充実 19.7	防犯 18.4	公園・緑地の整備 16.4
50歳代		126	道路、交通網の整備 26.2	防犯 21.4	防災体制の充実 19.8	河川・水路の改良整備 16.7	社会福祉 15.1
60歳代		158	道路、交通網の整備 22.8	防災体制の充実 16.5	河川・水路の改良整備 15.8	防犯 14.6	社会福祉 13.9
70歳以上		172	道路、交通網の整備 22.1	防犯 15.7	河川・水路の改良整備/防災体制の充実 14.0	地球温暖化対策の推進 12.2	

(9) 市への定住意向

◇『住み続けたい(計)』は83.7%

問56① あなたは、これからもずっと川越市に住み続けたいと思いますか。それともよそに移りたいと思いますか。(○は1つ)

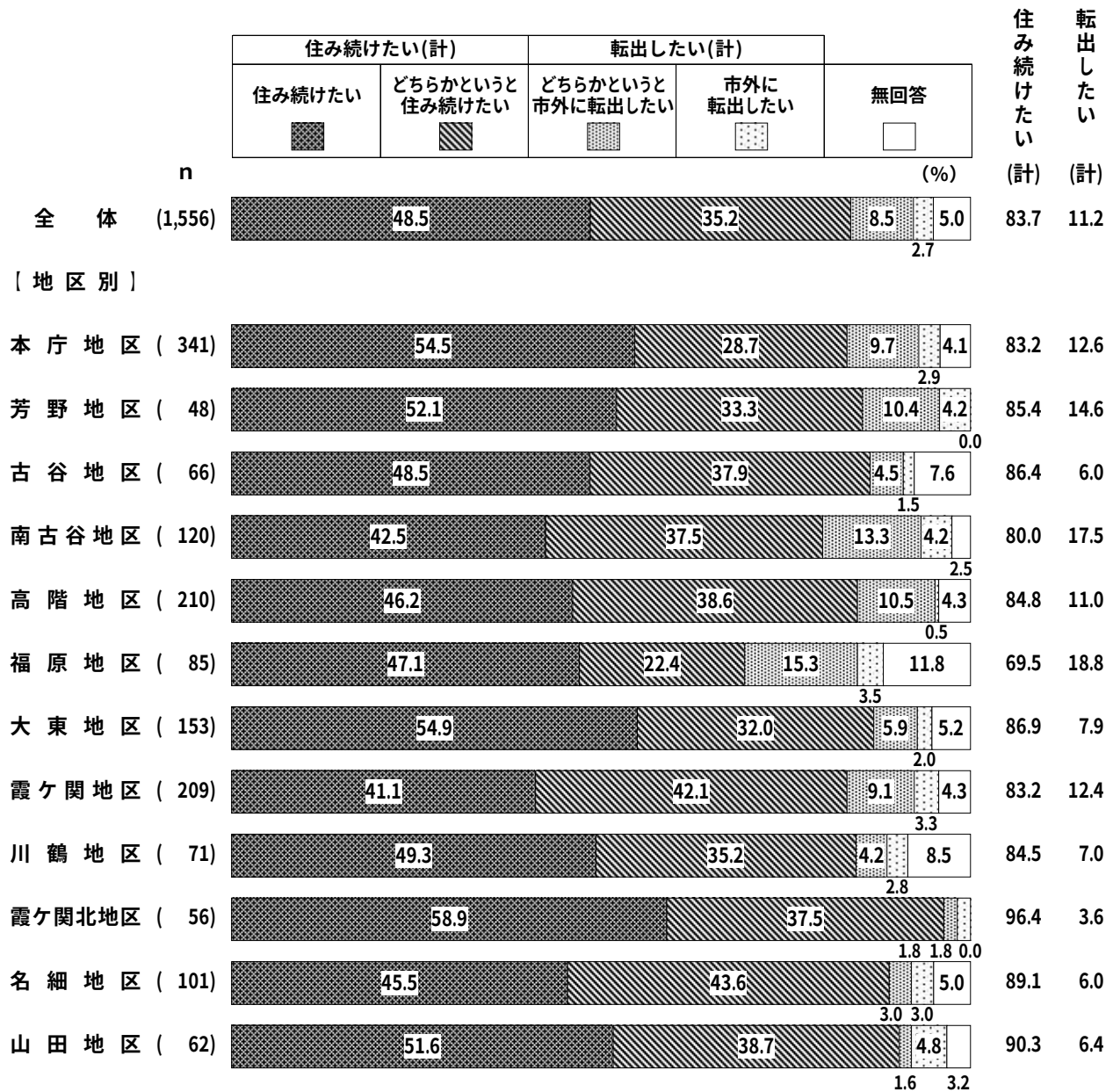
図表 7 - 9 - 1



市への定住意向をたずねたところ、「住み続けたい」(48.5%)と「どちらかというに住み続けたい」(35.2%)を合わせた『住み続けたい(計)』(83.7%)は8割を超えて多くなっている。一方、「どちらかというとし外に転出したい」(8.5%)と「市外に転出したい」(2.7%)を合わせた『転出したい(計)』(11.2%)は1割を超えている。(図表7-9-1)

地区別にみると、『住み続けたい(計)』は霞ヶ関北地区と山田地区で9割台と多くなっている。一方、『転出したい(計)』は福原地区と南古谷地区で2割近くとなっている。(図表7-9-2)

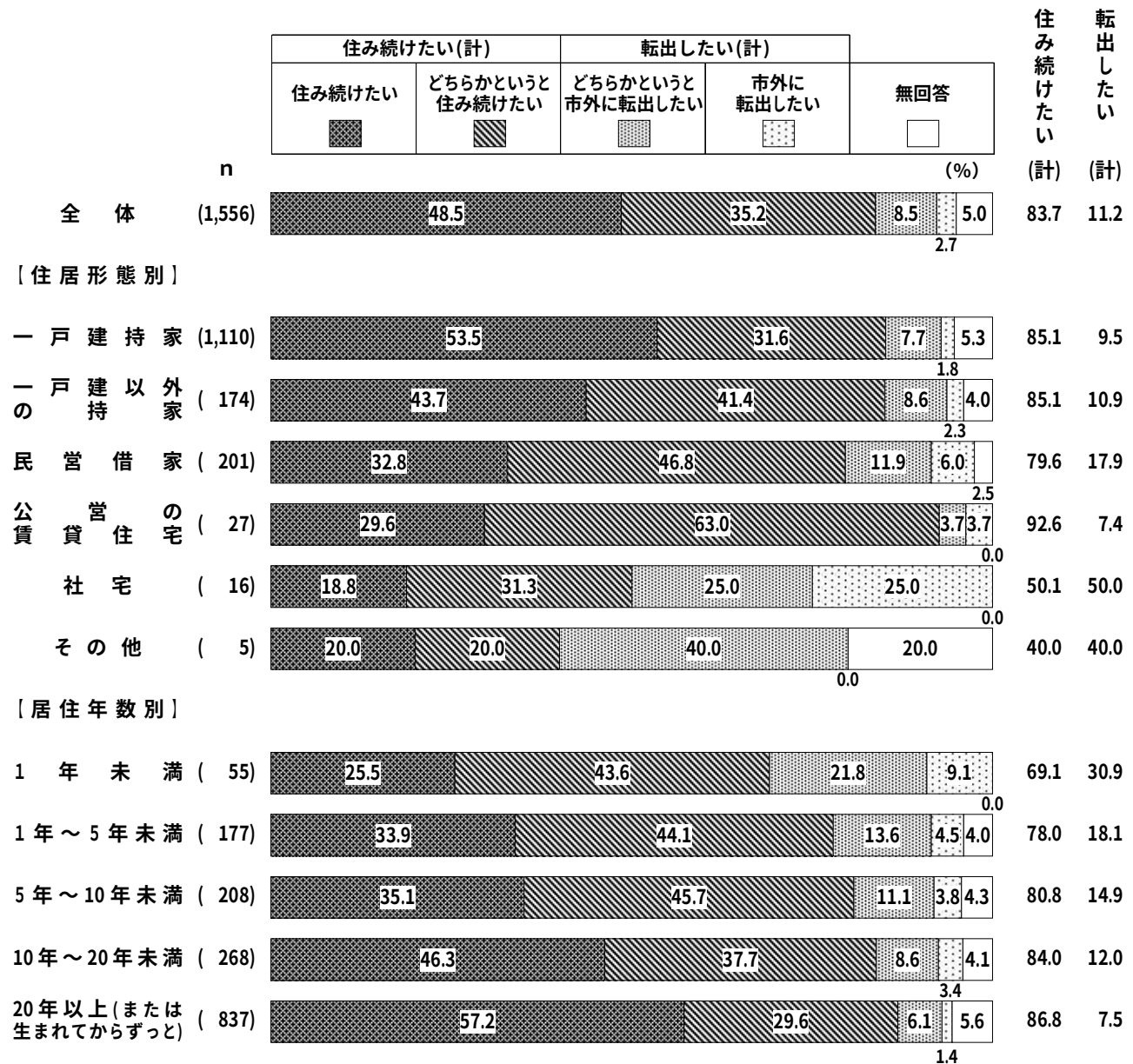
図表7-9-2 地区別ー市への定住意向



住居形態別にみると、『住み続けたい（計）』は公営の賃貸住宅で9割を超え、一戸建持家と一戸建以外の持家で8割半ばと多くなっている。

居住年数別にみると、『住み続けたい（計）』は居住年数が長くなるほど、割合が多くなる傾向がみられる。一方、『転出したい（計）』は1年未満で約3割と多くなっている。（図表7-9-3）

図表7-9-3 住居形態別、居住年数別—市への定住意向



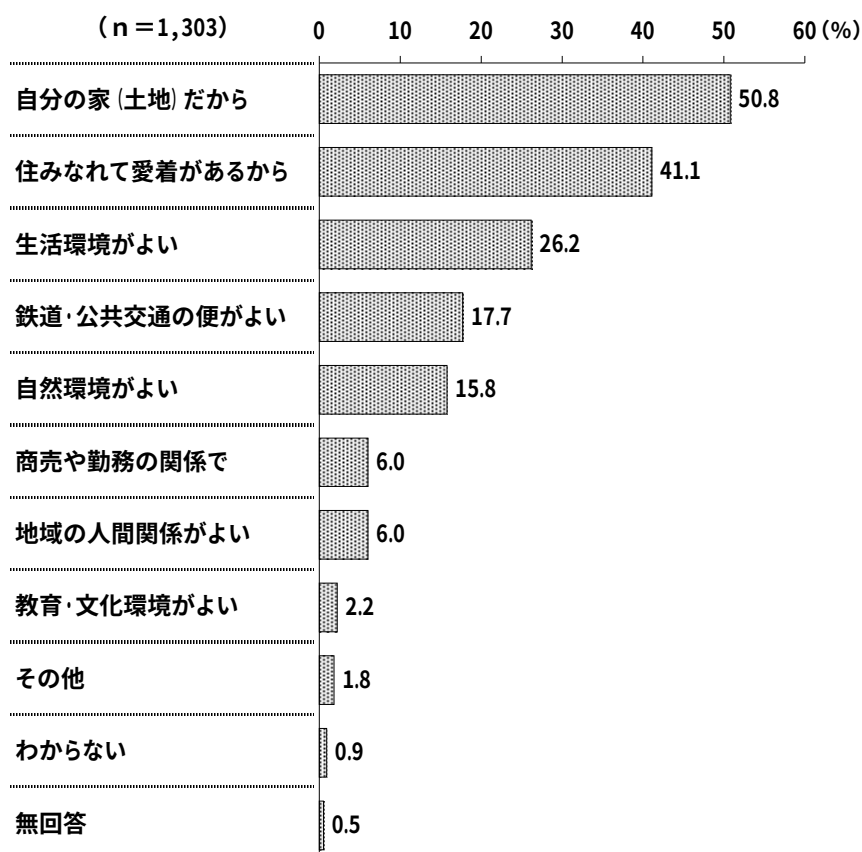
(10) 定住意向理由

◇「自分の家（土地）だから」が50.8%

★問56①で「住み続けたい」「どちらかというに住み続けたい」と答えた方におたずねします。

問56② 川越市に住み続けたいというのは、特にどういう理由からですか。次の中から2つ以内で選んでください。（○は2つ以内）

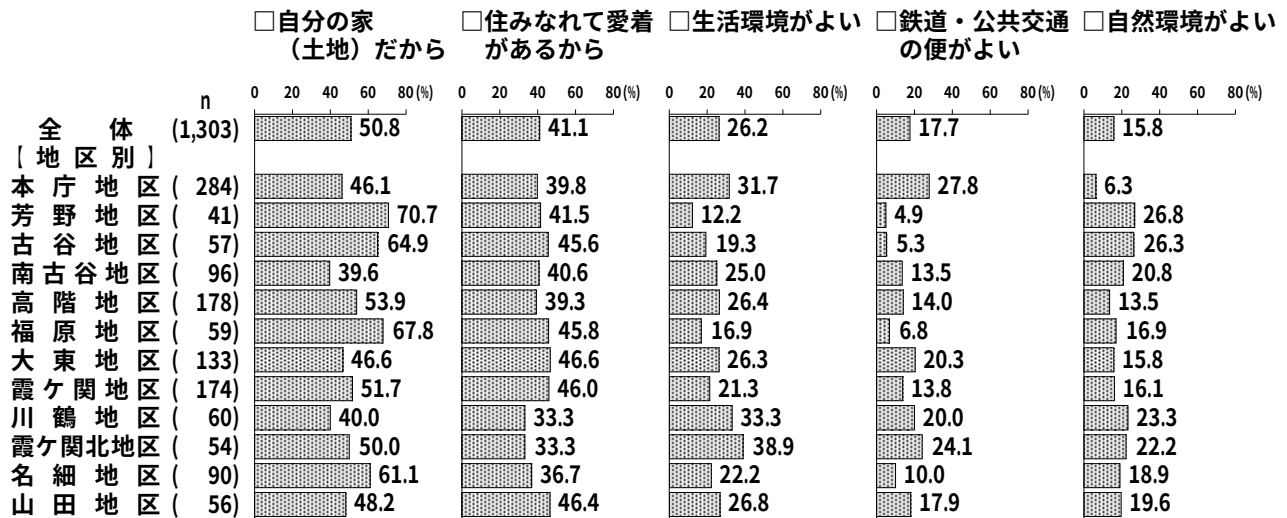
図表 7 -10- 1



問56①で「住み続けたい」「どちらかというに住み続けたい」と答えた人（1,303人）に、その理由をたずねたところ、「自分の家（土地）だから」（50.8%）が約5割で最も多くなっている。以下、「住みなれて愛着があるから」（41.1%）、「生活環境がよい」（26.2%）、「鉄道・公共交通の便がよい」（17.7%）などの順となっている。（図表 7 -10- 1）

上位5項目を地区別にみると、「自分の家（土地）だから」は芳野地区、福原地区で約7割と多くなっている。「生活環境がよい」は霞ヶ関北地区で4割近くと多くなっている。「鉄道・公共交通の便がよい」は本庁地区で3割近くと多くなっている。（図表7-10-2）

図表7-10-2 地区別（上位5項目）一定住意向理由

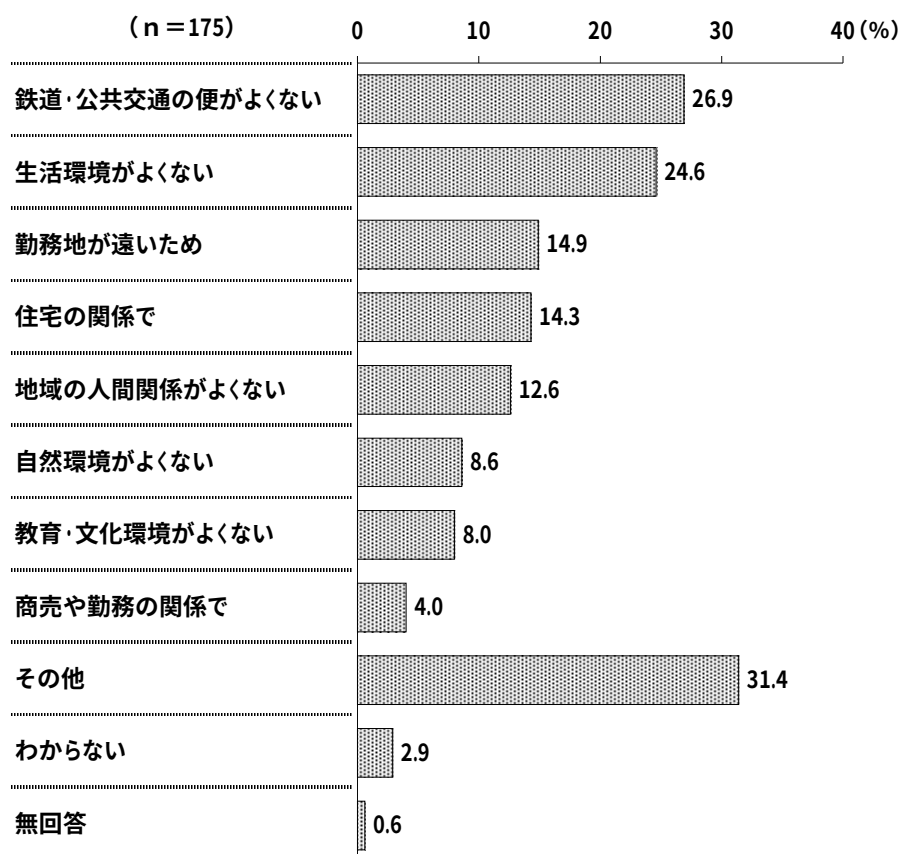


(11) 転出意向理由

◇「鉄道・公共交通の便がよいくない」が26.9%

★問56①で「どちらかというとし外に転出したい」「市外に転出したい」と答えた方におたずねします。
問56③ 市外へ移りたいというのは、特にどういう理由からですか。次の中から2つ以内で選んでください。（○は2つ以内）

図表 7 -11- 1



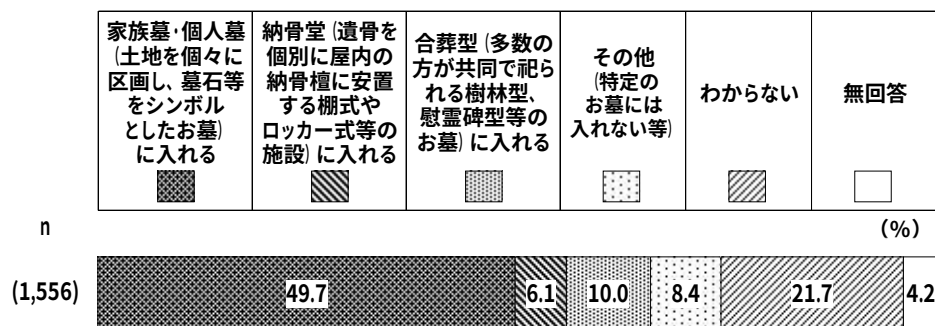
問56①で「どちらかというとし外に転出したい」「市外に転出したい」と答えた人（175人）に、その理由をたずねたところ、「鉄道・公共交通の便がよいくない」（26.9%）が3割近くで最も多くなっている。以下、「生活環境がよいくない」（24.6%）、「勤務地が遠いため」（14.9%）、「住宅の関係で」（14.3%）などの順となっている。（図表 7 -11- 1）

(12) 自身の遺骨の扱いに関する希望

◇「家族墓・個人墓（土地を個々に区画し、墓石等をシンボルとしたお墓）に入れる」が49.7%

問57① ご自身が亡くなったら、遺骨はどのようにして欲しいですか。（○は1つ）

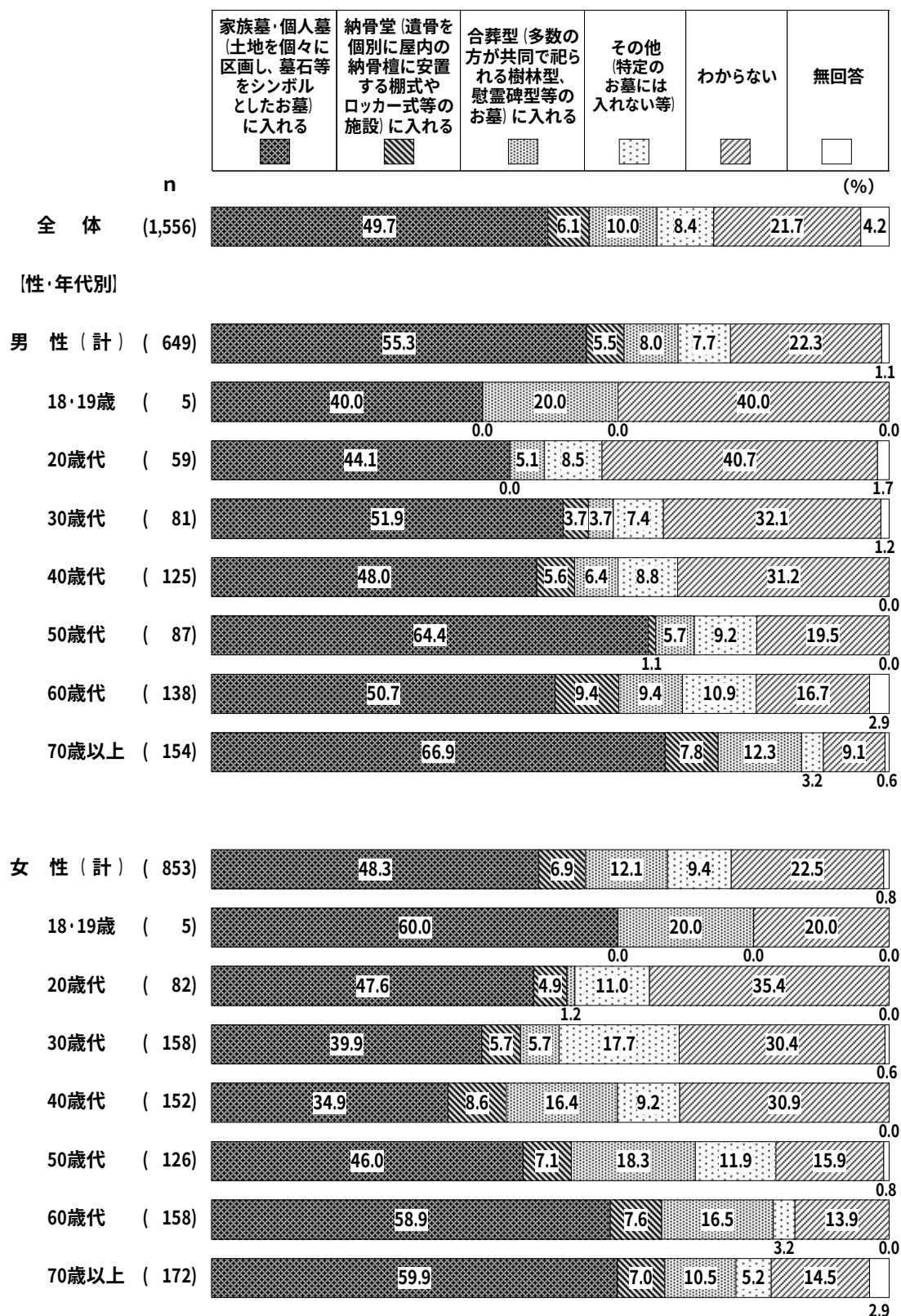
図表 7 -12- 1



自身の遺骨の扱いに関する希望をたずねたところ、「家族墓・個人墓（土地を個々に区画し、墓石等をシンボルとしたお墓）に入れる」（49.7%）が5割で最も多くなっている。以下、「合葬型（多数の方が共同で祀られる樹林型、慰霊碑型等のお墓）に入れる」（10.0%）、「その他（特定のお墓には入れない等）」（8.4%）などの順となっている。（図表 7 -12- 1）

性・年代別にみると、「家族墓・個人墓（土地を個々に区画し、墓石等をシンボルとしたお墓）に入れる」は男性の50歳代と70歳以上で6割台と多くなっている。（図表7-12-2）

図表7-12-2 性・年代別—自身の遺骨の扱いに関する希望

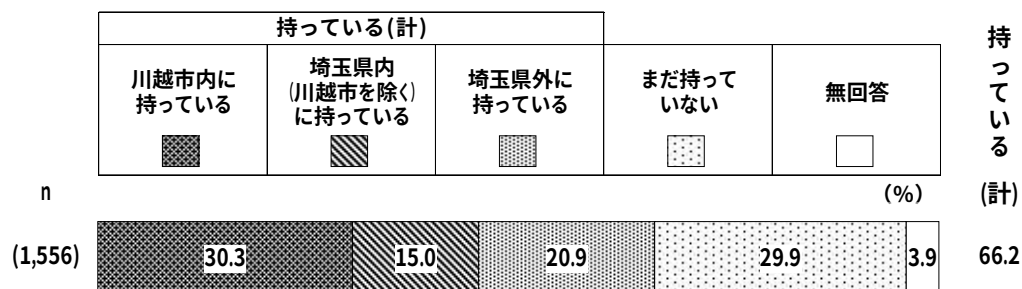


(13) 墓地や納骨堂の所有状況

◇『持っている（計）』は66.2%

問57② あなたやご家族は、墓地や納骨堂をお持ちですか。（○は1つ）

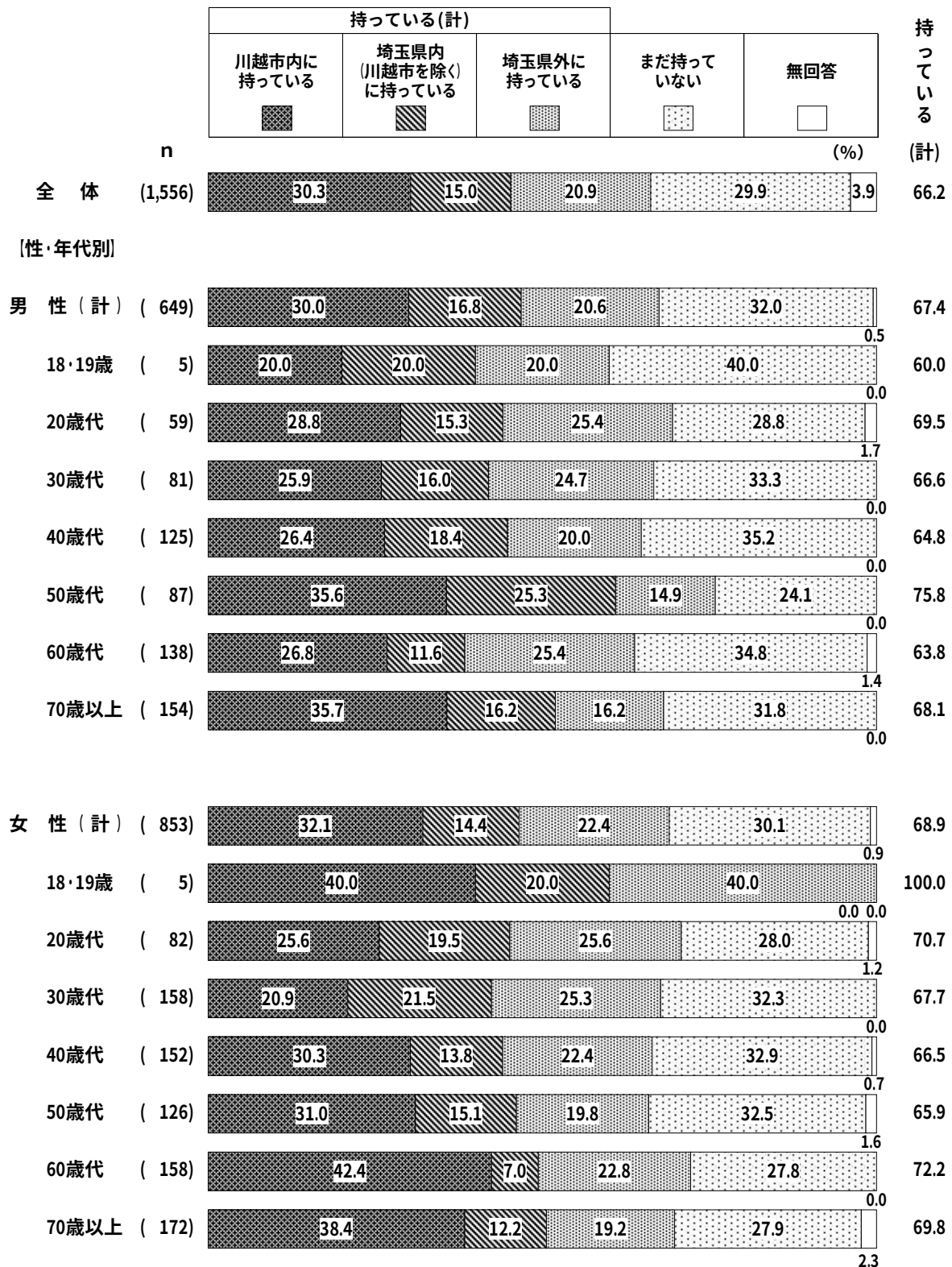
図表 7 -13- 1



墓地や納骨堂の所有状況をたずねたところ、「川越市内に持っている」（30.3％）が3割で最も多く、これに「埼玉県内（川越市を除く）に持っている」（15.0％）と「埼玉県外に持っている」（20.9％）を合わせた『持っている（計）』（66.2％）は6割半ばとなっている。一方、「まだ持っていない」（29.9％）は3割となっている。（図表 7 -13- 1）

性・年代別にみると、「川越市内に持っている」は女性60歳代で4割を超えて多くなっている。『持っている（計）』は男性50歳代と女性の20歳代、60歳代で7割台と多くなっている。一方、「まだ持っていない」は男性の40歳代と60歳代で3割半ばと多くなっている。（図表7-13-2）

図表 7-13-2 性・年代別－墓地や納骨堂の所有状況

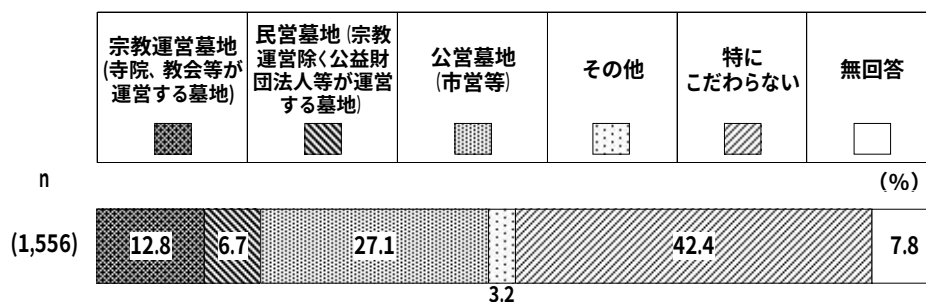


(14) 希望するお墓の種類

◇「特にこだわらない」が42.4%

問57③ お墓を取得するとしたら、どのような種類がよいと思いますか。（すでにお持ちの方も新たに取得する場合としてお答えください）（○は1つ）

図表 7-14-1

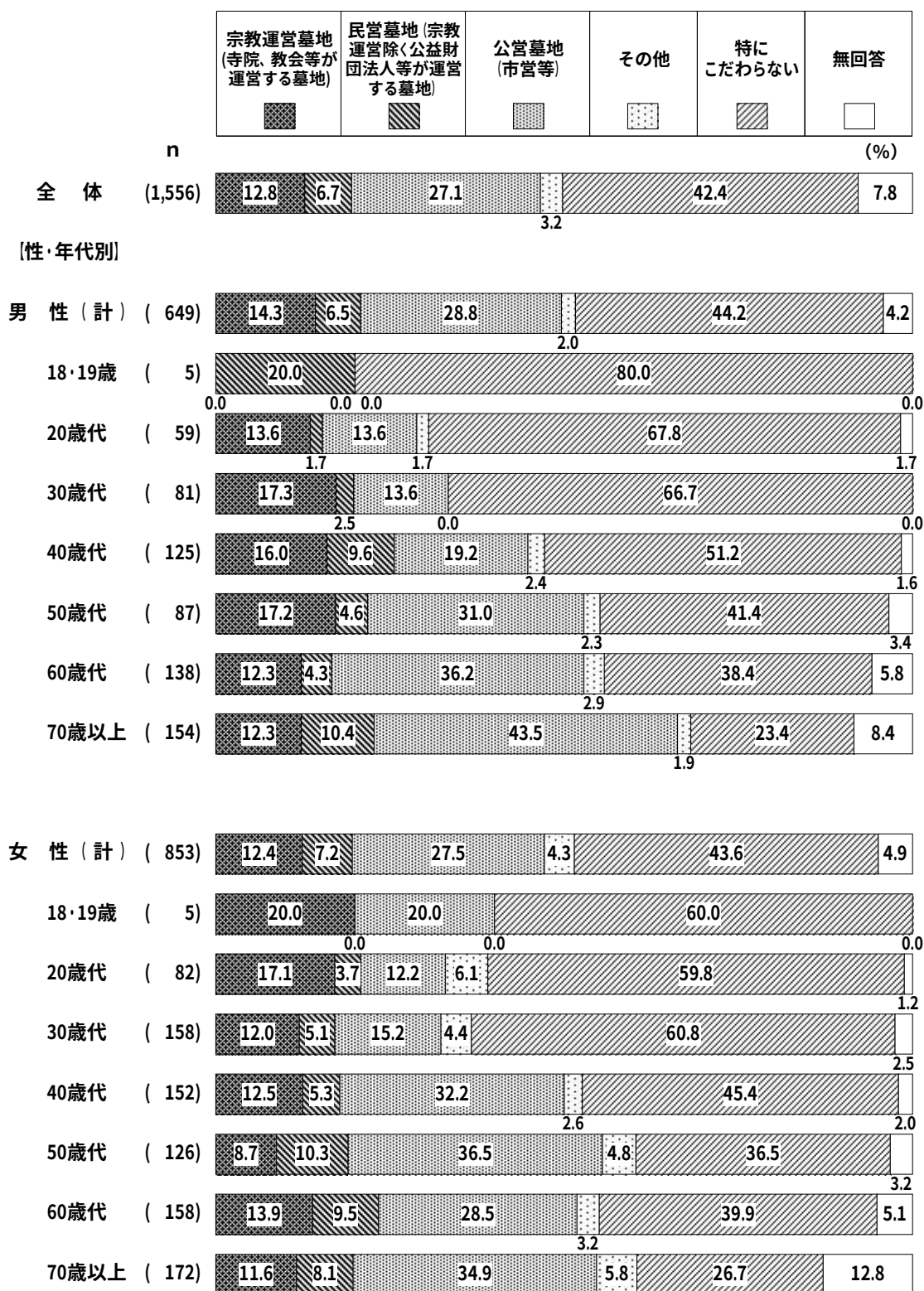


希望するお墓の種類をたずねたところ、「特にこだわらない」（42.4%）が4割を超えて最も多くなっている。以下、「公営墓地（市営等）」（27.1%）、「宗教運営墓地（寺院、教会等が運営する墓地）」（12.8%）、「民営墓地（宗教運営除く公益財団法人等が運営する墓地）」（6.7%）などの順となっている。（図表 7-14-1）

性・年代別にみると、「公営墓地（市営等）」は男性70歳以上で4割を超えて多くなっている。
「特にこだわらない」は男性の20歳代と30歳代、女性30歳代で6割台と多くなっている。

(図表 7-14-2)

図表 7-14-2 性・年代別－希望するお墓の種類

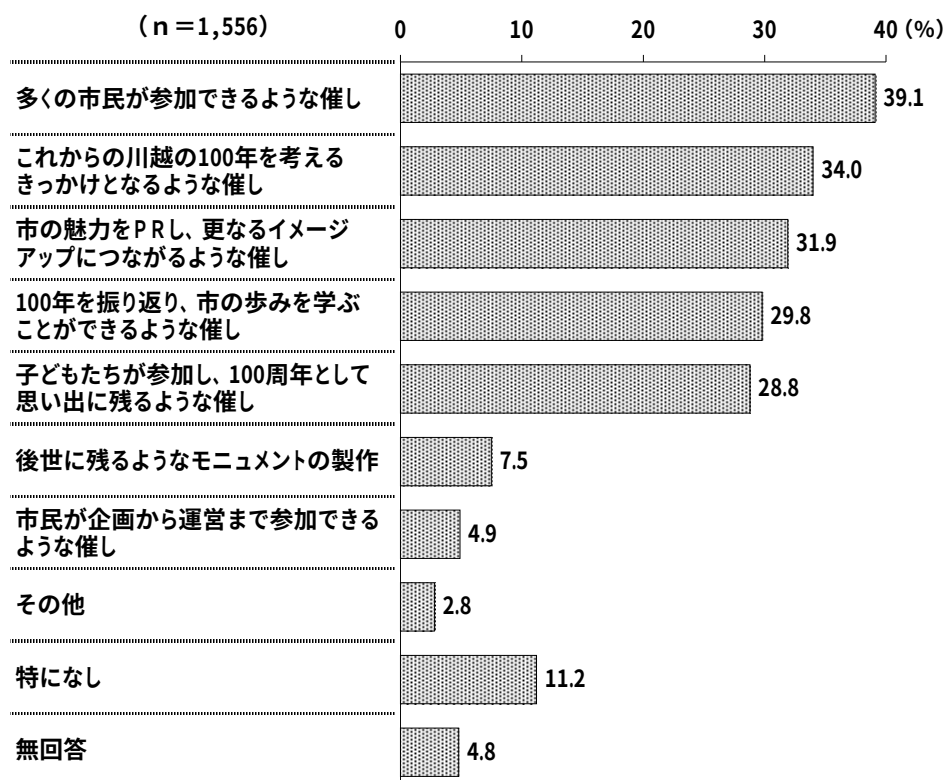


(15) 市制施行100周年の年に行ったらよいと思う催し

◇「多くの市民が参加できるような催し」が39.1%

問58 2022年に川越市は市制施行100周年を迎えます。あなたは、この節目の年に、どのような催しを行ったらよいと思いますか。（○は3つ以内）

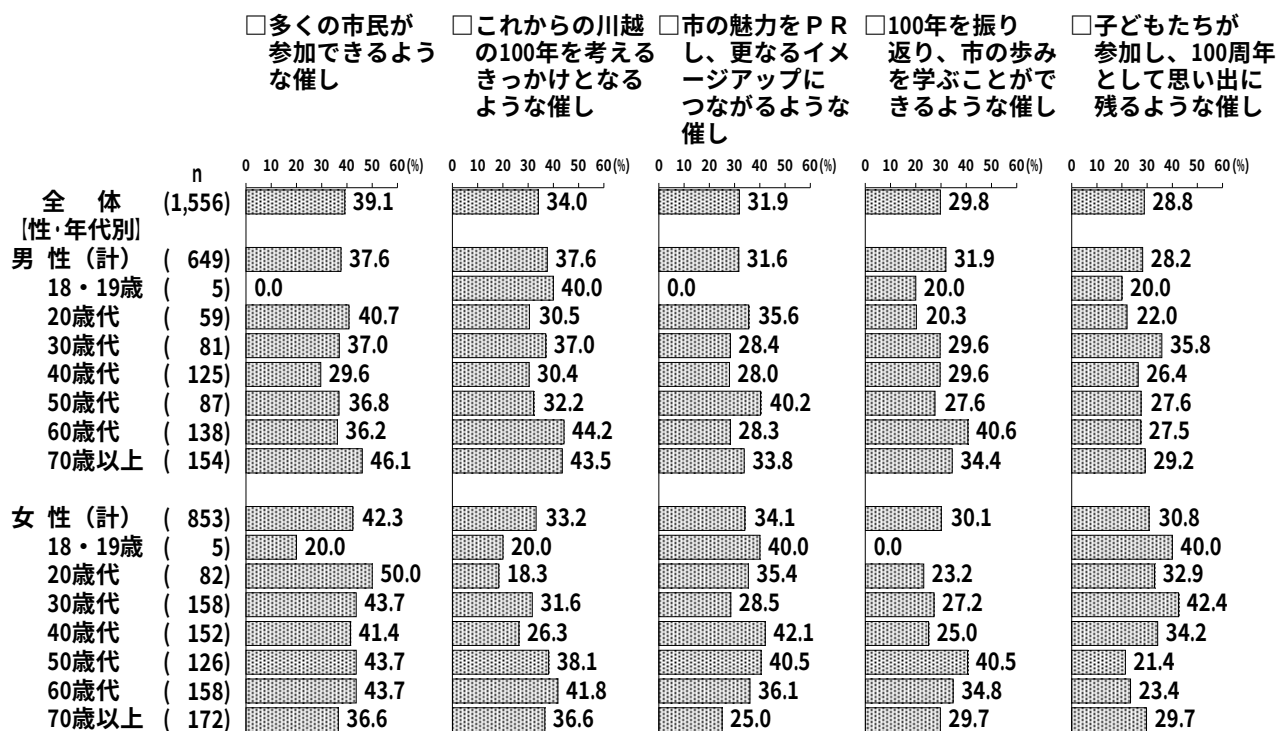
図表 7 -15- 1



市制施行100周年の年に行ったらよいと思う催しをたずねたところ、「多くの市民が参加できるような催し」（39.1%）が約4割で最も多くなっている。以下、「これからの川越の100年を考えるきっかけとなるような催し」（34.0%）、「市の魅力をPRし、更なるイメージアップにつながるような催し」（31.9%）、「100年を振り返り、市の歩みを学ぶことができるような催し」（29.8%）などの順となっている。（図表 7 -15- 1）

上位5項目を性・年代別にみると、「多くの市民が参加できるような催し」は女性20歳代で5割と多くなっている。「これからの川越の100年を考えるきっかけとなるような催し」は男性の60歳代と70歳以上、女性60歳代で4割台と多くなっている。「子どもたちが参加し、100周年として思い出に残るような催し」は女性30歳代で4割を超えて多くなっている。（図表7-15-2）

図表7-15-2 性・年代別（上位5項目）－市制施行100周年の年に行ったらよいと思う催し

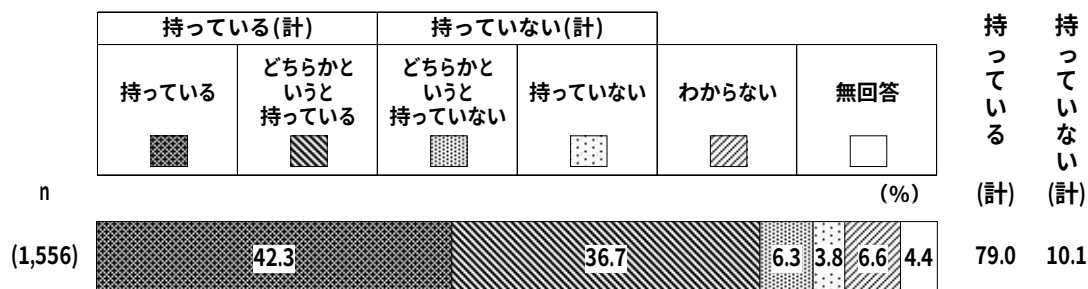


(16) 川越市への愛着

◇『持っている（計）』は79.0%

問59 あなたは、川越市に愛着をお持ちですか。（○は1つ）

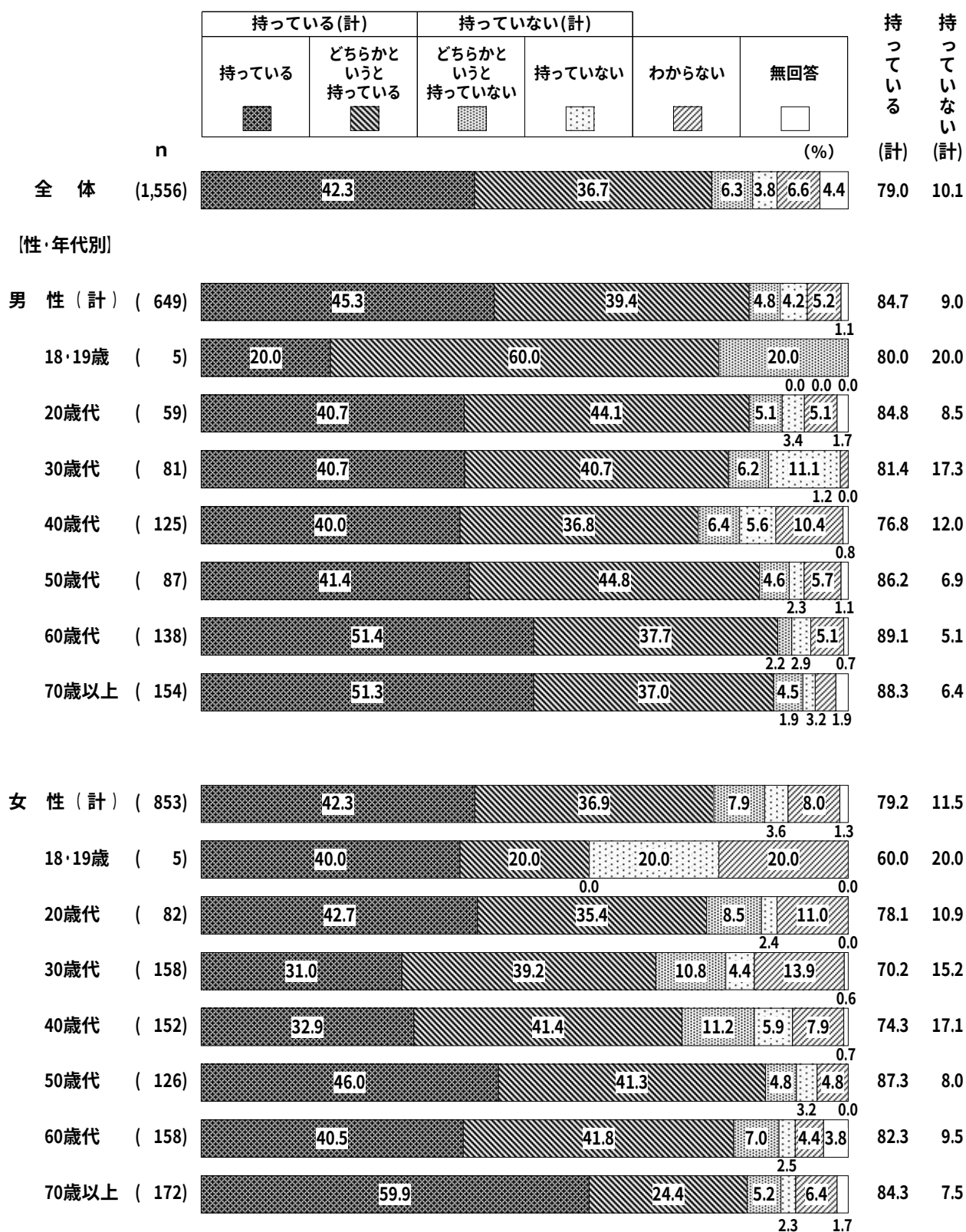
図表 7 -16- 1



川越市への愛着をたずねたところ、「持っている」（42.3%）と「どちらかというと持っている」（36.7%）を合わせた『持っている（計）』（79.0%）は約8割と多くなっている。一方、「どちらかというと持っていない」（6.3%）と「持っていない」（3.8%）を合わせた『持っていない（計）』（10.1%）は1割となっている。（図表 7 -16- 1）

性・年代別にみると、『持っている（計）』は男性60歳代で約9割と多くなっている。一方、『持っていない（計）』は男性30歳代と女性40歳代で2割近くとなっている。（図表7-16-2）

図表7-16-2 性・年代別－川越市への愛着

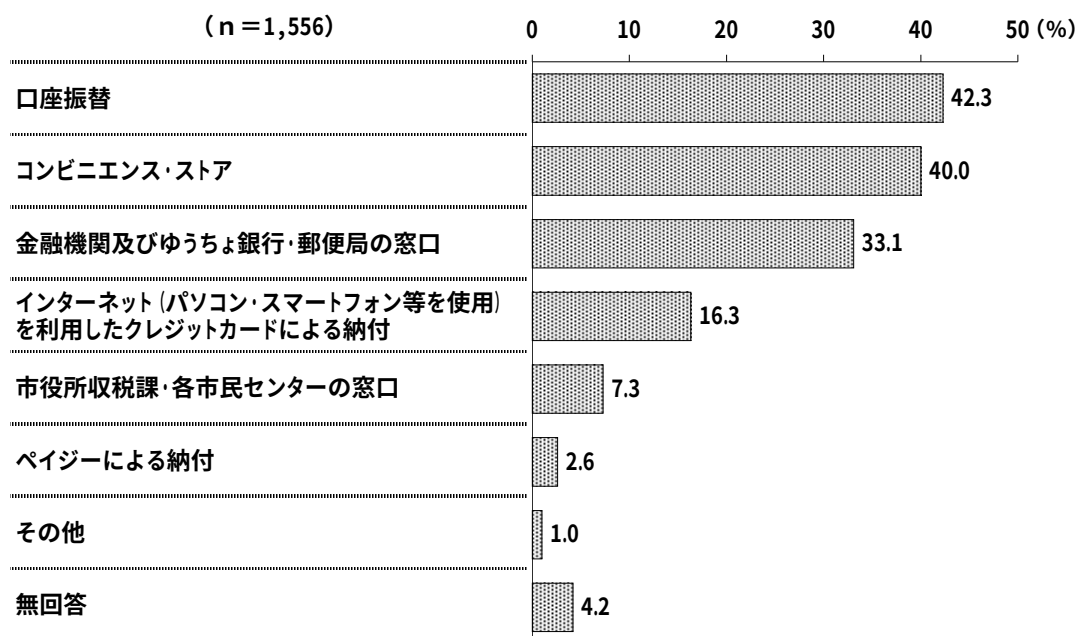


(17) 希望する市税納付方法

◇「口座振替」が42.3%

問60 あなたが市税（国民健康保険税を含む）を納める方法として希望するのは次のどれですか。次の中からあてはまるものを2つ選んでください。（○は2つ以内）

図表 7 -17- 1



希望する市税納付方法をたずねたところ、「口座振替」（42.3%）が4割を超えて最も多くなっている。以下、「コンビニエンス・ストア」（40.0%）、「金融機関及びゆうちょ銀行・郵便局の窓口」（33.1%）、「インターネット（パソコン・スマートフォン等を使用）を利用したクレジットカードによる納付」（16.3%）などの順となっている。（図表 7 -17- 1）

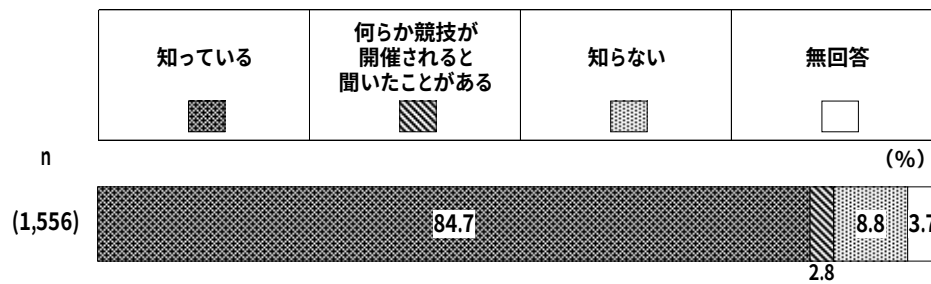
(18) 東京オリンピックのゴルフ競技の認知度

◇ 「知っている」が84.7%

問61 2020年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。

- ① あなたは、川越市でゴルフ競技が開催されることを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。（○は1つ）

図表 7-18-1



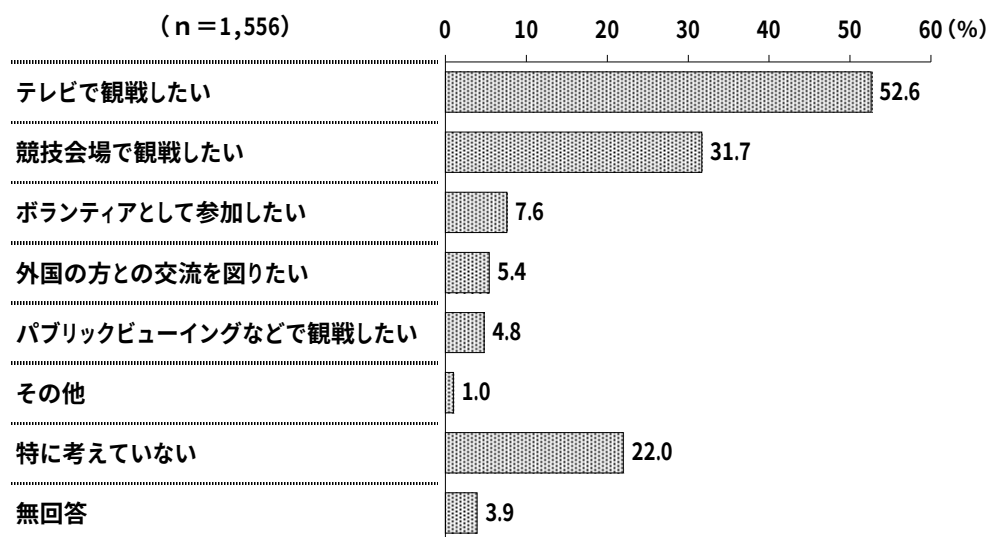
東京オリンピックのゴルフ競技の認知度をたずねたところ、「知っている」（84.7%）が8割半ば、「何らかの競技が開催されると聞いたことがある」（2.8%）はわずかとなっている。一方、「知らない」（8.8%）は1割未満となっている。（図表 7-18-1）

(19) 東京オリンピックへの関わり方

◇「テレビで観戦したい」が52.6%

問61② あなたは、東京オリンピックにはどのような形で関わりたいですか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。（○はいくつでも）

図表 7 -19- 1



東京オリンピックへの関わり方をたずねたところ、「テレビで観戦したい」（52.6%）が5割を超えて最も多くなっている。以下、「競技会場で観戦したい」（31.7%）、「ボランティアとして参加したい」（7.6%）、「外国の方との交流を図りたい」（5.4%）などの順となっている。

（図表 7 -19- 1）

8. 市政運営に対する意見・まちづくりへの要望

問 最後に、市に対するご意見やこれからのまちづくりについてのご希望がありましたら、ご自由にお書きください。

「市政運営に対する意見・まちづくりへの要望」欄には、498人（32.0%）の方からの記入があった。その中で、具体的な要望やアイデアを記入していただいたものについて、地区別にその内容を分類し、表にした。

また、複数の記入はそれぞれ1件に数えてあるので、意見要望は合計で725件となっている。

地区別／カテゴリー別 記入状況

	本庁地区	芳野地区	古谷地区	南古谷地区	高階地区	福原地区	大東地区	霞ヶ関地区	川鶴地区	霞ヶ関北地区	名細地区	山田地区	地区不明	合計	比率
全体合計	185	19	22	79	82	47	65	86	22	20	45	33	20	725	100.0%
1. 都市基盤・生活基盤	57	7	7	35	22	17	22	31	4	6	14	14	6	242	33.4%
道路の整備・バリアフリー	12	2	1	6	3	2	3	4	1	1	0	1	0	36	
歩道の整備	9	0	0	2	5	4	2	5	0	2	1	2	2	34	
バス路線の便の増加、路線の変更	2	3	0	9	2	2	5	6	0	1	2	2	0	34	
公園・緑地の整備	10	0	2	2	5	1	2	3	1	0	4	1	2	33	
駅前・周辺の整備	5	0	1	8	2	0	1	0	0	1	0	0	0	18	
道路の拡幅	2	2	1	1	1	0	2	3	0	0	0	1	0	13	
街路灯の整備	4	0	0	0	1	1	2	1	0	0	1	1	1	12	
排水路、下水道の整備	1	0	2	1	0	3	2	0	0	0	3	0	0	12	
道路交通の整備	5	0	0	1	1	0	0	3	0	0	0	2	0	12	
中心部以外の市街地の開発	1	0	0	0	1	1	0	3	2	0	1	2	0	11	
鉄道関係について	1	0	0	3	0	0	2	2	0	0	1	0	1	10	
河川の整備	2	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	6	
市内交通網の充実	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	4	
市営住宅関連	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	
その他	2	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	5	
2. 産業・観光	23	1	3	4	5	2	7	7	1	1	2	3	1	60	8.3%
観光行政	17	0	0	3	2	0	3	1	0	0	1	2	0	29	
産業全般	2	0	2	1	1	1	4	4	1	0	1	1	1	19	
イベント・お祭り関連	4	1	1	0	2	1	0	2	0	1	0	0	0	12	
3. 教育・文化・スポーツ	10	4	1	6	7	1	5	6	2	3	2	3	1	51	7.0%
学校教育	5	2	0	2	4	0	2	2	1	1	1	1	1	22	
スポーツ関連	4	2	0	2	2	1	0	3	0	0	1	1	0	16	
公民館関連	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	5	
図書館関連	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	4	
幼児教育	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
青少年教育	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
4. 保健・医療・福祉・子ども	18	1	4	7	13	5	8	10	6	4	5	3	2	86	11.9%
児童・母子（父子）福祉	7	1	2	2	1	2	4	4	2	1	2	0	1	29	
高齢者福祉	4	0	1	2	4	1	1	2	3	3	1	2	0	24	
医療関連	3	0	1	1	4	0	2	2	0	0	0	0	1	14	
福祉全般	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	5	
健診（検診）	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
障害者（児）福祉	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	0	4	
働く女性への支援	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
その他	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	

	本 庁 地 区	芳 野 地 区	古 谷 地 区	南 古 谷 地 区	高 階 地 区	福 原 地 区	大 東 地 区	霞 ヶ 関 地 区	川 鶴 地 区	霞 ヶ 関 北 地 区	名 細 地 区	山 田 地 区	地 区 不 明	合 計	比 率
5. 環境	14	2	1	7	4	3	2	4	2	0	3	3	3	48	6.6%
ゴミ収集	3	1	0	6	3	1	0	4	0	0	2	1	3	24	
環境保全	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	6	
たばこ関連	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
騒音対策	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3	
その他	5	1	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	11	
6. 地域社会と市民生活	12	1	1	5	2	1	5	5	2	2	7	3	1	47	6.5%
防災関係	5	1	1	5	0	1	2	2	0	1	5	3	0	26	
防犯に関して	6	0	0	0	1	0	3	2	1	1	1	0	0	15	
駐車場・駐輪場に関して	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	1	6	
7. 市政全般	51	3	5	15	29	18	16	23	5	4	12	4	6	191	26.3%
行政運営に関して	9	1	1	5	5	4	5	4	2	0	2	1	1	40	
今回のアンケート調査に関して	9	1	1	2	8	3	3	3	1	0	3	0	2	36	
市民のマナー、モラルに関して	9	0	0	2	0	2	1	2	0	0	1	0	1	18	
税金関連	4	0	0	0	2	2	1	3	0	0	0	0	0	12	
市職員の態度	3	0	2	0	0	1	1	3	0	0	1	0	0	11	
地域社会に関して	1	0	0	2	3	1	1	1	1	1	0	0	0	11	
公共施設関連	2	0	0	0	2	2	1	1	0	0	0	1	0	9	
広報関連	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	1	7	
計画的・効果的な財政運営に関して	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	6	
生活環境に関して	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4	
行政サービスについて	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
市役所に関して	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
議員・政治・選挙に関して	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	4	
市長、市職員に対して	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3	
市内の地域間格差の是正に関して	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3	
その他	4	0	0	2	2	2	2	3	1	2	0	0	1	19	

続いて記入していただいた多くの意見の中から、各カテゴリー別にいくつかの内容を次に掲載している。

1. 都市基盤・生活基盤

<道路の整備・バリアフリー>

- 本川越駅と川越市駅間の道路をもう少し整備して欲しい。信号を設置するなど。ラッシュ時、交通状態が悪く危険を感じる。車が進めない状況である。【女性・30～39歳・霞ヶ関北地区】

<歩道の整備>

- 道路の道幅が狭いためか、よく交通事故が起きている。歩道や自転車専用道の確保をお願いしたいです。【女性・30～39歳・霞ヶ関北地区】

<バス路線の便の増加、路線の変更>

- 高齢者が車の免許証を返納するにしても、交通手段がないので、市で運営するバスを増やして欲しい。健康の為、PiKOAを利用しているが、現在のバスは霞ヶ関駅－PiKOAの間だけしかない。本数は少なくても良いが、他の地区の方も利用出来るように、広くバス路線を増やして欲しい。【女性・65～69歳・霞ヶ関地区】

＜公園・緑地の整備＞

- 川越市駅周辺に子どもが遊べる公園がほしい。何もないため、水上公園へ行くことがあるが、水上公園は子ども向けの公園と言い難いので2才の我が子は走り回るくらいしかできない。
【女性・30～39 歳・本庁地区】

2. 産業・観光

＜観光行政＞

- 中心部が観光地化されて活気づいているがどこの観光地にもあるチェーン店のような土産店が並ぶようになり、雰囲気が変わった。川越ならではの観光地を目指したい。若者に媚びているようにも感じます。土日に大量の人であふれるより、小江戸の風情を楽しみ、“落ち着くなあ”と思われる、良い加減の小江戸川越であってほしいです。【女性・50～59 歳・大東地区】

＜産業全般＞

- 次の時代の農業を考えないと農業をする人がいなくなってしまうと思う。
【男性・75 歳以上・川鶴地区】
- 大手企業の誘致だけでなく、個人店や中小が経営出来る仕組みを作してほしい。
【男性・30～39 歳・本庁地区】

3. 教育・文化・スポーツ

＜学校教育＞

- 子どもが市内公立小学校に通っています。教育環境があまりにも酷くびっくりしました。（ブ라운管テレビ、汚いトイレ等）。教師の数も子どもの数に合っていない様に思います。先生も忙しそうでかわいそうです。もう少し教育にお金をかけてほしいと思います。古い体質、抜け出しましょう。是非よろしくお願いします。【女性・30～39 歳・本庁地区】

＜スポーツ関連＞

- 自由に運動やスポーツができる場所をもっと増やして欲しい。【男性・20～29 歳・霞ヶ関地区】

4. 保健・医療・福祉・子ども

＜児童・母子（父子）福祉＞

- 児童館のような遊べる所や、保育園をもっと増やしてほしい。少子高齢化になっているこのご時世、もっと妊婦や子ども連れ家族が幸せになる市を作してほしい。川越市に住みたいと思われる市になってほしいです。【女性・20～29 歳・霞ヶ関地区】

＜高齢者福祉＞

- 健康なシニア世代の就労支援を行なってほしい。働きたくても職場のない方（特に女性）が多いです。【女性・50～59 歳・古谷地区】

＜医療関連＞

- 夜間、休日の医療を充実させてほしい。頼みの綱である埼玉医大は診療時間外はまったく電話が繋がらない。子どもがいるので特に夜間、休日でも安心して診てもらえる所がほしい。小児救急支援アプリがあると便利。【女性・30～39 歳・高階地区】

5. 環境

＜ゴミ収集＞

- 資源ゴミの回収は他の周辺の市に比べると回数が少ない。大型スーパーでダンボール等の紙類、ペットボトルの回収ができる所もあるが、車がないと大変不便なため利用しづらい。

【男性・30～39 歳・南古谷地区】

6. 地域社会と市民生活

＜防災関係＞

- 防災無線の声が割れて聞とりにくく、何を言っているかわかりません。もっとわかりやすく出来ないでしょうか？【女性・70～74 歳・山田地区】

＜防犯に関して＞

- 昨年の年末に車上荒らしにあいました。そこから防犯の意識が高まったこともあり、空き巣や車上荒らし、住居侵入などの事件が、自分が思っていたより沢山起きていることを知りました。年末など、特に増加する時期はパトロールを増やすなどの対策を（特に深夜）お願いできればと思います。【女性・30～39 歳・本庁地区】

7. 市政全般

＜行政運営に関して＞

- もっと的を絞って施策を講じた方が良いのではないかと感じる。各部局でいろいろな事をやるのは良いが、例えば敬老の日になんでマッサージ券を配ってるが、一年に一回マッサージを受けて何の効果があるんでしょうか。もっと知恵を絞った施策を行って欲しい。

【不明・不明・高階地区】

＜今回のアンケート調査に関して＞

- アンケートに答える際、地区名がわからなかったので簡単な地図があると親切だと思います。

【女性・30～39 歳・芳野地区】

＜市民のマナー、モラルに関して＞

- 川越市駅の朝・夕の通学時の自転車、歩行者のマナーについて、困っております。市内のマナーの向上をお願い致します。【男性・40～49 歳・本庁地区】

＜税金関連＞

- 過剰な施策や事業は必要ありません。住民税を安くして下さい。【女性・40～49 歳・高階地区】

＜市職員の態度＞

- 市役所職員の市民に対する対応は、おおむね良いと感じます。しかし、出張所の職員は、大変親切であるか、大変対応が悪いかの両極端であると驚かされます。名細地区はみなさん大変親切ですが、ある出張所の窓口、電話対応では嫌悪感がありました。

【女性・50～59 歳・名細地区】

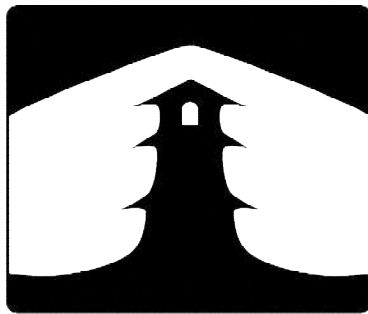
第 13 回 川越市市民意識調査

発行日 平成 31 年 2 月

発 行 川越市市民部広聴課

〒350-8601 川越市元町 1 丁目 3 番地 1

☎ 049 (224) 8811 (代表)



時が人を結ぶまち川越